

高ノ御前遺跡(第2次)発掘調査報告

2004 (平成16) 年3月

三重県埋蔵文化財センター



調査区全景（北西から）



S H75出土遺物



S H42 (北西から)



S H42出土遺物

序

このたび、(主)伊勢松阪線(有滝B.P)地方特定道路整備事業に伴って消滅していく高ノ御前遺跡の一部を発掘調査いたしました。

当遺跡の存在する伊勢市は、伊勢神宮鎮座の地として知られ、数多くの歴史的遺産が存在しており、日本の歴史を究明するうえで重要な地域となっております。

今回の調査結果を概観いたしますと、古墳時代後期の竪穴住居13棟や飛鳥時代竪穴住居5棟などが確認されました。また、非常に多くの土器が出土し、その中でも古墳時代後期から飛鳥時代の時期の土師器がたくさん見つかりました。

このように当地域の歴史を追究するうえからも貴重な資料を得ることができました。消滅した遺跡に代わり、発掘調査の成果が郷土の歴史ひいては文化を伝え、活用されていくことを切望いたします。

なお、文末ながら、協議から発掘調査にかけて多大のご理解とご協力をいただいた県土整備部ならびに伊勢地方県民局建設部、伊勢市教育委員会、伊勢北部土地改良区をはじめ、発掘調査にご助力をいただいた地元の方々にご心より感謝申し上げます。

2004年3月

三重県埋蔵文化財センター

所長 吉水康夫

例 言

- 1 本書は、三重県伊勢市有滝町字高御前・茶臼塚に所在する高ノ御前（たかのごぜん）遺跡の第2次発掘調査報告書である。
- 2 調査は下記の体制で実施した。

調査主体 三重県教育委員会
調査担当 三重県埋蔵文化財センター
調査第一課 奥野 実、原田恵理子
松見直茂（研修員、三重県立四日市農芸高等学校）
発掘作業受託者 安西工業株式会社
- 3 本書の執筆は奥野実と松見直茂が、編集は奥野実が行ない、遺構と遺物の撮影は奥野実が、巻頭カラーの遺物集合写真は田中久生が担当した。
なお、文責は目次と文末にも表記した。
- 4 本書が対象とした実調査面積2,300㎡である。
- 5 本書が対象とした現地調査期間は、平成13年8月1日から平成13年12月25日である。
- 6 本書で示す方位は、国土地標第VI系（日本測地系）を基準とする座標北を用いた。なお、磁北は約6度50分西偏している（平成12年、国土地理院）。
- 7 本書では、下記の遺構表示略記号を用いた。

SH：竪穴住居 SB：掘立柱建物 SD：溝 SK：土坑
- 8 本書で表記する色調は、小山正忠・竹原秀夫編『新版標準土色帖』（21版、日本色研事業株式会社、1998年）に準拠した。
- 9 発掘調査及び本書の作成に際しては、下記の方々にご指導・ご協力をいただいた（敬称略）。

磯部 克・伊藤裕偉・大谷宏治・竹内英昭・坂野俊哉・東 浩成・有滝町区
伊勢市北部土地改良区・伊勢市教育委員会・三重県土整備部道路整備課
伊勢地方県民局建設部
- 10 本書が扱う発掘調査の原因事業は、平成13年度（主）伊勢松阪線（有滝BP）地方特定道路整備事業である。
- 11 発掘調査の経費は三重県土整備部が負担した。
- 12 本書が扱う発掘調査の資料並びに出土遺物等は、三重県埋蔵文化財センターが保管している。

本文目次

I 前 言	(奥野 実)	1
1 調査の契機		1
2 調査の経過		1
3 調査の方法		2
4 文化財保護法等にかかる諸通知		2
II 位置と歴史的環境	(松見直茂)	4
1 遺跡の位置		4
2 歴史的環境		4
III 基本層序と遺構	(奥野 実)	12
1 基本層序		12
2 遺 構		12
(1) 古墳時代後期～飛鳥時代		12
(2) 平安時代		24
(3) 鎌倉・室町時代		24
IV 遺 物	(奥野 実)	26
1 古墳時代後期～飛鳥時代の遺物		26
2 奈良時代・平安時代の遺物		53
3 鎌倉時代・室町時代の遺物		53
4 包含層などの出土遺物		55
出土遺物観察表		72
V 結 語	(奥野 実)	101
1 遺構の変遷について		101
2 今後の検討課題について		105

挿図目次

第1図	遺跡地形図……………	3	第28図	S D33出土遺物実測図……………	41
第2図	調査区位置図……………	3	第29図	S D43・47出土遺物実測図……………	42
第3図	遺跡位置図……………	6	第30図	S D57出土遺物実測図……………	44
第4図	調査区平面図……………	7	第31図	S D57・58・61出土遺物実測図……………	45
第5図	調査区土層断面図1……………	10	第32図	S D62・66出土遺物実測図……………	46
第6図	調査区土層断面図2……………	11	第33図	S D69出土遺物実測図1……………	47
第7図	S H36遺物出土状況図……………	13	第34図	S D69出土遺物実測図2……………	48
第8図	S H29実測図、S H42実測図及び 土層断面図、S H52実測図及び土層 断面図、S H52遺物出土状況図……………	15	第35図	S D69出土遺物実測図3……………	49
第9図	S H46・54・55・59・63・64 実測図……………	16	第36図	S D69出土遺物実測図4……………	50
第10図	S H68実測図及び土層断面図、 S H68遺物出土状況図、S H78実測図、 S H78遺物出土状況図及び 竈実測図……………	17	第37図	S D69出土遺物実測図5……………	51
第11図	S H72・75実測図、S H76実測図 及び土層断面図、S H79・80 実測図……………	19	第38図	S D69・73出土遺物実測図……………	52
第12図	S H83遺物出土状況図……………	20	第39図	遺構出土遺物実測図……………	54
第13図	S B86・91・92実測図……………	21	第40図	包含層など出土遺物実測図1……………	56
第14図	S B87・88・89・90実測図……………	22	第41図	包含層など出土遺物実測図2……………	57
第15図	S D57実測図及び土層断面図、 S D69実測図……………	23	第42図	包含層など出土遺物実測図3……………	58
第16図	S H29・36出土遺物実測図……………	29	第43図	包含層など出土遺物実測図4……………	59
第17図	S H36出土遺物実測図……………	30	第44図	包含層など出土遺物実測図5……………	60
第18図	S H42出土遺物実測図……………	31	第45図	包含層など出土遺物実測図6……………	61
第19図	S H52出土遺物実測図……………	32	第46図	包含層など出土遺物実測図7……………	62
第20図	S H46・54・59・63・64 出土遺物実測図……………	33	第47図	包含層など出土遺物実測図8……………	63
第21図	S H68出土遺物実測図1……………	34	第48図	包含層など出土遺物実測図9……………	64
第22図	S H68出土遺物実測図2……………	35	第49図	包含層など出土遺物実測図10……………	65
第23図	S H68・72・75出土遺物実測図……………	36	第50図	包含層など出土遺物実測図11……………	66
第24図	S H78出土遺物実測図……………	37	第51図	包含層など出土遺物実測図12……………	67
第25図	S H78・79・80・83 出土遺物実測図……………	38	第52図	包含層など出土遺物実測図13……………	68
第26図	S B88・89・90・91・92 出土遺物実測図……………	39	第53図	包含層など出土遺物実測図14……………	69
第27図	S D32・35出土遺物実測図……………	40	第54図	古墳時代後期～飛鳥時代 遺構配置図1……………	102
			第55図	古墳時代後期～飛鳥時代 遺構配置図2……………	103

表 目 次

第1表	遺構一覽表1	8
第2表	遺構一覽表2	9
第3表	竪穴住居、掘立柱建物一覽表	25
第4表	出土遺物觀察表1	72
第5表	出土遺物觀察表2	73
第6表	出土遺物觀察表3	74
第7表	出土遺物觀察表4	75
第8表	出土遺物觀察表5	76
第9表	出土遺物觀察表6	77
第10表	出土遺物觀察表7	78
第11表	出土遺物觀察表8	79
第12表	出土遺物觀察表9	80
第13表	出土遺物觀察表10	81
第14表	出土遺物觀察表11	82
第15表	出土遺物觀察表12	83
第16表	出土遺物觀察表13	84
第17表	出土遺物觀察表14	85
第18表	出土遺物觀察表15	86
第19表	出土遺物觀察表16	87
第20表	出土遺物觀察表17	88
第21表	出土遺物觀察表18	89
第22表	出土遺物觀察表19	90
第23表	出土遺物觀察表20	91
第24表	出土遺物觀察表21	92
第25表	出土遺物觀察表22	93
第26表	出土遺物觀察表23	94
第27表	出土遺物觀察表24	95
第28表	出土遺物觀察表25	96
第29表	出土遺物觀察表26	97
第30表	出土遺物觀察表27	98
第31表	出土遺物觀察表28	99
第32表	出土遺物觀察表29	100

写真図版目次

巻頭図版1	調査区全景、S H75出土遺物	
巻頭図版2	S H42、S H42出土遺物	
写真図版表紙	S H36出土遺物	107
写真図版1	調査前風景、調査区全景	108
写真図版2	調査区全景、S H42	109
写真図版3	S D39・S H46、S H52	110
写真図版4	S H54・S H55、S D57	111
写真図版5	S H59、S H63	112
写真図版6	S H64、S H68	113
写真図版7	S D69、S H79・S H80	114
写真図版8	S H36遺物出土状況、 S H52遺物出土状況	115
写真図版9	S H78遺物出土状況、 S H36掘削風景	116
写真図版10	作業風景、事業完了後	117
写真図版11	出土遺物1	118
写真図版12	出土遺物2	119
写真図版13	出土遺物3	120
写真図版14	出土遺物4	121
写真図版15	出土遺物5	122
写真図版16	出土遺物6	123
写真図版17	出土遺物7	124
写真図版18	出土遺物8	125
写真図版19	出土遺物9	126

I 前 言

1 調査の契機

高ノ御前遺跡は、三重県伊勢市有滝町字高御前・茶臼塚に所在し、伊勢市遺跡番号113の周知の遺跡である。南方には、宮川や外城田川が、北方には江川が流れ、西方には田園風景が広がっている。現況は、宅地・水田・畑地・荒地などとなっている。

当遺跡では、平成8年度にも県営は場整備事業（伊勢北部地区）に伴い発掘調査（第1次調査）が実施されている。

今回の発掘調査（第2次調査）は、平成13年度（主）伊勢松阪線（有滝B P）地方特定道路整備事業に伴い行われた。調査に先立ち平成13年5月25日に範囲確認調査を行った。その結果、事業予定地について遺跡が存在する事が確認された。これを受けて、遺跡保存に向けて県土整備部と埋蔵文化財保護の協議を重ねた。その結果、事業に伴い保存不可能な部分について調査を実施し、記録保存することとなった。

2 調査の経過

(1) 現地調査経過の概要

調査は、2,300mを対象面積とし、平成13年8月1日から12月25日にかけて行った。排土搬出の運搬路確保のために調査区を二ヶ所に分けて調査を実施した。調査区は、調査区を横切る「字道」をさかいに北側の2,000mをA地区、南側の300mをB地区とした。

現地調査にあたっては、地元在住の方々などに補助をしていただいた。記して感謝します。

井坂外志和、上野徳人、北村さよ子、北村 孝、小林 晃、小林久子、竹本俊子、辻祐岑満、中村さよ、中村秀子、中村喜代、中村芳和、西出幸二、西村秋代、西村正一、浜口あい子、浜口三郎、濱口裕美、古野幸子、古野早智子、間宮泰生、南端絹代、三宅芳三、安井智恵子、山川源市、山口清重

(五十音順、敬称略)

(2) 調査日誌（抄）

8月1日 現地協議

8月23日 監督員・作業員詰所が設置される。
8月29日 重機による表土掘削を開始する。(B1～E17区)
8月30日 表土掘削を終了する。
9月4日 掘削作業を開始する。一日でコンテナパレット7箱分の遺物が出土する。
9月5日 B1～E2区の遺構検出を実施する。SK30・SD31を掘削する。
9月12日 D3～E7区の遺構検出を実施する。SD33を掘削する。
9月13日 SD32・SD33・SH36を掘削する。SH36からは多数の土器が出土する。
9月17日 D10～C13区の遺構検出を実施する
9月19日 SH36の出土状況図の作成を開始する。
9月20日 SH42・SH46・SD47などを掘削する。
9月25日 SH36の土器を取り上げる。
10月3日 重機による表土掘削を開始する。(B18～E31区)
10月4日 表土掘削を終了する。その後、地区設定を行う。
10月11日 B17～E23区の包含層を掘削する。かく乱が多い。
10月12日 B17～E18区の遺構検出を実施する。
10月16日 SH52・SD53・ビットなどを掘削する。
10月18日 掘削作業と並行して、B1～E17区の遺構実測を開始する。
10月19日 SH54・SH55・SD57などを掘削する。
10月23日 遺構実測が終了する。
10月26日 SD61・ビットなどを掘削する。
10月29日 SH52・SH59などを掘削する。
10月30日 SH52の出土状況図の作成を開始する。
11月1日 D27区の包含層から多数の土器が出土する。
11月2日 SH52の土器を取り上げる。
11月6日 埋蔵文化財センターよりコンテナパレット84箱を詰所に搬入する。
11月7日 B27～E32区の包含層を掘削する。
11月9日 SD69の掘削を開始する。

- 11月12日 本日から松見研修員は阿山郡伊賀町野添遺跡に転勤となる。
- 11月13日 SH68・SD69・SK70などを掘削する。
- 11月14日 SH72・SH75・SH76などを掘削する。
- 11月16日 SH68の出土状況図を作成する。
- 11月19日 SH78の出土状況図を作成する。
- 11月26日 B1～E31区の写真撮影を開始する。
- 11月28日 写真撮影が終了する。
- 12月3日 重機による表土掘削を開始する。(B32～F39区)
- 12月4日 表土掘削を終了する。並行して、B18～E34区の遺構実測を開始する。
- 12月6日 遺構実測が終了する。
- 12月7日 SH79・SH80を掘削する。
- 12月10日 C36～E39区の遺構検出を実施する
- 12月11日 SK81・SK82・SH83などを掘削する。
- 12月14日 午前、B32～F39区の写真撮影を行う。
午後、伊勢市市政記者クラブで資料提供を行う。
- 12月16日 午後1時30分から現地説明会を開催する。
160名の参加を得る。
- 12月17日 C35～F39区の遺構実測を行う。
- 12月19日 発掘用具の搬出、現場周辺の片付けを行う。
- 12月25日 残土処理が行われる。これを持って現場作業が終了する。

3 調査の方法

(1) 発掘作業業務委託

現地調査においては、調査担当が調査に専念でき、調査の効率化や安全管理の向上などを図る目的で、実施している。

この業務内容は、作業員の雇用・管理や機材の提供などの土工的作業や測量作業となっている。

今回の発掘調査では、指名競争入札により安西工業株式会社花落し、委託した。

(2) 調査区の設定

調査区内を4m四方の柵目で区切ることで小地区を設定した。北から南に1～39、西から東にB～Fを配置した。なお、この小地区設定は、国土座標(日本測地系)とは無関係である。

(3) 遺構図面

調査区の全体の平面図及び各土層断面図は、縮尺1/20で作成した。また、出土遺物を伴う遺構については、縮尺1/10で作成した。

(4) 掘削方法

表土は重機で、包含層以下・遺構までを人力で行った。

4 文化財保護法等にかかる諸通知

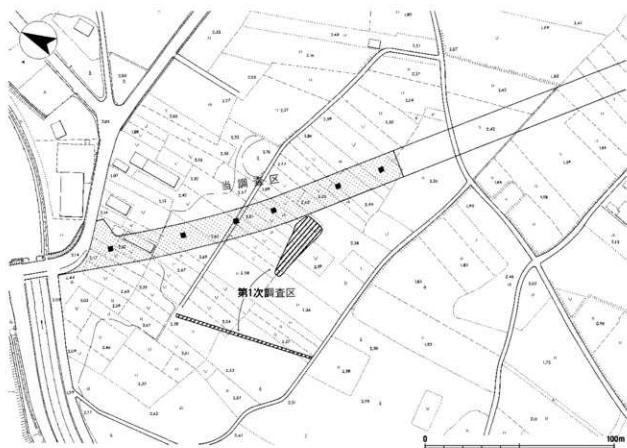
文化財保護法等にかかる諸通知は、以下の様に行っている。

- ・法に基づく三重県文化財保護条例第48条の第1項(県教育長宛)
平成13年7月12日付道整第150号(県知事通知)
- ・法第58条の2第1項(県教育長宛)
平成13年8月2日付教理第151号
- ・遺失物法にかかる文化財発見・認定通知(伊勢警察署長宛)
平成13年2月1日付教ス生第229-15号(県教育長通知)

(奥野 実)



第1図 遺跡地形図 (1 : 5,000)



第2図 調査区位置図 (1 : 2,000) ■ 調査坑

II 位置と歴史的環境

1 遺跡の位置

高ノ御前遺跡(1)は、三重県伊勢市有滝町字高御前・茶臼塚に所在し、現在の行政区画、伊勢市の北西部に位置している。

当遺跡は、伊勢市北西部を流れる外城田川の左岸の砂堆上に立地する。また、旧地形復元により当遺跡の西方にかつて海または川があったと推定されている。

今回の調査区は標高約3mで、現況は雑種地となっている。周辺には宅地が広がりつつあり、北方約600mの所で伊勢湾の広がりを望むことができる。

2 歴史的環境

(1) 当遺跡の歴史的環境

当遺跡の所在地である伊勢市有滝町は、古代において「度会郡伊蘇郷」に属しており、中世には伊勢神宮の御厨と御園である「有滝御厨」と「有滝御園」が存在していた。近世においては山田奉行支配の幕府直轄地であった。

A 当遺跡の調査成果

高ノ御前遺跡は、昭和50年に皇学館大学考古学研究会の「宮川流域分布調査」において発見された遺跡で、広範囲にわたり土師器・須恵器・山茶椀・土鍾などがかなり濃密な散布度で確認された。その後も同研究会で踏査が行われ、調査成果がまとめられている。

そして、平成8年には県営ほ場整備事業に伴う事前調査(第1次調査)が実施された。その結果、古墳時代後期の竪穴住居や井戸などが見付き、調査面積に対して多数の土師器や須恵器などが出土した。

(2) 当遺跡周辺の歴史的環境

ここでは今回の調査に関連する弥生時代～室町時代の遺跡について概述する。

A 弥生時代

当遺跡周辺では、弥生時代の遺跡はあまり見つかっていない。その中でも大敷遺跡(2)からは前期の土器が出土し、後期の方形周溝墓なども検出されており特筆される。また、この大敷遺跡は、遠賀川式土器の伝播東進ルート上の一つであると推定されている。

当遺跡南西約6kmの汁谷川流域左岸段丘上には、大規模な遺跡が見つかっている。離宮山遺跡(3)からは中期の土器が出土している。掛橋遺跡(4)では後期の竪穴住居などが、野垣外遺跡(5)と中楽山遺跡(6)からは、後期の竪穴住居と方形周溝墓などが確認されている。

また、外城田川流域左岸段丘上の六軒屋遺跡(7)と明野原台地上の北野遺跡(8)でも、後期の竪穴住居などが検出されており、大規模な遺跡と考えられる。

B 古墳時代

当遺跡周辺では、前期の遺跡の確認数が少なく、S字裳が出土した東山遺跡(9)と荘可端遺跡(10)があげられるに過ぎない。

後期になると遺跡は増加し、田面遺跡(11)や有滝道遺跡(12)・二本松A遺跡(13)・茶屋前遺跡(14)・下稲葉遺跡(15)・東遺跡(16)などが存在している。また、当遺跡北西約6kmの砂堆上には、中山A遺跡(17)や中山B遺跡(18)・中山C遺跡(19)などの遺跡が集まっている。

古墳については、そのほとんどが破壊され消滅しているが、唯一存在する丁塚古墳(20)は径29m・高さ4mの円墳で、5世紀末葉～6世紀初頭の築造と考えられる。この丁塚古墳と上記の茶屋前遺跡や東遺跡・下稲葉遺跡と方城遺跡(21)を含む範囲に8基以上で構成された「野依古墳群」の存在が復元されている。このことから当地域は、宮川流域における古墳群の一分布地域を形成していると考えられる。

その他、注目される古墳としては、外城田川左岸段丘上に立地する前方後円墳の野田古墳(22)や外宮神城内にある高倉山古墳(23)・高倉山古墳の北東にあった塚山古墳群(24)があげられる。その中でも、6世紀後半に築造された高倉山古墳は、墳丘規模において他と隔絶しており、かつまた全国第6位の横穴式石室の存在から当地域のみならず全国的にも貴重な古墳である。

また、大仏山丘陵南東端には大仏八端窯跡群(25)が存在し、6世紀後半の須恵器などが確認されている。当遺跡周辺で唯一確認されている窯跡群として注目される。

C 奈良・平安時代

当遺跡周辺では小御堂前遺跡(26)や殿垣外遺跡(27)・高向遺跡(28)の存在が知られている。殿垣内遺跡では、平安時代の掘立柱建物や緑釉陶器などが見つかり、神宮祭主が居住した伊蘇館の一部と推定されている。また、対岸の高向遺跡からは、平安時代の掘立柱建物や緑釉陶器・墨書土器・石帯・帯金具などが確認され、旧高向郷における官衛的な性格をもつものと考えられている。その他、役所的な性格をもつ遺跡としては離宮院跡があげられ、平安時代の八脚門や櫓などが見つかっている。

また、当遺跡から西南西方向約7kmには、土師器焼成坑が確認されている北野遺跡や水滸土器製作遺跡(29)などが存在している。その中でも北野遺跡からは、奈良時代を中心とした土師器焼成坑が25基も確認され、当遺跡にも北野遺跡で作られた土師器が運びこまれていたと推定されている。

先述の丁塚古墳からは平安時代末頃の経筒も出土しており、経塚としても利用されていたことが知られている。この丁塚古墳の南東には延喜式内社「磯神社」(30)が所在している。

D 鎌倉・室町時代

当遺跡の近接地では、山中遺跡(31)や二本松B遺跡(32)・茶臼塚遺跡(33)・志伊禮遺跡(34)・宮之前遺跡(35)・江川遺跡(36)などが存在している。

中世城館としては、磯城跡(37)や村松氏館跡(38)・大淀城跡(39)などがあげられるが、遺構は消滅してしまっている。その他、南北朝時代から江戸時代まで存続していた田丸城跡(40)がよく知られている。

以上のように、当遺跡周辺の歴史的環境について概述してきた。当地域では、弥生時代から連続と続く人々の生活の痕跡が窺われる。

(松見直茂)

[註]

- ① 伊藤裕偉・小林俊之『有滝遺跡』(三重県埋蔵文化財センター、2001年)。
- ② 池辺 彌『和名類聚抄郡部里縣名考説』(吉川弘文館、1981年)の296頁。
- ③ 『外宮神領目録』(続々群書類従本)の499頁。
- ④ 『神風抄』(群書類従本)の301頁。
- ⑤ 東 浩成『高ノ御前遺跡とその遺物』(『歩跡』第4号、皇學館大學考古学研究会、1989年)。

⑥ 日榮智子『高ノ御前遺跡発掘調査報告』(三重県埋蔵文化財センター、1997年)。

⑦ 吉水康夫『大蔵遺跡』(『南勢バイパス埋蔵文化財調査報告』、建設省中部地方建設局・三重県教育委員会、1973年)。

⑧ 御村精治・榎本義徳『離宮院跡発掘調査報告』(小俣町教育委員会、1980年)。

⑨ 三重県埋蔵文化財センター『三重県埋蔵文化財センター年報5』(1994年)の67頁。

⑩ 岩中淳之編『三重県伊勢市遺跡分布地図』(伊勢市教育委員会、1981年)。以下、註の付されていない遺跡の概要は上記の文献による。

⑪ 三重県埋蔵文化財センター『三重県埋蔵文化財センター年報3』(1992年)の73頁。

⑫ 竹田憲治『北野遺跡(第5次)発掘調査概報』(三重県埋蔵文化財センター、1996年)。

⑬ 中野教夫編『三重県多気郡明和町遺跡地図』(明和町教育委員会、1981年)。

⑭ 岩中淳之『伊勢市丁塚古墳と周辺消滅古墳の再検討』(『三重考古学研究』1、三重考古学談話会、1985年)。

⑮ 渡辺 寛『小俣のあけぼの』(『小俣町史』通史編、小俣町、1988年)の22～24頁。

⑯ 皇學館大學考古学研究会編『伊勢市とその周辺の古墳文化』(1992年)の26～30頁。

⑰ 前川嘉宏『古墳時代』(『三重県玉城町史』上巻、玉城町、1995年)の348～356頁。

⑱ 岩中淳之『小御堂前遺跡発掘調査報告』(伊勢市教育委員会、1980年)。

⑲ 岩中淳之『殿垣外遺跡発掘調査報告』(伊勢市教育委員会、1982年)。

⑳ 伊藤久嗣『高向A遺跡』『高向B遺跡』『高向C遺跡』(『南勢バイパス埋蔵文化財調査報告』建設省中部地方建設局・三重県教育委員会、1973年)。

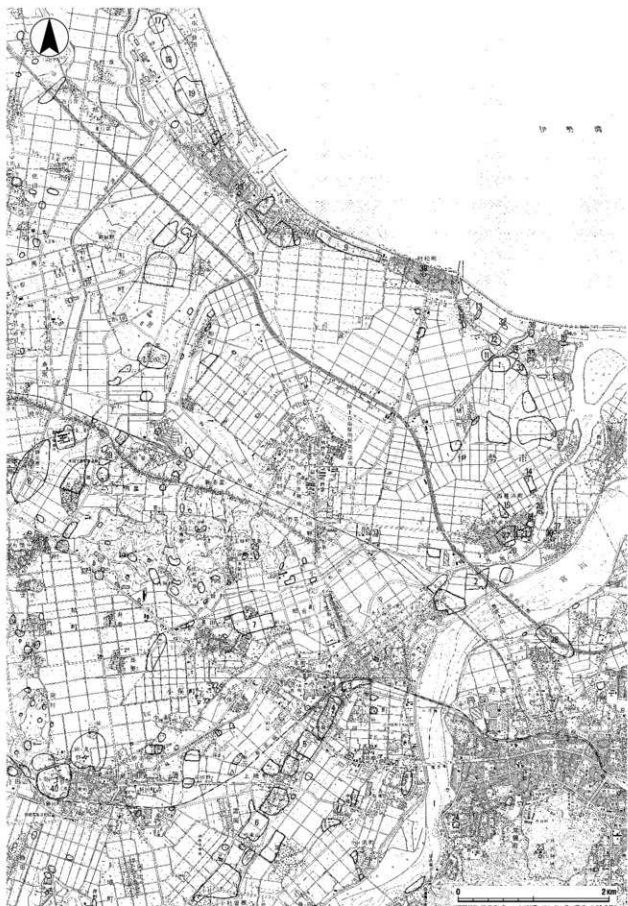
註㉔と同じ。

三重県埋蔵文化財センター編『研究紀要』第7号—土師器焼成坑と古代土器の生産と流通—(1998年)。

註㉕と同じ。

渡辺 寛『磯神社』(『式内社調査報告』第6巻、皇學館大學出版部、1990年)。

小玉道明・福井健二編『定本・三重の城』(郷土出版社、1991年)の200～202・247・251頁。



第3図 遺跡位置図 (1:50,000 国土地理院『明野』『伊勢』1:25,000から)

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。(承認番号 平15部複、第253号)



第4図 調査区平面図 (1 : 300)

遺跡番号	位置	性格	規模(m)	時期	出土遺物	備考
SH29	D6D7,E6E7	竪穴住居	東西4.0以上×南北6.0、 深さ約0.3	古墳後期	土師器高杯・甕・甕・甕、須恵器杯身・甕など	東方は調査区外に続く
SK30	E2	土坑	長径1.9、短径0.7以上、 深さ約0.3	古墳後期	土師器甕、須恵器片など	東方は調査区外に続く
SD31	B2C2,D2E2	溝	幅1.0～1.4、深さ約0.3～ 約0.6、長さ14以上	古墳後期-鳥居	土師器甕など	東方と西方は調査区外に 続く
SD32	D4D5,E4E5	溝	幅1.0以上～4.0以上、 深さ約0.2、長さ9.5以上	古墳後期	土師器杯・高杯・甕、不明土製品、須恵器杯蓋、 杯身、高杯蓋など	東方は調査区外に続く、 SH36に切られる
SD33	B3～7C2～7D2～4	溝	幅3.0以上～7.2、深さ約0.2～ 約0.3、長さ18以上	縄文	土師器杯・甕・甕、土師、須恵器杯蓋・杯身、 器台・高杯など	西方と南方は調査区外に 続く
SD34	SD33と同じ	欠番				
SD35	B7B8C7,C8D7D8	溝	幅4.5以上、深さ約0.2～ 約0.3、長さ6.5以上	古墳後期	土師器杯・甕・甕、須恵器杯蓋・杯身など	SK37と覆瓦に切られる
SH36	D5D6,E5E6	竪穴住居	東西4.8以上×南北5.3、 深さ約0.2	古墳後期	土師器杯・高杯、ミニチュア土器、台付甕・甕、 甕・甕、鉢、須恵器杯蓋・杯身、短冊表など	東方は調査区外に続く
SK37	B7B8	土坑	長径2.4、短径1.4以上、 深さ約0.1	古墳後期	土師器甕、須恵器杯身など	西方は調査区外に続く
SK38	C12	土坑	長径0.9、短径0.7、深さ約0.2	古墳後期-鳥居	土師器甕など	
SD39	B11,B12C11C12	溝	幅1.1～1.4、深さ約0.3～ 約0.4、長さ6.5以上	鎌倉	土師器皿、陶器駒など	西方は調査区外に続く
SD40	SH42と同じ	欠番				
SK41	C10	土坑	長径2.3、短径1.1、深さ約0.5	古墳後期	土師器高杯・甕、須恵器片など	
SH42	D11～13E12E13	竪穴住居	東西5.5×南北4.7、深さ約0.3	古墳後期	土師器杯・台付甕・甕・甕・鉢・甕、ミニチュア 土器、須恵器杯蓋・杯身、甕など	
SD43	E14E15	溝	幅4.6、深さ約0.4～約0.5	古墳後期	土師器甕・高杯、ミニチュア土器、須恵器杯蓋、 高杯・甕など	東方は調査区外に続く、 覆瓦に切られる
SK44	E16	土坑	長径1.6、短径1.0以上、 深さ約0.3	密町	土師器皿など	東方は調査区外に続く、 覆瓦に切られる
SK45	B14B15	土坑	長径4.4、短径2.0以上、 深さ約0.3	古墳後期	土師器甕、須恵器甕など	西方と南方は調査区外に 続く
SH46	B12,B13C12C13	竪穴住居	東西4.0以上×南北5.0、 深さ約0.3	古墳後期	土師器甕・甕、須恵器杯身など	西方は調査区外に続く、 覆瓦に切られる
SD47	B14B15C14～16,D15～ 17	溝	幅5.2以上、深さ約0.3～ 約0.4、長さ12以上	古墳後期	土師器甕・甕・甕、須恵器杯蓋・杯身など	覆瓦に切られる
SH48	C14C15,D14D15	竪穴住居	東西4.3以上×南北4.2以上、 深さ約0.2	古墳後期	土師器甕、須恵器杯身など	SD47と覆瓦に切られる
SD49	SD47と同じ	欠番				
SK50	E1	土坑	長径1.1以上、短径1.0、 深さ約0.2	鎌倉	土師器皿・羽釜、陶器駒など	北方は調査区外に続く
SK51	D12	土坑	長径1.5、短径0.3、 深さ約0.1	古墳後期	土師器甕、須恵器杯蓋など	
SH52	D18,D19E18E19	竪穴住居	東西4.8以上×南北4.8以上、 深さ約0.4	古墳後期	土師器杯・高杯、台付甕・甕・鉢・甕、ミニチュア 土器、須恵器杯蓋・杯身、甕など	東方は調査区外に続く、 覆瓦に切られる
SD53	B17～19	溝	幅0.5以上～1.0以上、 深さ約0.2～約0.4	平安中期以降	土師器片	南方は調査区外に続く
SH54	B19,B20C19C20	竪穴住居	東西4.8以上×南北5.6以上、 深さ約0.2	古墳後期	土師器杯・台付甕・甕、ミニチュア土器、 須恵器杯蓋・杯身など	SH55に切られる
SH55	B18,B19C18C19	竪穴住居	東西3.0以上×南北2.4以上、 深さ約0.2	平安中期	土師器皿など	SD53に切られる
SK56	SD57と同じ	欠番				
SD57	D20～22,E20～22	溝	幅2.3以上～9.4以上、 深さ約0.2～約0.4	古墳後期	土師器杯・高杯、台付甕・甕・甕・甕、須恵器 杯蓋・杯身、高杯など	東方は調査区外に続く、 覆瓦に切られる
SD58	B23～25C23C24	溝	幅2.0以上～3.5以上、 深さ約0.2～約0.6	古墳後期	土師器杯・甕・甕、須恵器杯蓋・杯身など	南方は調査区外に続く、 SD66に切られる
SH59	C22C23	竪穴住居	東西3.4×南北3.6以上、 深さ約0.1	縄文	土師器甕、須恵器杯身など	覆瓦に切られる
SD60	B22	溝	幅0.5以上～2.0以上、 深さ約0.2	古墳後期	土師器高杯・甕、須恵器杯身など	西方は調査区外に続く、 SD58に切られる
SD61	D23,E23	溝	幅2.8、深さ約0.1～約0.2	古墳後期	土師器甕、須恵器杯身・甕など	東方は調査区外に続く、 覆瓦に切られる

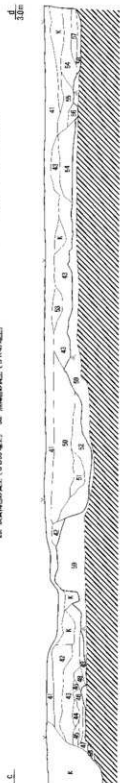
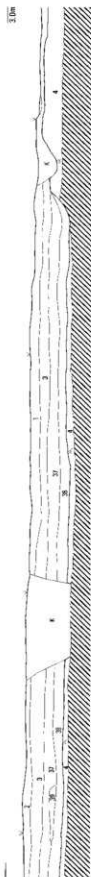
第1表 遺構一覧表1

遺跡番号	位 置	性 格	規 模(m)	時 期	出 土 遺 物	備 考
SD62	E19	溝	幅 1.8以上、深さ約 0.2	古墳後期	土師器台付甕・甕、須恵器杯身、甕など	東方は調査区外に続く、 障瓦に切られる
SH63	C24,C25	竪穴住居	東西 3.8 以上×南北 4.2 以上、 深さ約 0.1	古墳後期	土師器杯・高杯・甕・鉢、土師、須恵器杯蓋、 杯身など	障瓦に切られる
SH64	D24,D25,E24	竪穴住居	東西 3.0 以上×南北 3.8 以上、 深さ約 0.1	飛鳥	土師器杯・甕・甕、須恵器杯身など	障瓦に切られる
SH65	E25	土坑	径 1.2、深さ約 0.3	古墳後期	土師器杯・甕、須恵器蓋など	
SD66	B25,C25	溝	幅 2.0～3.6、深さ約 0.2	古墳後期	土師器甕、須恵器杯蓋など	SH63 と障瓦に切られる
SD67	SD69 と同じ	穴燵				
SH68	D27,D28,E27,E28	竪穴住居	東西 6.6×南北 6.7、 深さ約 0.5	飛鳥	土師器杯・台付鉢・高杯・台付甕・ミニチュア土師・ 甕・甕、須恵器杯蓋・杯身、須恵器など	
SD69	B27,C27～31,D29～31,E30 ～32	溝	幅 3.0 以上～7.2、 深さ約 0.2～約 0.3	飛鳥	土師器杯・台付鉢・高杯・台付甕・甕・鉢、土師、 須恵器杯蓋・杯身、高杯蓋、高杯・甕、鉄皿、瓦石など	東方は調査区外に続く、 障瓦に切られる
SK70	E29	土坑	長径 2.1、短径 0.6 以上、 深さ約 0.6	古墳後期～飛鳥	土師器甕など	東方は調査区外に続く
SK71	B28	土坑	長径 1.2、短径 0.9、深さ約 0.3	古墳後期～飛鳥	土師器甕など	
SH72	B30,B31,C30,C31	竪穴住居	東西 2.8 以上×南北 2.9 以上、 深さ約 0.3	古墳後期	土師器甕、須恵器杯蓋など	西方は調査区外に続く、 SH75 に切られる
SD73	B31,C31	溝	幅 1.0～1.2、深さ約 0.3	古墳後期	土師器甕・鉢、須恵器片など	南方は調査区外に続く
SK74	B29	土坑	長径 2.1、短径 1.0、 深さ約 0.3～約 0.4	古墳後期	土師器甕、須恵器片など	SH75 の貯蔵穴
SH75	B29,B30	竪穴住居	東西 3.8 以上×南北 2.7 以上、 深さ約 0.3	古墳後期	土師器杯・甕、管状土製品、土師、須恵器杯蓋 など	西方は調査区外に続く
SH76	C30	竪穴住居	東西 2.1 以上×南北 1.7 以上、 深さ約 0.3	古墳後期	土師器甕、須恵器杯蓋など	SD69 に切られる
SK77	C26	土坑	長径 3.2 以上、短径 1.4 以上、 深さ約 0.1	古墳後期	土師器甕、須恵器杯蓋など	障瓦に切られる
SH78	D25～27,E25,E26	竪穴住居	東西 3.5 以上×南北 9.3 以上、 深さ約 0.3	古墳後期	土師器杯・高杯・甕・甕、須恵器杯蓋・杯身、 鉄瓶など	東方は調査区外に続く、 障瓦に切られる
SH79	C32,C33,D32	竪穴住居	東西 3.8×南北 3.0、深さ約 0.3	飛鳥	土師器甕・甕、須恵器杯蓋など	
SH80	C33,C34,D33,D34	竪穴住居	東西 4.2 以上×南北 3.6 以上、 深さ約 0.3	飛鳥	土師器甕・高杯・甕、須恵器高杯蓋など	SH79 と障瓦に切られる
SK81	C37,C38,D38	土坑	長径 3.8、短径 1.2、深さ 0.6	奈良	土師器甕・杯蓋など	
SK82	C37,C38	土坑	長径 2.1、短径 0.6 以上、 深さ約 0.4	古墳後期	土師器甕、須恵器杯身・甕など	南方は調査区外に続く
SH83	C39,D39	竪穴住居	東西 2.7 以上×南北 2.4 以上、 深さ約 0.3	古墳後期	土師器甕・鉢・甕、須恵器杯蓋、杯身など	西方と南方は調査区外 に続く
SK84	D38,D39	土坑	長径 3.3、短径 1.5、深さ約 0.5	鎌倉	陶器碗など	
SK85	C37	土坑	径 2.3、深さ約 0.6	室町	土師器片、陶器甕片など	
SB86	C12,C13,D13	竪立柱建物	桁行 2.9×梁行 1.5	古墳後期～飛鳥	土師器甕、土師器片など	
SB87	B14,B15,C14,C15,D14,D15	竪立柱建物	桁行 6.1×梁行 6.0	古墳後期～飛鳥	土師器甕、土師器片など	
SB88	B20,B21,C20～22	竪立柱建物	桁行 3.9 以上×梁行 4.5	飛鳥	土師器甕、須恵器片など	西方は調査区外に続く
SB89	B22,B23,C22,C23	竪立柱建物	桁行 5.6×梁行 3.8	飛鳥	土師器甕、須恵器杯身など	
SB90	B23～25,C23～25	竪立柱建物	桁行 5.2×梁行 3.8	飛鳥	土師器杯・甕など	
SB91	E33	竪立柱建物	桁行 3.0×梁行 3.0	古墳後期	土師器甕、須恵器杯蓋など	
SB92	B31,B32,C31～33,D31,D32	竪立柱建物	桁行 7.0×梁行 4.2	飛鳥	土師器甕、須恵器杯身など	西方の一部は調査区外 に続く

第 2 表 遺構一覧表 2



第5图 調查区土層断面图1 (1:80)



1. 腐植砂壤土 (表土)
2. 表土
3. 腐植砂壤土 (腐植层)
4. 红壤砂壤土 (表土)
5. 腐植砂壤土 (SH17壤土)
6. 腐植砂壤土 (SH17壤土)
7. 腐植砂壤土 (SH17壤土)
8. 腐植砂壤土 (SH17壤土)
9. 腐植砂壤土 (SH17壤土)
10. 腐植砂壤土 (SH17壤土)
11. 腐植砂壤土 (SH17壤土)
12. 腐植砂壤土 (SH17壤土)
13. 腐植砂壤土 (SH17壤土)
14. 腐植砂壤土 (SH17壤土)
15. 腐植砂壤土 (SH17壤土)
16. 腐植砂壤土 (SH17壤土)
17. 腐植砂壤土 (SH17壤土)
18. 腐植砂壤土 (SH17壤土)
19. 腐植砂壤土 (SH17壤土)
20. 腐植砂壤土 (SH17壤土)
21. 腐植砂壤土 (SH17壤土)
22. 腐植砂壤土 (SH17壤土)
23. 腐植砂壤土 (SH17壤土)
24. 腐植砂壤土 (SH17壤土)
25. 腐植砂壤土 (SH17壤土)
26. 腐植砂壤土 (SH17壤土)
27. 腐植砂壤土 (SH17壤土)
28. 腐植砂壤土 (SH17壤土)
29. 腐植砂壤土 (SH17壤土)

第6图 調查区土層断面图2 (1:80)

Ⅲ 基本層序と遺構

1 基本層序

基本層序は、上から第1層：明黄褐色砂質土（10YR 6/6）〔表土〕、第2層：灰褐色砂質土（10YR4/1）と黄褐色砂質土（10YR5/6）〔包含層〕、第3層：にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）〔地山〕となる。遺物包含層は第2層で、遺構検出面は第3層上面である。（第5・6図参照）

2 遺構

調査で確認された遺構は、古墳時代後期～飛鳥時代と中世（鎌倉時代～室町時代）に大きく分けることができる。

以下、主な遺構について概述する。遺構の深さは全て検出面からの数値である。

なお、記述されていない遺構については、遺構一覧表（第1・2表）を参照されたい。

（1）古墳時代後期～飛鳥時代

A 堅穴住居

S H29（第8図） A調査区西方の北端で検出した。住居の北側の一部と東側は、調査区外へ延びるため、全体を確認することはできなかった。東西4m以上×南北6m、深さ約0.3mで、隅丸方形のプランをもつものと推定される。棟方向は南北軸でN35°Wをとる。

埋土は2層に分けられる。上から暗褐色砂質土（10YR3/3）・暗褐色砂質土（10YR3/3）ににぶい黄褐色砂質土まじる（10YR4/3）である。主柱穴は3基検出した。平面円形で径約0.3～約0.6m、床面からの深さは約0.1～約0.3mである。主柱穴間の距離は、東西1.7m×南北2mである。

土師器高杯（1）や壺（2）・甕（3～7）・甗（8）、須恵器杯蓋（9）や杯身（10～12）・壺（13）などが出土した。

時期は、9・10・12が田辺昭三氏による陶器編年のMT15型式に、11がTK10型式に併行するとみられ、6世紀中頃と考えられる。

S H36（第7図） A調査区西方の北端で検出した。住居の北側の一部と東側は、調査区外へ延び

るため、全体を確認することはできなかった。東西4.8m以上×南北5.3m、深さ約0.2mで、隅丸方形のプランをもつものと推定される。棟方向は南北軸でN35°Wをとる。

埋土は2層に分けられる。上から黒褐色砂質土（10YR3/1）・黒褐色砂質土（10YR3/1）ににぶい黄褐色砂質土まじる（10YR4/3）である。主柱穴は2基検出した。平面円形で径約0.2～約0.3m、床面からの深さは約0.1～約0.2mである。主柱穴間の距離は、2.7mである。

埋土から多数の土師器と須恵器が出土した。遺物は土師器杯（14～16）や高杯（17）・ミニチュア土器（18）・台付甕（19）・壺（20～26・31）・甗（27）・甕（28～30・32～42）・鉢（43）、須恵器杯蓋（44～49）や杯身（50～58）・短頸壺（59・60）などが見つけた。

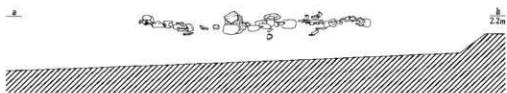
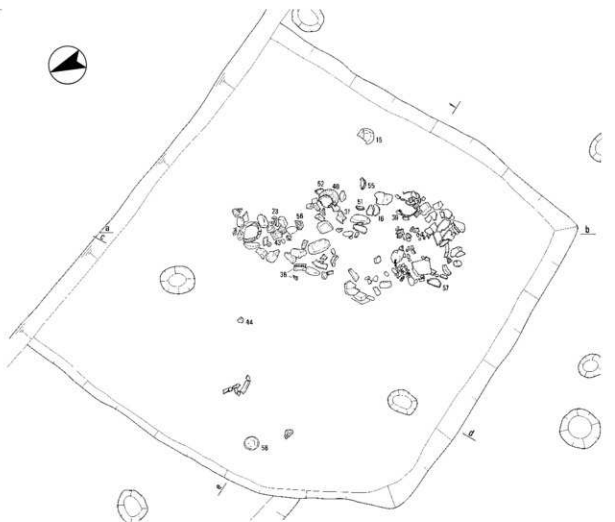
時期は、44・45・48・49・51～54がMT15型式に、46・47・55・56がTK10型式に、50がTK47型式に、57がMT85型式にそれぞれ併行するとみられ、6世紀後半と考えられる。

S H42（第8図） A調査区西方の中央やや北よりで検出した。東西5.5m×南北4.7m、深さ約0.3mで、長方形のプランをもつものと考えられる。棟方向は南北軸でN35°Wをとる。

埋土は2層に分けられる。上から黒褐色砂質土（10YR3/2）・黒褐色砂質土（10YR3/2）ににぶい黄褐色砂質土まじる（10YR4/3）である。主柱穴は、床面中央よりやや北よりで4基検出した。平面円形で径約0.2～約0.3m、床面からの深さは約0.1～約0.3mである。主柱穴間の距離は、東西1.2m×南北1.7mである。

土師器杯（61～63）や台付甕（64～66）・壺（67～69）・甕（70～77・79～81）・鉢（78）・甗（82）・ミニチュア土器（83）、須恵器杯蓋（84～86）や杯身（87～89）・甗（90）・壺（91・92）などが一括して、出土した。

時期は、84～89がTK47型式に併行するとみられ、6世紀初めと考えられる。



- 1. 黒褐色砂質土 (埋土)
- 2. 黒褐色砂質土にのみ
黄褐色砂質土まじる (埋土)
- 3. におい黄褐色砂質土 (地山)



第7図 S-G6遺物出土状況図 (1:40)

S H46 (第9図) A調査区西方の南端で検出した。住居の西側の部分は、調査区外へ延びるため、全体を確認することはできなかった。東西4m以上×南北5m、深さ約0.3mで、長方形のプランをもつものと推定される。棟方向は南北軸でN30°Wをとる。

土は2層に分けられる。上から暗褐色砂質土(10YR3/4)・暗褐色砂質土(10YR3/4)にぶい黄褐色砂質土まじる(10YR4/3)である。主柱穴は検出されなかった。

土師器甕(144・146・147)と壺(145)、須恵器杯身(148)など一括して、出土した。

時期は、148がMT15型式に併行するとみられ、6世紀前半と考えられる。

S H48 A調査区ほぼ中央部で検出した。住居の北側と東側は攪乱に、南側はSD47に切られているため、全体を確認することはできなかった。東西4.3m以上×南北4.2m以上、深さ約0.2mである。棟方向は南北軸でN32°Wをとる。

土は2層に分けられる。上から暗褐色砂質土(10YR3/3)・暗褐色砂質土(10YR3/3)にぶい黄褐色砂質土まじる(10YR4/3)である。主柱穴は検出されなかった。

土師器甕、須恵器杯身などが出土した。

時期は6世紀後半と考えられる。

S H52 (第8図) A調査区中央部北端で検出した。住居は農業用水の管により分断され、北側の一部と東側は調査区外へ延びるため、全体を確認することはできなかった。東西4.8m以上×南北4.8m以上、深さ約0.4mである。棟方向は南北軸でN34°Wをとる。土は3層に分けられる。上から暗褐色砂質土(10YR3/3)・暗褐色砂質土(10YR3/4)と黒褐色砂質土(10YR3/2)・褐色砂質土(10YR4/4)と黒褐色砂質土(10YR2/3)である。主柱穴は検出されなかった。

土師器杯(93~95)や高杯(96~115)・台付甕(116)・壺(117・118)・鉢(119・120)・甕(121~126)・ミニチュア土器(127・128)・須恵器杯蓋(129・130)や杯身(131・132)・壺蓋(133)などが一括して出土した。

時期は、129~132がTK47型式に併行するとみられ、6世紀初めと考えられる。

S H54 (第9図) A調査区中央部南端で検出した。住居の西側と南側の部分は調査区外へ延びるため、全体を確認することはできなかった。東西4.8m以上×南北5.6m、深さ約0.2mで、隅丸方形のプランをもつものと推定される。棟方向は南北軸でN19°Wをとる。SH55に切られている。

土は2層に分けられる。上から暗褐色砂質土(10YR3/3)・暗褐色砂質土(10YR3/3)にぶい黄褐色砂質土まじる(10YR4/3)である。主柱穴は3基検出した。平面楕円形で径約0.3~約0.5m、床面からの深さは約0.2~約0.3mである。主柱穴間の距離は、東西2.3m×南北2.3mである。

土師器杯(134)や台付甕(135)・甕(136~139)・ミニチュア土器(140)、須恵器杯蓋(141)と杯身(142・143)などが一括して、出土した。

時期は、141~143がTK10型式に併行するとみられ、6世紀中頃と考えられる。

S H59 (第9図) A調査区中央部やや南寄り検出した。住居の北側は攪乱によって切られており、全体を確認することはできなかった。東西3.4m×南北3.6m以上、深さ約0.1mで、隅丸方形のプランをもつものと推定される。棟方向は南北軸でN22°Wをとる。

土は暗褐色砂質土(10YR3/3)である。主柱穴は検出されなかった。

土師器甕(149・150)、須恵器杯身(151)などが出土した。

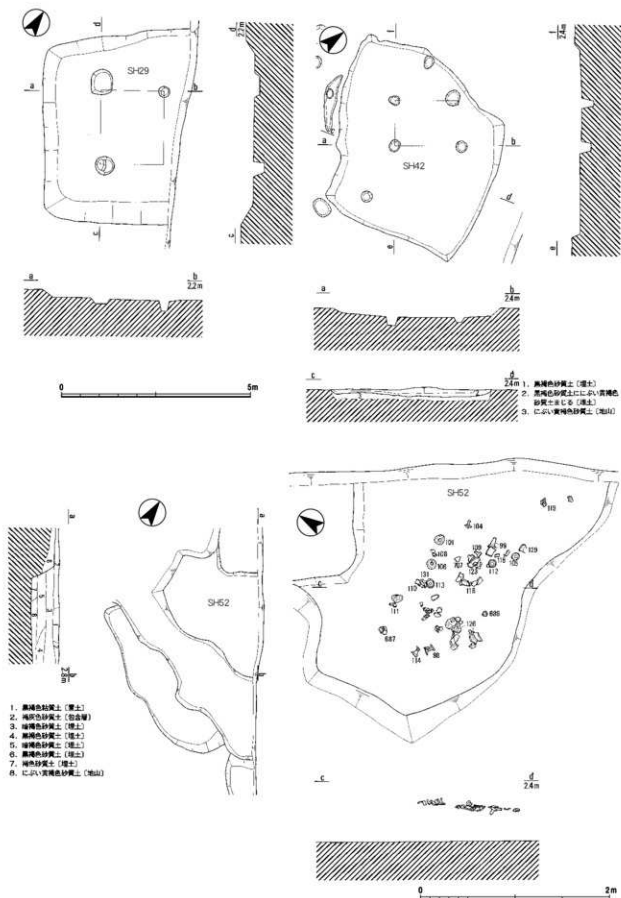
時期は、151がTK217型式に併行するとみられ、7世紀前半と考えられる。

S H63 (第9図) A調査区東方中央部で検出した。住居の北側と東側は、攪乱によって切られており、全体を確認することはできなかった。東西3.8m以上×南北4.2m以上、深さ約0.1mで、長方形のプランをもつものと推定される。棟方向は南北軸でN11°Wをとる。

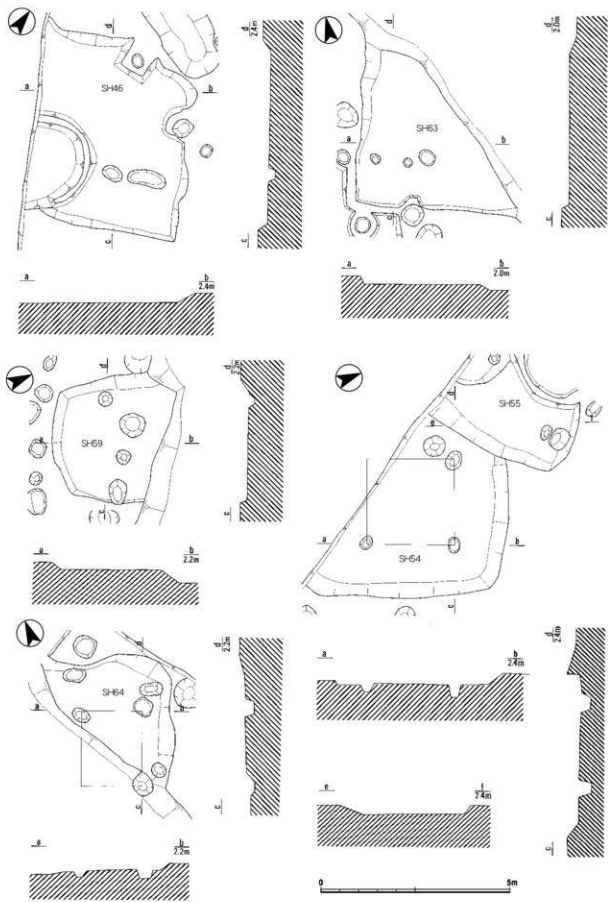
土は黒褐色砂質土(10YR3/2)である。主柱穴は検出されなかった。

土師器杯(152~154)や高杯(155)・甕(156・157)・鉢(158)、土錘(159)、須恵器杯蓋(160)と杯身(161)などが一括して、出土した。

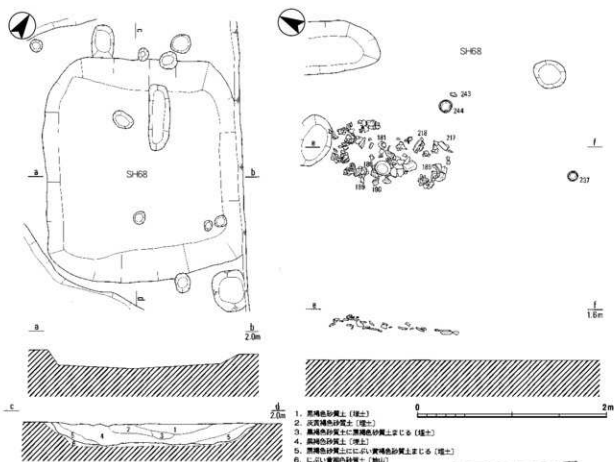
時期は、160・161がMT15型式に併行するとみられ、6世紀前半と考えられる。



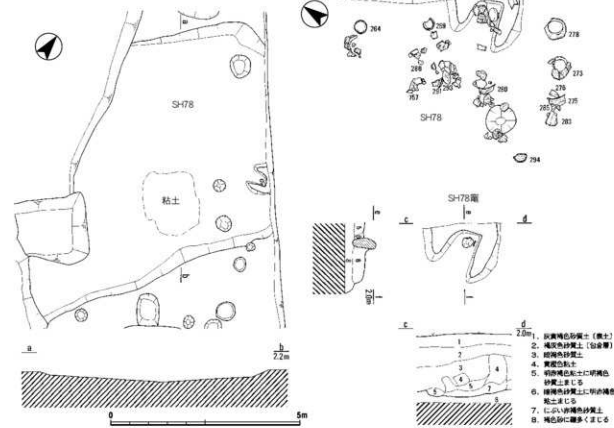
第 8 図 SH-29実測図、SH-42実測図及び土層断面図、SH-52実測図及び土層断面図(1:100)、
 SH-52遺物出土状況図 (1:40)



第9图 SH46·54·55·59·63·64实测图 (1:100)



1. 黒褐色砂質土（粘土）
2. 灰褐色砂質土（粘土）
3. 黄褐色砂質土に黒褐色砂質土まじる（粘土）
4. 黒褐色砂質土（粘土）
5. 黒褐色砂質土に赤い黄褐色砂質土まじる（粘土）
6. 赤い黄褐色砂質土（粘土）



1. 灰褐色砂質土（粘土）
2. 黄褐色砂質土（粘土層）
3. 黒褐色砂質土
4. 黄褐色粘土
5. 黄褐色粘土に黒褐色砂質土まじる
6. 黒褐色砂質土に赤い黄褐色粘土まじる
7. 赤い黄褐色砂質土
8. 黄褐色砂質土に赤い黄褐色粘土まじる

第10図 SH-68実測図及び土層断面図（1：100）、SH-68遺物出土状況図（1：40）、SH-78実測図（1：100）、SH-78遺物出土状況図及び竈実測図（1：40）

S H64 (第9図) A調査区東方北端で検出した。住居の西側と南側は、攪乱により切られており、全体を確認することはできなかった。東西3m以上×南北3.8m以上、深さ約0.1mで、隅丸方形のプランをもつものと推定される。棟方向は南北軸でN20°Wをとる。

埋土は灰黄褐色砂質土(10YR4/2)である。主柱穴は3基検出した。平面楕円形で径約0.3〜約0.5m、床面からの深さは約0.1〜約0.2mである。主柱穴間の距離は、東西1.6m×南北2mである。

土師器杯(162)や甕(163〜169)・甕(170)、須恵器杯身(171)などが一括して、出土した。

時期は、171がTK217型式に併行するとみられ、7世紀前半と考えられる。

S H68 (第10図) A調査区東方北端で検出した。東西6.6m×南北6.7m、深さ約0.5mで、隅丸長方形のプランをもつものと考えられる。棟方向は南北軸でN37°Wをとる。

埋土は4層に分けられる。上から黒褐色砂質土(10YR3/2)・灰黄褐色砂質土(10YR4/2)と黒褐色砂質土(10YR3/2)に黒褐色砂質土まじる(10YR3/1)・黒褐色砂質土(10YR3/1)・黒褐色砂質土(10YR3/1)にぶい黄褐色砂質土(10YR4/3)まじるである。主柱穴は検出されなかった。

埋土から多数の土師器と須恵器が出土した。遺物は、土師器杯(172〜175)や台付鉢(176)・高杯(177)・178)・台付甕(179〜183)・ミニチュア土器(184)・壺(185〜187)・199)・甕(188〜198)・200〜219)・甕(220〜224)、須恵器杯蓋(225〜236)や杯身(237〜248)・短頭壺(249)などが見つかった。

時期は、225〜231)・238〜244)・248がMT15型式に、232〜235)・245〜247がTK10型式に、236がTK217型式に、237がTK47型式にそれぞれ併行するとみられ、7世紀前半と考えられる。

S H72 (第11図) A調査区東方南端で検出した。住居の南側と西側は、調査区外へ延びるため、全体を確認することはできなかった。東西2.8m以上×南北2.9m以上、深さ約0.3mで、隅丸方形のプランをもつものと推定される。棟方向は南北軸でN20°Wをとる。SH75に住居の西側は切られている。

埋土は2層に分けられる。上から灰黄褐色砂質土(10YR5/2)・褐色砂質土(10YR4/6)である。主柱

穴は検出されなかった。

土師器甕(250)・251)、須恵器杯蓋などが出土した。

時期は、後述のSH75との切り合いから6世紀初めと考えられる。

S H75 (第11図) A調査区東方南端で検出した。住居の南側と西側は、調査区外へ延びるため、全体を確認することはできなかった。東西2.8m以上×南北2.7m以上、深さ約0.3mで、貯蔵穴(SK74)をもっている。棟方向は南北軸でN28°Wをとる。SH72を切っている。

埋土は2層に分けられる。上から暗褐色砂質土(10YR3/3)・灰黄褐色砂質土(10YR4/2)である。主柱穴は検出されなかった。

土師器杯(252)・253)や壺(254)、管状土製品(255)、土鍾(256)、須恵器杯蓋(257)などが一括して、出土した。

時期は、257がTK47型式に併行するとみられ、6世紀初めと考えられる。

S H76 (第11図) A調査区東方中央やや南寄りで検出した。住居の北側と東側はSD49に切られており、全体を確認することはできなかった。東西2.1m以上×南北1.7m以上、深さ約0.3mである。棟方向は南北軸でN2°Wをとる。また、確認された箇所が一部のため、土坑である可能性も考えられる。

埋土は2層に分けられる。上から灰黄褐色砂質土(10YR4/2)・褐色砂質土(10YR4/4)である。主柱穴は検出されなかった。

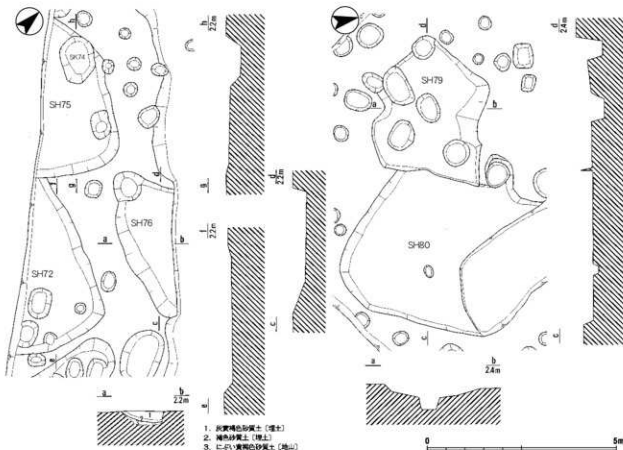
土師器甕、須恵器杯蓋などが出土した。

時期は6世紀後半と考えられる。

S H78 (第10図) A調査区東方北端で検出した。住居の西側は攪乱に切られており、北側と東側は調査区外へ延びるため、全体を確認することはできなかった。東西5.5m以上×南北9.3m以上、深さ約0.3mで、長方形のプランをもつものと推定される。棟方向は南北軸でN40°Wをとる。

埋土は灰黄褐色砂質土(10YR4/2)である。主柱穴は検出されなかった。

東隅に竈をもっており、埋土から土師器甕と須恵器杯身が出土した。また、床面の中央やや東寄りに粘土の貼り付けが見られた。



第11図 SH72・75実測図、SH76実測図及び土層断面図、SH79・80実測図 (1:100)

今回の調査で見つかった竪穴住居で最大規模のものとして推定される。

土師器杯 (258~264) や高杯 (265・266)・壺 (267~270)・甕 (271~283)・甗 (284・285)、須恵器杯蓋 (286~288) や杯身 (289~295)・提瓶 (296) などがまとめて出土した。

時期は、286・287がTK47型式に、288・290~293がMT15型式に、289・294・295がTK10型式にそれぞれ併行するとみられ、6世紀中頃と考えられる。

SH79 (第11図) A調査区東端中央部やや南寄りで見出した。東西3.8m×南北3m、深さ約0.3mで、不定形のプランをもつものと考えられる。棟方向は南北軸でN6°Wをとる。SH80を切っている。

埋土は暗褐色砂質土 (10YR3/3) と褐色砂質土 (10YR4/6) である。主柱穴は検出されなかった。

土師器甕 (297・298) と甗 (299)、須恵器杯蓋

(300) などが出土した。

時期は、300がTK217型式に併行するとみられ、7世紀前半と考えられる。

SH80 (第11図) A調査区東隅中央部で見出した。住居の北側は攪乱に、西側はSH79に切られており、全体を確認することはできなかった。東西4.2m以上×南北3.6m以上、深さ約0.3mで、隅丸方形のプランをもつものと推定される。棟方向は南北軸でN37°Wをとる。

埋土は暗褐色砂質土 (7.5YR3/3) である。主柱穴は検出されなかった。

土師器甕 (301) と高杯 (302)、須恵器高杯蓋 (303) などが出土した。

時期は、303がTK217型式に併行するとみられ、7世紀前半と考えられる。

S H83 (第12図) B調査区東端南隅で検出した。住居の東側の部分は、調査区外へ延びるため、全体を確認することはできなかった。東西2.7m以上×南北2.4m以上、深さ約0.3mで、隅丸方形のプランをもつものと推定される。棟方向は南北軸でN45°Wをとる。

埋土は基本的に4層に分けられる。上から暗褐色砂質土(10YR3/4)に炭まじる・暗褐色砂質土(10YR2/4)・褐灰色粘質土(10YR4/1)と褐色砂質土(10YR4/6)・にぶい黄褐色粘質土(10YR4/3)と黒褐色砂質土(10YR3/2)に炭多くまじるである。主柱穴は検出されなかった。

土師器甕(304~308)や鉢(309)・鍋(310)、須恵器杯蓋(311)と杯身(312)などがまとまって出土した。

時期は、311がTK47型式に、312がMT85型式に併行するとみられ、6世紀後半と考えられる。

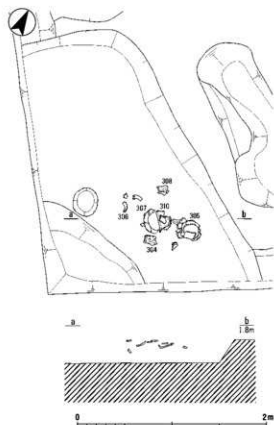
B 掘立柱建物

S B86 (第13図) A調査区西方ほぼ中央部で検出した。桁行2間×梁行1間と推定される側柱建物である。棟方向はN39°Wをとる、南北棟と推定される。建物としてまとまったのは2間×1間分であるが、SD39やSH46の埋土上にも未検出の柱穴が存在した可能性もあり、建物の規模が拡大する可能性もある。柱掘形は円形で、径0.2~0.6m、深さ約0.1~約0.2mである。建物の規模は、桁行2.9m・梁行1.5mである。柱間寸法は桁間が北から1.8m+1.1m、梁間が1.5mである。掘形埋土から土師器甕の小片や土師器片などが出土した。

出土遺物が小片のため時期の決定は難しいが、古墳時代後期から飛鳥時代と推定される。

S B87 (第14図) A調査区ほぼ中央部で検出した。桁行3間×梁行3間の側柱建物である。棟方向はN30°Wをとる、南北棟である。SH48とSD47と重複している。柱掘形は円形で、径0.3~0.5m、深さ約0.1~約0.2mである。建物の規模は、桁行6.1m・梁行6mである。柱間寸法は桁間が北から1.6m+2.7m+1.8m、梁間が西から2m+2m+2mである。掘形埋土から土師器甕の小片や土師器片などが出土した。

出土遺物が小片のため時期の決定は難しいが、古墳時代後期から飛鳥時代と推定される。

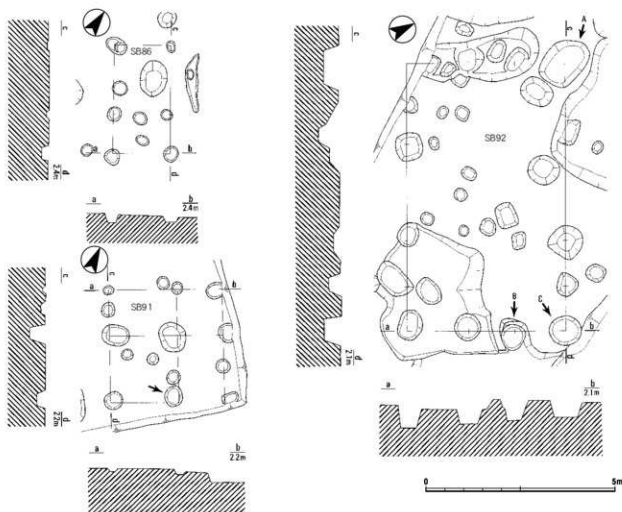


第12図 SH83遺物出土状況図(1:40)

S B88 (第14図) A調査区中央部南端で検出した。桁行2間以上×梁行2間と推定される側柱建物である。棟方向はE0°Nをとる、東西棟である。建物の西側は、調査区外に延びるものと推定される。柱掘形は円形で、径0.4~0.8m、深さ約0.2~約0.3mである。建物の規模は、桁行3.9m以上・梁行4.5mである。柱間寸法は桁間が西から1.5m以上+2.4m、梁間が北から2.25m+2.25mである。矢印の柱穴の掘形埋土からは土師器甕(313)が、その他の柱穴からは須恵器片などが出土した。

時期は7世紀前半と考えられる。

S B89 (第14図) A調査区ほぼ中央部西端で検出した。桁行3間×梁行2間の側柱建物である。棟方向はE53°Nをとる、東西棟である。SB90とSH59・SD58・SD60と重複している。柱掘形は楕円形で、径0.4~0.9m、深さ約0.1~約0.4mである。建物の規模は、桁行5.6m・梁行3.8mである。柱間寸法は桁間が西から1.8m+2m+1.8m、梁間が北から2m+1.8mである。矢印Bの柱穴の掘形埋土から土師器甕(314)が、矢印Aの柱穴の掘形埋土からは須恵器杯身(315)が出土した。



第13図 SB86・91・92実測図(1:100)

時期は、315がTK217型式に併行するとみられ、7世紀前半と考えられる。

SB90 (第14図) A調査区東南端で検出した。桁行4間×梁行2間の側柱建物である。棟方向はN20°Wをとる、南北棟である。SB89とSH63・SD58・SD60と重複している。柱断面は楕円形で、径0.3~0.9m、深さ約0.2~約0.4mである。建物の規模は、桁行5.2m×梁行3.8mである。柱間寸法は桁間が北から1.5m+1.2m+1.1m+1.4m、梁間が西から1.5m+2.3mである。矢印の柱穴の掘形埋土から土師器杯(316)と甕が出土した。

時期は7世紀前半と考えられる。

SB91 (第13図) A調査区東端で検出した。桁行2間×梁行2間の総柱建物である。棟方向はN28°Wをとる、南北棟と推定される。建物としてま

とまったのは2間×2間分であるが、建物の南側と東側は、調査区外に続く可能性もあり、建物の規模が拡大する可能性もある。柱断面は楕円形で、径0.2~0.8m、深さ約0.1~約0.4mである。建物の規模は、桁行3m×梁行3mである。柱間寸法は桁間が北から1.2m+1.8m、梁間が西から1.8m+1.2mである。矢印の柱穴の掘形埋土から土師器甕(317)と須恵器杯蓋(318)が出土した。

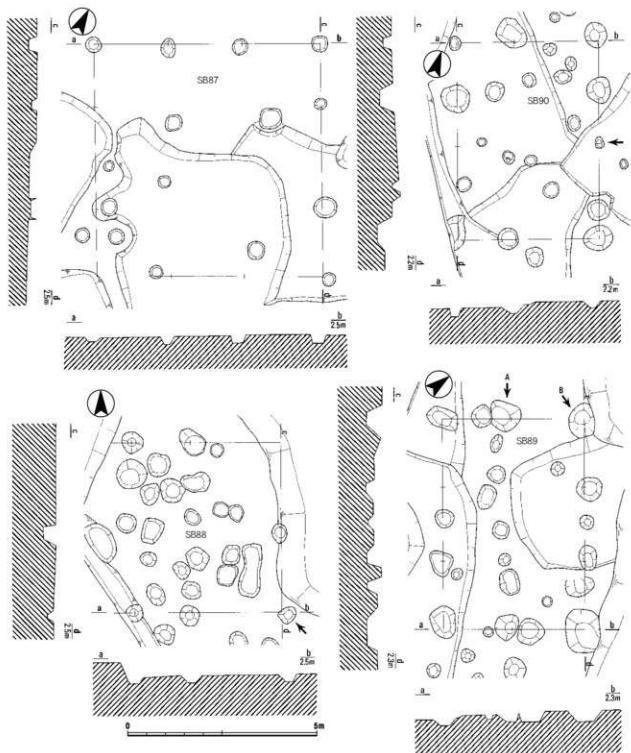
時期は、318がTK43型式に併行するとみられ、6世紀後半と考えられる。

SB92 (第13図) A調査区東端南隅で検出した。桁行4間×梁行3間の推定される側柱建物である。棟方向はE25°Nをとる、東西棟である。SH79とSD69・SD73と重複する。梁間の北から4つ目の柱穴は調査区外に存在すると推定される。柱

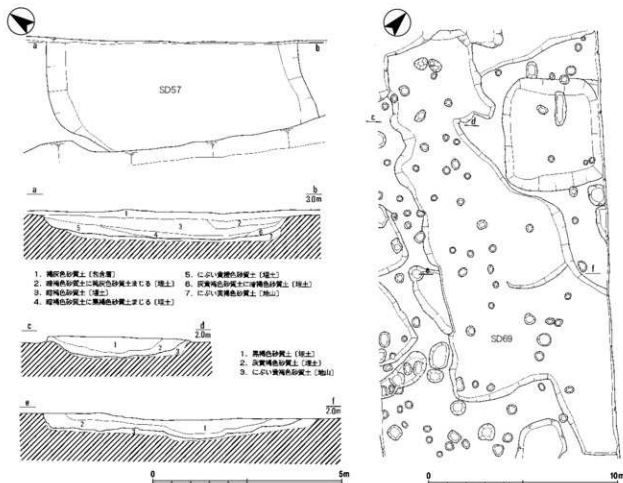
形は楕円形で、径0.6~1.5m、深さ約0.2~約0.6mである。建物の規模は、桁行7m・梁行4.2mである。柱間寸法は桁間が西から2.1m+2.5m+1.2m+1.2m、梁間が北から1.4m+1.2m+1.6mである。矢印Aの掘形埋土から土師器甕(319)・矢印Bの掘

形埋土から土師器甕(320)・矢印Cの掘形埋土から土師器甕(321)と須恵器杯身が出土した。この杯身は図化しなかったが、TK217型式に併行するとみられる。

時期は7世紀前半と考えられる。



第14図 SB87・88・89・90実測図(1:100)



第15図 SD57実測図及び土層断面図 (1:100)、SD69実測図 (1:200)

C 溝

S D 33 A調査区東端南隅で検出した。長さは18m以上で、南側は調査区外に延びる。北端部は幅5m・深さ約0.2mで、南端部では幅3m以上・深さ約0.3mである。また、1番幅広い部分は7.2m・深さ約0.2mである。埋土は2層に分けられる。上から暗褐色砂質土 (10YR3/3)・暗褐色砂質土 (10YR3/3) ににぶい黄褐色砂質土 (10YR4/3) まじるである。土師器杯 (353) や甕 (354~369)・瓶 (370)・土鍾 (371)・須恵器杯蓋 (372~376) や杯身 (377~379)・器台 (380)・高杯 (381・382) などがまぎって出土した。

時期は、372・373・377・379がM T15型式に、374・375がM T85型式に、376がT K217型式に、378がT K209型式併行するとみられ、7世紀前半と考えられる。

S D 57 (第15図) A調査区中央部北端で検出した。南側は攪乱に切れ、北側と東側は調査区外

に続くと考えられる。西端部は幅5m以上・深さ約0.2mで、東端部では幅2.3m以上・深さ約0.2mである。また、1番幅広い部分は9.4m以上・深さ約0.4mである。

埋土は基本的に4層に分けられる。上から暗褐色砂質土 (7.5YR3/4) に褐色砂質土 (10YR4/1) まじる・暗褐色砂質土 (7.5YR3/4)・暗褐色砂質土 (7.5YR3/4) に黒褐色砂質土 (7.5YR3/1) まじると灰黄褐色砂質土 (10YR4/2) に暗褐色砂質土 (7.5YR3/4) まじる・にぶい黄褐色砂質土 (10YR6/4) である。

埋土から多数の土師器や須恵器が出土した。遺物は、土師器杯 (399~401) や高杯 (402~404)・台付甕 (405~411)・壺 (412・413)・甕 (414~431)・瓶 (432~436)・須恵器杯蓋 (437・438) や杯身 (439~442)・高杯 (443) などが見つかった。

時期は、437がT K43型式に、438がT K10型式に、439~442がT K47型式に併行するとみられ、6世紀後半と考えられる。

S D 69 (第15図) A調査区東端ほぼ中央部で検出した。長さ24m以上で、西側は攪乱に切られており、東側は調査区外に続くと考えられる。北端部は幅5m・深さ0.2mで、南端部では幅3m以上・深さ0.3mである。また、1番幅広い部分は7.2m・深さ0.2mである。

埋土は2層に分けられる。上から黒褐色砂質土(10YR3/1)・灰黄褐色砂質土(10YR4/2)である。埋土からは非常に多くの土師器と須恵器などが出土した。遺物は、土師器杯(466~481)や台付鉢(482~484)・高杯(485~488)・台付甕(489・490)・壺(491~494)・甕(495~597)・鉢(598・599)・甕(600~602)・土鍾(603~610)・須恵器杯蓋(611~618)や杯身(619~629)・高杯蓋(630・631)・高杯(632・633)・提瓶(634)・鉄鎌(635)・砥石(636)などが見つかった。

時期は、611・619・620・622がTK10型式に、612~614・628・629がTK43型式に、615~617がTK217型式に、618がTK48型式に、621・623がMT15型式に、624~627がMT85型式に併行するとみられ、7世紀後半と考えられる。

(2) 平安時代

A 竪穴住居

S H55 (第9図) A調査区中央部南端で検出した。住居の北側は攪乱に、南側はSH54に、西側はSD53に切られており、全体を確認することはできなかった。東西3m以上×南北2.4m以上、深さ約0.2mである。棟方向は南北軸でN47°Wをとる。

埋土は2層に分けられる。上から灰黄褐色砂質土(10YR4/2)と暗褐色砂質土(10YR3/4)・黒褐色砂質土(10YR3/2)である。主柱穴は検出されなかった。

土師器皿(654・655)などが出土した。これらの遺物より平安時代中期と考えられる。

(3) 鎌倉・室町時代

A 溝

S D 39 A調査区西方の南端で検出した。長さは6.5m以上で、西側は調査区外に延びる。東端部は幅1.4m・深さ約0.4mで、西端部では幅1.1m・深さ約0.3mである。

埋土は2層に分けられる。上から黒褐色砂質土(10YR3/2)・黒褐色砂質土(10YR3/2)ににぶい黄褐色砂質土(10YR4/3)まじるである。

土師器皿(657~661)と鍋(662)・陶器碗などが出土した。

時期は13世紀後半と考えられる。

B 土坑

S K 44 A調査区中央部の北端で検出した。楕円形を呈し、規模は長径1.6m・短径1m以上・深さ約0.3mで、東側は調査区外へ延びる。

埋土は2層に分けられる。上から暗褐色砂質土(10YR3/3)・暗褐色砂質土(10YR3/3)ににぶい黄褐色砂質土(10YR4/3)まじるである。

土師器皿(663~665)などが出土した。

時期は14世紀後半と考えられる。

S K 50 A調査区西隅の北端で検出した。楕円形を呈し、規模は長径1.1m以上・短径1m・深さ約0.2mで、北側は調査区外へ延びる。土師器皿と羽釜、陶器碗(666)などが出土した。

時期は12世紀中頃と考えられる。

S K 84 B調査区東方の中央部で検出した。楕円形を呈し、規模は長径3.3m・短径1.5m・深さ約0.5mである。陶器碗(667)などが出土した。

時期は13世紀前半と考えられる。

(奥野 実)

(注)

- ① 以下、陶器編年については、下記の文献による。
田辺昭三『須恵器大成』(角川書店、1981年)。

竪穴住居

遺跡番号	規模 (m) × 東西×南北	南北棟方向	面積 (㎡)	主柱穴・東西×南北(m)	平面形	時期	出土遺物	備考
SI129	4以上×6	N35° W	24以上	3・1.7×2	隅丸方形	古墳後期	土師器高杯・甕・甕・甕、須恵器杯身、蓋など	Ⅱ期
SI136	4.8以上×5.3	N35° W	25.4以上	2・2.7×-	隅丸方形	古墳後期	土師器杯・高杯、ミニチュア土器、台付甕・甕、甕、甕、鉢、須恵器杯蓋、杯身、短須恵など	Ⅳ期
SI142	5.5×4.7	N35° W	25.9	4・1.2×1.7	長方形	古墳後期	土師器杯・台付甕、甕・甕・鉢、甕、ミニチュア土器、須恵器杯蓋、杯身、蓋、蓋など	Ⅰ期
SI146	4以上×5	N30° W	20以上	-	長方形	古墳後期	土師器甕、甕、須恵器杯身など	Ⅱ期
SI148	4.3以上×4.2以上	N32° W	18.1以上	-	-	古墳後期	土師器甕、須恵器杯身など	Ⅳ期
SI152	4.8以上×4.8以上	N34° W	23以上	-	-	古墳後期	土師器杯・高杯、台付甕、甕・鉢、甕、ミニチュア土器、須恵器杯蓋、杯身、蓋など	Ⅰ期
SI154	4.8以上×5.6	N19° W	26.9以上	3・2.3×2.3	隅丸方形	古墳後期	土師器杯・台付甕・甕、ミニチュア土器、須恵器杯蓋、杯身など	Ⅱ期
SI155	3以上×2.4以上	N47° W	7.2以上	-	-	平安中期	土師器皿など	
SI159	3.4×3.6以上	N22° W	12.2以上	-	隅丸方形	飛鳥	土師器甕、須恵器杯身など	V期
SI163	3.8以上×4.2以上	N11° W	16以上	-	長方形	古墳後期	土師器杯・高杯・甕・鉢、土師、須恵器杯蓋、杯身など	Ⅱ期
SI164	3以上×3.8以上	N20° W	11.4以上	3・1.6×2	隅丸方形	飛鳥	土師器杯・甕・甕、須恵器杯身など	V期
SI168	6.6×6.7	N37° W	44.2	-	隅丸長方形	飛鳥	土師器杯・台付甕・高杯、台付甕、ミニチュア土器・甕、甕、甕、須恵器杯蓋、杯身、短須恵など	V期
SI172	2.8以上×2.9以上	N20° W	8.1以上	-	隅丸方形	古墳後期	土師器甕、須恵器杯蓋など	Ⅰ期
SI175	2.8以上×2.7以上	N28° W	7.6以上	-	-	古墳後期	土師器杯・甕、管状土製品、土師、須恵器杯蓋など	Ⅰ期
SI176	2.1以上×1.7以上	N2° W	3.6以上	-	-	古墳後期	土師器甕、須恵器杯蓋など	Ⅳ期
SI178	5.5以上×9.3以上	N40° W	51.1以上	-	長方形	古墳後期	土師器杯・高杯・甕・甕・甕、須恵器杯蓋、杯身、短須恵など	Ⅱ期、Ⅴ期
SI179	3.8×3	N6° W	11.4	-	不定形	飛鳥	土師器甕・甕、須恵器杯蓋など	V期
SI180	4.2以上×3.6以上	N37° W	15.1以上	-	隅丸方形	飛鳥	土師器甕・高杯、須恵器高杯蓋など	V期
SI183	2.7以上×2.4以上	N45° W	6.5以上	-	隅丸方形	古墳後期	土師器甕・鉢・甕、須恵器杯蓋、杯身など	Ⅳ期

掘立柱建物

遺跡番号	規模 (m) × 掘立柱×梁行	掘立柱 (m)	梁行 (m)	桁間 (m)	梁間 (m)	棟方向	柱断面	時期	出土遺物	備考
SB86	2×1	2.9	1.5	1.8+1.1	1.5	N 39° W	円形	古墳後期～飛鳥	土師器甕、土師器片など	側柱
SB87	3×3	6.1	6	1.6+2.7+1.8	2+2+2	N 30° W	円形	古墳後期～飛鳥	土師器甕、土師器片など	側柱
SB88	2以上×2	3.9以上	4.5	1.5以上+2.4	2.25+2.25	E 0° N	円形	飛鳥	土師器甕、須恵器片など	側柱、V期
SB89	3×2	5.6	3.8	1.8+2+1.8	2+1.8	E 33° N	楕円形	飛鳥	土師器甕、須恵器杯身など	側柱、V期
SB90	4×2	5.2	3.8	1.5+1.2+1.1+1.4	1.5+2.3	N 20° W	楕円形	飛鳥	土師器杯・甕など	側柱、V期
SB91	2×2	3	3	1.2+1.8	1.8+1.2	N 28° W	楕円形	古墳後期	土師器甕、須恵器杯蓋など	側柱、Ⅳ期
SB92	4×3	7	4.2	2.1+2.5+1.2+1.2	1.4+1.2+1.6	E 25° N	楕円形	飛鳥	土師器甕、須恵器杯身など	側柱、V期

第3表 竪穴住居、掘立柱建物一覧表

IV 遺物

今回の調査で出土した遺物は、非常に多く整理箱にして380箱であった。これらの遺物は、古墳時代後期～飛鳥時代のものが大部分をしめている。以下に特徴的な遺物について概略を述べる。個々の遺物の詳細については出土遺物観察表を参照されたい。

1 古墳時代後期～飛鳥時代の遺物

ここでの古墳時代後期は6世紀代(田辺昭三氏による陶器編年のTK23～TK43)、飛鳥時代は7世紀代(陶器編年TK209～TK48)とする。

(1) SH29出土遺物

土師器高杯(1)や壺(2)・甕(3～7)・甕(8)、須恵器杯蓋(9)や杯身(10～12)・壺(13)などが出土した。

1の脚部上面には、接合痕と製作の粘土痕が明瞭に残っている。

2の口縁端部はつまみ上げられている。

3～7の内外面にはハケメ調整が施されている。

9・10・12はMT15型式に、11はTK10型式にそれぞれ併行すると考えられる。これらの内、12の底部内面には同心円当て具痕が見られる。

13は広口壺である。

(2) SH36出土遺物

土師器杯(14～16)や高杯(17)・ミニチュア土器(18)・台付甕(19)・壺(20～26・31)・甕(27)・甕(28～30・32～42)・鉢(43)、須恵器杯蓋(44～49)や杯身(50～58)・短頸壺(59・60)などが多く出土した。

14～16は平底で、丸い口縁端部をもっている。

17の脚は裾部で大きく開き、端部が丸くなる。

18は鉢のミニチュア土器と考えられる。

19の口縁部は屈曲している。

20・25の内面はナデ調整が、外面にはハケメ調整が施される。また、22～24・26の内外面にはハケメ調整が施されている。21の口縁部は直立し、丸底の底部をもつ。31の口縁部は大きく開いている。

27は把手部のみ残存している。

32・34・36の内面には粘土接合痕が見られ、33・

37の内面には、ハケメ調整後ヘラケズリが施されている。

38～40は体部が球形の小形甕である。これらの内、38・39の口縁部内面はココナデ、体部内面の上半をハケメ、下半をヘラケズリで調整している。これらは布留式甕の影響を受けている。また、40の口縁部の内側は肥厚し、体部内面にはオサエが施されている。底部は丸底である。

42は長脚甕で、体部の内外面には煤の付着が見られる。

43はやや長い口縁部をもつ。

44・45・48・49・51～54はMT15型式に、46・47・55・56の杯身はTK10型式に、50はTK47型式に、57はMT85型式にそれぞれ併行すると考えられる。これらの内、57の底部内面には同心円当て具痕が見られる。

60の頸部には灰かぶりが見られる。

(3) SH42出土遺物

土師器杯(61～63)や台付甕(64～66)・壺(67～69)・甕(70～77・79～81)・鉢(78)・甕(82)・ミニチュア土器(83)、須恵器杯蓋(84～86)や杯身(87～89)・甕(90)・壺(91・92)などが一括して、出土した。

61～63の口縁部は内湾し、外面にはオサエ・ナデの調整が施されている。

64の脚部は「八」の字形に開き、脚部裾には折り返しが見られる。また、体部外面の上半には左下がりの、下半には右下がりの羽状のハケメ調整が見られる。65の外面は細かいハケメ調整が、66の外面には工具ナデが施されている。

67は小形甕、68は広口壺、69は短頸甕である。

70～76は小形甕で、これらの内、71の口縁部内面にはココナデ、体部内面はヘラケズリで調整している。布留式甕の影響を受けている。また、74の内面には粘土接合痕が見られる。

78は外側に開く短い口縁部をもつ。

82は把手部と体部の一部が残っている。

83は鉢のミニチュア土器と考えられる。

84～89はTK47型式に併行すると考えられる。これらの内、89の底部外面にはヘラ記号が見られる。

92は広口壺で、丸底の底部をもち、完存している。

(4) S H52出土遺物

土師器杯 (93～95) や高杯 (96～115)・台付甕 (116)・壺 (117・118)・鉢 (119・120)・甕 (121～126)・ミニチュア土器 (127・128)、須恵器杯蓋 (129・130) や杯身 (131・132)・壺蓋 (133) などがまとめて出土した。

94・95の外面下半にはヘラケズリが施されている。

高杯の脚は裾部が大きく開き、端部は下方に突出するもの (96・98・102・109・110・112・113) と、端部が丸く収まるもの (97・101・103・105～108) に分けられる。これらの内、96・97は杯状の杯部を、99は稜をもち、口縁部が外反し大きく開く杯部をもつ。

116の外面には、左下がりの粗いハケメ調整が施されている。

117の口縁部は屈曲している。

119は小形鉢で、内面に粘土接合痕が見られる。また、120の外面にはタテナデの調整が施されている。

123は体部が球形の小形甕で、体部外面の上半をハケメ、下半をヘラケズリで調整している。また、124・126は長胴甕で、内外面にはハケメ調整が見られる。

127は鉢、128は壺のミニチュア土器と考えられる。

129～132はTK47型式に併行すると考えられる。

133は口径が小さいので、壺蓋の可能性があると考えられる。

(5) S H54出土遺物

土師器杯 (134) や台付甕 (135)・甕 (136～139)・ミニチュア土器 (140)、須恵器杯蓋 (141) や杯身 (142・143) などが一括して、出土した。

134は平底で、口縁端部は丸くなっている。

135は、山田猛氏による分類のS字甕F1類に相当すると考えられる。

136の口縁端部はつまみ上げられ、137の口縁端部には押圧痕が見られる。また、139の口縁部内面は肥厚している。

140は手づくねでつくられている。類例は、多気

郡明和町曾祢崎遺跡でも出土している。

141～143はTK10型式に併行すると考えられる。

これらの内、142の底部内面には同心円当て具痕が見られる。

(6) S H46出土遺物

土師器甕 (144・146・147) と壺 (145)、須恵器杯身 (148) などが一括して、出土した。

145の体部内面には粘土接合痕が見られる。

146の内面はヘラケズリの調整が施されている。

148はMT15型式に併行すると考えられる。

(7) S H59出土遺物

土師器甕 (149・150) と須恵器杯身 (151) などが出土した。

149は口縁端部の下端が、150は口縁端部の上端と下端が小さく突起している。

151はTK217型式に併行すると考えられる。

(8) S H63出土遺物

土師器杯 (152～154) や高杯 (155)・甕 (156・157)・鉢 (158)、土鍾 (159)、須恵器杯蓋 (160) と杯身 (161) などが一括して、出土した。

152～154は平底で、丸い口縁端部をもつ。これらの内、154の外面にはハケメ調整が施されている。

155の脚部上面には接合痕が明瞭に残っている。

156・157は球形の小形甕と考えられる。

158は外反する短い口縁部をもつ。

159は細辻真澄氏による分類の寸胴型b類に該当する。

160・161はMT15型式に併行すると考えられる。

これらの内、160の内面には同心円当て具痕が見られる。

(9) S H64出土遺物

土師器杯 (162) や甕 (163～169)・甗 (170)、須恵器杯身 (171) などが一括して、出土した。

162の形は浅く扁平で、内面にはハケメ調整が施されている。

甕の口縁部内面は肥厚している。これらの内、163・168・169は内外面にハケメ調整が見られる。また、164・165の外面にはナデ調整が、内面にはハケメ調整が施されている。

170の口縁端部は内側に突起する。

171はTK217型式に併行すると考えられる。

(10) S H68出土遺物

土師器杯 (172~175) や台付鉢 (176)・高杯 (177・178)・台付甕 (179~183)・ミニチュア土器 (184)・壺 (185~187・199)・甕 (188~198・200~219)・甌 (220~224)・須恵器杯蓋 (225~236) や杯身 (237~248)・短頸壺 (249) などが多く出土した。

172の形は浅く扁平で、173・175は平底で丸い口縁部をもつ。

176の口縁部は、外側に向けて内湾しながら引き上げられ、底部外面には貼り付け痕が見られる。

177は、稜をもち口縁部が外反しながら大きく開く杯部をもち、脚は裾部が大きく開く。また、178の脚部部の端部は下方に突出する。

179・180はS字甕F2類に相当すると考えられる。また、181~183の脚部には折り返しは見られない。

184は台付甕のミニチュア土器で、ほぼ完存している。

185の口縁部はつまみ上げられており、187の口縁部端部の下端は、下方に突起している。

甕は口径の差から11~19cmのもの (188~197・199~201・205~207・209・210・215) や20~25cmのもの (198・202~204・208・211・212・214・219)・30cm以上のもの (213・216~218) に分けられる。これらは、内外面にハケメ調整が施されているものが大部分を占める。しかし、188の内面はオサエが、190~192・197・204・210の内面にはナデ調整が見られる。また、209・215の内面には工具ナデ、ナデ・オサエの調整がそれぞれ施される。

これらの内、190は長胴甕で、体部内面には粘土接合痕が見られる。また、197の口縁部には刺突が、219の内外面には粘土接合痕が見られる。

220は、口縁部から底部まで直線的なバケツ状の形体をもつ。また、222は体部の一部と把手部が、223には把手部が残っている。

225~231・238~244・248はM T15型式に、232~235・245~247の杯身はT K10型式に、236はT K217型式に、237はT K47型式にそれぞれ併行すると考えられる。これらの内、227の口縁部外面には灰かぶりが見られ、232の外面にはベンガラが付着している。

249は丸底で、体部のみ残存している。

(11) S H72出土遺物

土師器甕 (250・251) などが出土した。これらの

口縁部はつまみ上げられている。また、251の口縁部内面は肥厚している。

(12) S H75出土遺物

土師器杯 (252・253) や壺 (254)・管状土製品 (255)・土錘 (256)・須恵器杯蓋 (257) などが一括して、出土した。

252は須恵器模倣杯で、小沢洋氏による編年の1~2期に相当すると考えられる。県内での類例は、北牟婁郡紀伊長島町道瀬遺跡の第2次調査などで出土している。また、底部内面にはヘラ記号が見られる。

253は口縁部内面に面をもち、底部は平底である。

254は短く外反する口縁部をもち、外面は黒く焼けている。

255は甌の口縁部の可能性もある。

256は細辻分類の樽型c類に該当すると考えられる。

257はT K47型式に併行すると考えられる。

(13) S H78出土遺物

土師器杯 (258~264) や高杯 (265・266)・壺 (267~270)・甕 (271~283)・甌 (284・285)・須恵器杯蓋 (286~288) や杯身 (289~295)・提甌 (296) などがまとめて出土した。

258は形が浅く扁平なもので、259~264は平底で、丸い口縁部をもつ。これらの内、259の外面の一部は黒変している。また、260の底部外面と263の底部内面にはヘラ記号が見られる。

266は外反する短い口縁部をもつ。

267は小形壺で、口縁部は内湾している。また、

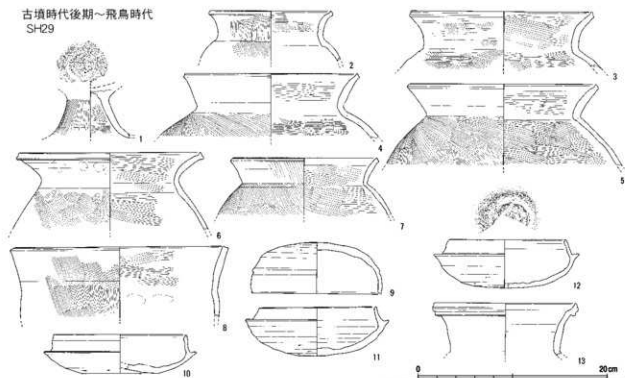
268の内面には煤が付着し、270は屈曲する口縁部をもつ。

甕は口径の差から12~19cmのもの (271~274・276・281) や20~29cmのもの (275・277~280・283)・30cm以上のもの (282) に分けられる。これらは内外面にハケメ調整が施されているものが大部分を占める。しかし、271の内面はヘラケズリが、274・276の内面にはナデ調整がそれぞれ施されている。

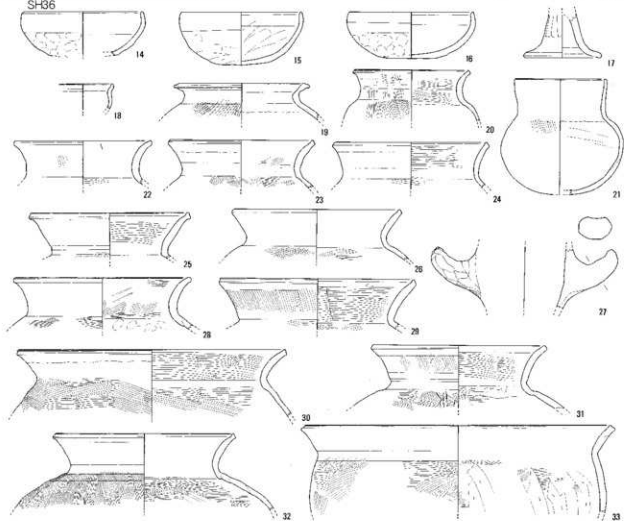
284・285は把手部のみが残っており、これらの内、284には焼成前の穿孔が施されている。

286・287はT K47型式に、288・290~293はM T15型式に、289・294・295はT K10型式にそれぞれ併行すると考えられる。これらの内、293・295の底部内面と296の内面には同心円当て具痕が、294の底部外面にはヘラ記号が見られる。

古墳時代後期～飛鳥時代
SH-29

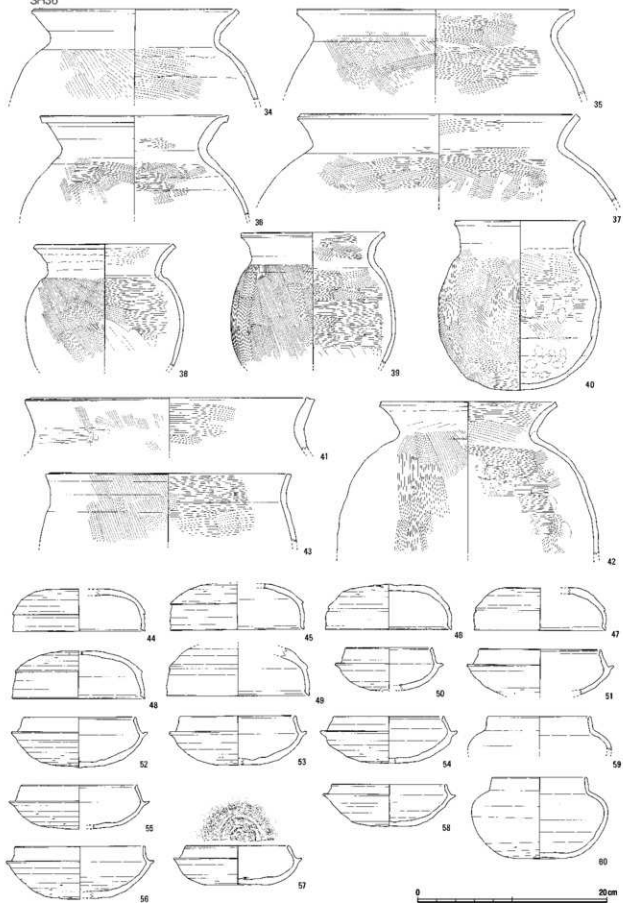


SH-36

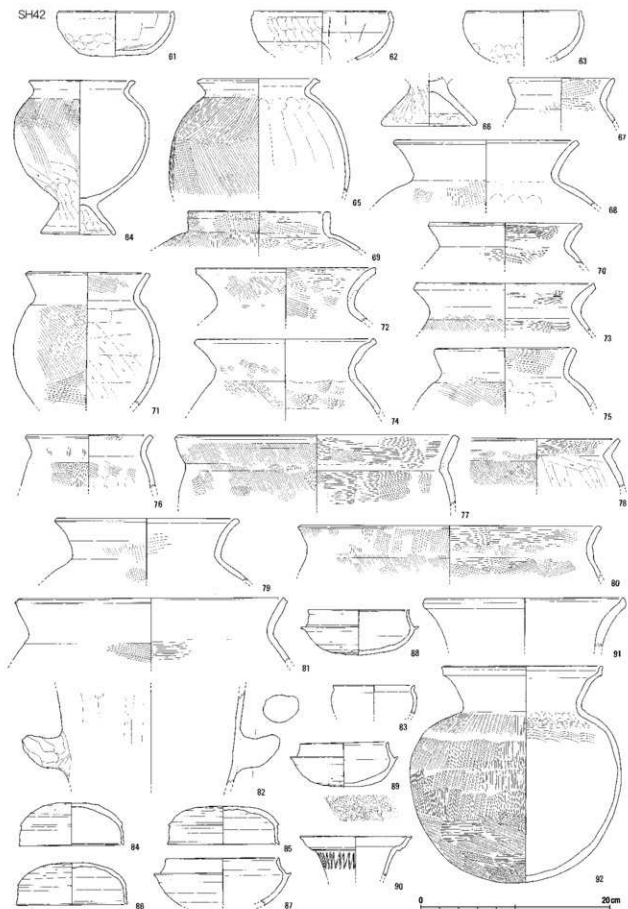


第16図 SH-29・36出土遺物実測図 (1:4)

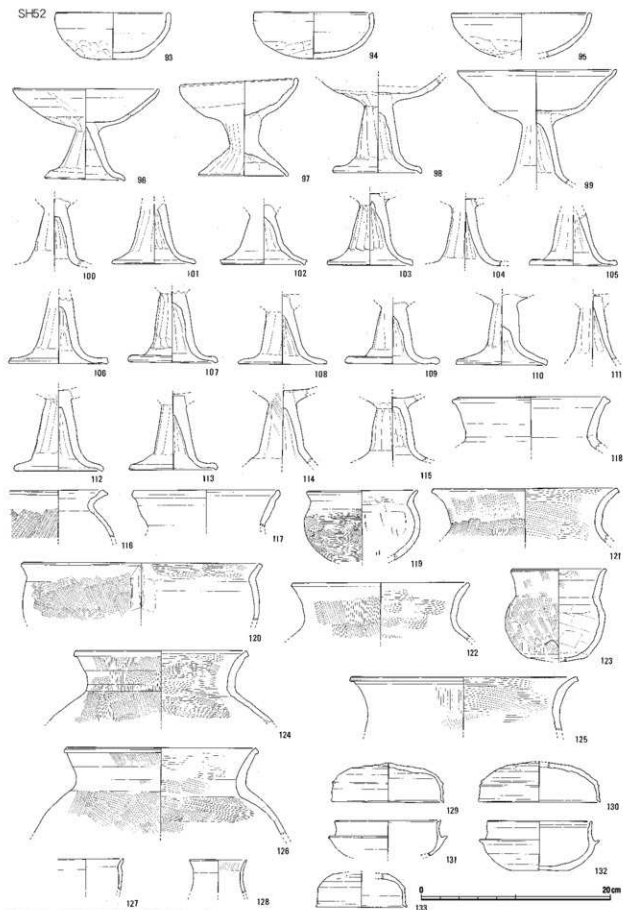
SH36



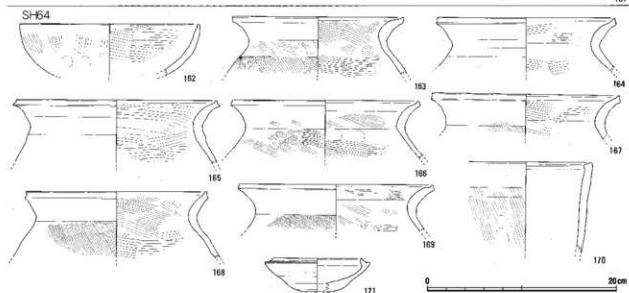
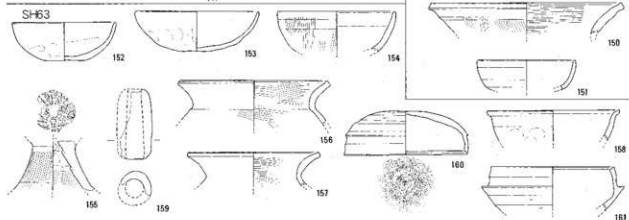
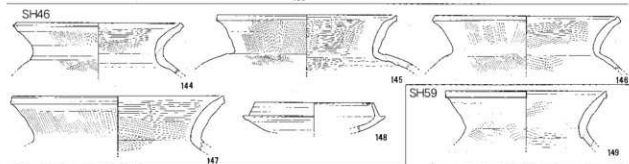
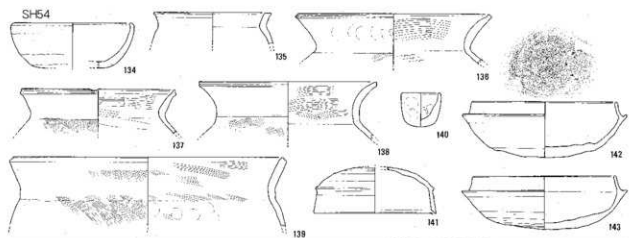
第17图 SH36出土文物实测图 (1:4)



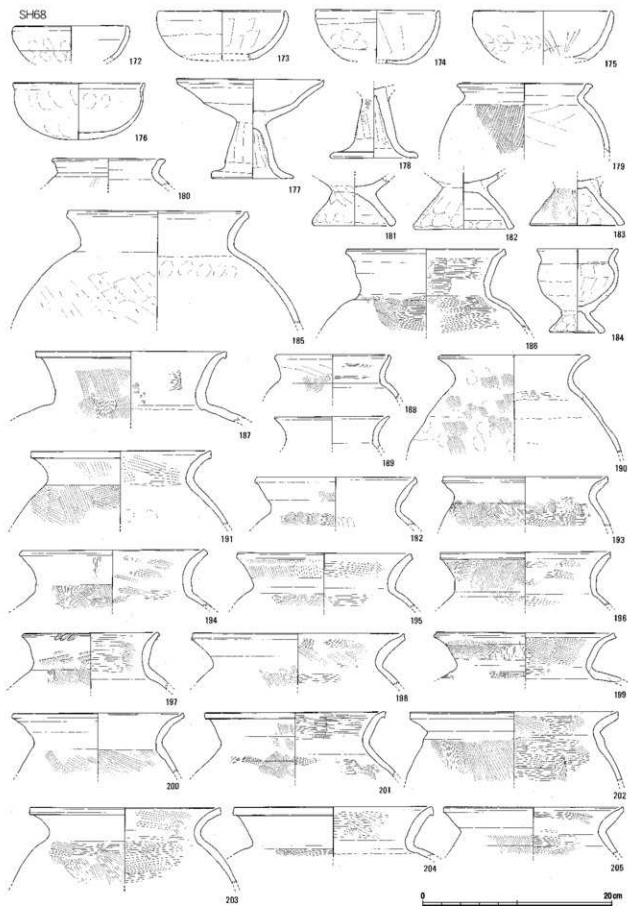
第18図 SH42出土遺物実測図 (1:4)



第19图 SH52出土器物实测图 (1:4)



第20图 SH46·54·59·63·64出土实物实测图 (1:4)



第21图 SH-68出土文物实测图1 (1:4)

SH68



第22図 SH68出土遺物実測図2 (1 : 4)

(14) SH79出土遺物

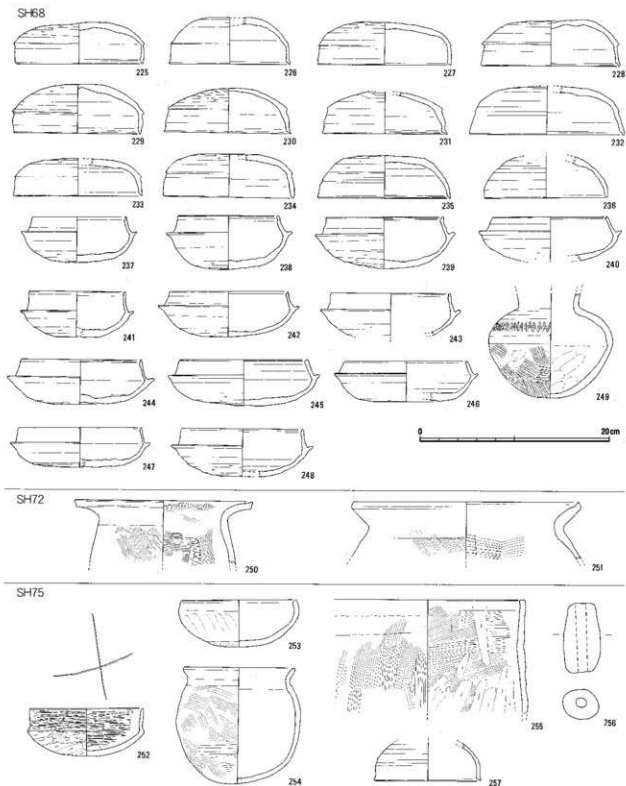
土師器甕 (297・298) と甕 (299)、須恵器杯蓋 (300)
 などが出土した。

297・298の口縁端部はつまみ上げられ、内外面に

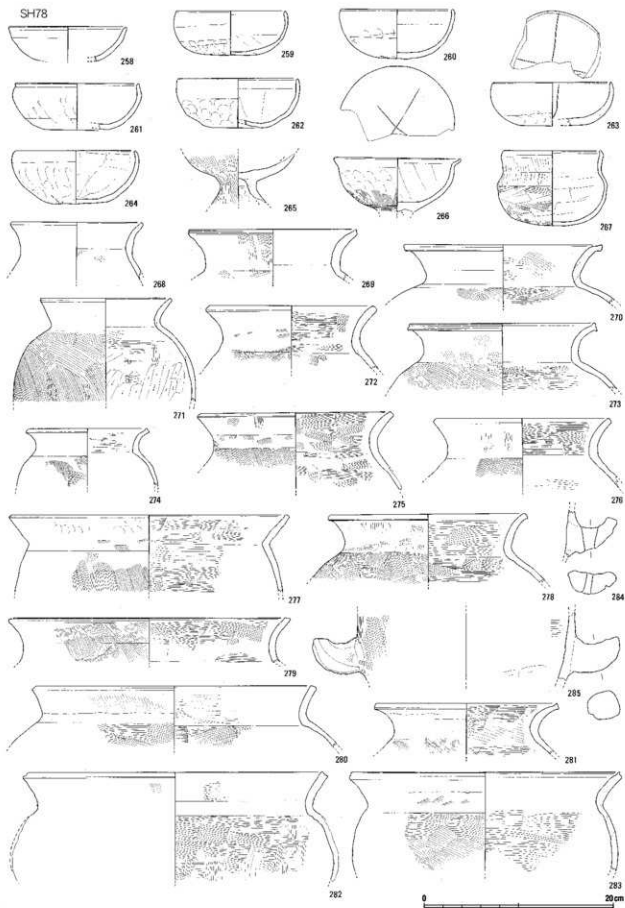
はハケメ調整が施されている。

299の内面には粘土接合痕が見られる。

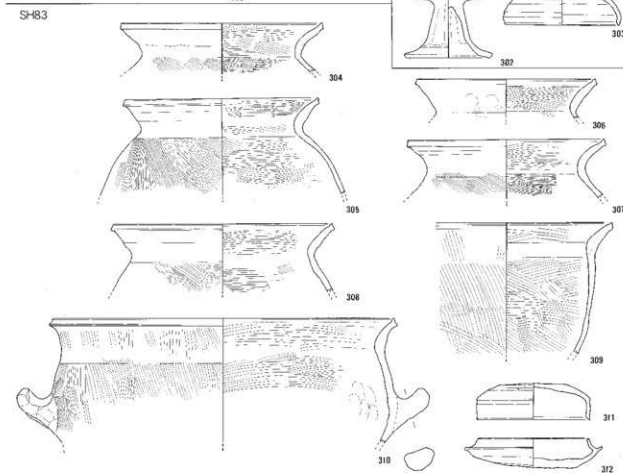
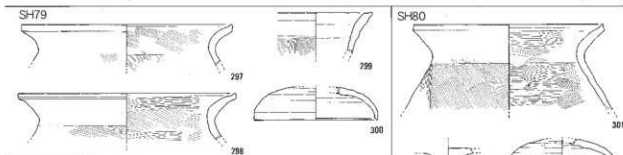
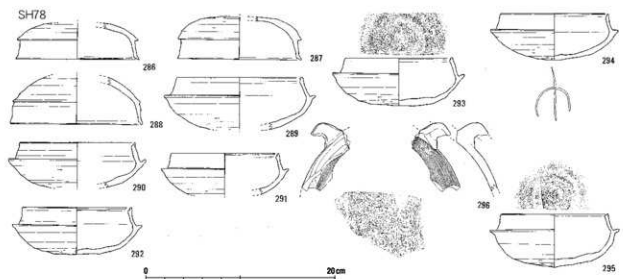
300はTK217型式に併行すると考えられる。



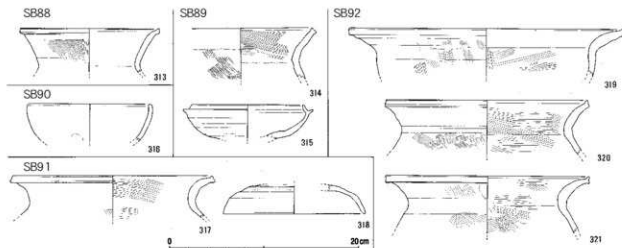
第23図 SH68・72・75出土遺物実測図 (1:4)



第24图 SH-78出土遗物实测图 (1:4)



第25图 SH78·79·80·83出土文物实测图 (1:4)



第26図 SB88・89・90・91・92出土遺物実測図(1:4)

(15) S H80出土遺物

土師器甕(301)と高杯(302)、須恵器高杯蓋(303)などが出土した。

- 301は長胴甕で、口縁端部はつまみ上げられている。
- 302の脚は裾部で大きく開き、端部が丸くなる。
- 303はTK217型式に併行すると考えられる。

(16) S H83出土遺物

土師器甕(304~308)や鉢(309)・鍋(310)、須恵器杯蓋(311)と杯身(312)などが出土した。

306・307・308の口縁端部は上端と下端が小さく突起し、304・305の口縁端部はつまみ上げられている。

309の口縁部内側は肥厚している。

310は、口径と体部最大径がほぼ同じ形状を呈している。

311はTK47型式に、312はMT85型式にそれぞれ併行すると考えられる。

(17) S B 88出土遺物

柱穴からは、土師器甕や須恵器などの破片が出土した。図化できたのは1点のみである。土師器甕(313)で、口縁端部の上端が小さく突起している。

(18) S B 89出土遺物

柱穴からは、土師器甕や須恵器杯身などの破片が出土した。図化できたのは2点のみで、土師器甕(314)、須恵器杯身(315)である。

314は口縁部で、内面にナデ、外面にハケメ調整が施されている。

315はTK217型式に併行すると考えられる。

(19) S B 90出土遺物

柱穴からは、土師器杯や甕などの破片が多く出土したが、図化できたのは1点のみである。土師器杯(316)で、口縁部は内湾しており、内面にナデ、外面にナデ・オサエの調整が施されている。

(20) S B 91出土遺物

柱穴からは、土師器甕や須恵器杯蓋などの破片が出土した。図化できたのは2点のみで、土師器甕(317)、須恵器杯蓋(318)である。

317は口縁端部の上端と下端が突起している。

318はTK43型式に併行すると考えられる。

(21) S B 92出土遺物

柱穴からは、土師器甕や須恵器杯身などの破片が出土した。図化できたのは3点のみで、土師器甕(319~321)である。

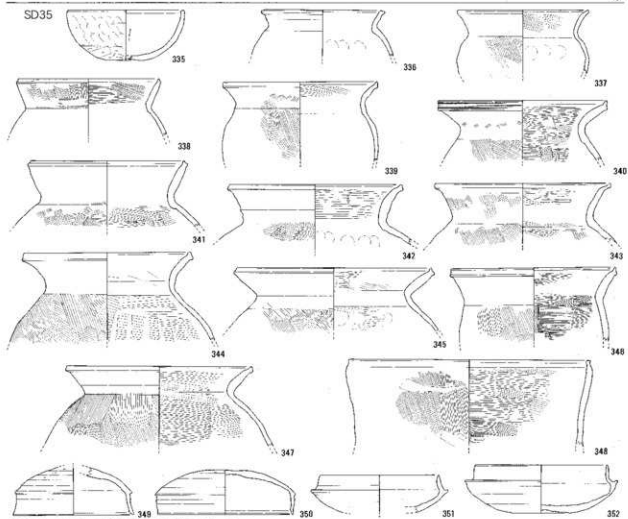
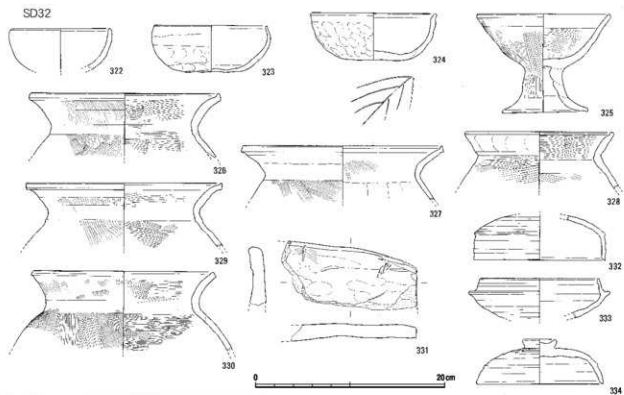
これらの口縁部内面は肥厚し、320の口縁端部はつまみ上げられている。

(22) S D 32出土遺物

土師器杯(322~324)や高杯(325)・甕(326~330)、不明土製品(331)、須恵器杯蓋(332)や杯身(333)・高杯蓋(334)などが出土した。

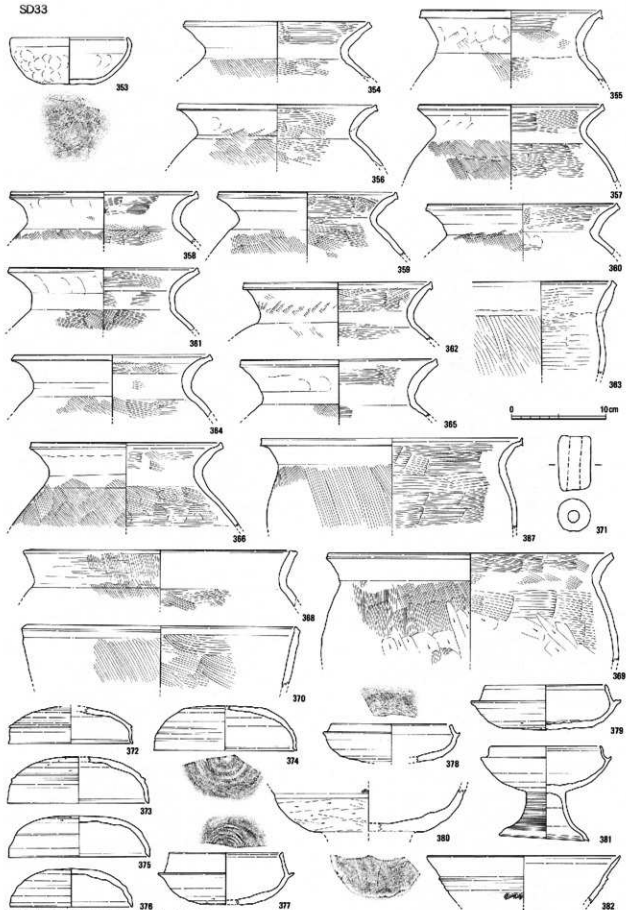
322の外面には煤が付着している。また、323の外面には粘土接痕が、324の底部外面には木葉痕が見られる。

325は杯状の杯部をもち、脚部は大きく開き、端部は下方に小さく突出する。

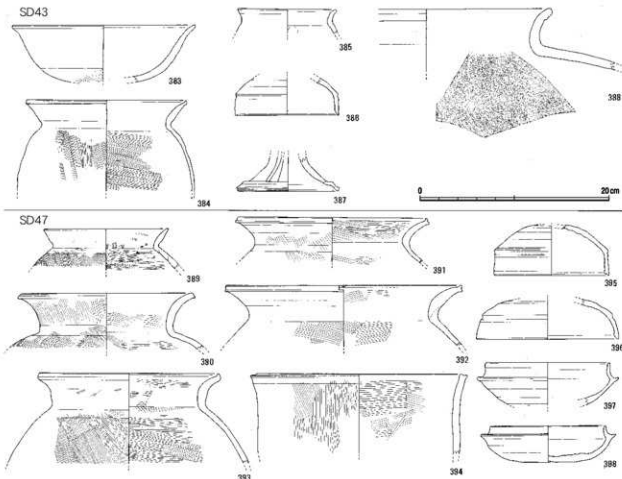


第27图 SD32・35出土物実測图 (1:4)

SD33



第28图 SD33出土遗物实测图 (1:4)



第29図 SD43・47出土遺物実測図(1:4)

甕は、内外面にハケメ調整が施されているものが大半をしめるが、327・328の内面には工具ナデ、ナデ・オサエの調整がそれぞれ施されている。

331は土師質で、外面にオサエ・ナデの調整が見られる。

332はMT15型式に、333はTK10型式に、334はMT85型式にそれぞれ併行すると考えられる。

(23) S D 35出土遺物

土師器杯(335)や壺(336・337)・甕(338~347)・甌(348)、須恵器杯蓋(349・350)と杯身(351・352)などが出土した。

335は平底で、口縁端部は丸くなっている。

336は屈曲する口縁部をもち、337の口縁部内面は肥厚する。

甕の内外面には、ハケメ調整が施されているものが大部分をしめる。しかし、338の外面にはナデ調整が、内面には工具ナデの調整が、339の内面には工具ナデの調整がそれぞれ見られる。また、342・

345の内面にはナデ・オサエ、オサエの調整がそれぞれ施されている。

これらの内、339は球形の小形甕で、344・347は長胴甕である。

348は内湾する口縁部をもつ。

349はTK47型式に、350はMT15型式に、351・352はTK10型式にそれぞれ併行すると考えられる。

(24) S D 33出土遺物

土師器杯(353)や甕(354~369)・甌(370)、土鍾(371)、須恵器杯蓋(372~376)や杯身(377~379)・器台(380)・高杯(381・382)などが多く出土した。

353の底部外面にはヘラ記号が見られる。

甕は口径の差から18cm~21cmのもの(354~362・364~366)と27cm~30cmのもの(367~369)に分けられる。これらは、内外面にハケメ調整が施されているものが大半をしめる。しかし、357・366の内面にはオサエ・ハケメ調整が見られる。

これらの内、362の口縁部外面にはハケメの当たり痕が見られる。また、366・367・369は長胴甕と考えられる。

363の口縁部内面は肥厚している。

370の口縁端部は上方に突起している。

371は寸胴型c類に該当すると考えられる。

372・373・377・379はMT15型式に、374・375はMT85型式に、376はTK217型式に、378はTK209型式にそれぞれ併行すると考えられる。これらの内、374の内面と377・378の底部内面には同心円当て具痕が見られる。

380は杯部と考えられ、あまり見られないものである。381は有蓋高杯、382は無蓋高杯である。

(25) S D 43出土遺物

土師器高杯(383)や甕(384)・ミニチュア土器(385)、須恵器杯蓋(386)や高杯(387)・甕(388)などが出土した。

383は椀形の杯部をもつ。

384の体部の器壁はうすく、口縁部内側は肥厚している。

385は甕のミニチュア土器と考えられる。

386はTK47型式に併行すると考えられる。

387は有蓋高杯の脚部である。

(26) S D 47出土遺物

土師器壺(389・390)や甕(391~393)・甕(394)、須恵器杯蓋(395・396)と杯身(397・398)などが出土した。

389の口縁部外面には煤が付着し、内面には粘土接合痕が見られる。また、390の口縁部下端は突起している。

甕の内外面はハケメ調整が施されている。これらの内、391・393の口縁端部はつまみ上げられている。

394は直線的な口縁部をもつ。

395はMT15型式に、396・397はTK10型式に、

398はTK43型式にそれぞれ併行すると考えられる。

(27) S D 57出土遺物

土師器杯(399~401)や高杯(402~404)・台付甕(405~411)・壺(412・413)・甕(414~431)・甕(432~436)、須恵器杯蓋(437・438)や杯身(439~442)・高杯(443)などが多く出土した。

399の外面には粘土接合痕が、底部外面には黒変が見られる。また、400の口縁部は内湾して引き上

げられ、底部外面には黒変が見られる。

402~404の脚は裾部で大きく開き、端部は下方に突出している。

405・407はS字甕F2類に、406はS字甕F1類にそれぞれ相当すると考えられる。また、408~411の脚部は「ハ」の字形に開き、脚裾部には折り返しが見られない。

412・413は広口壺で、これらの内、413の口縁端部はつまみ上げられている。

甕は口径の差から15cm~20cmのもの(414~423・426)や21cm~26cmのもの(424・425・427~429)、28cm以上のもの(430・431)に分けられる。これらは、内外面にハケメ調整が施されているものが大部分を占める。しかし、414の内面はナデ調整が、421の内面にはナデ・オサエの調整が見られる。また、426の内面にはオサエ・ヘラケズリ・ハケメの調整が、431はハケメ・オサエの調整がそれぞれ施される。

これらの内、416は口縁端部が押圧により外反し、内面には大筋のハケメ調整が見られる。417は球形の小形甕である。また、422の口縁端部は玉縁状になっており、423の内面には粘土接合痕が見られる。426は長胴甕で、黒班が見られ、431の口径は体部最大径より大きい。

432・433は直線的な口縁部のみ残存し、434の内面には粘土接合痕が見られる。また、436には焼成前の穿孔が行われている。

437はTK43型式に、438はTK10型式に、439~442はTK47型式にそれぞれ併行すると考えられる。これらの内、439の受部には重ね焼きの痕跡が見られる。

443は有蓋高杯の杯部である。

(28) S D 58出土遺物

土師器杯(444)や甕(445~447)・甕(448)、須恵器杯蓋(449)と杯身(450・451)などが出土した。

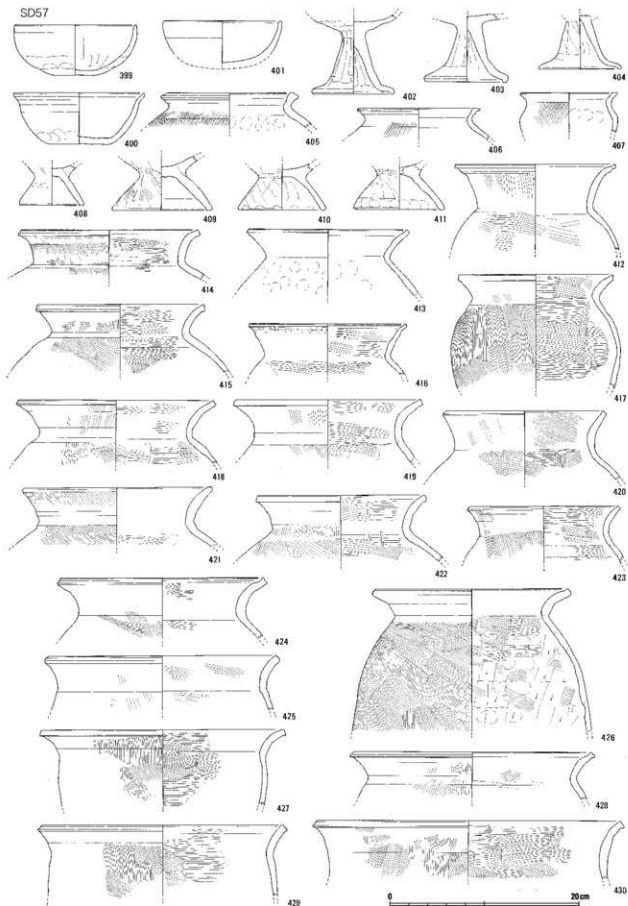
444の口縁端部は丸くなっており、外面下半にはオサエ・ナデが施されている。

445・446の口縁端部は面をもち、447の口縁端部はつまみ上げられている。

448は把手部のみ残っている。

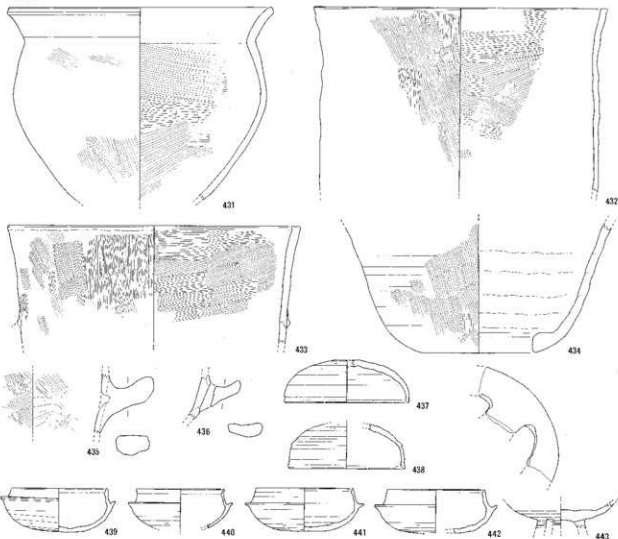
449はTK47型式に、450はMT15型式に、451はMT85型式にそれぞれ併行すると考えられる。

SD57

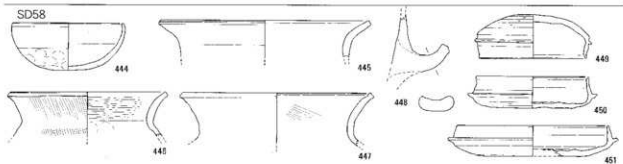


第30图 SD57出土遗物实测图 (1:4)

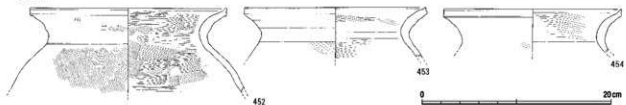
SD57



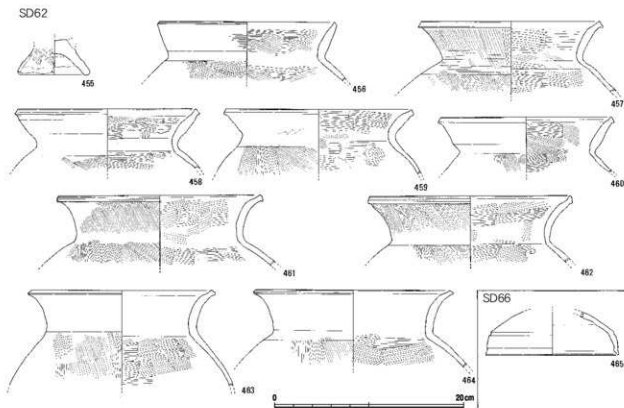
SD58



SD61



第31图 SD57・58・61出土遺物実測図(1:4)



第32図 SD62・66出土遺物実測図 (1:4)

(29) S D 61出土遺物

土師器甕 (452~454) などが出土した。

452は長胴甕で、口縁端部はつまみ上げられている。また、453の口縁端部内側は肥厚し、454の口縁端部はつまみ上げられている。

(30) S D 62出土遺物

土師器台付甕 (455) と甕 (456~464) などが出土した。

455の脚裾部の外面は黒変している。

甕は、内外面にハケメ調整が施されているものが大部分を占めるが、457の内面はオサエ・ハケメの調整が見られる。

これらの内、456の口縁端部にはハケの当たりが見られ、457の口縁端部の下端は突起している。463は長胴甕と考えられる。

(31) S D 66出土遺物

土師器甕、須恵器杯蓋などが出土した。図化できたものは1点のみで、須恵器杯蓋 (465) である。TK10型式に併行すると考えられる。

(32) S D 69出土遺物

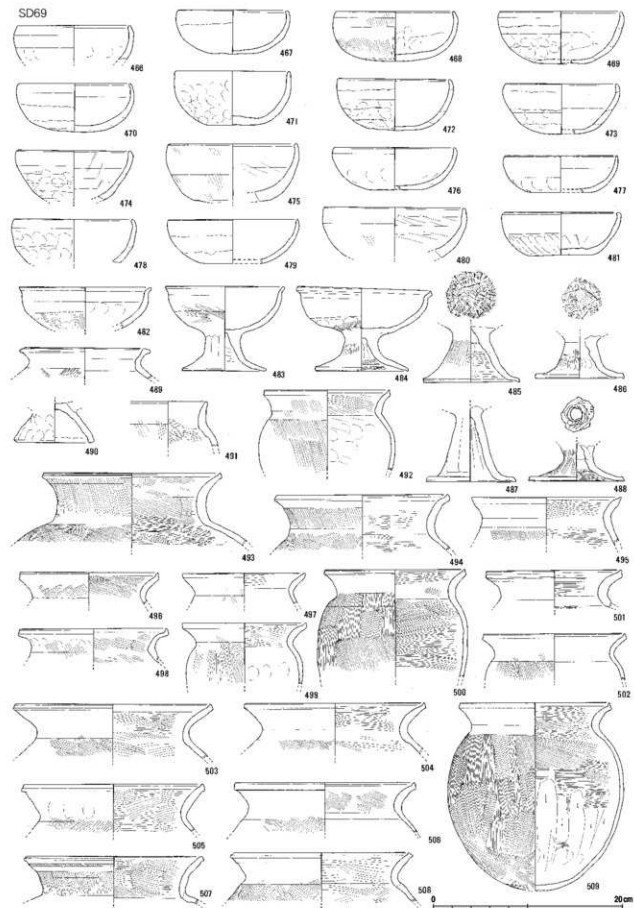
土師器杯 (466~481) や台付鉢 (482~484) ・高杯 (485~488) ・台付甕 (489・490) ・壺 (491~494) ・甕 (495~597) ・鉢 (598・599) ・甕 (600~602) ・土鍾 (603~610) ・須恵器杯蓋 (611~618) や杯身 (619~629) ・高杯蓋 (630・631) ・高杯 (632・633) ・提瓶 (634) ・鉄鏝 (635) ・砥石 (636) などが非常に多く出土した。

杯は浅く扁平な形をもつもの (467・476・477・479・481) と平底で丸い口縁端部をもつもの (466・468・469~475・478・480) に分けられる。これらの内、467~470・472・473・474・479の外面には粘土接合痕が見られる。また、475の底部は厚くつくられている。

482は杯部のみ残っており、短く外反する口縁部をもつ。また、484の杯部は形状が右下がりになっている。

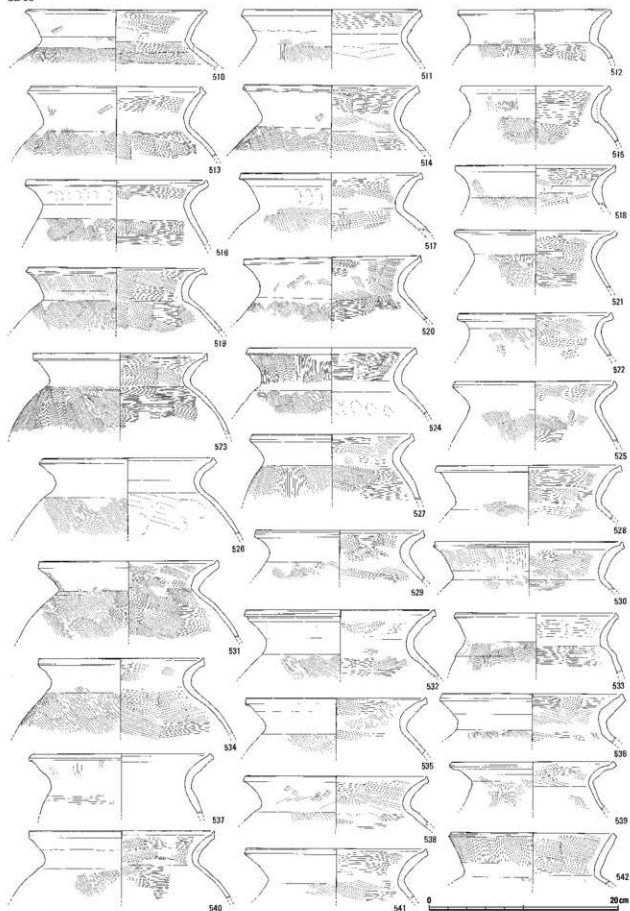
485・486の脚部上面には接合痕が明瞭に残っている。また、487・488の脚は裾部で大きく開き、端部は下方に突出している。

489はS字甕F1類に相当すると考えられる。また、



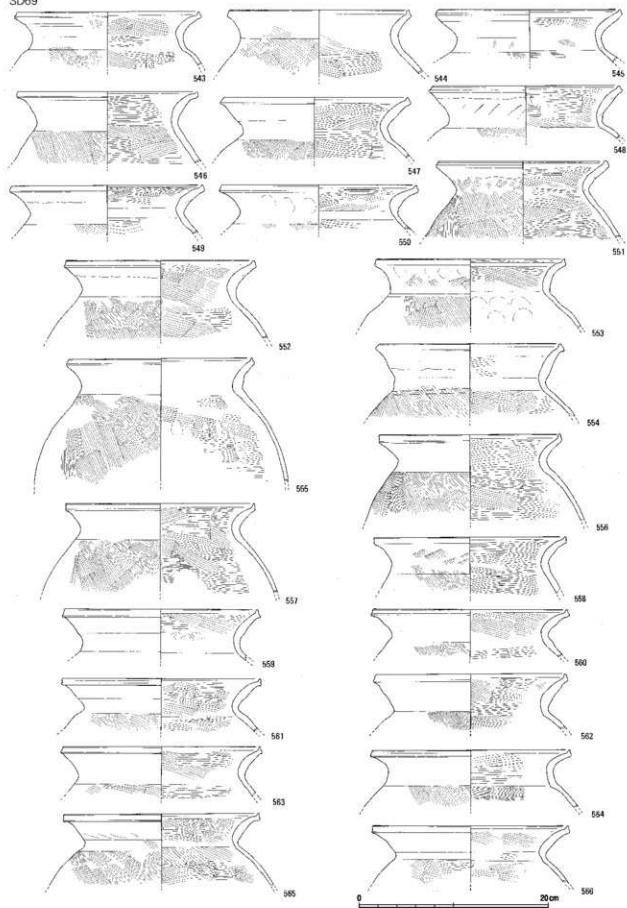
第33图 SD69出土遗物实测图1 (1:4)

SD69



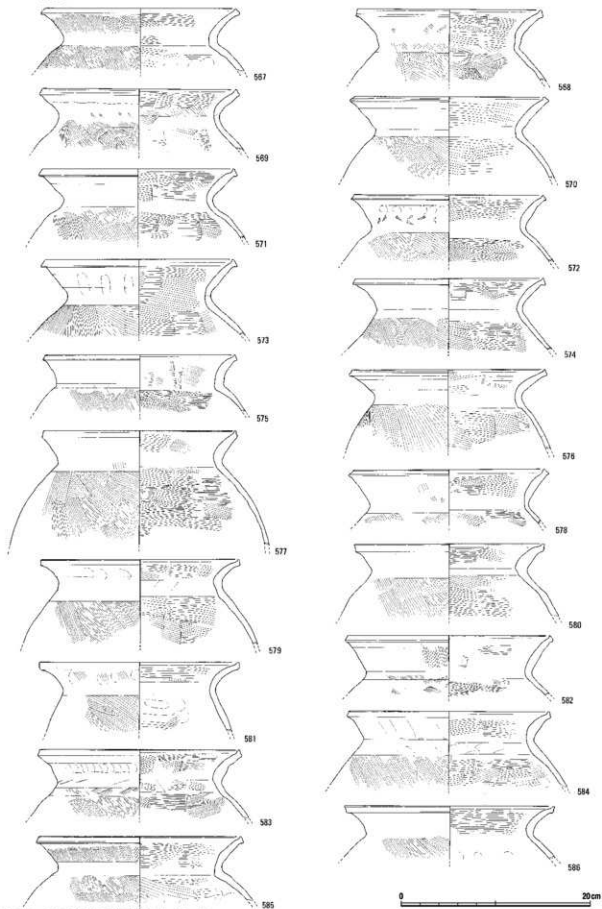
第34图 SD69出土遺物実測図2 (1:4)

SD69



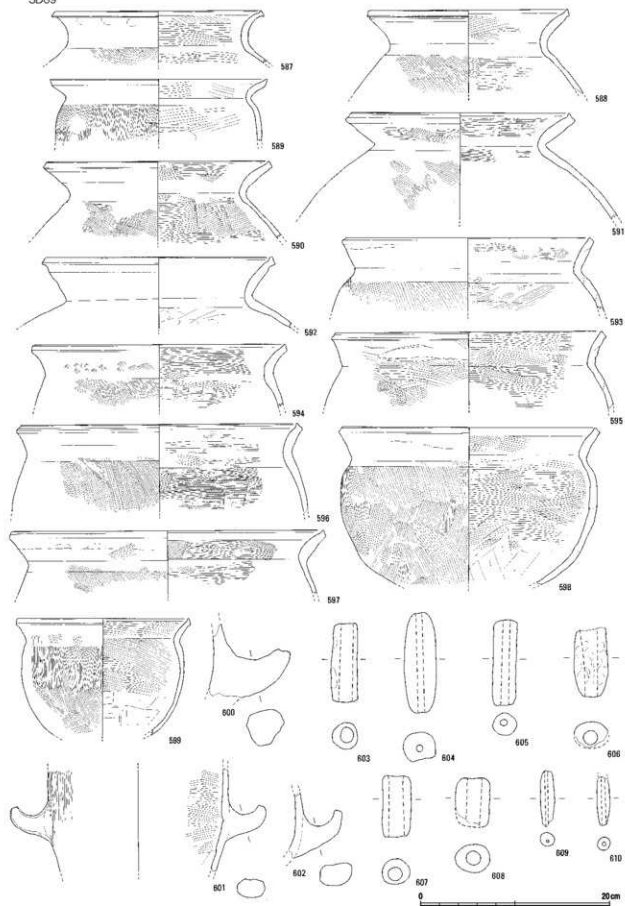
第35図 SD69出土遺物実測図3 (1:4)

SD69



第36圖 SD69出土遺物実測図4 (1:4)

SD69



第37図 SD69出土遺物実測図5 (1:4)

490の脚部は「ハ」の字形に開き、脚部裾には折り返しが見られる。

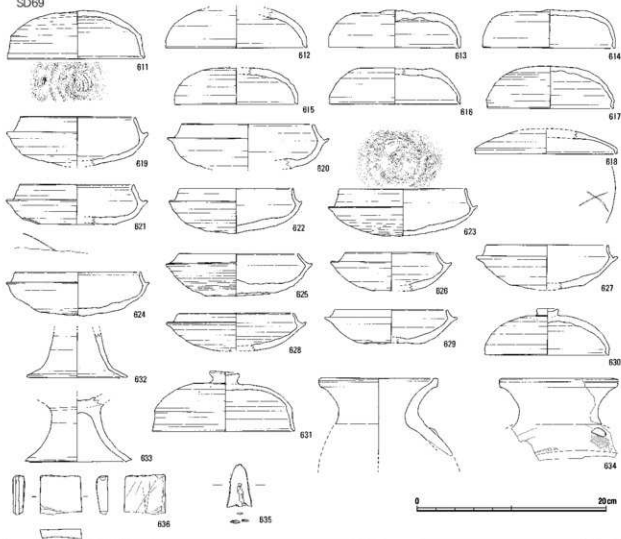
491の口縁部内側は肥厚し、492の口縁部外面は黒変している。また、493の外面には黒斑が見られ、494の口縁端部はつまみ上げられている。

甕は口径の差から12cm～19cmのもの(495～502・504～548・551～557・568・574)や20cm～27cmのもの(503・549・550・558～567・569～573・575～594)、28cm以上もの(595～597)に分けられる。これらは、内外面にハケメ調整が施されているものが大部分を占める。しかし、497・502・506・507・511・524・542・548の内面にはナデ調整が、499・553・581・586の内面にはナデ・オサエ調整がそれぞれ見

られる。また、509の内面にはハケメ・ヘラケズリ・ナデ調整が、518・522・535の内面にはハケ後ナデ調整が、それぞれ施されている。526の内面には工具ナデ・オサエの調整が、533の外面と534・567・584の内面にはオサエ・ハケメ調整がそれぞれ見られる。537の内外面にはナデ調整が、589の内面にはハケメ・ヘラケズリ調整が、それぞれ施されている。

これらの内、499・500・509は球形の小形甕、551・552・555・556・557・576・577・579・580・588・591は長胴甕と考えられる。また、572の口縁部外面には刺突が、583の頸部には工具痕が見られる。508は口縁部の一部が黒変し、589の外面にはヘラ記号が施される。

SD69



SD73



第38図 SD69・73出土遺物実測図(1:4)

598は大形鉢、599は小形鉢と考えられる。
600・603は把手部が、601には体部の一部が残っている。

603・607は細辻分類の寸胴型b類に、604・609・610は樽型a類に、605は寸胴型a類に、606・608は樽型c類にそれぞれ該当すると考えられる。

611・619・620・622はTK10型式に、612～614・628・629はTK43型式に、615～617はTK217型式に、618はTK48型式に、621・623はMT15型式に、624～627はMT85型式にそれぞれ併行すると考えられる。これらの内、611の内面と623の底部内面には同心円当て具痕が、618の内面と621の底部外面にはへら記号が見られる。また、625の底部外面には焼きぶくれが見られる。

630・631は有蓋高杯の蓋で、TK43型式、TK10型式にそれぞれ併行すると考えられる。また、632・633は無蓋高杯の脚部と考えられる。

634の外面には自然軸が付着している。

635の鎌身部には一つの穿孔有する。杉山秀宏氏の種類による無茎鎌D-Ⅲ形式の第3型式B類に相当すると考えられる。

636は4面に使用痕があり、その内2面には線状の使用痕が認められる。

(33) S D 73出土遺物

土師器甕 (637) と鉢 (638) などが出土した。

637の口縁部内側は肥厚し、口縁部はつまみ上げられている。

638は小形鉢で、口縁部は短く外反する。

(34) S K 37出土遺物

土師器甕 (639・640) と甕 (641)、須恵器杯身 (642) などが出土した。

639は口縁部の上端と下端が小さく突起し、640の口縁部はつまみ上げられている。

641の底部内面は肥厚している。

642はTK47型式に併行すると考えられる。

(35) S K 41出土遺物

土師器高杯 (643) と甕 (644) などが出土した。

643の脚は裾部で大きく開き、端部は丸く収めている。

644は口縁部の上端が小さく突起している。

(36) S K 45出土遺物

土師器甕や須恵器甕などが出土したが、図化でき

たものは1点のみである。土師器甕 (645) で、口縁部は丸くなっている。

(37) S K 74出土遺物

土師器甕 (646・647) などが出土した。

646は口縁部の内面が肥厚し、口縁部はつまみ上げられている。また、647の口縁部の上端は小さく突起している。

(38) S K 77出土遺物

土師器甕 (648) と須恵器杯蓋 (649) などが出土した。

648の口縁部はつまみ上げられており、内外面にハケメ調整が施されている。

649はTK10型式に併行すると考えられる。

(39) C 30pit 3 出土遺物

土師器杯 (650) や甕 (651)・鉢 (652)、須恵器杯身 (653) などが出土した。

650は平底で、口縁部は丸く収められている。

651の口縁部内面は肥厚し、口縁部の上端と下端は小さく突起している。

652の口縁部は短く外反し、外面には煤が付着している。

653はMT15型式に併行すると考えられる。

2 奈良時代・平安時代の遺物

(1) S H 55出土遺物

土師器皿 (654・655) などが出土した。

これらは斎宮跡の土器編年の斎宮Ⅱ期第4段階に相当し、平安時代中期のものと考えられる。

(2) S K 81出土遺物

土師器片や須恵器片が出土したが、図化できたものは1点のみである。土師器杯蓋 (656) で、宝珠つまみのみ残っており、8世紀代のものと考えられる。

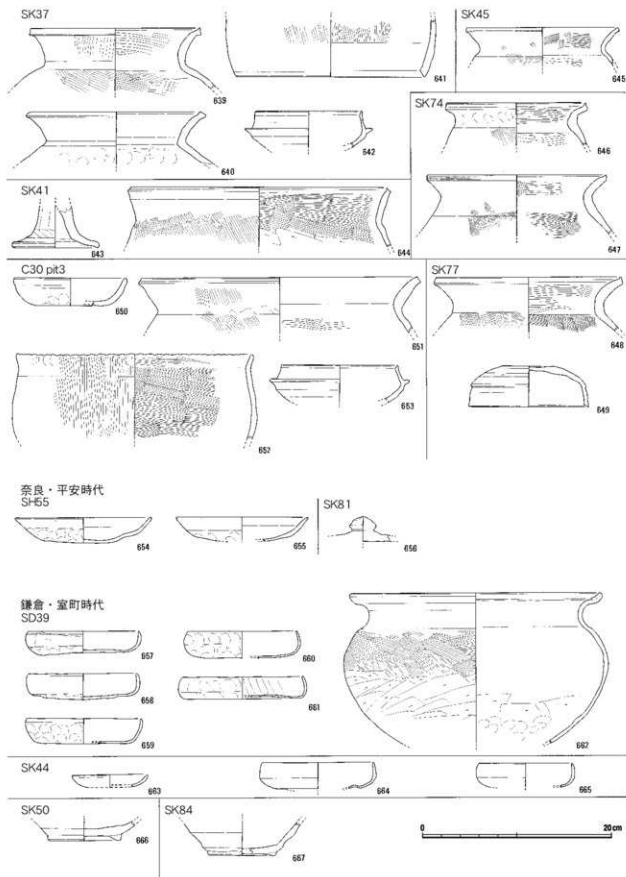
3 鎌倉時代・室町時代の遺物

(1) S D 39の出土遺物

土師器皿 (657～661) と鍋 (662) などが出土した。

657～661は伊藤裕偉氏による編年の南伊勢系B系統で、岩出地区内遺跡群での分類Ⅱb期に相当し、13世紀後半～14世紀初めのものと考えられる。

662は南伊勢系鍋で、伊藤裕偉氏による編年の第2段階に相当し、13世紀後葉～14世紀前葉のものと考えられる。



第39図 遺構出土遺物実測図 (1:4)

(2) SK44出土遺物

土師器小皿(663)と皿(664・665)などが出土した。

663は南伊勢系A系統、664・665は南伊勢系B系統で、岩出地区内道群葬での分類ⅢA期に相当し、14世紀中頃～15世紀初めのものと考えられる。

(3) SK50出土遺物

土師器皿と羽釜、陶器椀などが出土した。図化できたのは1点のみで、陶器椀(666)で、藤澤良祐氏による編年の第4型式に当たり、12世紀中葉のものと考えられる。

(4) SK84出土遺物

陶器椀などが出土したが、図化できたのは1点のみである。陶器椀(667)で、藤澤編年の第6型式に当たり、13世紀前葉のものと考えられる。

4 包含層などの出土遺物

以下、表土や包含層・遺構混入などの遺物について時代別に概略を述べる。

(1) 古墳時代前期の出土遺物

土師器高杯(668～686)や器台(687～695)・壺(696～725)・鉢(726～729)・台付甕(730～752・771)・甕(753～770)などが出土した。

668・669・671・672・674は有稜高杯の杯部である。670・673・676は杯状の、675・681は椀状の杯部をもつ。また、677・680・682・686は椀状高杯、678・679・683・684・685は有稜高杯の脚部と考えられる。これらの内、682は川崎志乃氏による島貫編年の島貫CⅢ期新相に併行すると考えられる。

687・688は口縁部が屈曲し、大きく広がる。島貫CⅢ期古相に併行すると考えられる。また、692の口縁部は屈曲し、大きく広がり、口縁端部は面をもつ。

689～691・693～695は小形器台である。これらの内、689はほぼ完形し、693の口縁端部はつまみ上げられ、脚部内面が中空である。また、695は島貫CⅢ期新相に併行すると考えられる。

696は小形壺、697は柳ヶ坪型壺、698・700・705・706・708・710は広口壺、699は二重口縁壺、701～704・707は直口壺、709・711～718は小形壺である。これらの内、696は島貫CⅢ期新相に併行すると考

えられる。697の口縁部内外面には羽状文が施され、698の口縁端部下端は下方に引き下げられている。

700の頸部には突帯がめぐっている。また、701・702・704の口縁部は内傾し、703・707は直線的な口縁部をもつ。705・706の口縁部は「八」の字状に開き、708は大きく開く口縁部をもつ。709・714の底部は丸底で球体状を呈する。711の外面には煤が付着している。719の底部外面には木葉痕が見られる。

726は外反する短い口縁部をもち、728は布留式併行すると考えられる。

730～743はS字変B類に、744～747はS字変C類にそれぞれ相当すると考えられる。また、748はミニチュア土器で、S字変B類に相当すると考えられる。749の脚部内面には粘土貼り付けが、脚部上面は工具によるオサエが施される。また、750～752の脚部には折り返しが見られる。

753・754・769は庄内式に併行すると考えられる。755・759・766は「く」字状の口縁部をもち、756の胎土には黄母が非常に目立って見られる。757には布留式の影響が見られ、758・760は布留式に併行すると考えられる。また、761・764・765は短い口縁部をもち、767の口縁部は上方につまみ上げられている。

768の外面には煤が付着し、770の体部の器壁は薄くつられている。771は欠山様式中段階に併行すると考えられる。

なお、上記の甕の中には古墳時代後期～飛鳥時代の時期のものが含まれている可能性もある。

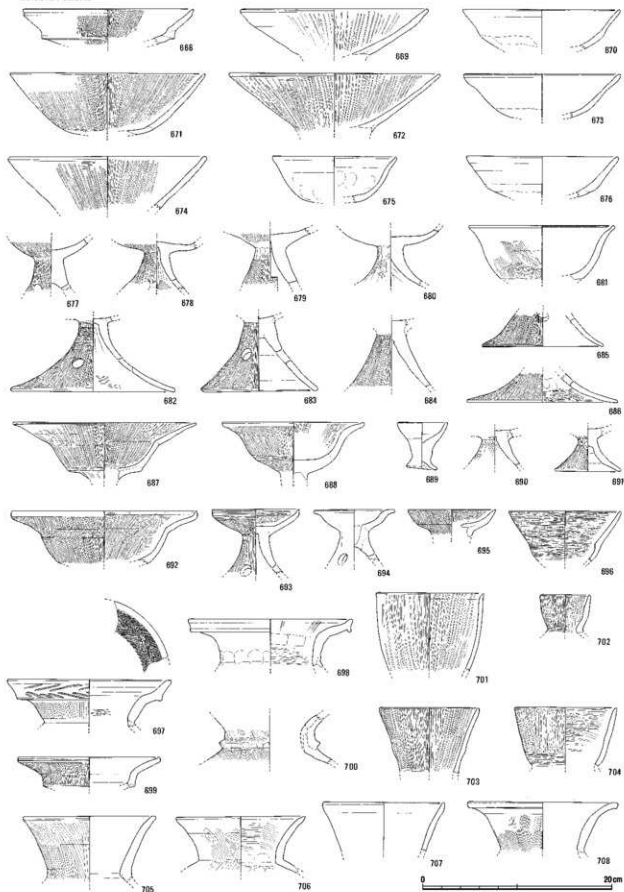
(2) 古墳時代後期～飛鳥時代の出土遺物

A 土師器

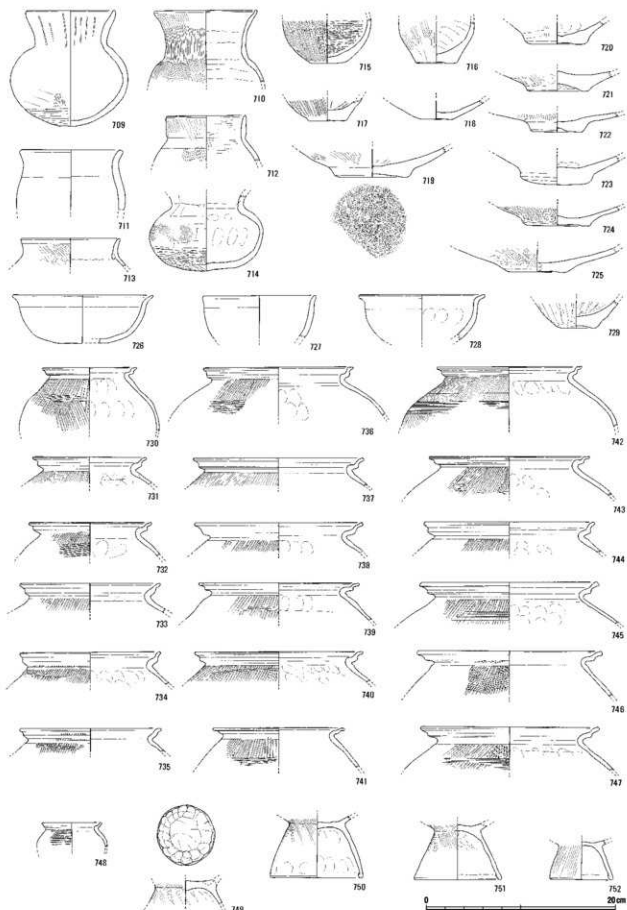
杯(772～788)や高杯(789～796)・台付甕(797～805)・壺(806～819)・甕(820～917)・鉢(918～921)・甗(922～929)・ミニチュア土器(930～933)・不明土製品(934)などが出土した。

杯は浅く扁平なもの(772・773)や丸底で口縁部内面に面をもつもの(774・777)、平底で丸い口縁端部をもつもの(775・776・778・780・782～788)、丸底で器高は深いもの(779)に分けられる。これらは、775・780の底部外面下半にヘラケズリが見られるものを除き、他は、ナデや工具ナデ・オサエの調整が施されたものが多い。

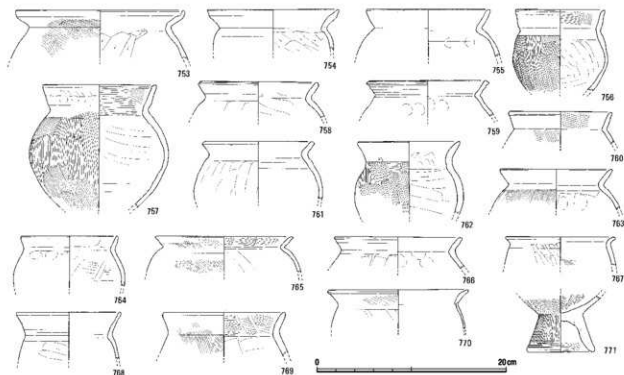
古墳時代前期



第40図 包含層など出土遺物実測図1 (1:4)



第41図 包含層など出土遺物実測図2 (1:4)



第42図 包含層など出土遺物実測図3(1:4)

789・790・793・794は杯状の、791・792は椀状の杯部をもつ。また、795の脚部は「ハ」の字状に、796は大きく開き、端部が下方に小さく突起する。

797はS字変F3類に、798・800・802はS字変F2類に、799・801はS字変F1類にそれぞれ相当すると考えられる。また、803～805の脚部は「ハ」の字状に開いている。

806の口縁部外面には粘土接合痕が見られ、807の口縁部内面は肥厚している。また、808は直線的な、809は内湾する口縁部をもつ。810の口縁端部はつまみ上げられており、812は「く」字状の口縁部をもつ。813の口縁端部には面が、814・817の口縁端面には凹みが、815の頸部には歪みがそれぞれ見られる。816の口縁端部は上端に突起し、818・819は外反する短い口縁部をもつ。

甕は口径の差から10cm～19cmのもの(820～881・890)や20cm～26cmのもの(882～889・891～905・912・914・916)、28cm以上のもの(906～911・913・915・917)に分けられる。これらは、内外面にハケメ調整が施されているものが大半を占める。しかし、820は外面にナデ調整が、内面にオサエ・ナデ調整が見られる。また、821・822・833・839・858・882・

902・907の内面はナデ調整が、864の外面にはハケメ後ナデ調整が、内面に縦方向の工具ナデがそれぞれ施される。

これらの内、834・836・839・843・846・848・851・854・866・867・869・870・872・873・878～882・889・893・894・897・898・900・901・905・907・914の口縁端部はつまみ上げられている。

829・838・843・844・845・885・890・894・896・897・905・906の口縁部内面は肥厚している。また、834の内面と840の外面には煤が付着している。857の内面は横方向のハケメ調整後、縦方向に工具痕が見られる。858の口縁端部には刺突が施される。

880・899の外面は黒変している。

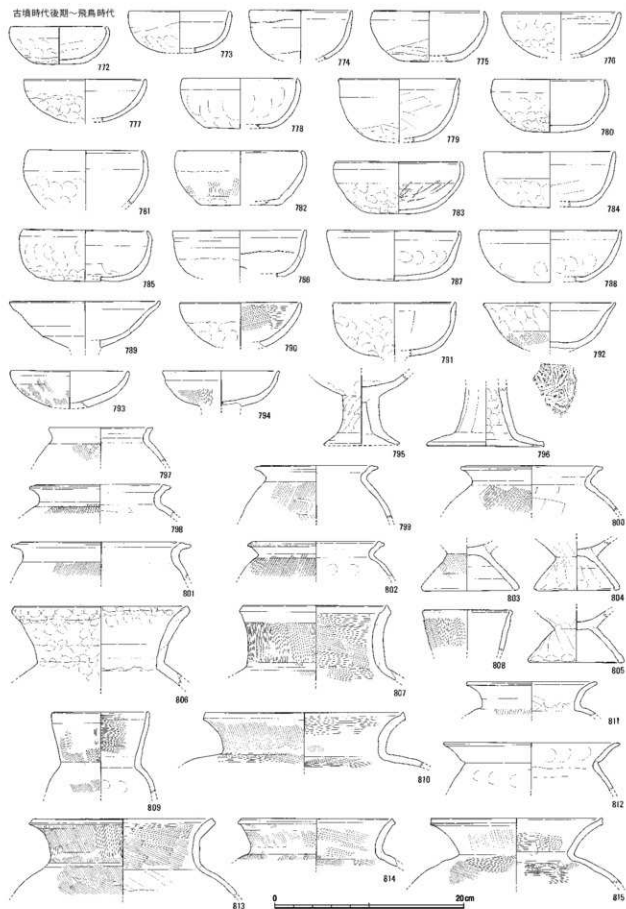
918・919の口縁部内側は肥厚し、920・921の口縁部は短く外側に開く。

923～926は直線的な口縁部をもち、口縁端部の上端が突起する。また、927は体部の一部が、928・929は把手部が残っている。

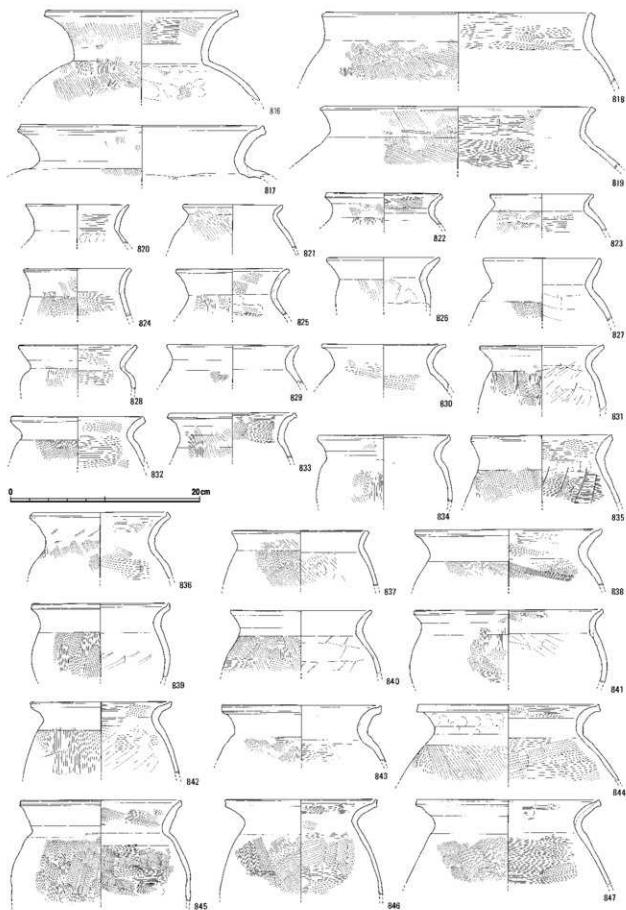
930の底部は厚くつくられている。また、931・932は壺、933は甕の把手部のミニチュア土器と考えられる。

934は太い鉛筆のような形状を呈している。

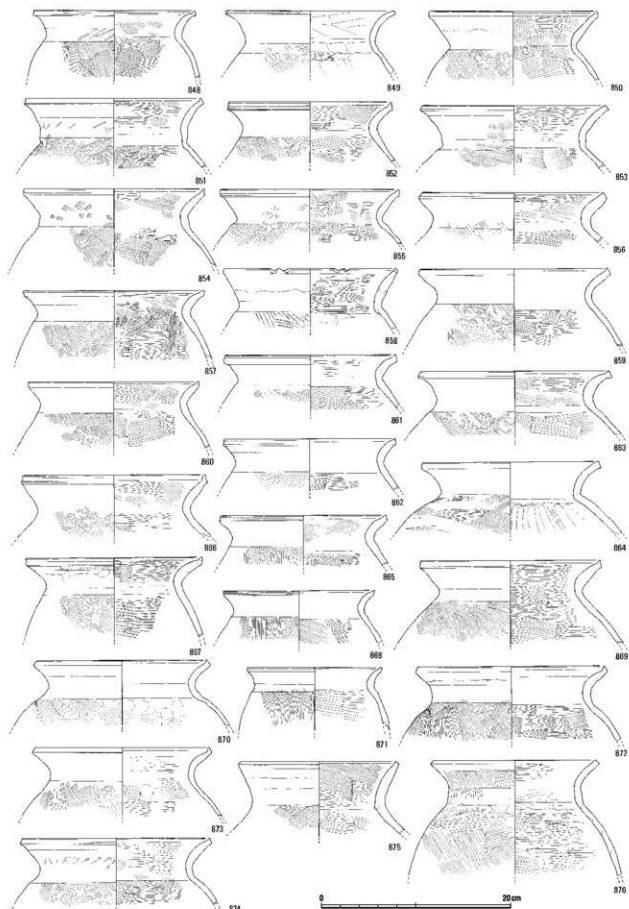
古墳時代後期～飛鳥時代



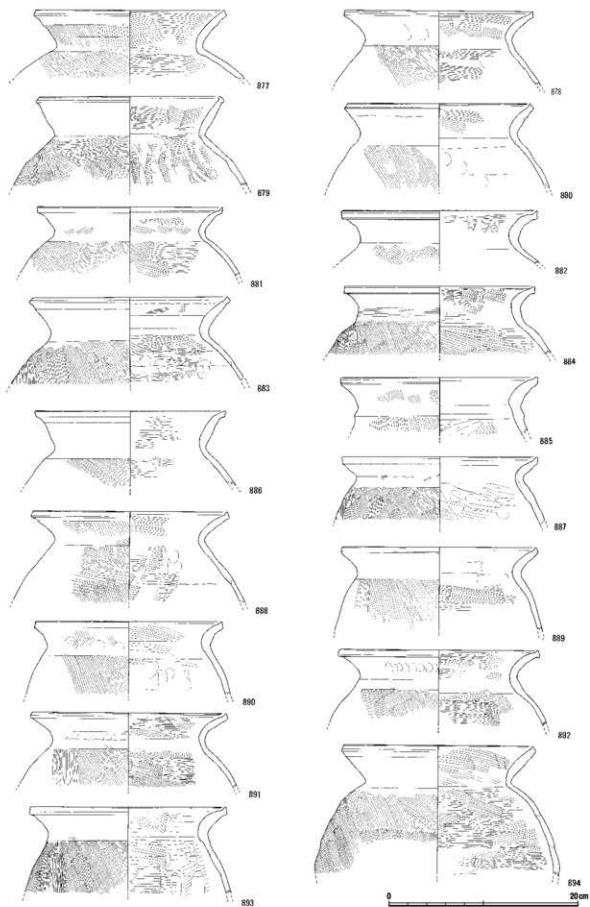
第43図 包含層など出土遺物実測図4 (1:4)



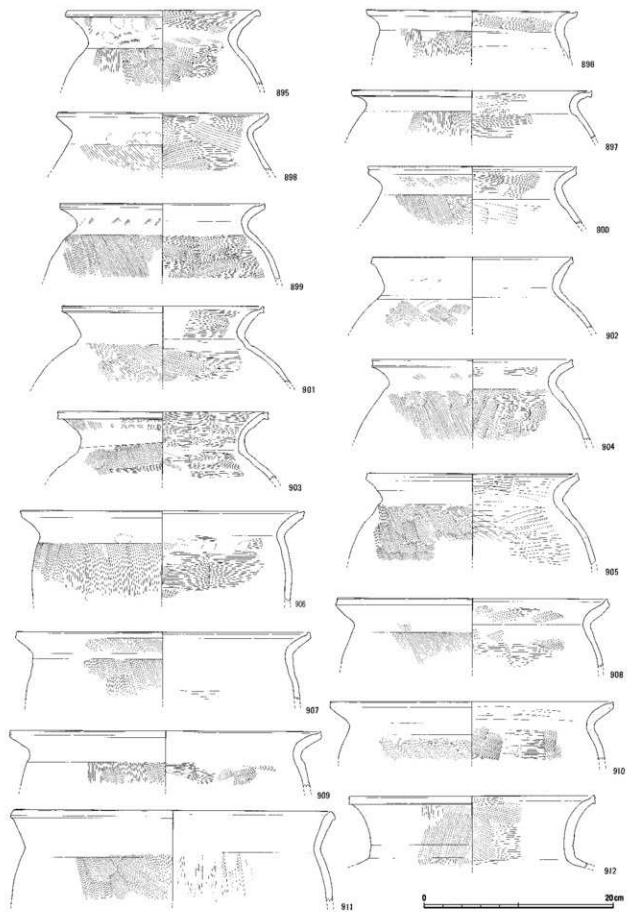
第44図 包含層など出土遺物実測図5 (1:4)



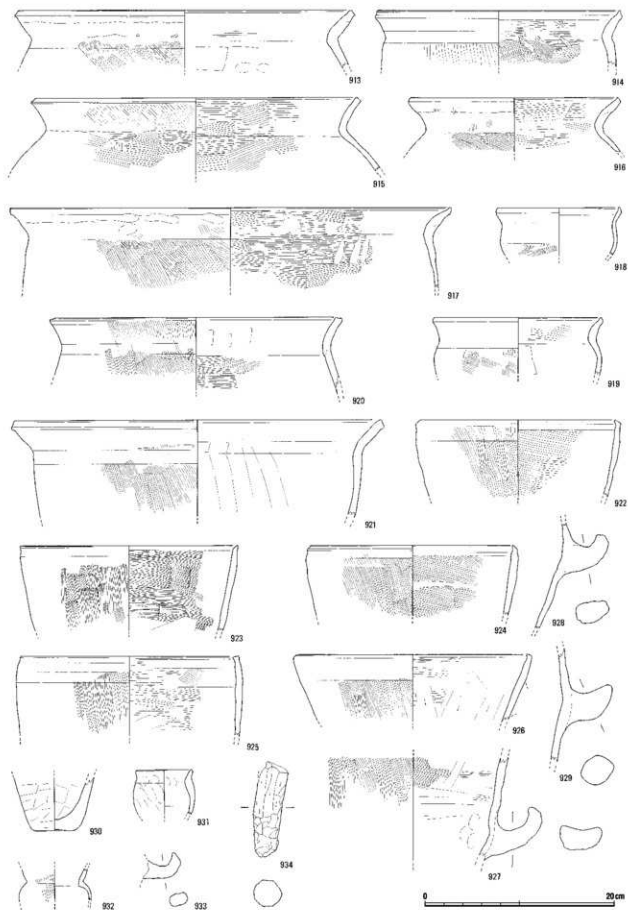
第45図 包含層など出土遺物実測図6 (1:4)



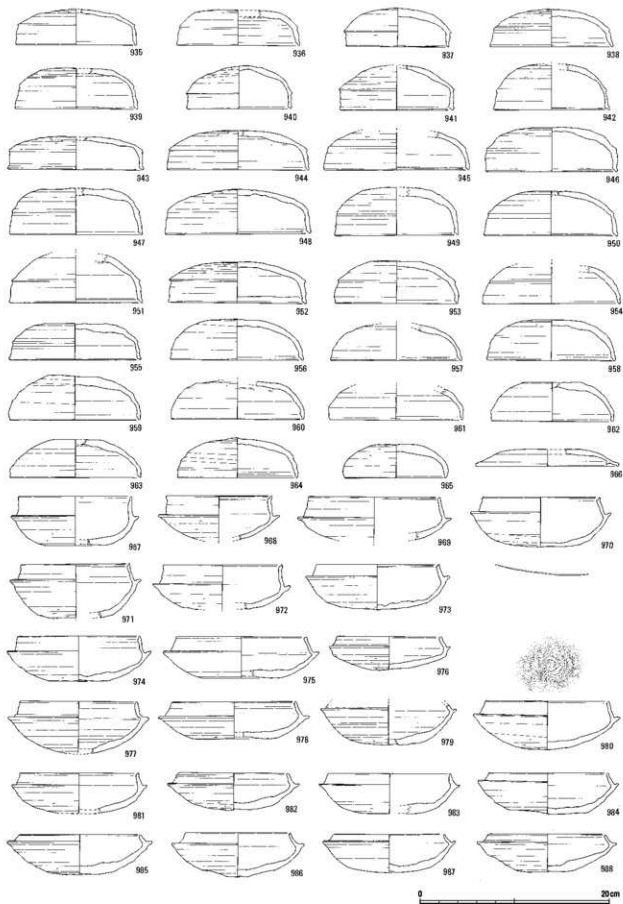
第46図 包含層など出土遺物実測図7 (1:4)



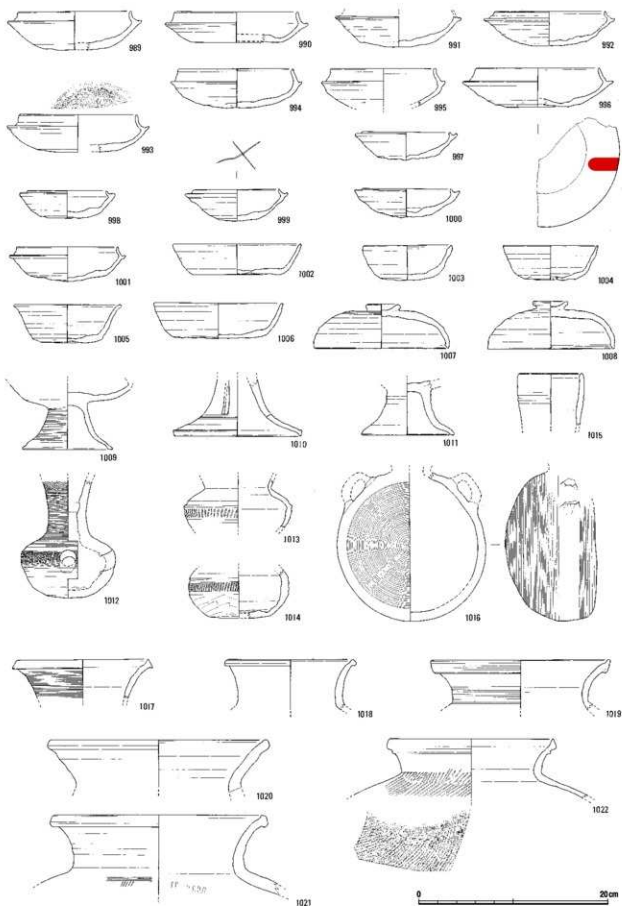
第47図 包含層など出土遺物実測図8 (1:4)



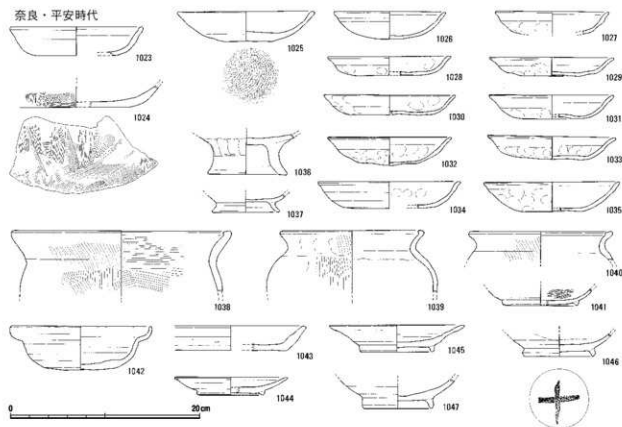
第48図 包含層など出土遺物実測図9 (1:4)



第49図 包含層など出土遺物実測図10 (1:4)



第50図 包含層など出土遺物実測図11 (1:4)



第51図 包含層など出土遺物実測図12 (1:4)

B 須恵器

杯蓋 (935~966) や杯身 (967~1006)・高杯蓋 (1007・1008)・高杯 (1009~1011)・甕 (1012~1014)・提瓶 (1015・1016)・壺 (1017~1020)・甕 (1021・1022) などが出土した。

935~937・939~942はTK47型式に、943~955はTK10型式に、956はTK43型式に、957~960はTK209型式に、961~966はTK217型式にそれぞれ併行すると考えられる。また、938は猿投産と考えられる。これらの内、947の天井部は高く、950・958の天井部外面には自然釉の付着が見られる。また、966は都城分類の杯B蓋に相当する。

967・968はTK47型式に、969~977はTK10型式に、978~980はMT85型式に、981・982はTK43型式に、983~994・996はTK209型式に、997~1006はTK217型式にそれぞれ併行すると考えられる。また、995は猿投産と考えられる。

これらの内、968は小形で受部のたし上がりが高い。970の底部外面にはヘラ記号が、980・993の底部内面には同心円当て具痕が見られる。また、983

の受部は短く、当該期に後続する様相が、988の受部のたし上がりは当該期より新しい様相がうかがわれる。994の受部の端部に段をもつなど当該期より古い様相も見られる。996の底部外面にはベンガラが付着が残存する。997~999は当該期より小形で新しい様相もうかがわれる。1002・1006は都城分類の杯Aに相当する。

1007・1008は有蓋高杯の杯部で、TK209型式に併行すると考えられる。1009・1011は無蓋高杯の、1010は有蓋高杯の脚部と考えられる。

1015の口縁部外面には自然釉が付着し、1016の体部はほぼ残存している。

1017は口縁端部の上端と下端が突起し、1018の口縁端部は丸く収まっている。また、1019・1020は広口壺である。

1022の内外面には自然釉の付着が見られる。

(3) 奈良時代・平安時代の出土遺物
土師器 (1023・1024・1026~1040) やロクロ土師器 (1025)・黒色土器 (1041)・須恵器 (1042・1043)・灰釉陶器 (1044~1047) などが出土した。

1023は皿で、斎宮Ⅰ期第4段階に相当し、奈良時代後期のものと考えられる。また、1024は平底の甕で、奈良時代のものと考えられる。

1025～1035は皿である。1025はロクロ土師器で、斎宮Ⅲ期第2段階に相当し、平安時代後期のものと考えられる。また、1026～1035は斎宮Ⅱ期第4段階に相当し、平安時代中期のものと考えられる。

1036の台付皿と1037の椀は、平安時代後期のものと考えられる。また、1038は甕、1039・1040は鍋で、斎宮Ⅲ期第1段階に相当し、平安時代後期のものと

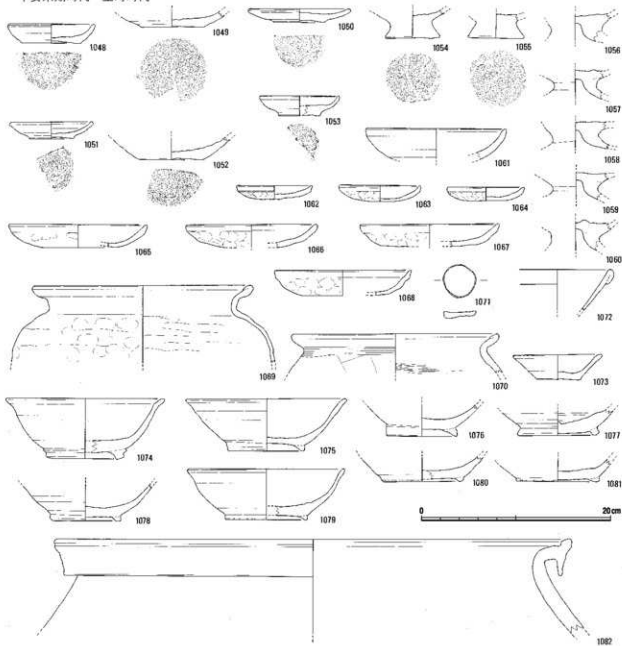
考えられる。

1041は椀で、大川勝宏氏による分類のA類・椀Bに該当し、時期は斎宮Ⅱ期第2段階に相当し、平安時代前期のものと考えられる。

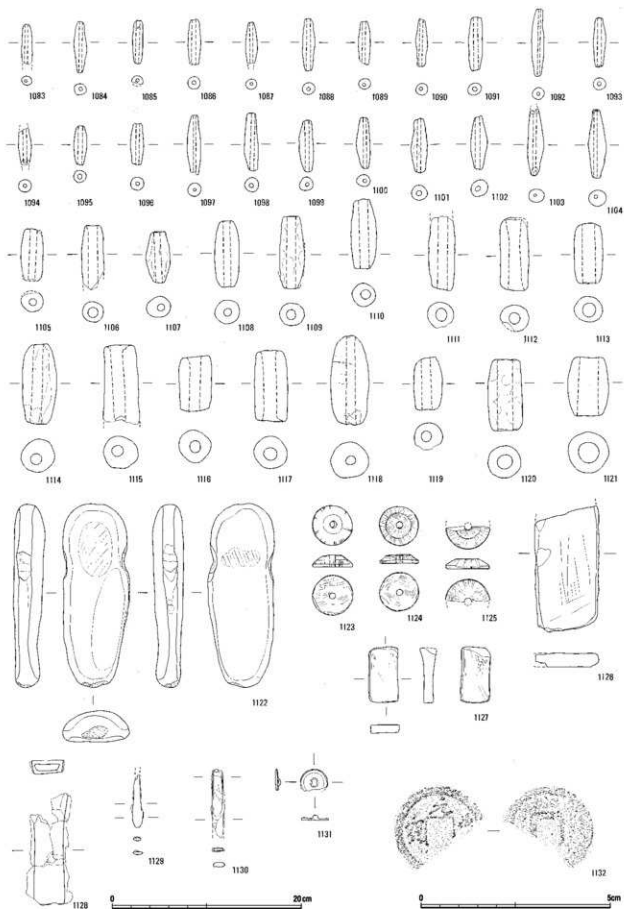
1042は鉢、1043は皿で、奈良時代のものと考えられる。

1044は皿、1045は段皿である。1044は斎藤孝正氏による編年の東山72号窯式に、1045は斎藤編年の折戸53号窯式にそれぞれ相当し、10世紀後半と10世紀前半のものと考えられる。また、1046・1047は椀で

平安末期時代～室町時代



第52図 包含層など出土遺物実測図13 (1:4)



第53図 包含層など出土遺物実測図14 (1 : 4、1132は 1 : 1)

ある。1046の底部外面には「十」の墨書が見られる。斎藤編年の折戸53号窯式に相当し、10世紀前半のものと考えられる。1047は斎藤編年の百代寺窯式に相当し、11世紀前半のものと考えられる。

(4) 平安時代末期から室町時代の出土遺物

ロクロ土師器 (1048~1061) や土師器 (1062~1070) ・加工円盤 (1071) ・磁器 (1072) ・陶器 (1073~1082) などが出土した。

1048・1049・1052は皿、1050・1051は小皿、1053~1055は台付皿、1056~1060は台付椀、1061は椀である。これらは平安時代末期~鎌倉時代初頭のものと考えられる。これらの内、1054と1055は柱状高台をもつ。また、1056~1060の高台部上面には粘土の貼り付け痕が残っている。この様な形態をもつものは非常にめずらしく、当遺跡の特徴と言うことができる。

1062~1064は小皿、1065~1068は皿、1069・1070は鍋である。これらも平安時代末期~鎌倉時代初頭のものと考えられる。これらの内、1069の頸部と1070の外面には煤が付着している。

1071は土師器を加工している。

1072は白磁椀で、横田賢次郎・森田勉氏による磁器分類の白磁椀Ⅳ類に相当し、時期は11世紀中葉~12世紀初頭と考えられる。

1073は山皿、1074~1081は椀である。1073~1078は藤澤編年の第5型式、1079~1081は藤澤編年の第6型式にそれぞれ当たり、12世紀末~13世紀初頭と13世紀前半のものと考えられる。

1082は常滑産の大甕で、14世紀後半のものと考えられる。

上記の1048~1070・1072~1076・1078はB24区の包含層より出土しており、当小地区の周辺に平安時代末期~鎌倉時代初頭の遺構が存在する可能性も考えられる。

(5) その他の出土遺物

A 土錘

土師質のもの (1083~1120) と陶質もの (1121) に分けられる。

1083・1088・1100・1101・1119は細辻分類の寸胴型a類に、1084~1087・1089~1099・1102・1103は樽型a類に、1104は提灯型a類に、1105・1106・

1108・1111~1113・1115・1117・1120は寸胴型b類に、1107・1109・1100・1114・1118は樽型b類に、1116は寸胴型c類に、1121は樽型c類にそれぞれ該当すると考えられる。

B 石製品

敲石 (1122) や石製紡錘車 (1123~1125) ・砥石 (1126・1127) が出土した。

1122は砂岩製で、下辺部に敲打痕が見られる。1123~1125は滑石製で、國下多美樹氏による分類のIb類に該当すると考えられる。

1126は5面に、1127は6面に使用痕が認められる。

C 金属製品

鉄斧 (1128) や工具 (1129) ・鉄鏃 (1130) ・素文鏡 (1131) ・鉄貨 (1132) が出土した。

1128は鋳造製品と考えられる。県内での出土例は少なく、津市雲出島貫道遺跡や一志郡崎野町小谷13号墳・名張市土山遺跡・同市わき塚1号墳などから出土している。

1129・1130は頸部のみ残存している。

1131は径2.8cmの小形のもので、鏽孔は長方形を呈している。県内では、名張市土山遺跡などから出土している。また、高倉洋彰氏はこの様な6cmに満たない面径の小鏡を儀鏡と呼び、古墳副葬鏡とは別の祭祀具と性格づけている。

1132は渡来銭で、北宋の「元豊通宝」である。

(奥野 実)

(註)

- ① 以下、陶器編年については、下記の文献による。
田辺昭三『須恵器大成』(角川書店、1981年)。
- ② 以下、S字状口縁台付甕の分類については、下記の文献による。
山田 猛「4 結語」(『山城遺跡・北瀬古遺跡』、三重県埋蔵文化財センター、1994年)。
- ③ 西村美幸『曾谷崎遺跡発掘調査』(三重県埋蔵文化財センター、1996年)。
- ④ 以下、土錘の形態分類については、下記の文献による。
羅辻真澄「任海宮田遺跡出土の土錘について」(『富山考古学研究-紀要第4号-』、財団法人 富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所、2001年)。
- ⑤ 小沢 洋「上総地域の鬼高式土器」(『考古学ジャーナル』第342号、ニューサイエンス社、1992年)。

- ⑥ 新名 強「道瀬遺跡（第2次）発掘調査報告」（三重県埋蔵文化財センター、2000年）。
- ⑦ 杉山秀宏「古墳時代の鉄器について」（『権原考古学研究所論集第八』、吉川弘文館、1988年）。
- ⑧ 以下、斎宮跡の土器編年については、下記の文献による。
泉 雄二「斎宮跡の土器様相」（『記念シンポジウム「斎宮の土器・みやこの土器」資料集』、斎宮歴史博物館、2000年）。
斎宮歴史博物館編「斎宮の土器・みやこの土器」（『斎宮歴史博物館研究紀要十』、斎宮歴史博物館、2001年）。
- ⑨ 以下、南伊勢系の土師器皿の編年については、下記の文献による。
伊藤裕偉「多気遺跡群発掘調査報告」（三重県埋蔵文化財センター、1993年）。
伊藤裕偉「岩出地区内遺跡群発掘調査報告」（三重県埋蔵文化財センター、1996年）。
- ⑩ 以下、南伊勢系の土師器鍋の編年については、下記の文献による。
伊藤裕偉「中世南伊勢系の土師器に関する一試論」（『Mie history』vol.1、三重歴史文化研究会、1990年）。
伊藤裕偉「伊勢の中世煮湯用土器から東海を見る」（『鍋と箸そのデザイン』、東海考古学フォーラム尾張大会実行委員会、1996年）。
- ⑪ 以下、藤澤編年については、下記の文献による。
藤澤良祐「山茶碗と中世集落」（『尾呂』本文編、瀬戸市教育委員会、1990年）。
- ⑫ 以下、島貫編年については、下記の文献による。
川崎志乃「古墳時代前期の雲出島貫遺跡」（『嶋技Ⅲ』、三重県埋蔵文化財センター、2001年）。
- ⑬ 註⑩に同じ。
- ⑭ 上記の須恵器の観察に際しては、浅生卓司氏の助言を得た。
- ⑮ 以下、都城分類については、下記の文献による。
古代の土器研究会編『古代の土器Ⅰ 都城の土器集成』（1992年）。
- ⑯ 大川勝宏「斎宮の黒色土器—供膳形態を中心に—」（『斎宮歴史博物館研究紀要二』、斎宮歴史博物館、1993年）。
- ⑰ 以下、斎藤編年については、下記の文献による。
斎藤孝正「東海地方の施輪陶器生産—猿投窯を中心に—」（『古代の土器研究—律令的土器様式の西東—3』、古代の土器研究会、1994年）。
- ⑱ 横田賢次郎・森田 勉「大宰府出土の輸入中国陶磁器について」（『九州歴史資料館研究論集4』、九州歴史資料館、1978年）。
- ⑲ 赤羽一郎・中野晴久「中世常滑焼の生産地編年」（『常滑焼と中世社会』、小学館、1995年）。
- ⑳ 國下多美樹「京都府下の紡錘車について」（『京都考古』第50号、京都考古刊行会、1988年）。
伊藤裕偉・川崎志乃「嶋技Ⅲ」（三重県埋蔵文化財センター、2001年）。
発掘調査担当者の大川操氏の御教示による。
- 以下、土山遺跡の調査概要については、下記の文献による。
水口昌也・門田了一「土山遺跡」（『名張市遺跡調査概要』、名張市教育委員会、1978年）。
森 浩一・森川桜男・石部正志・田中英夫・堀田啓一「三重県わか塚古墳の調査」（『古代学研究』第66号、古代学研究会、1973年）。
高倉洋彰「儀鏡の誕生」（『考古学ジャーナル』第446号、ニューサイエンス社、1999年）。
永井久美男編『日本出土銭総覧 1996年版』（兵庫県埋蔵文化財調査会、1996年）。

番号	発掘番号	層様	出土位置		計測値 (cm)		調整・技法の特徴	胎土	地味	色調	現存度	備考
			地区	遺構	口径	高さ						
1	904	土師器 高杯	E6	SI29			外:ナデ・ハケム・ヨコナデ 内:ヨコナデ・ハケム・ナデ	やや密	良	淡黄褐色	脚部完存	緑色胎土
2	1804	土師器	E6	SI29	12.8		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム・ナデ	やや密	良	淡黄褐色	口縁部 1/4	
3	2003	土師器	E6	SI29	18.8		外:ハケ後ヨコナデ・ハケム 内:ハケ後ヨコナデ・ハケム	やや密 ～4mmの小石含む	良	淡黄褐色・にぶい黄褐色・灰青色	口縁部 1/4	
4	1501	土師器	E7	SI29	18.2		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや粗 ～2mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色	口縁部 3/4	
5	1502	土師器	E7	SI29	19.6		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密 ～1mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色・灰黄褐色	口縁部 3/4	
6	1802	土師器	E6	SI29	19.2		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密	良	淡黄褐色	口縁部 1/4	
7	2201	土師器	D7	SI29	14.8		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密	良	淡黄褐色・にぶい黄褐色・灰青色	口縁部 1/8	
8	1901	土師器	E7	SI29	22.3		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密 ～2mmの砂粒含む	良	淡黄褐色・灰白色・淡灰色	口縁部 1/8	
9	1905	須恵器 杯身	E6	SI29	13.6	5.4	外:ロクロナデリ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密	良	灰色	ほぼ完存	
10	1903	須恵器 杯身	E6	SI29	1.6	4.1	外:ロクロナデリ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密	良	灰色		1/4
11	2202	須恵器 杯身	E6	SI29	12.3	5.1	外:ロクロナデリ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密	良	灰黄色・淡黄褐色・灰白色		3/4
12	1904	須恵器 杯身	E7	SI29	12.2	5.1	外:ロクロナデリ・ロクロナデ 内:ロクロナデ。縁内側で貝類	やや密	良	灰色・灰白色		1/2
13	1902	須恵器	E7	SI29	14.9		外:ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密	良	灰色		口縁部 1/4
14	3802	土師器 杯	E5	SI36	12.5		外:ヨコナデ・オサエ 内:ヨコナデ・ナデ	やや密 ～1mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
15	605	土師器 杯	E5	SI36	12.7		外:ヨコナデ・オサエ・ナデ 内:ヨコナデ・工具ナデ	やや密 ～1.5mmの砂粒含む	並	外:褐色 内:明黄褐色		3/4
16	4202	土師器 杯	E5	SI36	13		外:ヨコナデ・オサエ・ナデ 内:ヨコナデ・ナデ	やや密	良	褐色・灰黄褐色	ほぼ完存	外面に椀付者
17	3805	土師器 高杯	D5	SI36	底径 8		外:工具ナデ・ヨコナデ 内:ヨコナデ・オサエ・ナデ	やや密 ～1.5mmの砂粒含む	並	褐色	脚部 1/4	
18	3804	土師器 にじり土師器	E5	SI36			外:ヨコナデ・ナデ 内:ヨコナデ	やや密 ～1mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色		小片
19	4102	土師器 台付盤	E5	SI36	13.2		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ナデ	やや粗 1～2mmの砂粒含む	良	外:淡黄褐色 内:淡黄褐色・灰白色	口縁部 1/2	
20	3903	土師器	E5	SI36	11.9		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム・ナデ	やや密 1～2mmの砂粒含む	良	淡黄褐色	口縁部 1/4	
21	3601	土師器	D5	SI36	9.4	12.2	外:ヨコナデ・ハケム・ナデ 内:ヨコナデ・工具ナデ	やや密	良	にぶい褐色・淡黄褐色・ 褐色		1/2
22	3102	土師器	E5	SI36	14.2		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密	並	にぶい褐色・灰黄褐色	口縁部 1/2	
23	4201	土師器	E5	SI36	15		外:ヨコナデ・ハケム 内:ハケ後ヨコナデ・ハケム	やや密	良	淡黄褐色・淡黄色	口縁部 1/2	
24	3203	土師器	D5	SI36	15.8		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密	良	にぶい褐色・にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
25	3403	土師器	E5	SI36	16.6		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム・ナデ	やや粗 1～2mmの砂粒含む	良	淡黄褐色	口縁部 1/4	
26	3105	土師器	E5	SI36	17.4		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや粗 ～1.5mmの砂粒含む	良	淡黄褐色	口縁部 1/4	
27	4506	土師器	D5	SI36			外:オサエ・ナデ・ハケム 内:工具ナデ	並 ～2.5mmの砂粒含む	並	淡黄褐色	底部片	
28	3701	土師器	D5	SI36	18.5		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム・オサエ・ナデ	やや粗 ～1.5mmの砂粒含む	並	淡黄褐色・にぶい褐色	口縁部 1/2	
29	3204	土師器	D5	SI36	20.4		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密	良	外:褐色・にぶい褐色 内:褐色・灰黄褐色	口縁部 1/2	
30	3901	土師器	E5	SI36	28.2		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや粗 1～3mmの砂粒含む	良	にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
31	3101	土師器	E5	SI36	18		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密	良	淡黄褐色・にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
32	3401	土師器	E5	SI36	18.8		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密	良	にぶい褐色・灰黄褐色	口縁部 1/4	
33	28701	土師器	D5	SI36	32.2		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや粗 ～2.5mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色	口縁部 1/2	
34	3801	土師器	E5	SI36	21.3		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや粗 ～1mmの砂粒含む	並	淡黄褐色	口縁部 1/4	
35	4101	土師器	E5	SI36	29.2		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密	良	淡黄褐色	口縁部 1/4	
36	3402	土師器	E5	SI36	19.8		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや粗 1～2mmの砂粒含む	良	淡黄褐色	口縁部 1/4	内面に粘土 積合層
37	4001	土師器	E5	SI36	29.2		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム後ケズリ	やや粗 1～2mmの砂粒含む	良	淡黄褐色	口縁部 1/8	
38	4002	土師器	E5	SI36	14.4		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム・ハケ後ケズリ	やや粗 1～3mmの砂粒含む	良	淡黄褐色・にぶい黄褐色・ 灰黄褐色		1/4
39	3602	土師器	E5	SI36	15		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム・ケズリ	やや粗 1～2mmの砂粒含む	良	淡黄褐色		1/2
40	401	土師器	E5	SI36	13.8	17.9	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・オサエハケ・ナデ・オサエ	やや粗 ～2.5mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色	完存	外面に椀付者

第4表 出土遺物観察表1

番号	発見番号	品類	出土位置		深さ (cm)		調整・技法の特徴	胎土	肌色	色調	残存度	備考
			地区	遺構	口径	底高						
41	3902	土師器 壺	E5	SH36	29.2		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密	良	外:灰黄褐色 内:黄褐色	口縁部 1/8	
42	3501	土師器 壺	D6	SH36	18.4		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや粗 1~2mmの砂粒含む	良	黄褐色・褐色	口縁部 1/4	内外面に煤 付着
43	3502	土師器 鉢	E5	SH36	25.1		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密	良	外:赤褐色・黄褐色 内:赤褐色	口縁部 1/8	
44	3201	須恵器 杯蓋	E5	SH36	13.8	4.4	外:ロクワズリ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密	良	外:黄褐色 内:灰黄色	1/4	
45	3706	須恵器 杯蓋	D5	SH36	1.4		外:ロクワズリ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや粗 ~2.5mmの砂粒含む	良	灰色	1/4	
46	3704	須恵器 杯蓋	D5	SH36	13.2	4.7	外:ロクワズリ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	良	灰色	1/2	
47	3202	須恵器 杯蓋	D5	SH36	13.8		外:ロクワズリ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密 ~2mmの砂粒含む	良	灰色	1/4	
48	4104	須恵器 杯蓋	E5	SH36	1.4	5.1	外:ロクワズリ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密	差	褐色・灰白色	1/4	
49	3103	須恵器 杯蓋	E5	SH36	14.9		外:ロクワズリ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密	不具	黄褐色	口縁部 1/4	
50	4303	須恵器 杯蓋	E5	SH36	9.1		外:ロクワズリ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	差	良	灰白色・灰オリーブ色	1/2	
51	3604	須恵器 杯蓋	E5	SH36	12.7		外:ロクワズリ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや粗 1~2mmの砂粒含む	良	灰褐色	口縁部 1/4	
52	4301	須恵器 杯蓋	E5	SH36	11.8	5.3	外:ロクワズリ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密	良	灰褐色	1/2	
53	3603	須恵器 杯蓋	D6	SH36	12.1	5.1	外:ロクワズリ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや粗 1~3mmの砂粒含む	良	灰褐色	1/2	
54	3705	須恵器 杯蓋	D5	SH36	11.6	4.9	外:ロクワズリ・ロクロナデ 内:ロクロナデ・ナデ	やや粗 ~2.5mmの砂粒含む	良	灰褐色	1/2	
55	4204	須恵器 杯蓋	E5	SH36	12.1		外:ロクワズリ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密	良	黄褐色	1/2	
56	4302	須恵器 杯蓋	E5	SH36	13.6		外:ロクワズリ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密 微砂粒含む	不具	外:灰オリーブ色 内:にじみ褐色	1/2	
57	4203	須恵器 杯蓋	E5	SH36	10.8	4.1	外:ロクワズリ・ロクロナデ・ハタ切り 内:ロクワズリ・陶心付で具腿	やや粗 ~3mmの砂粒含む	良	灰褐色・黄褐色	1/2	
58	603	須恵器 杯蓋	E5	SH36	12.2	4.4	外:ロクワズリ・ロクロナデ・ハタ切り 内:ロクワズリ	やや密	差	外:褐色 内:黄褐色	1/4	
59	3803	須恵器 短頸壺	E5	SH36	10.7		外:ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密 ~2mmの砂粒含む	良	灰褐色	口縁部 1/8	
60	602	須恵器 短頸壺	E5	SH36	10.1	8.6	外:ロクワズリ・ロクロナデ 内:ロクロナデ・ナデ	やや粗	良	黄褐色・灰黄色	1/2	
61	402	土師器 杯	D12	SH42	12.2	4.8	外:ヨコナデ・ナデ・オサエ 内:ヨコナデ・工具ナデ	やや粗 ~1.5mmの砂粒含む	差	褐色	3/4	
62	4403	土師器 杯	D12	SH42	14.4		外:ヨコナデ・オサエ後ヨコナデ・オサエ 内:ヨコナデ・工具ナデ	差 ~1mmの砂粒含む	差	褐色	口縁部 1/8	
63	4407	土師器 杯	E13	SH42	12		外:ヨコナデ・ナデ・オサエ 内:ヨコナデ・ナデ	やや粗 ~1mmの砂粒含む	差	にじみ褐色	1/2	
64	4603	土師器 台付壺	D12	SH42	10.9	16.3	外:ヨコナデ・ハケム・ナデ・オサエ・ナデ 内:ヨコナデ・オサエ・ナデ	やや密 ~1.3mmの砂粒含む	良	外:赤褐色・にじみ褐色 内:黄褐色・黄褐色・褐色	1/3	
65	4602	土師器 台付壺	D12	SH42	12		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・オサエ・タテナデ	やや密 ~1.2mmの砂粒含む	良	外:黄褐色・にじみ褐色 内:灰白色・黄褐色	口縁部 1/2	
66	4904	土師器 台付壺	D12	SH42	底径 9.7		外:工具ナデ・ヨコナデ 内:ヨコナデ・オサエ・ナデ	やや粗 ~3mmの砂粒含む	良	外:黄褐色・にじみ褐色 内:にじみ褐色・にじみ褐色	口縁部 1/4	脚部 空存
67	4503	土師器 壺	E12	SH42	11		外:ヨコナデ・ナデ 内:ヨコナデ・ハケム・ナデ	やや粗 ~3mmの砂粒含む	差	にじみ黄褐色	口縁部 1/4	
68	4901	土師器 壺	D12	SH42	19		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや粗 ~3mmの砂粒含む	良	黄褐色・にじみ黄褐色	口縁部 3/8	
69	4801	土師器 壺	D12	SH42	14.5		外:ヨコナデ・ハケム 内:ハタ後ヨコナデ・ハケム	やや密	良	褐色・黄褐色	口縁部 1/2	
70	4903	土師器 壺	E13	SH42	16		外:ヨコナデ・ナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム・工具痕	やや粗 ~1mmの砂粒含む	良	外:黄褐色・にじみ褐色 内:黄褐色・黄褐色	口縁部 1/4	
71	4705	土師器 壺	D12	SH42	12.5		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム・ケズリ	やや密	良	外:黄褐色・にじみ褐色 内:黄褐色	1/4	
72	4902	土師器 壺	D12	SH42	19		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや粗 ~2mmの砂粒含む	良	外:褐色・にじみ褐色 内:褐色	口縁部 3/8	
73	4405	土師器 壺	D12	SH42	18.7		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ナデ	やや粗 ~2mmの砂粒含む	差	黄褐色	口縁部 1/4	
74	4803	土師器 壺	D12	SH42	18.8		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密	良	黄褐色・褐色	口縁部 1/4	
75	4805	土師器 壺	D12	SH42	14.4		外:ヨコナデ・ハケム 内:ハタ後ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや密	良	黄褐色	口縁部 1/4	
76	5001	土師器 壺	D12	SH42	13		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密 ~1mmの砂粒含む	良	外:にじみ褐色・黄褐色 内:にじみ褐色・黄褐色	口縁部 1/4	
77	4802	土師器 壺	D12	SH42	29		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密	良	外:にじみ黄褐色 内:にじみ黄褐色	1/4	内面に煤上 積層
78	4501	土師器 鉢	D13	SH42			外:ヨコナデ・ハケム・ナデ 内:ヨコナデ・ハケム・工具ナデ	やや密 ~2mmの砂粒含む	差	にじみ褐色	口縁部 1/4	
79	5102	土師器 壺	D12	SH42	19		外:ヨコナデ・ハタ後ナデ 内:ヨコナデ・ハタ後ナデ	やや粗 ~1mmの砂粒含む	良	外:黄褐色・にじみ褐色 内:にじみ褐色・黄褐色	口縁部 1/8	
80	4804	土師器 壺	D12	SH42	31.4		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密	良	黄褐色・にじみ黄褐色	口縁部 1/4	

第5表 出土遺物観察表2

番号	実測番号	層種	出土位置		計測値 (cm)	調査・技法の特徴	出土	地成	色調	残存度	備考	
			地区	遺構								口径
81	5002	土師器	D12	SH42	28	外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ	やや粗 ～2mmの砂粒含む	良	外:にじみ褐色 内:にじみ褐色、にじみ褐色	口縁部 1/8		
82	17501	土師器	D13	SH42		外:ナデ、工具ナデ、オサエ 内:ナデ	やや粗	良	にじみ褐色	縁部片		
83	4502	土師器 びょう土師	D13	SH42	8.5	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ、ナデ	やや粗 ～1mmの砂粒含む	並	灰黄褐色	口縁部 1/8		
84	4703	土師器 杯蓋	E12	SH42	10.9	4.5	外:ロクワズリ、ロクロナデ 内:ロクロナデ	並	良	灰白色・灰色	1/2	
85	404	土師器 杯蓋	D12	SH42	11.8	4.0	外:ロクワズリ、ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや粗 ～1.5mmの砂粒含む	良	灰色	ほぼ 完存	
86	4504	土師器 杯蓋	E13	SH42	11.6	4.4	外:ロクワズリ、ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや粗 ～1.5mmの砂粒含む	良	灰色	ほぼ 完存	
87	4704	土師器 杯蓋	D12	SH42	11.8		外:ロクワズリ、ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや粗	良	灰色	1/2	
88	4406	土師器 杯蓋	D12	SH42	10.6	4.8	外:ロクワズリ、ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや粗 ～2mmの砂粒少し含む	良	灰色	1/2	
89	4701	土師器 杯蓋	D12	SH42	9.1	4.6	外:ロクワズリ、ロクロナデ 内:ロクロナデ、ナデ	並	良	灰色	1/2	底部外面に へく足跡
90	4702	土師器 蓋	D13	SH42	11.6		外:ロクロナデ、縦状文 内:ロクロナデ	並	良	灰色	口縁部 1/4	内面に自然 軸付
91	4505	土師器 蓋	E13	SH42	20.8		外:ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや粗 ～1.5mmの砂粒含む	不良	灰色	口縁部 1/4	
92	501	土師器 蓋	E12	SH42	17.1	22.9	外:ロクロナデ、タタテ 内:ロクロナデ、ナデ、オサエ、 横筋、ロクロナデ	やや粗 ～2mmの砂粒少し含む	良	灰色	完存	
93	6903	土師器 杯	D18	SH52	11.8	4.9	外:ヨコナデ、ナデ、オサエ 内:ヨコナデ、ナデ	やや粗	良	外:褐色 内:浅黄褐色	1/8	
94	6902	土師器 杯	E18	SH52	12.3	4.9	外:ヨコナデ、ナデ、ケズリ 内:ヨコナデ、ナデ	やや粗 1～2mmの砂粒含む	良	褐色・赤灰色	1/2	
95	6506	土師器 杯	E18	SH52	14.4		外:ヨコナデ、ケズリ 内:ヨコナデ、ナデ	やや粗 ～1mmの砂粒含む	並	にじみ黄褐色	口縁部 1/4	
96	6102	土師器 高杯	E18	SH52	15.3	9.6	外:ヨコナデ、オサエ、ナデ、縦筋ナデ 脚部内:シボリ、ヨコナデ 杯内:ヨコナデ、ナデ	やや粗 微砂含む	良	褐色	3/4	
97	6804	土師器 高杯	D18	SH52	12.2	9.6	外:ヨコナデ、工具ナデ、ヨコナデ、ナデ 脚部内:ヨコナデ、ナデ 杯内:ヨコナデ、ナデ	やや粗	良	褐色	ほぼ 完存	
98	6001	土師器 高杯	D18	SH52	縦径 9		外:ナデ、縦筋ナデ、ヨコナデ 脚部内:ヨコナデ、シボリ 杯内:ナデ	やや粗	良	褐色	脚部 完存	胎土が硬質
99	6201	土師器 高杯	E18	SH52	16.7		外:ヨコナデ、ナデ、タテナデ、ヨコナデ 脚部内:シボリ 杯内:ヨコナデ、ナデ	やや粗 ～3mmの砂粒含む	良	外:明褐色、にじみ黄褐色 内:明褐色	1/4	胎土が硬質
100	6905	土師器 高杯	E18	SH52			外:工具ナデ、ヨコナデ 脚部内:ヨコナデ、シボリ	やや粗	良	褐色	脚部 完存	胎土が硬質
101	6205	土師器 高杯	E18	SH52	縦径 8.7		外:縦筋ナデ、ナデ、ヨコナデ 脚部内:ヨコナデ、ナデ、シボリ	粗 ～3mmの砂粒含む	良	褐色	脚部 完存	胎土が硬質
102	6904	土師器 高杯	E18	SH52	縦径 8.6		外:ナデ、ヨコナデ 脚部内:ヨコナデ、工具ナデ、シボリ	やや粗 1～2mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	脚部 1/8	
103	6702	土師器 高杯	D18	SH52	縦径 9.8		外:オサエ、ヨコナデ 脚部内:ヨコナデ、シボリ	やや粗 ～2mmの砂粒含む	並	褐色	脚部 1/2	胎土が硬質
104	6303	土師器 高杯	E18	SH52	縦径 2.4		外:ナデ、タテナデ、ナデ 脚部内:ナデ、シボリ	やや粗 ～2mmの砂粒含む	良	外:にじみ褐色、灰黄褐色 内:にじみ黄褐色	脚部 完存	
105	6404	土師器 高杯	E18	SH52	縦径 9		外:タテナデ、ヨコナデ 脚部内:ヨコナデ、シボリ	やや粗 ～4mmの小石含む	並	外:褐色 内:にじみ褐色、褐色	脚部 完存	胎土が硬質
106	6305	土師器 高杯	E18	SH52	縦径 10.4		外:タテナデ、ナデ、ヨコナデ 脚部内:ヨコナデ、ナデ、シボリ	粗 ～4mmの小石含む	並	外:褐色、明褐色 内:にじみ褐色・褐色	脚部 完存	胎土が硬質
107	6701	土師器 高杯	D18	SH52	縦径 9.1		外:工具ナデ、ヨコナデ 脚部内:ヨコナデ、ナデ、シボリ	やや粗 ～2mmの砂粒含む	並	褐色	脚部 完存	胎土が硬質
108	6302	土師器 高杯	E18	SH52	縦径 9		外:タテナデ、ナデ、ヨコナデ 脚部内:ヨコナデ、ナデ、シボリ	やや粗 ～4mmの小石含む	並	褐色	脚部 完存	胎土が硬質
109	6304	土師器 高杯	E18	SH52	縦径 9.7		外:タテナデ、ナデ、ヨコナデ 脚部内:ヨコナデ、ナデ、シボリ	やや粗 ～3mmの砂粒含む	並	外:にじみ褐色 内:にじみ褐色、灰褐色	脚部 1/4	胎土は非常に 硬質
110	6401	土師器 高杯	E18	SH52	縦径 9.5		外:ナデ、タテナデ、ヨコナデ 脚部内:ヨコナデ、ナデ、シボリ	やや粗 ～4mmの小石含む	並	外:にじみ褐色、灰褐色 内:褐色、灰褐色	脚部 1/8	胎土は非常に 硬質
111	6403	土師器 高杯	D18	SH52	縦径 2.5		外:タテナデ、ナデ 脚部内:ナデ、シボリ	やや粗 ～1mmの砂粒含む	良	褐色	脚部 完存	胎土が硬質
112	6204	土師器 高杯	E18	SH52	縦径 9		外:縦筋ナデ、ナデ、ヨコナデ 脚部内:ヨコナデ、ナデ、シボリ	やや粗 ～3mmの砂粒含む	並	外:褐色 内:明褐色、褐色	脚部 完存	胎土が硬質
113	6301	土師器 高杯	E18	SH52	縦径 9		外:タテナデ、ナデ、ヨコナデ 脚部内:ヨコナデ、ナデ、シボリ	やや粗 ～2mmの砂粒含む	並	外:にじみ褐色、灰褐色 内:褐色、灰褐色	脚部 完存	胎土は非常に 硬質
114	6402	土師器 高杯	D18	SH52	縦径 3		外:タテナデ、ハケメ、ヨコナデ 脚部内:ナデ、シボリ	やや粗 ～3mmの砂粒含む	良	褐色	脚部 完存	
115	6704	土師器 高杯	D18	SH52			外:タテナデ、ハケメ、ヨコナデ 脚部内:ナデ、オサエ、ナデ	やや粗 ～3mmの砂粒含む	並	褐色	脚部 1/4	
116	6707	土師器 台付甕	D18	SH52			外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ナデ	やや粗 ～1.5mmの砂粒含む	並	にじみ褐色	口縁 部片	
117	6505	土師器 蓋	D18	SH52	15.2		外:ヨコナデ 内:ヨコナデ	やや粗 ～1.5mmの砂粒含む	並	にじみ黄褐色	口縁部 1/4	
118	6101	土師器 蓋	E18	SH52	15.3		外:ヨコナデ、ナデ 内:ヨコナデ、ナデ	やや粗 ～3mmの砂粒含む	良	にじみ褐色、にじみ 褐色	口縁部 3/4	
119	6507	土師器 鉢	E18	SH52	11.5		外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ナデ、工具	やや粗 ～3mmの砂粒含む	並	褐色	口縁部 1/4	外面に胎土 接合
120	7101	土師器 鉢	E18	SH52	24.8		外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ、ナデ	やや粗	良	外:浅黄褐色、黄褐色 内:にじみ黄褐色	口縁部 1/4	

第6表 出土遺物観察表3

番号	実測番号	器種	出土位置 地区 遺構	口径 口径	器高 器高	調色・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考	
121	6801	土師器 壺	D18	SH52	19.3	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 1~2mmの砂粒含む	中	浅黄褐色	口縁部 3/4		
122	6802	土師器 壺	E18	SH52	18.5	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗	良	浅黄褐色	口縁部 1/4		
123	6004	土師器 壺	E18	SH52	9.7	外:ヨコナデ・ハケメ・ケズリ 内:ヨコナデ・上具ナデ	やや粗	良	にぶい黄褐色・褐色	1/4		
124	6601	土師器 壺	D18	SH52	17.9	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 ~1.5mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色	口縁部 1/4		
125	6202	土師器 壺	E18	SH52	24	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	粗 ~3mmの小石を含む	良	にぶい褐色	口縁部 1/8		
126	6003	土師器 壺	D18	SH52	19.9	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ハケ梅ヨコナデ・ハケメ	やや粗	良	灰黄色・灰白色	口縁部 1/2		
127	6803	土師器 口付土師 壺	E18	SH52		外:ヨコナデ・ナデ 内:ヨコナデ・ナデ	やや粗	良	褐色	口縁 部7/8		
128	6906	土師器 口付土師 壺	E18	SH52	6	外:ヨコナデ・ナデ 内:ヨコナデ・ナデ	やや粗	良	褐色・黒褐色	口縁部 1/4		
129	6206	土師器 杯蓋	E18	SH52	12	4.1	外:ロクロナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや粗 ~3mmの砂粒含む	良	外:灰黄色 内:灰黄色	1/4	
130	6502	土師器 杯蓋	D18	SH52	12.8		外:ロクロナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや粗 ~1.5mmの砂粒含む	良	浅黄色・灰色	1/8	
131	6203	土師器 杯身	E18	SH52	11		外:ロクロナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや粗 ~2mmの砂粒含む	良	灰色	口縁部 1/4	
132	6805	土師器 杯身	E18	SH52	10.9	5.2	外:ロクロナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや粗 1~2mmの砂粒含む	良	灰色	1/2	
133	6501	土師器 杯蓋	D18	SH52	9.6		外:ロクロナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	粗 ~1.5mmの砂粒含む	良	灰色	1/4	
134	7204	土師器 杯	B20	SH54	12.2		外:ヨコナデ・ナデ 内:ヨコナデ・ナデ	やや粗 ~4mmの砂粒含む	良	褐色	1/4	
135	7004	土師器 台付壺	B19	SH54	12.2		外:ヨコナデ 内:ヨコナデ・ナデ	やや粗 1~2mmの砂粒含む	良	外:にぶい褐色 内:黒色	口縁部 1/4	
136	7001	土師器 壺	B19	SH54	20		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 1~2mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	口縁部 1/4	
137	7003	土師器 壺	B19	SH54	16.1		外:ヨコナデ・ハケメ・工具ナデ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 1~3mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	口縁部 1/2	
138	7002	土師器 壺	B19	SH54	18.6		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・ナデ	やや粗 1~2mmの砂粒含む	良	浅黄褐色・灰色	口縁部 3/4	
139	7201	土師器 壺	B19	SH54	28.3		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・オサエ・ナデ	やや粗	良	灰黄色	口縁部 1/4	
140	7006	土師器 口付土師 壺	B20	SH54	3.9	3.6	外:ナデ 内:ナデ・工具ナデ	並	良	にぶい黄褐色・灰色	1/2	
141	7105	土師器 杯蓋	B19	SH54	12.8		外:ロクロナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや粗	良	灰色	1/4	
142	7106	土師器 杯身	B19	SH54	15.1	5.9	外:ロクロナデ・ヘラ切り 内:ロクロナデ・同心円当て具龍	やや粗	不良	外:灰白色 内:浅黄褐色	3/4	
143	7202	土師器 杯身	B20	SH54	15	5.6	外:ロクロナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや粗	不良	浅黄色・灰白色	ほぼ 完存	
144	1401	土師器 壺	B12	SH46	17.2		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・ナデ	やや粗	良	にぶい黄褐色・灰黄色	口縁部 1/4	
145	5302	土師器 壺	C13	SH46	18.8		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 ~1.2mmの砂粒含む	良	灰黄褐色	口縁部 1/8	
146	5202	土師器 壺	B12	SH46	19.2		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・ケズリ	やや粗 ~3.6mmの小石含む	良	外:にぶい黄褐色・浅黄褐色 内:浅黄褐色	口縁部 1/8	
147	5201	土師器 壺	C13	SH46	22.2		外:ヨコナデ・ハケメ・ナデ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 ~1.8mmの砂粒含む	良	にぶい黄褐色・浅黄褐色	口縁部 1/4	
148	1404	土師器 杯身	B12	SH46	12.2		外:ヨコナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや粗	良	灰色	1/8	
149	8803	土師器 壺	C22	SH59	16.8		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗	良	にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
150	8802	土師器 壺	C23	SH59	20		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗	良	灰白色	口縁部 1/4	
151	8804	土師器 杯身	C23	SH59	10.2		外:ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや粗	良	灰黄色	口縁部 1/8	
152	9404	土師器 杯	C25	SH63	10.8	4.0	外:ナデ 内:ナデ	やや粗	良	褐色・にぶい黄褐色	1/4	内外面とも 剥離
153	9401	土師器 杯	C24	SH63	12.8	4.2	外:ヨコナデ・オサエ 内:ヨコナデ・ナデ	やや粗	良	褐色・浅黄褐色	1/8	外面は剥離
154	9206	土師器 杯	C24	SH63	12.2		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ナデ	やや粗	良	褐色	口縁部 1/4	
155	9205	土師器 高杯	C25	SH63	4.5		外:ハケメ 内:ハケメ・オサエ	やや粗	良	褐色	脚部 完存	胎土が硬質
156	9203	土師器 壺	C25	SH63	15.8		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗	良	褐色・にぶい褐色	口縁部 1/4	
157	9403	土師器 壺	C24	SH63	13.5		外:ヨコナデ 内:ヨコナデ・ハケメ・オサエ	やや粗	良	灰黄褐色	口縁部 1/8	
158	9402	土師器 壺	C24	SH63	13.8		外:ヨコナデ・オサエ 内:ヨコナデ・ナデ	やや粗	良	にぶい褐色	口縁部 1/4	
159	9405	土師器 上蓋	C24	SH63	残 残 3.5	3.5	ナデ	やや粗	良	外:にぶい黄褐色 内:黄褐色	1/2	重さ 38g
160	9201	土師器 杯蓋	C25	SH63	12.8	4.6	外:ロクロナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ・同心円当て具龍	やや粗 ~4mmの砂粒含む	良	灰色	ほぼ 完存	

第7表 出土遺物観察表4

番号	発掘番号	遺構	出土位置		計測値 (cm)	調整・技法の特徴	胎土	地味	色調	現存度	備考	
			地区	遺構								口径
161	9202	須恵器 杯身	C25	SH63	12.8	外:ロクロナデ、ロクロズリ 内:ロクロナデ	やや粗 1~3mmの砂粒含む	良	灰白色	口縁部 1/4		
162	9303	土師器 杯	E24	SH64	18.8	外:ヨコナデ、ハケ後オサエ、ナデ 内:ヨコナデ、ハケム	やや密	良	にぶい黄褐色	口縁部 1/8		
163	9602	土師器 杯	E24	SH64	18	外:ヨコナデ、ハケ後ナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ハケム	やや密	良	外:黄褐色 内:にぶい黄褐色、灰褐色	口縁部 1/8		
164	9304	土師器 杯	D24	SH64	18.5	外:ヨコナデ、ナデ 内:ヨコナデ、ハケム、ナデ、ハケム	やや密	良	浅黄褐色、褐色	口縁部 1/4		
165	9503	土師器 壺	E24	SH64	21	外:ヨコナデ、ナデ 内:ヨコナデ、ハケム	やや密 ~1mmの砂粒含む	良	外:にぶい褐色、褐色 内:浅黄褐色、褐色	口縁部 1/4		
166	9302	土師器 壺	E24	SH64	19.6	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ハケム、オサエ、ナデ、ハケム	やや密	良	にぶい黄褐色、褐色	口縁部 1/2		
167	9305	土師器 壺	D24	SH64	19.7	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ハケム、ナデ	やや密	良	浅黄褐色	口縁部 1/4		
168	9702	土師器 壺	E24	SH64	19	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ハケム	やや密 ~2mmの砂粒含む	良	にぶい黄褐色、にぶい 褐色	口縁部 1/4		
169	9601	土師器 壺	E24	SH64	20.3	外:ヨコナデ、ナデ、ハケム 内:ヨコナデ、工具痕、ハケム	やや密 ~2mmの砂粒含む	良	灰白色、黄褐色	口縁部 1/2		
170	9301	土師器 壺	E24	SH64		外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ナデ	やや密	良	にぶい黄褐色	口縁 部片		
171	9306	須恵器 杯身	E24	SH64	9.3	外:ロクロナデ、ハケ切り機ナデ 内:ロクロナデ	やや密	良	灰白色	1/4		
172	10906	土師器 杯	E28	SH68	11.2	外:ヨコナデ、オサエ 内:ヨコナデ	密 ~1mmの砂粒含む	並	褐色	口縁部 1/2		
173	9904	土師器 杯	E28	SH68	12.5	外:ヨコナデ、ナデ 内:ヨコナデ、工具ナデ	密	良	外:褐色、にぶい褐色 内:褐色	口縁部 完存		
174	10701	土師器 杯	D28	SH68	12.9	外:ヨコナデ、ナデ、オサエ 内:ヨコナデ、ナデ	やや密	良	褐色、浅黄褐色	3/4		
175	10702	土師器 杯	E28	SH68	14.4	外:ヨコナデ、ナデ、オサエ 内:ヨコナデ、ナデ	やや粗 1~3mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	口縁部 3/4	外面が黄変	
176	9605	土師器 台付鉢	D28	SH68	13.8	外:ヨコナデ、ナデ、オサエ、ハリ付肌 内:ヨコナデ、ナデ、オサエ	密	良	外:にぶい褐色、灰褐色 内:にぶい褐色	杯部 1/8		
177	10603	土師器 高杯	D28	SH68	15.6	10.4	外:ヨコナデ、上具ナデ、ヨコナデ 胴内:ヨコナデ、ナデ、杯内:ヨコナデ、ナデ	やや粗 1~2mmの砂粒含む	良	褐色	1/2	
178	10303	土師器 高杯	D28	SH68	成厚 8.1	外:上具ナデ、ヨコナデ 胴内:ヨコナデ、工具肌痕	やや粗 1mmの砂粒含む	良	にぶい赤褐色、灰褐色	胴部 完存	胎土が硬質	
179	10903	土師器 台付壺	E28	SH68	13.2	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ナデ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	並	浅黄褐色	口縁部 1/4		
180	10904	土師器 台付壺	E28	SH68	11.9	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ナデ	やや密 ~3mmの砂粒含む	並	にぶい褐色	口縁部 1/8		
181	10905	土師器 台付壺	D28	SH68	成厚 8.2	外:ナデ、上具ナデ、オサエ、ナデ 胴内:オサエ後ヨコナデ 内:ナデ	粗 ~3mmの砂粒含む	並	にぶい褐色、褐色	胴部 完存		
182	11102	土師器 台付壺	E28	SH68	成厚 10.2	外:オサエ、ナデ 胴内:オサエ、ナデ、上具ナデ 内:ナデ	粗 ~3mmの砂粒含む	良	外:にぶい黄褐色 内:にぶい褐色	胴部 3/4		
183	11103	土師器 台付壺	E28	SH68	成厚 9.6	外:上具ナデ、ヨコナデ 胴内:ヨコナデ、ナデ、ナデ	やや密	良	浅黄褐色、赤褐色	胴部 3/4		
184	11101	土師器 口付土瓶	E28	SH68	8.3	8.8	外:ヨコナデ、オサエ 胴内:ナデ 内:ヨコナデ、工具ナデ	やや粗 ~2mmの砂粒含む	良	浅黄褐色、灰白色	ほぼ 完存	台付壺
185	9701	土師器 壺	D28	SH68	18.8	外:ヨコナデ、ケズリ 内:ヨコナデ、ナデ	やや粗 ~2mmの砂粒含む	良	外:浅黄褐色、にぶい褐色 内:浅黄褐色、黄褐色	口縁部 1/4		
186	9902	土師器 壺	D28	SH68	16.6	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ハケム	密 ~1.2mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	口縁部 完存		
187	10301	土師器 壺	D28	SH68	20	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ナデ	やや粗 1~2mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	口縁部 1/8		
188	10905	土師器 壺	E28	SH68	11.8	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、オサエ	やや粗 ~2mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色	口縁部 1/8		
189	9603	土師器 壺	D28	SH68	12	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ	やや密 ~3mmの砂粒含む	良	外:にぶい褐色 内:褐色、にぶい褐色	口縁部 1/4		
190	9903	土師器 壺	D28	SH68	15.6	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ナデ	やや粗 ~1.8mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	口縁部 1/4	外面は剥離	
191	11105	土師器 壺	E28	SH68	18.8	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ナデ	やや密	良	外:褐色 内:浅黄褐色、にぶい黄褐色	口縁部 1/8		
192	10503	土師器 壺	D28	SH68	16.8	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ナデ	やや密 ~1.3mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	口縁部 1/4		
193	10003	土師器 壺	D27	SH68	17.2	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ハケム	やや密 ~1.6mmの砂粒含む	並	黄褐色	口縁部 3/8		
194	11401	土師器 壺	E28	SH68	19.2	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ハケム	やや粗 ~3mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	口縁部 3/4		
195	10302	土師器 壺	D28	SH68	18.2	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ハケム	やや密	良	浅黄褐色	口縁部 1/2		
196	11104	土師器 壺	E28	SH68	17.9	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ハケム	やや密	良	浅黄褐色、褐色	口縁部 1/4		
197	10103	土師器 壺	D27	SH68	14	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ハケム、ナデ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	並	暗灰褐色、浅灰色	口縁部 1/4	口唇部に 剥裂	
198	10803	土師器 壺	E27	SH68	22.2	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ハケム	やや密 ~2.5mmの砂粒含む	並	浅黄褐色	口縁部 1/4		
199	28902	土師器 壺	D28	SH68	18.6	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ハケム	やや粗 ~2.5mmの砂粒含む	並	浅黄褐色	口縁部 完存		
200	10202	土師器 壺	D28	SH68	17.9	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ハケム	やや粗 1~3mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	口縁部 1/8		

第8表 出土遺物観察表5

番号	発掘番号	図種	出土位置		計測値 (cm)	調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考
			地区	遺構							
201	10402	土師器 壺	E27	SH08	18.6	外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ、ナデ、ハケメ	やや重 ～3mmの砂粒含む	貝	浅黄褐色・褐色・灰色	口縁部 3/8	
202	10001	土師器 壺	D27	SH08	21.8	外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ	やや重 ～1mmの砂粒含む	並	にぶい褐色	口縁部 3/8	
203	10002	土師器 壺	D27	SH08	20	外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ	やや重 ～2mmの砂粒含む	並	浅黄褐色	口縁部 1/4	
204	10203	土師器 壺	D28	SH08	20.8	外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ	やや重	貝	浅黄褐色	口縁部 1/8	
205	10102	土師器 壺	D27	SH08	18.7	外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ	並 ～1mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色・褐灰色	口縁部 1/4	
206	10902	土師器 壺	E28	SH08	1.4	外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ	やや重 ～1.5mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色・褐灰色	口縁部 1/4	
207	28901	土師器 壺	D28	SH08	19.8	外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ	軽 ～2.5mmの砂粒含む	並	外:にぶい褐色 内:浅黄褐色	口縁部 1/4	
208	11302	土師器 壺	E28	SH08	21	外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ	やや重 ～2mmの砂粒含む	貝	灰白色	口縁部 1/4	
209	11002	土師器 壺	E28	SH08	13.2	外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ、工具ナデ	やや重 ～2mmの砂粒含む	並	浅黄褐色	口縁部 1/4	
210	10101	土師器 壺	D27	SH08	19.5	外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ナデ	並 ～1mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色	口縁部 3/8	
211	10502	土師器 壺	E27	SH08	24.4	外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ、ナデ、ハケメ	やや重 ～2mmの砂粒含む	貝	にぶい褐色	口縁部 1/8	
212	11204	土師器 壺	E28	SH08	20.5	外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ	やや重	貝	外:褐色・にぶい黄褐色 内:浅黄褐色	口縁部 3/8	
213	10501	土師器 壺	D28	SH08	39.2	外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ	やや重 ～2.1mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色・にぶい 褐色	口縁部 1/8	
214	10201	土師器 壺	D28	SH08	24.4	外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ	やや重 1～2mmの砂粒含む	並	外:浅黄褐色・にぶい黄褐色 内:灰白色	口縁部 1/8	
215	11301	土師器 壺	E28	SH08	1.9	外:ヨコナデ、ハケメナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、オサエ、ナデ、オサエ	やや重 ～2mmの砂粒含む	並	外:灰白色・にぶい黄褐色 内:灰白色・にぶい褐色	口縁部 1/4	
216	10401	土師器 壺	D28	SH08	30.6	外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ	やや重	並	浅黄褐色・褐色	口縁部 1/4	
217	9501	土師器 壺	D28	SH08	30	外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ	やや重 ～4mmの小石含む	並	外:にぶい褐色 内:浅黄褐色	口縁部 1/4	外面に剥離
218	9502	土師器 壺	D28	SH08	31.2	外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ	やや重 ～3mmの砂粒含む	貝	外:にぶい黄褐色・浅黄褐色 内:浅黄褐色・にぶい褐色	口縁部 1/8	
219	11003	土師器 壺	E28	SH08	21.8	外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ	やや重 ～1.5mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色	口縁部 1/4	内外面に粘土 の付着
220	9801	土師器 壺	D28	SH08	24.7	外:ハケメ、ナデ、ハケメ、ナデ 内:ハケメ、ケズリ、ハケメ、ナデ	やや重 ～6.5mmの小石含む	並	にぶい黄褐色・浅黄褐色	3/4	
221	9901	土師器 壺	E28	SH08	24.8	外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ	やや重 ～3.5mmの小石含む	並	浅黄褐色・褐灰色	口縁部 1/2	
222	15505	土師器 壺	D28	SH08		外:ハケメ、ナデ、オサエ、ハケメ 内:ハケメ	やや重 ～2mmの砂粒含む	並	外:にぶい黄褐色 内:灰白色	底部片	
223	11504	土師器 壺	E28	SH08		外:ハケメ、ナデ、オサエ、ハケメ 内:ハケメ	やや重	貝	外:褐色 内:にぶい黄褐色	把手片	
224	11402	土師器 壺	E28	SH08	底径 15.2	外:ハケメ、ヨコナデ 内:ヨコナデ、ナデ、タテナデ	やや重 ～2mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色・浅黄褐色	底部 1/4	
225	10802	須恵器 杯蓋	E28	SH08	13.2	外:ロクロナデ、ロクロナデ 内:ロクロナデ、ナデ	やや重 ～2.5mmの砂粒含む	並	外:褐灰色 内:灰色	2/3	
226	10404	須恵器 杯蓋	D28	SH08	12.8	外:ロクロナデ、ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや重 ～3mmの砂粒含む	並	灰白色	1/2	
227	11502	須恵器 杯蓋	E28	SH08	13.8	外:ロクロナデ、ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや重	貝	灰白色	3/4	
228	11501	須恵器 杯蓋	E28	SH08	14.5	外:ロクロナデ、ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや重	並	灰白色	完存	
229	10106	須恵器 杯蓋	D27	SH08	13.2	外:ロクロナデ、ロクロナデ 内:ロクロナデ	並 ～1.5mmの砂粒含む	不貝	にぶい褐色	1/2	
230	10105	須恵器 杯蓋	D27	SH08	13.2	外:ロクロナデ、ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや重 ～2mmの砂粒含む	並	灰白色	1/2	
231	11202	須恵器 杯蓋	E28	SH08	1.3	外:ロクロナデ、ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや重 ～2mmの砂粒含む	並	灰白色	1/2	
232	10801	須恵器 杯蓋	E28	SH08	16.3	外:ロクロナデ、ロクロナデ、ハケメ 内:ロクロナデ、ナデ	並 ～1mmの砂粒含む	並	灰白色	1/2	外面にベン ガラ付着
233	11203	須恵器 杯蓋	E28	SH08	13.4	外:ロクロナデ、ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや重	並	灰白色・灰色	1/4	
234	10805	須恵器 杯蓋	E28	SH08	13.6	外:ロクロナデ、ロクロナデ 内:ロクロナデ	軽 ～4mmの砂粒含む	並	灰白色	1/2	
235	11001	須恵器 杯蓋	E28	SH08	13.9	外:ロクロナデ、ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや重 ～1.5mmの砂粒含む	並	灰白色	1/4	
236	10006	須恵器 杯蓋	D27	SH08	1.3	外:ロクロナデ、ロクロナデ、ハケメ 内:ロクロナデ	並 ～1mmの砂粒含む	並	灰白色	1/4	
237	16904	須恵器 杯蓋	D28	SH08	9.8	外:ロクロナデ、ロクロナデ 内:ロクロナデ	並 ～4.3mmの小石含む	並	灰白色・黄灰色	ほぼ 完存	外面に自然 剥離付着
238	10304	須恵器 杯蓋	D28	SH08	10.2	外:ロクロナデ、ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや重	並	灰白色	完存	
239	11503	須恵器 杯蓋	E28	SH08	12.1	外:ロクロナデ、ロクロナデ 内:ロクロナデ、ナデ	やや重 ～3mmの砂粒含む	並	外:褐色・褐黄褐色 内:灰白色	完存	
240	11206	須恵器 杯蓋	E28	SH08	1.2	外:ロクロナデ、ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや重 ～2mmの砂粒含む	並	灰白色	1/2	

第9表 出土遺物観察表6

番号	発掘番号	原種	出土位置		計測値 (cm)		調整・技法の特徴	胎土	地味	色調	残存度	備考
			地区	遺構	口径	高さ						
241	10305	須恵器 杯身	D28	SH68	10.1	4.8	外:ロコナデ、ロコケズリ 内:ロコナデ	やや密	良	灰色	1/2	
242	10405	須恵器 杯身	D28	SH68	12.4	4.8	外:ロコナデ、ロコケズリ 内:ロコナデ	やや粗 ～2.8mmの砂粒含む	良	黄灰色・灰色・暗黄褐色	1/3	
243	10903	須恵器 杯身	D28	SH68	12.6		外:ロコナデ、ロコケズリ 内:ロコナデ	粗 ～3.2mmの砂粒含む	良	灰色	口縁部 1/4	
244	9703	須恵器 杯身	D28	SH68	12.5	4.7	外:ロコナデ、ロコケズリ 内:ロコナデ	やや密 ～2mmの砂粒含む	良	灰色	完存	
245	10904	須恵器 杯身	E28	SH68	13.3	4.9	外:ロコナデ、ロコケズリ 内:ロコナデ	粗 ～4mmの砂粒含む	良	黄灰色	1/2	
246	11403	須恵器 杯身	E28	SH68	12.7	4.2	外:ロコナデ、ロコケズリ 内:ロコナデ	やや粗 ～6mmの小石含む	良	灰色	1/2	
247	10403	須恵器 杯身	D28	SH68	12.8		外:ロコナデ、ロコケズリ 内:ロコナデ	密 ～1.5mmの微砂粒含む	良	外:灰色・黄褐色 内:黄褐色	1/4	
248	11304	須恵器 杯身	E28	SH68	12.7	5.0	外:ロコナデ、ロコケズリ 内:ロコナデ	粗 ～5mmの小石含む	良	灰色	1/2	
249	10703	須恵器 短頸段	E28	SH68			外:ロコナデ、オサエ、ナデ、ロコナデ、ケズリ 内:ロコナデ、オサエ	やや密	良	灰色	基部 完存	
250	16004	土師器 壺	B30	SH72	18.7		外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ハケム	密 ～2mmの砂粒含む	良	にぶい黄褐色・黄褐色	口縁部 1/8	
251	16006	土師器 壺	B30	SH72	23.8		外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ハケム	やや密 ～1mmの砂粒含む	良	にぶい黄褐色・黄褐色 色・にぶい黄色	口縁部 1/8	
252	15906	土師器 杯	B29	SH75	11.8	5.0	外:ヨコナデ、ミガキ、ケズリ 内:ヨコナデ、ナデ、オサエ、ケズリ	密 ～1.7mmの砂粒含む	良	褐色・明赤褐色	完存	底部内面に へら印
253	15902	土師器 杯	B29	SH75	12	4.9	外:ヨコナデ、ナデ、オサエ、ケズリ 内:ヨコナデ、ナデ	密 ～1.2mmの微砂粒含む	良	褐色	3/4	
254	15901	土師器 壺	B29	SH75	11.4	12.2	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ナデ	やや密 ～3.2mmの砂粒含む	良	にぶい黄褐色・黄褐色	ほぼ 完存	外面が異常
255	16201	土師器 曹衣土師	B29	SH75			外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ハケム	やや密	良	黄褐色	口縁部 完存	
256	15905	土師器 土師	B29	SH75	長 7.2	幅 3.8	ナデ	密 ～1.8mmの砂粒含む	良	黄褐色	底面 完存	重さ89g
257	15903	須恵器 杯身	B29	SH75	11.2		外:ロコナデ 内:ロコナデ	密 ～2.7mmの砂粒含む	不具	灰褐色・黄褐色	口縁部 1/4	
258	16503	土師器 杯	D26	SH78	12.3		外:ヨコナデ 内:ヨコナデ	やや密	良	褐色	口縁部 1/4	
259	16307	土師器 杯	E26	SH78	11.5	4.6	外:ヨコナデ、オサエ、ケズリ 内:ヨコナデ、工具ナデ	やや密	良	褐色・にぶい黄褐色	3/4	外面が一部 異常
260	16602	土師器 杯	E26	SH78	11.8	5.1	外:ヨコナデ、オサエ、ナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ナデ	やや密	良	褐色・にぶい黄褐色	1/2	底部外面に へら印
261	17102	土師器 杯	E25	SH78	12.9	4.9	外:ヨコナデ、オサエ、ナデ 内:ヨコナデ、ナデ	やや密 ～1mmの砂粒含む	並	褐色・明赤褐色	1/4	
262	16603	土師器 杯	E26	SH78	12.5	5.2	外:ヨコナデ、オサエ、ナデ 内:ヨコナデ、工具ナデ	やや密	良	にぶい褐色	1/4	
263	16601	土師器 杯	E26	SH78	12.4	4.5	外:ヨコナデ、オサエ、ナデ 内:ヨコナデ、ナデ	やや密	良	褐色・黄褐色	1/4	底部内面に へら印
264	16303	土師器 杯	E26	SH78	12.5	5.6	外:ヨコナデ、オサエ、ナデ 内:ヨコナデ、工具ナデ	やや密	良	褐色・黄褐色・にぶ い黄褐色	ほぼ 完存	
265	16304	土師器 高杯	E26	SH78	頸部隆 4		外:ハケム、オサエ 頸内:オサエ、ナデ 杯内:ナデ	やや密	良	にぶい黄褐色・にぶ い褐色	胴部片	
266	16502	土師器 高杯	D26	SH78	13.2		外:ヨコナデ、オサエ、ハケム、ヨコハケ 内:ヨコナデ、工具ナデ	やや密	良	褐色	杯部 完存	
267	16302	土師器 壺	E26	SH78	10.2	7.9	外:ヨコナデ、ハケ後ケズリ 内:ヨコナデ、工具ナデ	やや密	良	褐色	5/8	
268	16902	土師器 壺	E26	SH78	13.7		外:ヨコナデ 内:ヨコナデ、ハケム	やや粗 ～1.7mmの砂粒含む	良	黄褐色・にぶい黄 褐色	口縁部 1/4	内面に備付 釘
269	16805	土師器 壺	E26	SH78	17.4		外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ナデ	やや粗 ～2.8mmの砂粒含む	良	黄褐色・にぶい黄 褐色・灰色	口縁部 1/4	
270	17103	土師器 壺	D26	SH78	20.8		外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ハケム	やや粗 ～1.5mmの砂粒含む	並	黄褐色	口縁部 3/8	
271	29201	土師器 壺	E26	SH78	13.8		外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ハケム、ケズリ	やや粗 ～3mmの砂粒含む	並	黄褐色	口縁部 1/4	
272	14901	土師器 壺	E26	SH78	17.3		外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ハケム	やや粗 ～2.7mmの砂粒含む	良	黄褐色・にぶい黄 褐色・灰黄褐色	口縁部 1/4	
273	16401	土師器 壺	E26	SH78	19.5		外:ヨコナデ、工具ナデ、ハケ後ナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ナデ、ハケム	やや粗 ～3mmの砂粒含む	良	黄褐色	口縁部 完存	
274	16804	土師器 壺	E26	SH78	12.6		外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ハケム、ナデ	やや密 ～2mmの砂粒含む	良	黄褐色・黄褐色	口縁部 1/4	
275	16301	土師器 壺	E26	SH78	20		外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ハケム、ハケ後ナデ	やや密	良	にぶい黄褐色・灰黄 褐色	口縁部 3/8	
276	16103	土師器 壺	E26	SH78	18.2		外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ハケム、ナデ	やや密	良	にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
277	16801	土師器 壺	E26	SH78	28.8		外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ハケム	やや密 ～3mmの砂粒含む	良	黄褐色・明赤褐色	口縁部 1/4	
278	16402	土師器 壺	E26	SH78	20.5		外:ヨコナデ、ハケ後ナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ハケム	粗 ～3mmの砂粒含む	良	外:黄褐色 内:黄褐色・灰白色	口縁部 完存	
279	16802	土師器 壺	E26	SH78	27.4		外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ハケム	やや粗 ～3.2mmの砂粒含む	良	にぶい黄褐色・黄褐色	口縁部 1/4	
280	17201	土師器 壺	E26	SH78	29		外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ハケム	やや粗 ～2mmの砂粒含む	並	にぶい褐色	口縁部 1/4	

第10表 出土遺物観察表7

番号	発掘番号	器種	出土位置			調査・技法の特徴	胎土	焼成	色調	現存度	備考
			地区	遺構	口径						
281	16863	土師器	E26	SH78	19	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密 ~2.5mmの砂粒含む	良	浅黄褐色・灰白色	口縁部 1/4	
282	16501	土師器	D26	SH78	31	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム・オサエ・ハケム	やや密	良	浅黄褐色・灰白色	口縁部 1/4	外面は剥離
283	17202	土師器	E26	SH78	28.2	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色	口縁部 1/8	
284	16905	土師器	D26	SH78		外:オサエ・ナデ 内:ナズリ	密 ~1.5mmの炭粒含む	良	褐色・灰白色	肥子片	焼成前の穿孔あり
285	16101	土師器	E26	SH78	係部群 23	外:ハケム・ハリ付ナデ・ハケム 内:ハケム・ナズリ	やや密 1~2mmの砂粒含む	良	褐色・浅黄褐色	体部片	口縁部 1/4
286	16204	土師器	E26	SH78	12.9	外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	やや密	良	灰色・赭灰色	口縁部 1/8	
287	16604	土師器	E26	SH78	13	外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	やや密	良	灰黄色・黄灰色	1/4	
288	16605	土師器	E26	SH78	13.6	外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	やや密	良	灰色	口縁部 1/4	
289	17002	土師器	D26	SH78	13	外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	やや密 ~1mmの砂粒含む	良	黄灰色	1/4	
290	17003	土師器	E26	SH78	12.2	外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	良	黄灰色	口縁部 1/8	
291	16306	土師器	E26	SH78	11.3	外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	やや密	良	灰色	口縁部 3/8	
292	16701	土師器	D26	SH78	11.3	5.0 外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	良	灰色	1/2	
293	16305	土師器	E26	SH78	11.2	5.1 外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ・同心円当て具類	やや密	良	灰色	1/2	
294	17001	土師器	E26	SH78	11.4	4.9 外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	やや密 ~2.5mmの砂粒含む	良	灰色	1/2	底部外面に へら印
295	16702	土師器	E26	SH78	11.1	5.6 外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ・同心円当て具類	やや密	良	灰色・灰白色	1/2	
296	16703	土師器	D26	SH78		外:ハリ付ナデ・カキス 内:ナズリ・同心円当て具類	やや密	良	灰色	体部片	
297	17302	土師器	C33	SH79	22	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密 ~2mmの砂粒含む	良	黄・浅黄褐色・にぶい黄褐色 赤・浅黄褐色	口縁部 1/8	
298	17303	土師器	C33	SH79	23	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密 ~2mmの砂粒含む	良	黄・にぶい黄褐色 赤・にぶい黄褐色 内:にぶい黄褐色・灰白色	口縁部 1/8	
299	17405	土師器	C32	SH79		外:ヨコナデ・ナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ナデ	やや密 ~1mmの砂粒含む	良	にぶい褐色	口縁部 片	内面に接合 部片
300	17401	土師器	C33	SH79	13	外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	密	良	外:灰色・赭灰色 内:灰色	口縁部 1/4	
301	17601	土師器	D33	SH80	19.8	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密	良	褐色・にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
302	17304	土師器	D33	SH80	底群 9	外:鹿取付ナデ・ヨコナデ 内:ヨコナデ・ナズリ	やや密 ~6mmの小石含む	良	褐色	腹部 1/4	
303	17402	土師器	D33	SH80	12	外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	やや密 ~2mmの砂粒含む	良	灰色	口縁部 1/4	
304	17702	土師器	C39	SH83	21.2	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密	良	浅黄褐色・にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
305	17902	土師器	C39	SH83	20.3	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密	良	浅黄褐色	口縁部 完全	
306	17703	土師器	C39	SH83	18.8	外:ヨコナデ・オサエ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密	良	黄褐色	口縁部 1/4	
307	17901	土師器	C39	SH83	20.6	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密 1~4mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	口縁部 5/8	
308	17301	土師器	C39	SH83	23	外:ヨコナデ・ナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密 ~2mmの砂粒含む	良	にぶい黄褐色・浅黄褐色	口縁部 1/8	
309	17701	土師器	C39	SH83		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密	良	褐色・灰褐色	口縁部 片	
310	17801	土師器	C39	SH83	35.9	外:ヨコナデ・ハケム・ハリ付ナデ 内:ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや密	良	浅黄褐色	口縁部 3/8	
311	17603	土師器	C39	SH83	11.9	3.8 外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	やや密	良	灰色	1/4	
312	17604	土師器	C39	SH83	11.5	3.1 外:ロクロナデ・へら切りナデ・オサエ 内:ヨコナデ・ハケム	やや密	良	灰白色	3/4	
313	28502	土師器	C22	SB88	14.6	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ	やや密	良	浅黄褐色	口縁部 1/8	
314	803	土師器	C22	SB89		外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム・ナデ	やや密	良	外:褐色 内:浅黄褐色	口縁部 片	
315	1004	土師器	B22	SB89	11.8	外:ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密	良	灰色	1/8	
316	28504	土師器	C24	SB90	12.8	外:ヨコナデ・ナデ・オサエ 内:ヨコナデ・ナデ	やや密	良	褐色	口縁部 1/8	
317	905	土師器	E33	SB91	21	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密 1~5mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	口縁部 1/4	
318	1006	土師器	E33	SB91	15	外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	やや密 1~4mmの砂粒含む	良	灰白色	1/8	
319	901	土師器	C31	SB92	28.8	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密 1~2mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	口縁部 1/4	
320	1002	土師器	D32	SB92	21.1	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密 1~2mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	口縁部 1/4	

第11表 出土遺物観察表8

番号	発掘番号	図種	出土位置		直径 (cm)	調製・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考
			地区	遺構							
321	1003	土師器 甕	D32	SB92	21.4	外: ヨコナデ・ハケム 内: ヨコナデ・ハケム	やや粗 1~2mmの砂粒含む	良	灰白色	口縁部 1/4	
322	1604	土師器 杯	E5	SD32	10.5	外: ヨコナデ・ナデ 内: ヨコナデ・ナデ	やや粗 ~2mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色	口縁部 1/4	外面に黄粉着
323	604	土師器 杯	E4	SD32	12	4.9 外: ヨコナデ・オサエ・ナデ 内: ヨコナデ・工具ナデ	やや密	良	褐色	完存	外面に粘土 層含む
324	1702	土師器 杯	E4	SD32	13.1	5.0 外: ヨコナデ・オサエ・ナデ 内: ヨコナデ・ナデ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	並	外: にぶい褐色 内: にぶい黄褐色	口縁部 1/4	底部外面に 木炭屑
325	1803	土師器 高杯	E5	SD32	14	10.4 外: ヨコナデ・ハケム・ヨコナデ 内: ナデ 林内: ヨコナデ・ハケム	やや密	良	浅黄褐色・にぶい褐色・ 褐色	3/4	
326	1603	土師器 甕	E5	SD32	19.8	外: ヨコナデ・ハケム 内: ヨコナデ・ハケム	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	並	浅黄褐色	口縁部 1/4	
327	1801	土師器 甕	E5	SD32	21	外: ヨコナデ・ハケム 内: ヨコナデ・ハケム	やや密 1~2mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	口縁部 1/4	
328	2701	土師器 甕	E5	SD32	15.5	外: ヨコナデ・ナデ・オサエ・ハケム 内: ヨコナデ・ハケム・ナデ・オサエ・ハケム	やや密 ~2mmの砂粒含む	良	にぶい黄褐色・灰黄褐 色・黄褐色	口縁部 1/4	
329	1602	土師器 甕	E5	SD32	20.6	外: ヨコナデ・ハケム 内: ヨコナデ・ハケム	やや粗 ~2mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色・浅黄褐 色	口縁部 1/4	
330	1601	土師器 甕	E4	SD32	18.9	外: ヨコナデ・ハケム 内: ヨコナデ・ハケム	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色・灰白色	口縁部 完存	
331	1701	土師器 高杯	E5	SD32		外: オサエ・ナデ 内: ナデ	やや粗 ~2mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色	不明	
332	1906	須恵器 軒倉	E5	SD32	13.8	外: ロクロナデ・ロクロナズリ 内: ロクロナデ	やや粗 1~2mmの砂粒含む	良	灰白色	1/4	
333	1606	須恵器 軒倉	E5	SD32	12.5	外: ロクロナデ・ロクロナズリ 内: ロクロナデ	粗 ~1mmの砂粒含む	良	灰白色	1/8	
334	1605	須恵器 高杯蓋	E5	SD32	13.3	4.8 外: ロクロナデ・ロクロナズリ 内: ロクロナデ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	良	外: 灰白色・暗灰色 内: 灰白色	1/2	
335	3004	土師器 杯	C8	SD35	12.2	5.3 外: ヨコナデ・オサエ・ヘラケズリ 内: ヨコナデ・工具ナデ	密	良	褐色	1/2	
336	2501	土師器 甕	C7	SD35	12.4	外: ヨコナデ・ナデ 内: ヨコナデ・ナデ・オサエ	密	良	外: 褐色 内: にぶい褐色	口縁部 1/8	
337	2502	土師器 甕	C7	SD35	13.8	外: ヨコナデ・ハケム 内: ヨコナデ・ハケム・ナデ・オサエ	やや密 ~1mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色	口縁部 1/2	
338	2803	土師器 甕	C8	SD35	14.8	外: ハケム・ナデ 内: ハケム・工具ナデ	やや密 ~1.7mmの砂粒含む	良	外: にぶい褐色・にぶい黄 褐色	口縁部 1/2	
339	2805	土師器 甕	C8	SD35	16.1	外: ヨコナデ・ハケム 内: ヨコナデ・工具ナデ	やや密 ~2.3mmの砂粒含む	良	外: にぶい褐色・褐色 内: にぶい黄褐色	口縁部 1/8	
340	2903	土師器 甕	C8	SD35	17.8	外: ヨコナデ・ハケム 内: ヨコナデ・ハケム	やや密 ~1.8mmの砂粒含む	良	にぶい褐色・浅黄褐色	口縁部 1/4	
341	2802	土師器 甕	C8	SD35	16.2	外: ヨコナデ・ハケム 内: ヨコナデ・ハケム	やや密 ~1.3mmの砂粒含む	良	外: 灰白色・浅黄褐色 内: 灰白色・にぶい褐色	口縁部 1/4	
342	2602	土師器 甕	C8	SD35	18	外: ヨコナデ・オサエ・ハケム 内: ヨコナデ・ハケム・ナデ・オサエ	やや粗 ~2mmの砂粒含む	良	にぶい褐色・浅黄褐色	口縁部 1/4	
343	2801	土師器 甕	C8	SD35	18.6	外: ヨコナデ・ハケム 内: ヨコナデ・ハケム	やや密 ~1.8mmの砂粒含む	良	灰白色	口縁部 1/2	
344	601	土師器 甕	B7	SD35	18.1	外: ヨコナデ・ハケム 内: ヨコナデ・ハケム	やや密	並	褐色	口縁部 完存	
345	3302	土師器 甕	C8	SD35	20.5	外: ヨコナデ・ハケム 内: ヨコナデ・ハケム・オサエ	やや密	良	外: 灰白色・褐色 内: 灰白色・にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
346	2804	土師器 甕	C8	SD35	17.4	外: ヨコナデ・ハケム 内: ヨコナデ・ハケム	やや密 ~3.2mmの砂粒含む	良	にぶい褐色・浅黄褐色	口縁部 1/4	
347	2702	土師器 甕	C7	SD35	19.5	外: ヨコナデ・ハケム 内: ヨコナデ・ハケム	やや粗 ~2mmの砂粒含む	良	外: 浅黄褐色・にぶい黄褐色 内: 灰白色・にぶい黄褐色	口縁部 1/2	
348	3001	土師器 甕	C8	SD35	25.6	外: ヨコナデ・ハケム 内: ヨコナデ・ハケム	やや密 ~2.5mmの砂粒含む	良	明赤褐色・浅黄褐色	口縁部 1/8	
349	3301	須恵器 軒倉	C7	SD35	12.5	外: ロクロナデ・ロクロナズリ 内: ロクロナデ	やや密	良	外: 暗灰黄色 内: 黄褐色	1/2	
350	2902	須恵器 軒倉	C8	SD35	14.3	4.8 外: ロクロナデ・ロクロナズリ 内: ロクロナデ	やや密 ~1.6mmの砂粒含む	良	灰白色・灰黄色	口縁部 1/8	
351	2904	須恵器 軒倉	C8	SD35	12.6	外: ロクロナデ 内: ロクロナデ	密	良	灰白色・灰色	口縁部 1/4	
352	2901	須恵器 軒倉	C8	SD35	14	5.1 外: ロクロナデ・ヘラ切り 内: ロクロナデ	粗 ~3.3mmの砂粒含む	良	灰白色	1/2	
353	2504	土師器 杯	B7	SD33	12.2	5.0 外: ヨコナデ・ナデ・オサエ 内: ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや密 ~1mmの砂粒含む	良	褐色	3/4	底部外面に ヘラ切り
354	1302	土師器 甕	B7	SD33	19.3	外: ヨコナデ・ハケム 内: ヨコナデ・ハケム	やや密	良	にぶい褐色・浅黄褐色	口縁部 1/2	
355	1102	土師器 甕	B6	SD33	18.8	外: ヨコナデ・オサエ・ハケム 内: ハケム後ヨコナデ・ハケム	やや密	良	にぶい褐色	口縁部 1/4	
356	2305	土師器 甕	C8	SD33	20.8	外: ヨコナデ・ハケム 内: ヨコナデ・ハケム	やや密	良	褐色	口縁部 1/8	
357	2203	土師器 甕	D3	SD33	19.4	外: ヨコナデ・ハケム 内: ヨコナデ・オサエ・ハケム	やや密	良	浅黄褐色	口縁部 1/4	
358	2002	土師器 甕	D3	SD33	19.6	外: ヨコナデ・ハケム 内: ヨコナデ・ハケム	密	良	にぶい褐色・灰白色・黄褐色 ・浅黄褐色・にぶい褐色	口縁部 1/4	
359	2102	土師器 甕	B6	SD33	18.6	外: ヨコナデ・ハケム 内: ヨコナデ・ハケム	やや粗 ~6.2mmの小石含む	並	浅黄褐色	口縁部 完存	
360	2204	土師器 甕	C3	SD33	20	外: ヨコナデ・ハケム 内: ヨコナデ・ハケム・ナデ・ハケム	やや密	良	にぶい黄褐色	口縁部 1/4	

第12表 出土遺物観察表9

番号	発掘番号	図種	出土位置		直径 (cm)	調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考	
			地区	遺構								
361	2205	土師器 甕	C6	SD33	19.9	外:ヨコナデ、オサエ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ	やや密	良	にぶい褐色、浅黄褐色	口縁部 1/4		
362	1101	土師器 甕	B6	SD33	19.7	外:ヨコナデ、ハケメ 内:ハケ後ヨコナデ、ハケメ	やや密 磨粒を含む	良	にぶい褐色、褐色	口縁部 3/4		
363	2304	土師器 甕	C3	SD33		外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、上耳ナデ	やや粗 ～3mmの磨粒含む	良	灰黄色、灰黄褐色	口縁部 1/4		
364	1103	土師器 甕	C4	SD33	20.6	外:ヨコナデ、ハケメ 内:ハケ後ヨコナデ、ハケメ	やや密	良	褐色、浅黄褐色	口縁部 1/4		
365	1304	土師器 甕	B6	SD33	20.5	外:ヨコナデ、オサエ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ	やや密	良	赤褐色、にぶい黄褐色 内:灰白色	口縁部 1/4		
366	1301	土師器 甕	B7	SD33	20	外:ヨコナデ、ハケメ 内:ハケ後ヨコナデ、オサエ、ハケメ	やや密	良	にぶい黄褐色、浅黄褐色	口縁部 1/4		
367	2101	土師器 甕	C6	SD33	27.6	9.6	やや密 ～3mmの磨粒含む	良	にぶい黄褐色、浅黄褐色	口縁部 1/4		
368	1303	土師器 甕	B7	SD33	27.8	9.6	やや密	良	にぶい黄褐色、浅黄色	口縁部 1/4		
369	2001	土師器 甕	D3	SD33	30	11.4	密	良	浅黄褐色	口縁部 1/4		
370	2601	土師器 甕	D3	SD33	28.4	9.6	やや密 ～1mmの磨粒含む	良	にぶい黄褐色、浅黄褐色 、にぶい黄褐色	口縁部 1/8		
371	2505	土師器 甕	C4	SD33	長 5.8	幅 3.5	ナデ	やや粗 ～1mmの磨粒含む	良	にぶい褐色、褐色、灰 白色	ほぼ 完存	書き 85a
372	2403	須恵器 杯蓋	C6	SD33	13	外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	やや密	良	灰色、にぶい灰色	1/4		
373	2402	須恵器 杯蓋	B6	SD33	14.7	外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ、ナデ	やや粗 ～6mmの磨粒含む	良	灰色	1/2		
374	1205	須恵器 杯蓋	B6	SD33	15	4.7	外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ、同心円状に肌焼	やや密	不良	灰白色	1/2	
375	1204	須恵器 杯蓋	C4	SD33	14.8	4.3	外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	やや密	良	灰色、灰オリーブ色	1/2	
376	2303	須恵器 杯蓋	C3	SD33	12.8	5.0	外:ロクロナデ、ハラ切り未調整 内:ロクロナデ、ナデ	やや密	良	灰色、灰白色	1/8	
377	1203	須恵器 杯蓋	B6	SD33	12	5.4	外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ、同心円状に肌焼	やや粗 ～2mmの磨粒含む	良	灰色	1/4	
378	2302	須恵器 杯蓋	C4	SD33	12.6	5.4	外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ、同心円状に肌焼	やや密	良	灰色、灰白色	1/8	
379	2503	須恵器 杯蓋	B7	SD33	12.8	4.7	外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	やや粗 ～2mmの磨粒含む	良	黄灰色、黄褐色、黒褐色 内:灰白色	1/2	
380	1201	須恵器 蓋台	B7	SD33			外:縦状文・ケズリ 内:ナデ	やや密	良	灰色	杯部 1/2	
381	1202	須恵器 蓋杯	B6	SD33	11.6	9.7	外:ロクロナデ・ロクロナズリ、カキス 輪内:ロクロナデ 杯内:ロクロナデ	やや密	良	灰色	1/3	
382	2301	須恵器 蓋杯	B6	SD33	20.2		外:ロクロナデ、縦状文 内:ロクロナデ	やや密	良	灰色	口縁部 1/8	内面に自然 磨粒着
383	5101	土師器 蓋杯	E15	SD43	19		外:ヨコナデ、ナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ナデ	やや粗 ～1mmの磨粒含む	良	にぶい褐色、灰褐色、にぶい 褐色、褐色、灰黄褐色	口縁部 1/8	
384	5003	土師器 蓋杯	E15	SD43	17		外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ、オサエ	やや粗 ～1mmの磨粒含む	良	にぶい褐色、灰黄褐色	口縁部 1/4	
385	5004	土師器 に付土師 器	E14	SD43	10.4		外:ヨコナデ、ナデ 内:ヨコナデ、ナデ	やや粗 ～1mmの磨粒含む	良	外:浅黄褐色 内:灰白色	口縁部 1/8	
386	4905	須恵器 杯蓋	E15	SD43	11		外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	やや粗 ～2mmの磨粒含む	良	灰色	口縁部 1/8	
387	5605	須恵器 蓋杯	E15	SD43	底径 10.5		外:ロクロナデ 内:ロクロナデ	密 ～1mmの磨粒含む	良	灰色、オリーブ黒	脚部 1/4	方形三方ス カシ
388	5103	須恵器 蓋杯	E15	SD43			外:ロクロナデ、ナデ 内:ロクロナデ、タタキ	やや粗 ～3mmの磨粒含む	良	灰色	口縁部 1/4	
389	5505	土師器 蓋杯	C15	SD47	13.1		外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ	やや粗 ～2mmの磨粒含む	良	外:にぶい褐色 内:にぶい黄褐色	口縁部 1/4	外面に磨粒着
390	5502	土師器 蓋杯	C15	SD47	18.1		外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ナデ、ハケメ	やや粗 ～2mmの磨粒含む	差	にぶい黄褐色	口縁部 5/8	
391	5802	土師器 蓋杯	D16	SD47	19.9		外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ	やや粗 1～2mmの磨粒含む	良	にぶい黄褐色、灰色	口縁部 1/8	
392	5801	土師器 蓋杯	D16	SD47	24.8		外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ	やや粗 1～2mmの磨粒含む	良	褐色、浅黄褐色	口縁部 1/8	
393	5601	土師器 蓋杯	C15	SD47	19		外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ	やや粗 ～2mmの磨粒含む	差	浅黄褐色	口縁部 1/4	
394	5701	土師器 蓋杯	C16	SD47	21.6		外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ	やや粗 1～2mmの磨粒含む	良	外:褐色 内:浅褐色	口縁部 1/8	
395	5903	須恵器 杯蓋	C15	SD47	12.2		外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	やや粗 1～2mmの磨粒含む	良	外:浅黄褐色 内:灰白色	1/2	
396	5904	須恵器 杯蓋	C15	SD47	15		外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	やや粗 1～2mmの磨粒含む	良	灰色	1/8	
397	5604	須恵器 杯蓋	C16	SD47	13.1		外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	粗 ～4.5mmの磨粒含む	良	灰色	1/4	
398	5905	須恵器 杯蓋	D16	SD47	12.1	3.8	外:ロクロナデ、ハラ切り 内:ロクロナデ	やや粗 1～2mmの磨粒含む	良	灰色	1/4	
399	8402	土師器 杯	E21	SD67	12.8	5.3	外:ヨコナデ、ナデ、オサエ 内:ヨコナデ、上耳	やや粗 1～2mmの磨粒含む	良	褐色	1/2	外面に粘土 接合
400	8403	土師器 杯	E21	SD67	13.8	5.4	外:ヨコナデ、ナデ、オサエ 内:ヨコナデ、ナデ	やや密	良	にぶい褐色	1/2	

第13表 出土遺物観察表10

番号	発掘番号	層種	出土位置 地区 遺構	許容値 (cm) 口径 埋深	調整・技法の特徴	粘土	構成	色調	残存度	備考
401	8105	土器器 鉢	E21	SD67 12.2	外:ヨコナデ・ナデ 内:ヨコナデ・ナデ	やや密	良	外:淡褐色 内:褐色	1/2	
402	7503	土器器 高杯	D20	SD67 底径 6.5	外:ヨコナデ・工具ナデ・ヨコナデ 内:ヨコナデ・シボリ (内内:ナデ)	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	良	褐色・淡赤褐色	埋込部 1/8	粘土が硬質
403	7605	土器器 高杯	D21	SD67 底径 8.5	外:ナデ・ヨコナデ・ナデ・ヨコナデ 内:ヨコナデ・ナデ・シボリ 内内:ナデ	やや密 ~3mmの砂粒含む	良	にぶい褐色・褐色	埋込部 3/4	
404	7904	土器器 高杯	E20	SD67 底径 8.7	外:曲がりナデ・ヨコナデ 内:ヨコナデ・ナデ・シボリ	やや密	良	褐色	埋込部 完存	
405	7501	土器器 台付甕	E21	SD67 13.1	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・オサエ・ナデ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色	口縁部 1/8	
406	8304	土器器 台付甕	D21	SD67 11.8	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ナデ	やや密 1~2mmの砂粒含む	良	にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
407	7603	土器器 台付甕	D21	SD67 10	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや密 ~2mmの砂粒含む	良	外:灰黄褐色・黄灰色 内:褐色・灰黄褐色	口縁部 1/8	
408	7604	土器器 台付甕	E20	SD67 底径 5.6	外:ナデ・ヨコナデ 内:ヨコナデ・ナデ・工具皿 内:ナデ	やや密 ~4mmの小石含む	良	浅黄褐色・にぶい褐色	埋込部 完存	
409	7504	土器器 台付甕	D20	SD67 底径 10.4	外:工具ナデ 内:ヨコナデ・オサエ 内:ナデ	やや密 ~4mmの砂粒含む	並	にぶい褐色	埋込部 3/4	
410	7905	土器器 台付甕	E20	SD67 底径 9	外:工具ナデ・オサエ・ヨコナデ 内:ヨコナデ・オサエ 内:ナデ	やや密	良	にぶい黄褐色・にぶい 褐色	埋込部 1/4	
411	8107	土器器 台付甕	E21	SD67 底径 9.4	外:工具ナデ・ヨコナデ後オサエ 内:ヨコナデ後オサエ・ナデ 内:ナデ	やや密 ~1.8mmの砂粒含む	良	外:にぶい褐色 内:浅黄褐色	埋込部 1/8	
412	8003	土器器 壺	E20	SD67 16.8	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密	良	にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
413	7902	土器器 壺	E20	SD67 16.5	外:ヨコナデ・オサエ・ナデ 内:ヨコナデ・オサエ	やや密	良	浅黄褐色	口縁部 1/4	
414	7402	土器器 壺	D21	SD67 18.6	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメナデ	やや密 ~2mmの砂粒含む	並	浅黄褐色	口縁部 1/4	
415	7401	土器器 壺	D20	SD67 17.5	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ナデ・ハケメ	やや密 ~2mmの砂粒含む	並	浅黄褐色・にぶい褐色	口縁部 1/4	
416	8401	土器器 壺	E21	SD67 16.4	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密	良	にぶい黄褐色	口縁部 1/2	口縁部は 2/3程度
417	8601	土器器 壺	E22	SD67 16.2	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密 ~3mmの砂粒含む	良	にぶい黄褐色・黄灰色・ 茶褐色	1/4	
418	7901	土器器 壺	E20	SD67 20.5	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密	良	浅黄褐色・にぶい黄褐色	口縁部 3/8	
419	8002	土器器 壺	E21	SD67 19.3	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・オサエ	やや密	良	浅黄褐色・にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
420	8602	土器器 壺	E21	SD67 16.5	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密 ~2mmの砂粒含む	良	浅黄褐色・にぶい褐色	口縁部 1/2	
421	7702	土器器 壺	D20	SD67 20	外:ヨコナデ・ハケメ・ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ナデ・オサエ・工具皿	やや密 ~2mmの砂粒含む	良	外:褐色 内:にぶい褐色	口縁部 完存	
422	8302	土器器 壺	E21	SD67 17.5	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密 1~2mmの砂粒含む	良	灰白色	口縁部 1/2	口縁部は玉 縁状
423	8303	土器器 壺	E21	SD67 15.7	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密 1~2mmの砂粒含む	良	外:灰黄褐色 内:浅黄褐色	口縁部 1/4	内面に粘土 層含む
424	8101	土器器 壺	E21	SD67 21.4	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメナデ	やや密 ~2.5mmの砂粒含む	良	浅黄褐色・灰黄褐色	口縁部 1/4	
425	8005	土器器 壺	E21	SD67 24.2	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密 ~2mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	口縁部 1/4	
426	8001	土器器 壺	D21	SD67 20.2	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・オサエ・ケズリ・ハケメ	やや密	良	にぶい黄褐色	口縁部 1/8	外面に黒炭
427	8201	土器器 壺	E21	SD67 25.6	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	良	浅黄褐色・にぶい黄褐色	口縁部 1/8	
428	7403	土器器 壺	D20	SD67 25	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・ナデ	密 ~1mmの砂粒含む	並	褐色	口縁部 3/4	
429	7701	土器器 壺	D21	SD67 25.4	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密 ~2mmの砂粒含む	良	浅黄褐色・にぶい褐色	口縁部 1/8	
430	8103	土器器 壺	E21	SD67 30	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密 ~1.7mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	口縁部 1/8	
431	8501	土器器 壺	E21	SD67 28	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・オサエ	密 ~3mmの小石含む	良	にぶい黄褐色	1/8	
432	7801	土器器 壺	D21	SD67 31	外:ヨコナデ・ハケメ・オサエ 内:ヨコナデ・ハケメ・オサエ	やや密 ~2mmの砂粒含む	良	にぶい黄褐色	口縁部 1/8	
433	8301	土器器 壺	E21	SD67 30.7	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密 1~2mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	口縁部 1/8	
434	8202	土器器 壺	E21	SD67 底径 16.2	外:ハケメ・ナデ 内:工具ナデ・ナデ	やや密 ~2.2mmの砂粒含む	良	灰白色・灰黄褐色	底面 1/2	内面に粘土 層含む
435	17502	土器器 壺	E21	SD67	外:ハケメ・ナデ・オサエ・ハケメ 内:ハケメ・ケズリ	やや密 ~2mmの砂粒含む	良	外:灰白色 内:にぶい黄褐色	把手	
436	17503	土器器 壺	D21	SD67	外:ナデ・ハケメ後ナデ・オサエ 内:ナデ・オサエ	やや密 ~2mmの砂粒含む	良	外:にぶい褐色・にぶい褐色 内:浅黄褐色	把手	構成部の穿 孔あり
437	7505	茶色器 杯蓋	D20	SD67 13	4.6 外:ロクロナデ・ロクロケズリ・ハラヒリ・ナデ 内:ロクロナデ	やや密 ~2mmの砂粒含む	良	灰褐色	1/2	
438	7507	茶色器 杯蓋	D20	SD67 12.1	外:ロクロナデ・ロクロケズリ 内:ロクロナデ	密 ~3.5mmの砂粒含む	良	灰褐色	1/4	
439	8404	茶色器 杯蓋	E22	SD67 10	4.6 外:ロクロナデ・ロクロケズリ 内:ロクロナデ	やや密	良	灰褐色	3/4	外面に自然 付着層
440	8104	茶色器 杯蓋	E20	SD67 9.2	外:ロクロナデ・ロクロケズリ 内:ロクロナデ	やや密 ~3mmの砂粒含む	良	灰褐色	3/8	

第14表 出土遺物観察表11

番号	発掘番号	図種	出土位置 地区 遺構	許容積 (cm) 口径 埋高	調査・技法の特徴	出土	構成	色調	残存度	備考
441	8108	壺蓋部 杯身	E21 SD57	10.2	外:ロクロナデ・ロクロケズリ 内:ロクロナデ・ナデ	泥	黄灰色・灰黄色	1/4		
442	8405	壺蓋部 杯身	E31 SD57	10.2	外:ロクロナデ・ロクロケズリ 内:ロクロナデ	やや粗 1~2mmの砂粒含む	灰 灰黄色	1/2		
443	8004	壺蓋部 高杯	D20 SD57		外:ロクロナデ・オサエ・ナデ 内:ロクロナデ	やや粗	灰 灰黄色	杯蓋部 方眼三方ス カシ		
444	8703	土師器 杯	B23 SD58	11.5	5.0	外:ヨコナデ・オサエ・ナデ 内:ヨコナデ・ナデ	やや粗	褐色	1/4	
445	8502	土師器 壺	B23 SD58	22		外:ヨコナデ 内:ヨコナデ	やや粗 ~1mmの砂粒含む	灰 浅黄褐色	口縁部 1/4	
446	8794	土師器 壺	B23 SD58	16.3		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・オサエ・ナデ	やや粗	灰 ぶい黄褐色	口縁部 1/4	
447	8604	土師器 壺	B23 SD58	19.8		外:ヨコナデ 内:ヨコナデ・ナデ・ハケメ	やや粗 ~2mmの砂粒含む	灰 浅黄褐色	口縁部 1/4	
448	17504	土師器 壺	B23 SD58			外:ハケメ・ナデ・オサエ・ハケメ 内:ハケメ	やや粗 ~2mmの砂粒含む	灰 外:ぶい黄褐色・灰黄褐色 内:ぶい黄褐色		
449	8705	壺蓋部 杯蓋	B23 SD58	11.2	4.6	外:ロクロナデ・ロクロケズリ 内:ロクロナデ	やや粗	灰 灰黄色	1/2	
450	8503	壺蓋部 杯身	B23 SD58	12	3.0	外:ロクロナデ・ロクロケズリ 内:ロクロナデ	やや粗 ~3mmの小石含む	灰 灰黄色	1/4	
451	8504	壺蓋部 杯身	B23 SD58	16	3.2	外:ロクロナデ・ロクロケズリ 内:ロクロナデ	やや粗 ~3mmの小石含む	灰 外:赤褐色・灰黄色・赤褐色 内:赤褐色	1/4	
452	9002	土師器 壺	E23 SD61	20.6		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 ~1.7mmの砂粒含む	灰 浅黄褐色	口縁部 1/4	
453	8801	土師器 壺	E23 SD61	19		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗	灰 浅黄褐色・灰色	口縁部 3/8	
454	8903	土師器 壺	E23 SD61	18.6		外:ヨコナデ・ナデ 内:ヨコナデ・ハケメ・ナデ	やや粗 ~3mmの砂粒含む	灰 浅黄褐色	口縁部 1/2	
455	8805	土師器 土師器 杯蓋	E19 SD62	既径 7.1		外:上具ナデ・オサエ・ヨコナデ 内:ヨコナデ 内:ナデ	やや粗	灰 ぶい黄褐色	杯蓋部 完存	外面が紫変
456	9003	土師器 壺	E19 SD62	18.6		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 ~2mmの砂粒含む	灰 浅黄褐色・灰黄色	口縁部 1/4	口縁部ハの カシあり
457	28802	土師器 壺	E19 SD62	18.8		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・オサエ・ハケメ	やや粗	灰 ぶい黄褐色・褐色	口縁部 1/4	
458	9103	土師器 壺	E19 SD62	18.8		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 1~2mmの砂粒含む	灰 浅黄褐色・ぶい褐色	口縁部 1/2	
459	9101	土師器 壺	E19 SD62	19.5		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 1~2mmの砂粒含む	灰 灰白色・褐色	口縁部 1/2	
460	9102	土師器 壺	E19 SD62	18		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 1~2mmの砂粒含む	灰 浅黄褐色	口縁部 3/4	
461	9001	土師器 壺	E19 SD62	21.2		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 ~2mmの砂粒含む	灰 浅黄褐色	口縁部 3/8	
462	8901	土師器 壺	E19 SD62	21.2		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	泥 ~1.3mmの砂粒含む	灰 外:浅黄褐色・褐色 内:浅黄褐色	口縁部 1/2	
463	8902	土師器 壺	E19 SD62	19		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 ~4.5mmの小石含む	灰 浅黄褐色・灰黄褐色	口縁部 1/4	
464	9104	土師器 壺	E19 SD62	20.4		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 1~2mmの砂粒含む	灰 浅黄褐色	口縁部 3/8	
465	9604	壺蓋部 杯蓋	B25 SD66	14		外:ロクロナデ・虎織 内:ロクロナデ	泥	灰 灰白色	1/8	
466	15503	土師器 杯	C27 SD69	12		外:ヨコナデ・ナデ・オサエ 内:ヨコナデ・ナデ・オサエ	泥 ~1mmの炭粒含む	灰 外:ぶい褐色・褐色 内:ぶい褐色	口縁部 1/4	
467	11705	土師器 杯	B27 SD69	11.4	4.6	外:ヨコナデ・ナデ 内:ヨコナデ・ナデ	泥 ~1mmの炭粒含む	灰 褐色	1/4	外面に粘土 接合部
468	14701	土師器 杯	E31 SD69	12.4	5.2	外:ヨコナデ・ハケメ・ケズリ・オサエ 内:ヨコナデ・ナデ	やや粗 ~1.5mmの砂粒含む	灰 褐色	完存	
469	15105	土師器 杯	C27 SD69	12.8	5.5	外:ヨコナデ・オサエ 内:ヨコナデ・ナデ	泥 ~2mmの砂粒含む	灰 ぶい黄褐色・ぶい 褐色	1/4	外面に粘土 接合部
470	12905	土師器 杯	C27 SD69	11.8	5.1	外:ヨコナデ・ナデ 内:ヨコナデ・ナデ	やや粗	灰 外:浅黄褐色 内:ぶい黄褐色	ほぼ 完存	外面に粘土 接合部
471	14702	土師器 杯	E31 SD69	12	5.7	外:オサエ 内:ナデ	やや粗 ~1.5mmの砂粒含む	灰 外:ぶい褐色 内:ぶい黄褐色	1/2	
472	14703	土師器 杯	B27 SD69	11.8	5.4	外:ヨコナデ・オサエ 内:ヨコナデ・上具ナデ	泥 ~1mmの砂粒含む	灰 ぶい褐色	3/4	外面に粘土 接合部
473	15106	土師器 杯	C27 SD69	11.6	5.3	外:ヨコナデ・オサエ・ナデ 内:ヨコナデ・ナデ	泥 ~1mmの砂粒含む	灰 外:浅黄褐色 内:褐色	1/4	外面に粘土 接合部
474	15104	土師器 杯	C27 SD69	11.8		外:ヨコナデ・オサエ・ナデ 内:ヨコナデ・上具ナデ	泥 ~1mmの砂粒含む	灰 外:ぶい褐色 内:褐色	1/4	外面に粘土 接合部
475	14505	土師器 杯	E31 SD69	13.5		外:ヨコナデ・ナデ 内:ヨコナデ・ナデ	やや粗	灰 褐色・ぶい褐色	1/2	
476	15504	土師器 杯	C27 SD69	12.8	4.5	外:ヨコナデ・ナデ・オサエ 内:ヨコナデ・ナデ	泥	灰 浅黄褐色	1/2	
477	15502	土師器 杯	C27 SD69	11.8	3.8	外:ヨコナデ・ナデ・オサエ 内:ヨコナデ・ナデ	やや粗 ~1mmの砂粒含む	灰 外:ぶい褐色・褐色 内:浅黄褐色・褐色	1/4	
478	14504	土師器 杯	E31 SD69	12.2		外:ヨコナデ・オサエ・ナデ 内:ヨコナデ・ナデ	やや粗	灰 浅黄褐色・ぶい黄褐色	口縁部 1/2	
479	14305	土師器 杯	D31 SD69	13.6		外:ヨコナデ・ナデ 内:ヨコナデ・上具ナデ	泥 ~21mmの砂粒含む	灰 浅黄褐色・褐色	1/4	外面に粘土 接合部
480	15804	土師器 杯	E31 SD69	14.8		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ナデ	やや粗	灰 ぶい褐色	口縁部 1/4	

第15表 出土遺物観察表12

番号	発掘番号	遺構	出土位置		計測値 (cm)	調査・技法の特徴	出土	構成	色調	残存度	備考	
			地区	遺構								口径
481	11704	土師器 鉢	C27	SD69	12	4.5	外:ヨコナデ・オサエ・ナデ 内:ヨコナデ・工具ナデ・ナデ	やや重 ~1.5mmの砂粒含む	良	浅黄褐色・褐色・灰白	ほぼ 完全	
482	14604	土師器 白付鉢	E31	SD69	13.8		外:ヨコナデ・ハケメ・オサエ 内:ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや重	良	外:灰白色 内:にぶい黄褐色	ほぼ 1/4	
483	10601	土師器 白付鉢	C28	SD69	12.4	8.9	外:ヨコナデ・ハケメ・ナデ 内:ナデ・ケズリ	やや重	良	浅黄褐色	2/3	杯部内面厚実
484	14002	土師器 白付鉢	D80	SD69	13.9	8.4	外:ヨコナデ・オサエ・ハケメ・ナデ 内:ヨコナデ・ハケメ 杯内:ナデ	やや重 1~4mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	3/4	
485	12904	土師器 高杯	C27	SD69	底径 10		外:ナデ・ハケメ・ヨコナデ 内:ヨコナデ・ハケメ・オサエ・ナデ	やや重	良	にぶい褐色	ほぼ 完全	粘土が硬質
486	11604	土師器 高杯	D29	SD69	底径 9.3		外:ナデ・ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ	やや重	良	褐色	ほぼ 1/2	粘土が硬質
487	12701	土師器 高杯	C27	SD69	底径 9.3		外:工具ナデ・ヨコナデ 内:ヨコナデ・ナデ	やや重	良	浅黄褐色	ほぼ 完全	
488	15703	土師器 高杯	E30	SD69	底径 10		外:ハケメ・ヨコナデ 内:ヨコナデ・ハケメ・ナデ	やや重	良	にぶい黄褐色		
489	12605	土師器 白付鉢	C27	SD69	12.6		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ナデ	やや重 1~2mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	口縁部 1/8	
490	13203	土師器 白付鉢	C28	SD69	底径 7.9		外:工具ナデ・オサエ・ヨコナデ 内:ヨコナデ・ナデ 内:ナデ	軽 ~3.2mmの砂粒含む	良	淡褐色・赤褐色・灰白	ほぼ 完全	
491	15806	土師器 盆	C28	SD69			外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや重	良	にぶい褐色	口縁 部片	
492	15603	土師器 盆	D80	SD69	13.2		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・オサエ・ナデ	やや重	良	にぶい褐色	口縁部 1/4	外面が黒変
493	12002	土師器 盆	C27	SD69	18.6		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや重 ~1.5mmの砂粒含む	並	外:にぶい褐色 内:にぶい黄褐色	口縁部 1/2	外面が黒変
494	12103	土師器 盆	C27	SD69	18		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・ナデ	やや重 ~2mmの砂粒含む	並	浅黄褐色・にぶい黄褐色	口縁部 3/8	
495	11803	土師器 蓋	C27	SD69	15.8		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや重 ~1mmの微砂粒含む	良	浅黄褐色	口縁部 1/8	
496	13303	土師器 蓋	C29	SD69	14.6		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや重 ~1.5mmの微砂粒含む	良	浅黄褐色	口縁部 1/4	
497	11205	土師器 蓋	C28	SD69	12.8		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ナデ	やや重	良	外:にぶい褐色 内:灰黄褐色	口縁部 1/8	
498	13402	土師器 蓋	C29	SD69	15.4		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや重 ~3.5mmの砂粒含む	良	浅黄褐色・灰白色	口縁部 1/4	
499	13804	土師器 蓋	C30	SD69	13		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・ナデ・オサエ	やや重 ~1mmの砂粒含む	良	外:灰褐色・にぶい褐色 内:にぶい黄褐色	口縁部 1/8	外面は割傷
500	14103	土師器 蓋	E31	SD69	14.7		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや重 1~2mmの砂粒含む	良	外:にぶい黄褐色 内:灰白色	1/2	
501	15805	土師器 蓋	D80	SD69	14.1		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや重	良	浅黄褐色	口縁部 1/4	
502	14403	土師器 蓋	E30	SD69	14.8		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ナデ	やや重 ~1.8mmの砂粒含む	良	淡赤褐色	口縁部 1/4	
503	15005	土師器 蓋	C27	SD69	20.6		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや重 ~2mmの砂粒含む	並	浅黄褐色	口縁部 1/8	
504	12503	土師器 蓋	C27	SD69	18.9		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや重	良	浅黄褐色	口縁部 1/4	
505	13803	土師器 蓋	D80	SD69	18.8		外:ヨコナデ・ナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや重 ~1mmの砂粒含む	良	外:にぶい褐色 内:浅黄褐色・にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
506	12101	土師器 蓋	C27	SD69	18.9		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・ナデ	やや重 ~2mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
507	15002	土師器 蓋	C27	SD69	18.5		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・ナデ	やや重 ~2mmの砂粒含む	並	淡黄色	口縁部 3/8	
508	12102	土師器 蓋	C27	SD69	18.4		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや重 ~2mmの砂粒含む	並	浅黄褐色	口縁部 1/4	外面が一部 黒変
509	11603	土師器 蓋	D29	SD69	15.8	19.8	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・ケズリ・ナデ	やや重 1~2mmの砂粒含む	良	灰白色	3/4	
510	15102	土師器 蓋	C27	SD69	18.8		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	軽 ~2mmの砂粒含む	並	淡黄色	口縁部 1/8	
511	14903	土師器 蓋	C27	SD69	18.7		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・ナデ	やや重	良	灰白色	口縁部 3/8	
512	14503	土師器 蓋	D81	SD69	16		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや重 3.5mmの小石含む	良	灰白色・にぶい黄褐色・ 灰黄褐色	口縁部 1/4	
513	13103	土師器 蓋	C28	SD69	18		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや重 ~1.5mmの微砂粒含む	良	浅黄褐色	口縁部 1/4	
514	13101	土師器 蓋	C28	SD69	18.2		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや重 ~1.8mmの微砂粒含む	良	浅黄褐色	口縁部 完全	
515	14384	土師器 蓋	D80	SD69	15.7		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや重 ~1.8mmの砂粒含む	良	黒褐色・灰白色	口縁部 1/8	
516	15802	土師器 蓋	D80	SD69	18.8		外:ヨコナデ・オサエ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや重	良	浅黄褐色	口縁部 1/4	
517	12502	土師器 蓋	C27	SD69	18.9		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや重 1~2mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	口縁部 1/2	
518	13503	土師器 蓋	C30	SD69	16.8		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・ハケ掘ナデ	やや重	良	外:浅黄色 内:灰黄色	口縁部 1/4	
519	11901	土師器 蓋	C27	SD69	18.2		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや重	良	黄褐色・灰白色	口縁部 完全	
520	13301	土師器 蓋	C28	SD69	18.6		外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや重 ~1.8mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	口縁部 完全	

第16表 出土遺物観察表13

番号	発掘番号	遺構	出土位置		計測値 (cm)	調査・技法の特徴	出土	構成	色調	残存度	備考
			地区	遺構							
521	12301	土師器 甕	C27	SD69	16.7	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケム	やや粗 ～3mmの砂粒含む	貝	にぶい黄褐色・棕色	口縁部 3/8	
522	13801	土師器 甕	C39	SD69	16	外: ココナデ・オサエ・ハケム後ナデ 内: ココナデ・ハケム	やや粗 ～4mmの小石含む	貝	外: 灰白色 内: 灰白色・浅黄褐色	口縁部 1/3	
523	14101	土師器 甕	D30	SD69	18.2	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケム	やや粗 1～2mmの砂粒含む	貝	褐色・灰白色・灰色	口縁部 1/2	
524	11703	土師器 甕	C27	SD69	17.6	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケム・ナデ	やや粗 ～1.6mmの砂粒含む	貝	にぶい黄褐色・灰白色・ 灰黄褐色	口縁部 3/8	
525	14203	土師器 甕	D31	SD69	16.8	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケム	やや粗 ～2.5mmの砂粒含む	貝	にぶい黄褐色・灰白色・黄 灰色	口縁部 1/2	
526	13502	土師器 甕	C29	SD69	18	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・工具ナデ・オサエ	やや粗 6mm大の石含む	貝	にぶい黄褐色	口縁部 1/2	
527	13902	土師器 甕	C30	SD69	16.8	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケム	やや粗 ～1mmの砂粒含む	貝	外: 灰黄色 内: 灰黄褐色・灰白色	口縁部 3/8	
528	12601	土師器 甕	C27	SD69	19.3	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケム	やや粗 1～2mmの砂粒含む	貝	褐色	口縁部 1/4	
529	14401	土師器 甕	C31	SD69	17.6	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケム	やや粗 ～1.7mmの砂粒含む	貝	にぶい黄褐色・灰白色	口縁部 1/4	
530	13003	土師器 甕	C28	SD69	19.8	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケム	やや粗 ～2mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色	口縁部 1/2	
531	13601	土師器 甕	C29	SD69	18.8	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケム	やや粗	貝	浅黄褐色・灰黄色	口縁部 3/8	
532	13002	土師器 甕	C28	SD69	19.8	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケム	粗 ～2mmの砂粒含む	並	浅黄褐色	口縁部 5/8	
533	12604	土師器 甕	C27	SD69	17	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケム・オサエ	やや粗 1～2mmの砂粒含む	貝	浅黄褐色・灰白色	口縁部 1/3	
534	29002	土師器 甕	D30	SD69	17.3	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・オサエ・ハケム	やや粗 ～4mmの砂粒含む	貝	灰白色	口縁部 1/4	
535	15803	土師器 甕	D30	SD69	19	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケム・ハケ後ナデ	やや粗	貝	灰黄色・灰白色	口縁部 1/4	
536	14302	土師器 甕	E30	SD69	19	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・ナデ・ハケム	やや粗 ～4.3mmの小石含む	並	浅黄褐色・にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
537	12303	土師器 甕	C27	SD69	19	外: ココナデ・ハケム・ナデ・工具瓶 内: ココナデ・ナデ	やや粗 ～2mmの砂粒含む	貝	灰白色	口縁部 1/4	
538	12504	土師器 甕	C27	SD69	19.1	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケム	やや粗 1～2mmの砂粒含む	貝	浅黄褐色・灰白色・橙 色	口縁部 1/4	
539	12603	土師器 甕	C27	SD69	17	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケム・ハケ後ナデ	やや粗 1～2mmの砂粒含む	貝	褐色	口縁部 1/4	
540	14301	土師器 甕	D30	SD69	19.6	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケム	やや粗 ～1mmの礫石含む	貝	灰白色・にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
541	12402	土師器 甕	C27	SD69	19	外: ココナデ・ナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケム	やや粗 ～2mmの砂粒含む	貝	灰白色・にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
542	12602	土師器 甕	C27	SD69	17	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケム・ナデ	やや粗 1～2mmの砂粒含む	貝	浅黄褐色	口縁部 1/4	
543	14402	土師器 甕	D30	SD69	19.2	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケム	やや粗 ～1.5mmの砂粒含む	貝	灰白色	口縁部 1/3	
544	13901	土師器 甕	D30	SD69	19	外: ココナデ・ナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケ後ナデ・ハケム	やや粗 ～2mmの砂粒含む	貝	外: にぶい黄褐色 内: にぶい黄褐色・灰白色	口縁部 完存	
545	13001	土師器 甕	C28	SD69	19.2	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケム	やや粗 ～1.5mmの砂粒含む	並	浅黄褐色・黄灰色・橙 色・灰黄褐色	口縁部 完存	
546	12401	土師器 甕	C27	SD69	19	外: ココナデ・ナデ・オサエ・ハケム 内: ココナデ・ハケム	やや粗 ～2mmの砂粒含む	貝	灰白色・浅黄褐色	口縁部 1/4	
547	15501	土師器 甕	C27	SD69	19.5	外: ココナデ・ナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケム	やや粗 ～2mmの砂粒含む	貝	外: 黄褐色 内: にぶい褐色・浅黄褐色	口縁部 3/4	
548	13005	土師器 甕	C28	SD69	19.8	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケム・ナデ	やや粗 ～1.5mmの砂粒含む	並	褐色	口縁部 1/4	
549	14502	土師器 甕	D31	SD69	20.2	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケム	やや粗	貝	にぶい黄褐色	口縁部 1/2	
550	15801	土師器 甕	C29	SD69	20.6	外: ココナデ・オサエ・ハケム 内: ココナデ・ハケム	やや粗	貝	灰白色・浅黄褐色	口縁部 3/8	
551	12001	土師器 甕	C27	SD69	17.8	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケム	やや粗 ～1.5mmの砂粒含む	並	浅黄褐色	口縁部 5/8	
552	13702	土師器 甕	C31	SD69	19.8	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケム	やや粗 ～1.2mmの砂粒含む	貝	浅黄褐色・棕色	口縁部 完存	
553	13602	土師器 甕	C29	SD69	19.8	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケム・オサエ・ナデ	やや粗	貝	にぶい黄褐色・浅黄褐色	口縁部 完存	
554	14902	土師器 甕	C27	SD69	19	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケム	やや粗	貝	褐色・浅黄褐色	口縁部 完存	
555	13701	土師器 甕	C29	SD69	19.3	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケム	やや粗 ～4mmの砂粒含む	貝	浅黄褐色	口縁部 完存	
556	11601	土師器 甕	D29	SD69	19	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケム	やや粗 1～2mmの砂粒含む	貝	灰白色	口縁部 3/4	
557	13302	土師器 甕	C29	SD69	19.8	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケム	やや粗 ～2.3mmの砂粒含む	貝	灰白色・浅黄褐色	口縁部 1/4	
558	13603	土師器 甕	C30	SD69	20.2	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケム	やや粗	貝	褐色・淡赤褐色	口縁部 1/4	
559	12501	土師器 甕	C27	SD69	20.3	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケム	やや粗 1～2mmの砂粒含む	貝	黄灰色・浅黄褐色	口縁部 1/2	
560	14202	土師器 甕	C31	SD69	20.5	外: ココナデ・ハケム 内: ココナデ・ハケム・ナデ・ハケム	やや粗 ～2mmの砂粒含む	貝	浅黄褐色	口縁部 1/4	

第17表 出土遺物観察表14

番号	発掘番号	層種	出土位置		計測値 (cm)	調整・技法の特徴	胎土	地衣	色調	残存度	備考
			地区	遺構							
561	15001	土師器	C27	SD69	20.9	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 ~2mmの砂粒含む	黄	浅黄褐色	口縁部 1/2	
562	12302	土師器	C27	SD69	20	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 ~3mmの砂粒含む	黄	内:ぶい黄褐色 外:ぶい黄褐色・灰白色	口縁部 3/8	
563	13903	土師器	C30	SD69	20.7	外:ヨコナデ・ナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 ~3mmの砂粒含む	黄	外:灰白色 内:ぶい黄褐色	口縁部 1/4	
564	11602	土師器	D29	SD69	20.8	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 1~2mmの砂粒含む	黄	灰白色・灰色	口縁部 1/4	
565	11903	土師器	C27	SD69	20.5	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗	良	浅黄褐色	口縁部 3/8	
566	12902	土師器	C28	SD69	20.6	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗	良	浅黄褐色	口縁部 1/4	
567	14904	土師器	C27	SD69	20	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・オサエ・ハケメ	やや粗 ~2mmの砂粒含む	黄	浅黄褐色	口縁部 1/2	
568	13201	土師器	C28	SD69	19.4	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 ~6.5mmの小石含む	黄	浅黄褐色・灰白色	口縁部 1/4	
569	13202	土師器	C28	SD69	20.4	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・ナデ	やや粗 ~1.8mmの砂粒含む	黄	ぶい黄褐色・浅黄褐色	口縁部 1/4	
570	14901	土師器	C27	SD69	20	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗	良	ぶい黄褐色・浅黄褐色	1/8	
571	11801	土師器	C27	SD69	20.4	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 ~2.8mmの砂粒含む	黄	ぶい黄褐色・浅黄褐色	口縁部 3/8	
572	12304	土師器	C27	SD69	20	外:ヨコナデ・ナデ・オサエ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 ~2mmの砂粒含む	黄	外:ぶい黄褐色・灰白色 内:灰白色	口縁部 1/4	
573	12201	土師器	C27	SD69	20	外:ヨコナデ・オサエ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 ~2mmの砂粒含む	黄	ぶい黄褐色	口縁部 3/8	
574	29001	土師器	C27	SD69	19.8	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗	良	浅黄褐色	口縁部 完全	
575	13004	土師器	C28	SD69	20.1	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 ~4mmの砂粒含む	黄	浅黄褐色	口縁部 1/4	
576	15101	土師器	C27	SD69	20.4	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	粗 ~2mmの砂粒含む	黄	浅黄褐色	口縁部 1/4	
577	14001	土師器	D30	SD69	20.2	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・オサエ	やや粗	黄	外:灰白色 内:ぶい黄褐色	口縁部 1/4	
578	11702	土師器	C27	SD69	20.2	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ナデ・ハケメ	やや粗 ~2.8mmの砂粒含む	黄	ぶい黄褐色・ぶい黄褐色・灰白色	口縁部 1/4	
579	14501	土師器	D31	SD69	20.8	外:ヨコナデ・オサエ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗	良	褐色	口縁部 1/4	
580	14601	土師器	D31	SD69	20	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗	良	浅黄褐色	口縁部 1/4	
581	12302	土師器	C27	SD69	21	外:ヨコナデ・ナデ・オサエ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・ナデ・オサエ	やや粗 ~3mmの砂粒含む	黄	外:浅褐色・ぶい黄褐色 内:ぶい黄褐色・灰白色	口縁部 1/4	
582	11802	土師器	C27	SD69	21.6	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 ~1.1mmの砂粒含む	黄	浅黄褐色	口縁部 3/8	
583	14905	土師器	C27	SD69	21	外:ヨコナデ・オサエ・工具痕・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗	良	浅黄褐色	口縁部 1/2	
584	13501	土師器	C29	SD69	21.2	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・工具痕・ハケメ・オサエ	やや粗	良	外:褐色 内:ぶい黄褐色・浅黄褐色	口縁部 1/2	
585	11902	土師器	C27	SD69	21.4	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 ~3mmの砂粒含む	黄	浅黄褐色	口縁部 1/4	
586	13802	土師器	C30	SD69	22	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや粗 ~2mmの砂粒含む	黄	ぶい黄褐色・灰白色	口縁部 1/4	
587	12403	土師器	C27	SD69	22	外:ヨコナデ・オサエ・ナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 ~1mmの砂粒含む	黄	外:ぶい黄褐色 内:ぶい黄褐色・灰白色	口縁部 1/8	
588	15602	土師器	C28	SD69	21	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗	良	浅黄褐色	口縁部 1/4	
589	12901	土師器	C28	SD69	23	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・ケズリ	やや粗	良	ぶい黄褐色・褐色	口縁部 1/2	外面にへラ 記号
590	13102	土師器	C28	SD69	23.6	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 ~2.2mmの砂粒含む	黄	浅黄褐色・ぶい黄褐色	口縁部 1/8	
591	11701	土師器	C27	SD69	23	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・ナデ	やや粗 ~0.5mmの砂粒含む	黄	浅黄褐色	口縁部 1/2	
592	12902	土師器	C27	SD69	23.5	調整が厳しく調整不明瞭	やや粗	良	浅黄褐色	口縁部 3/4	
593	15103	土師器	C27	SD69	25.8	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 ~2mmの砂粒含む	黄	ぶい黄褐色	口縁部 1/4	
594	14201	土師器	D30	SD69	26.6	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 ~2.5mmの砂粒含む	黄	ぶい黄褐色・灰白色	口縁部 1/4	
595	15201	土師器	C27	SD69	28.2	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 ~1.5mmの砂粒含む	黄	外:ぶい黄褐色 内:灰黄褐色	口縁部 1/8	
596	15202	土師器	C27	SD69	29.1	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 ~2mmの砂粒含む	黄	ぶい黄褐色	口縁部 1/8	
597	15601	土師器	C30	SD69	32.8	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗	良	ぶい黄褐色	口縁部 1/4	
598	12801	土師器	C27	SD69	26.8	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・ケズリ	やや粗	良	浅黄褐色・灰白色	1/4	
599	14102	土師器	D30	SD69	17.9	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・ケズリ	やや粗 1~2mmの砂粒含む	黄	浅黄褐色	口縁部 1/4	
600	12702	土師器	C27	SD69		外:ハケメ・外付けナデ・ケズリ・ナデ 内:ハケメ	やや粗 1~3mmの砂粒含む	黄	浅黄褐色・灰色	把手片	

第18表 出土遺物観察表15

番号	発掘番号	原種	出土位置		計測値 (cm)	調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考
			地区	遺構							
601	15701	土師器 Ⅲ	D31	SD69	体部径 19	外:ハケス・ハリ付けナデ・ハケス内:ハケス	やや密	良	灰黄色	体部片	
602	12703	土師器 Ⅲ	C27	SD69		外:ハケス・ハリ付けナデ内:ハケス	やや粗 1~2mmの砂粒含む	良	浅黄褐色・棕色	把手片	
603	11804	土製品 土師	R27	SD69	長 8.3 幅 2.5	ナデ	密 ~1.5mmの微砂粒含む	良	にぶい褐色・暗灰色	完存	重さ 60.51g
604	13405	土製品 土師	D29	SD69	長 10.5 幅 3.4	ナデ	密	良	淡褐色・灰色	ほぼ完存	重さ 119.7g
605	12204	土製品 土師	D27	SD69	長 9 幅 2.5	ナデ	やや粗 ~1mmの砂粒含む	良	暗灰色	完存	重さ 73g
606	14404	土製品 土師	C30	SD69	長 6.9 幅 2.2	ナデ	密 ~2.2mmの砂粒含む	良	浅黄褐色・暗灰色	3/4	重さ 54.62g
607	12704	土製品 土師	C27	SD69	長 6.5 幅 3.05	ナデ	やや粗 1~2mmの砂粒含む	良	灰白色・灰色	完存	重さ 52.255g
608	14606	土製品 土師	D31	SD69	残存長 5.1 幅 3.7	ナデ	やや粗 ~2mmの砂粒含む	不良	灰白色・黄灰色	不明	重さ 47.18g
609	13805	土製品 土師	C30	SD69	残存長 5.9 幅 1.5	ナデ	密	良	にぶい黄褐色・暗灰色	不明	重さ 15g
610	14405	土製品 土師	E30	SD69	残存長 5.1 幅 1.4	ナデ	密	良	褐色	不明	重さ 8.84g
611	15304	須恵器 杯蓋	C27	SD69	14.3 5.0	外:ロクロナデ・ロクロナズリ内:ロクロナデ・同心円当て基層	やや粗 ~4.7mmの小石含む	良	灰白色	3/4	
612	15401	須恵器 杯蓋	C27	SD69	14.8	外:ロクロナデ・ロクロナズリ内:ロクロナデ	密	良	灰色	口縁部 1/4	
613	15402	須恵器 杯蓋	C27	SD69	13.8	外:ロクロナデ・ロクロナズリ内:ロクロナデ	やや密 ~2mmの砂粒含む	良	灰白色	1/2	
614	15305	須恵器 杯蓋	C27	SD69	13.8 4.0	外:ロクロナデ・ロクロナズリ内:ロクロナデ	密 ~1.6mmの砂粒含む	良	灰白色・灰色	3/4	
615	15604	須恵器 杯蓋	D30	SD69	12.8	外:ロクロナデ・ロクロナズリ内:ロクロナデ	やや密	良	灰色・暗灰色	1/4	
616	13403	須恵器 杯蓋	D29	SD69	13.8	外:ロクロナデ・ヘラ切り未調整内:ロクロナデ	密 ~1mmの微砂粒含む	良	灰色	1/2	
617	13305	須恵器 杯蓋	D29	SD69	13.4	外:ロクロナデ・ヘラ切り内:ロクロナデ	やや粗 ~2.7mmの砂粒含む	良	灰白色・黄灰色	1/2	
618	13404	須恵器 杯蓋	C29	SD69	14.8	外:ロクロナデ・ロクロナズリ内:ロクロナデ	やや粗 ~1.3mmの微砂粒含む	良	灰白色	口縁部 1/2	内面にヘラ切り
619	15405	須恵器 杯蓋	C27	SD69	12 4.0	外:ロクロナデ・ロクロナズリ内:ロクロナデ	やや粗 ~4mmの小石含む	良	灰色	1/4	
620	14705	須恵器 杯蓋	E31	SD69	13.7	外:ロクロナデ・ロクロナズリ内:ロクロナデ	やや密 ~2mmの砂粒含む	良	灰色	1/2	
621	14704	須恵器 杯蓋	R27	SD69	12 4.2	外:ロクロナデ・ロクロナズリ内:ロクロナデ	やや密 ~3mmの砂粒含む	良	灰色	1/2	外面外面にヘラ切り
622	15302	須恵器 杯蓋	C27	SD69	12 4.7	外:ロクロナデ・ロクロナズリ内:ロクロナデ	やや粗 ~1.3mmの砂粒含む	良	灰色	1/2	
623	15303	須恵器 杯蓋	C27	SD69	13.3 5.0	外:ロクロナデ・ロクロナズリ内:ロクロナデ・同心円当て基層	やや粗 ~4mmの小石含む	良	灰白色・黄灰色	3/4	
624	14003	須恵器 杯蓋	D30	SD69	13.2 4.6	外:ロクロナデ・ロクロナズリ内:ロクロナデ	やや粗 1~2mmの砂粒含む	良	灰色	3/4	外面に自然釉付着
625	15301	須恵器 杯蓋	C27	SD69	12.7 4.4	外:ロクロナデ・ヘラ切り内:ロクロナデ	やや密 ~4mmの小石含む	良	灰白色・灰色	3/4	外面に自然釉付着
626	15403	須恵器 杯蓋	C27	SD69	9.8 4.0	外:ロクロナデ・ロクロナズリ内:ロクロナデ	やや密 ~3mmの砂粒含む	良	灰色	1/4	
627	13104	須恵器 杯蓋	C28	SD69	12.8	外:ロクロナデ・ロクロナズリ内:ロクロナデ	やや粗 ~2.6mmの砂粒含む	良	灰白色	1/2	
628	15404	須恵器 杯蓋	C27	SD69	12 4.0	外:ロクロナデ・ロクロナズリ内:ロクロナデ	やや粗 ~4mmの小石含む	良	灰色	1/4	
629	11303	須恵器 杯蓋	C28	SD69	12 3.5	外:ロクロナデ・ヘラ切り未調整内:ロクロナデ	やや粗 ~3mmの砂粒含む	良	灰色	1/2	
630	14605	須恵器 高杯蓋	D31	SD69	12.9 4.9	外:ロクロナデ・ロクロナズリ・ハリ付けナデ内:ロクロナデ	やや密	良	灰色	1/2	
631	15306	須恵器 高杯蓋	C27	SD69	14.8 6.3	外:ロクロナデ・ロクロナズリ・ハリ付けナデ内:ロクロナデ	やや密 ~3.5mmの小石含む	良	灰色・暗灰色	3/8	外面に自然釉付着
632	14204	須恵器 高杯	D30	SD69	底径 10.6	外:ロクロナデ 内面:ロクロナデ	密 ~0.8mmの微砂粒含む	良	灰白色・灰色	底部 1/4	
633	12907	須恵器 高杯	C27	SD69	底径 10.1	外:ロクロナデ 内面:ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密	良	灰色	底部 完存	
634	11201	須恵器 笠形	C28	SD69	11.8	外:ロクロナデ・ホキス内:ロクロナデ・ナデ	やや密	良	灰白色	口縁部 1/2	
635	28605	鉄製品 鉄鏡	C27	SD69	刃部長 4.5 幅 1.8						
636	28505	石製品 硯石	C30	SD69	残存長 4 幅 4.3					4面残	4面に使用痕
637	16001	土師器 Ⅲ	B31	SD73	18.8	外:ヨコナデ・ハケス内:ヨコナデ・ハケス	密	良	灰白色・浅黄褐色・にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
638	16003	土師器 Ⅲ	C31	SD73	17.4	外:ヨコナデ・ハケス内:ヨコナデ・ハケス	密	良	にぶい褐色	口縁部 1/8	
639	1104	土師器 Ⅲ	B8	SK37	17.8	外:ヨコナデ・ハケス内:ヨコナデ・ハケス	やや密	良	暗黄褐色・黄灰色・灰黄色	口縁部 1/4	
640	3303	土師器 Ⅲ	B7	SK37	18	外:ヨコナデ・オサエ・ナデ内:ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや粗 ~2.5mmの砂粒含む	良	褐色・浅黄褐色	口縁部 1/2	

第19表 出土遺物観察表16

番号	発掘番号	器種	出土位置 地区 遺構	許容径 (cm) 口径 器高	調製・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考
641	3002	土師器 高杯	B7 SK37	底径 19.7	外:ハケメ・ナデ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密 ~1.2mmの砂粒含む	良	外:にぶい褐色・灰白色 内:にぶい褐色	底部 1/8	
642	2905	土師器 高杯	B7 SK37	11.2	外:ヨコナデ・ロクロケズリ 内:ヨコナデ	やや密 ~2.6mmの砂粒含む	良	灰白色	口縁部 1/4	
643	4402	土師器 高杯	C10 SK41	底径 8.9	外:ナデ・ヨコナデ 内:ヨコナデ・シボリ	やや密 ~2mmの砂粒含む	並	外:にぶい褐色	胴部 1/2	
644	4601	土師器 高杯	C10 SK41	27	外:ヨコナデ・ナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・ヘラケズリ	やや密 ~1.8mmの砂粒含む	並	外:にぶい褐色・浅黄褐色 内:浅黄褐色	口縁部 1/4	
645	5303	土師器 高杯	B14 SK45	16	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	並 ~1.2mmの砂粒含む	良	灰白色・灰黄褐色	口縁部 1/8	
646	16002	土師器 高杯	B29 SK74	14.8	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	並	良	灰白色・浅黄褐色	口縁部 1/4	
647	16005	土師器 高杯	B29 SK74	18.8	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	並	良	浅黄褐色	口縁部 1/4	
648	16202	土師器 高杯	C26 SK77	19.5	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密 1~2mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	口縁部 3/8	
649	16205	土師器 高杯	C26 SK77	12.6 4.3	外:ロクロナデ・ロクロケズリ 内:ロクロナデ	並	良	灰色	1/2	
650	903	土師器 高杯	C30 pR3	11.7 2.9	外:ヨコナデ・ナデ・オサエ 内:ヨコナデ・ナデ	並	良	浅黄褐色	1/8	
651	801	土師器 高杯	C30 pR3	29	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密 1~2mmの砂粒含む	良	浅黄褐色・褐色	口縁部 1/4	
652	802	土師器 高杯	C30 pR3	24.9	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密 1~2mmの砂粒含む	良	灰白色	口縁部 1/8	外側に張り着
653	1065	土師器 高杯	C30 pR3	12.2	外:ロクロナデ・ロクロケズリ 内:ロクロナデ	やや密 ~1mmの砂粒含む	良	灰色	1/8	
654	7394	土師器 高杯	B19 SH55	14.3 2.6	外:ヨコナデ・オサエ 内:ヨコナデ・ナデ	やや密	良	にぶい黄褐色	1/2	
655	7305	土師器 高杯	B19 SH55	13.8	外:ヨコナデ・オサエ・ナデ 内:ヨコナデ・ナデ	やや密	良	にぶい黄褐色	1/4	
656	17404	土師器 高杯	C38 SK81		外:ナデ・オサエ 内:ヨコナデ・ナデ	やや密	良	外:にぶい褐色 内:褐色	小片	
657	701	土師器 高杯	B11 SD09	11.7 2.5	外:オサエ・ナデ・オサエ 内:ヨコナデ・ナデ	並 ~1.5mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色・浅黄褐色	完存	南伊勢系
658	702	土師器 高杯	B11 SD09	11.5 2.7	外:オサエ・ナデ・オサエ 内:ヨコナデ・ナデ	並 ~1mmの砂粒含む	並	浅黄褐色	ほぼ 完存	南伊勢系
659	4307	土師器 高杯	B12 SD09	12 2.7	外:オサエ・ナデ 内:オサエ・ナデ	やや密	良	外:浅黄褐色 内:にぶい褐色	1/2	南伊勢系
660	4305	土師器 高杯	B11 SD09	11.4 2.8	外:ナデ・オサエ 内:ナデ・オサエ	やや密	良	浅黄褐色	1/2	南伊勢系
661	4306	土師器 高杯	B11 SD09	12.6 2.3	外:ナデ・オサエ 内:ナデ・オサエ	やや密 ~3mmの砂粒含む	良	黄褐色	1/2	南伊勢系
662	703	土師器 高杯	B11 SD09	26.8	外:ヨコナデ・ハケメ・ウズリ・ナデ 内:ヨコナデ・ナデ・ウズリ・オサエ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色・浅黄褐色・ 黄褐色	1/2	南伊勢系
663	5307	土師器 高杯	E16 SK44	8	外:ヨコナデ・オサエ 内:ヨコナデ・ナデ	並	良	浅黄褐色	口縁部 1/4	南伊勢系
664	5305	土師器 高杯	E16 SK44	11.7	外:ヨコナデ・ナデ 内:ヨコナデ・ナデ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	口縁部 1/8	南伊勢系
665	5306	土師器 高杯	E16 SK44	9.8	外:ヨコナデ・ナデ 内:ヨコナデ・ナデ	並	良	浅黄褐色	口縁部 1/8	南伊勢系
666	5705	土師器 高杯	E1 SK50	底径 7.3	外:ロクロナデ・ハリ付け高台・糸引り 内:ロクロナデ	やや密	良	灰白色	底部 1/2	内面に自然 輪付着
667	17306	土師器 高杯	D09 SK84	底径 7	外:ロクロナデ・ハリ付け高台・糸引り 内:ロクロナデ	やや密 ~1mmの砂粒含む	良	外:浅黄褐色 内:黄褐色・浅黄褐色	底部 1/4	内面に自然 輪付着
668	19705	土師器 高杯	C14 包含層	17.8	外:ヨコナデ・ハケメ・ミガキ 内:ヨコナデ・ミガキ	やや密	良	にぶい褐色・褐色	杯部 1/4	
669	5902	土師器 高杯	C14 SD47	19.5	外:ナデ・ミガキ 内:ナデ・ミガキ	やや密	良	浅黄褐色・灰色	杯部 1/4	
670	17004	土師器 高杯	E25 SH78	16.5	外:ヨコナデ・ナデ 内:ヨコナデ・ナデ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	並	褐色	杯部 1/4	
671	8701	土師器 高杯	R23 SD68	20.4	外:ミガキ 内:ミガキ	やや密	良	明赤褐色・褐色	杯部 1/4	
672	5901	土師器 高杯	C15 SD47	22.2	外:ナデ・ヘラミガキ 内:ナデ・ヘラミガキ	やや密 1~2mmの砂粒含む	良	にぶい褐色	杯部 1/4	
673	7103	土師器 高杯	E18 SH52	16.4	外:ヨコナデ・ナデ 内:ヨコナデ・ナデ	やや密 1~2mmの砂粒含む	良	褐色	杯部 1/2	
674	5401	土師器 高杯	B14 SK45	20.6	外:ヨコナデ・ミガキ 内:ヨコナデ・ミガキ	並 ~0.8mmの砂粒含む	並	にぶい褐色	杯部 1/8	
675	12203	土師器 高杯	R27 SD69	13	外:ヨコナデ・ナデ・オサエ 内:ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや密	良	外:褐色 内:浅黄褐色	杯部 1/4	
676	15904	土師器 高杯	C29 SH75	16	外:ヨコナデ・ナデ 内:ヨコナデ・ナデ	並	良	にぶい褐色・黒色	杯部 1/4	
677	5405	土師器 高杯	B15 SD47	底径 3.1	外:ミガキ 内:ナデ	並 ~4.5mmの小石含む	良	褐色	胴部 完存	
678	5404	土師器 高杯	B14 SK45	底径 2.9	外:ハケ後ミガキ 内:ハケメ・シボリ	やや密 ~1.3mmの砂粒含む	良	褐色	胴部 完存	
679	26403	土師器 高杯	E29 包含層	底径 3.2	外:ミガキ・ハケメ・ミガキ 内:ナデ	並	良	にぶい褐色・褐色・浅 黄褐色	胴部片	
680	8703	土師器 高杯	D18 SH52	底径 2.7	外:ナデ・ハケ後ミガキ 内:工具ナデ	やや密 ~1mmの砂粒含む	並	にぶい褐色	胴部 完存	

第20表 出土土物観察表17

番号	発掘番号	遺構	出土位置 地区	遺構 口径	計測値 (cm) 深さ	調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考	
												調整・技法の特徴
681	14603	土師器 高杯	E31	SD69	15.3	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ナデ	やや密	良	外:棕色・浅黄棕色 内:にぶい黄棕色	杯部 1/4		
682	2103	土師器 高杯	C4	SD33	底径 17.2	外:ミガキ 内:ハケム・ナデ・ナデ 内:ミガキ	密 ～2mmの砂粒含む	良	棕色	杯部 完存		
683	20803	土師器 高杯	C19	包含層		外:ミガキ・ヨコナデ 内:ヨコナデ・ナデ	やや密 ～1.5mmの砂粒含む	良	浅黄棕色	杯部 1/4		
684	6705	土師器 高杯	D18	SH52	底径 3.1	外:ミガキ 内:ナデ	やや密 ～2.5mmの砂粒含む	並	棕色	杯部 1/2	胎土が硬質	
685	5703	土師器 高杯	C15	SD47	底径 12.9	外:ミガキ・ヨコナデ 内:ヨコナデ・ナデ	やや密 1～2mmの砂粒含む	良	にぶい棕色・灰黄棕色	底部 完存		
686	7104	土師器 高杯	E18	SH52	底径 15.9	外:ミガキ・ヨコナデ 内:ヨコナデ・ハケム・オサエ	やや密 1～2mmの砂粒含む	良	棕色	底部 1/2		
687	6002	土師器 高台	D18	SH52	19.3	外:ミガキ 内:ミガキ	やや密	良	にぶい黄棕色・灰黄色	杯部 1/4		
688	6901	土師器 高台	D18	SH52	14.9	外:ハケム・ミガキ 内:ハケム・ミガキ	やや密 1～2mmの砂粒含む	良	棕色	杯部 1/2		
689	6306	土師器 高台	D18	SH52	5.2	4.8	外:ヨコナデ・ナデ 内:ヨコナデ・ナデ	密	良	外:赤褐色・にぶい黄棕色 内:赤褐色	ほぼ 完存	
690	6606	土師器 高台	D18	SH52	底径 2.8	外:ミガキ 内:ナデ・ケズリ	密 ～1mmの砂粒含む	並	にぶい棕色	断面片		
691	6605	土師器 高台	D18	SH52	底径 0.8	外:ミガキ・ヨコナデ 内:ヨコナデ・ナデ・ケズリ	密 ～1mmの砂粒含む	並	にぶい黄棕色	断面 完存		
692	5402	土師器 高台	C14	SD47	19.6	外:ヨコナデ・ミガキ 内:ヨコナデ・ミガキ	やや密 ～3.7mmの砂粒含む	良	棕色	杯部 1/2		
693	5603	土師器 高台	C16	SD47	9.1	外:ヨコナデ・ミガキ 内:ミガキ	やや密 ～8mmの砂粒含む	並	棕色	杯部 完存		
694	28803	土師器 高台	E29	包含層	8.2	厚膜が強く調整不明瞭	やや密 ～4mmの小石含む	良	外:棕色・にぶい棕色 内:にぶい棕色	1/2		
695	3904	土師器 高台	E5	SH36	9.2	外:ミガキ 内:ミガキ	やや密	良	浅黄棕色・灰色	杯部 1/2		
696	15406	土師器 高台	E28	SH68	11.8	外:ヨコナデ・ミガキ 内:ミガキ	やや密 ～3mmの砂粒含む	良	黄棕色	口縁部 1/8		
697	5602	土師器 高台	C15	SD47	17.1	外:ヨコナデ・羽状文・ハケム・ヨコナデ 内:ミガキ・羽状文・ミガキ	やや密 ～2mmの砂粒含む	良	棕色・灰黄棕色・黒灰色	口縁部 1/4		
698	20602	土師器 高台	C19	包含層	17.1	外:ヨコナデ・工具ナデ 内:ヨコナデ・ミガキ	やや密	良	にぶい棕色	口縁部 1/2		
699	5504	土師器 高台	C15	SD47	15	外:ヨコナデ・ミガキ 内:ヨコナデ	密 ～1mmの砂粒含む	並	棕色	口縁部 1/4		
700	15003	土師器 高台	C27	SD69	底径 9.5	外:ミガキ・ハケム 内:ヨコナデ・オサエ・ナデ	やや密 ～1.5mmの砂粒含む	並	にぶい棕色	断面片		
701	8702	土師器 高台	B23	SD58	11.2	外:ミガキ 内:ミガキ	やや密	良	棕色	口縁部 1/4		
702	5704	土師器 高台	C14	SD47	5.1	外:ミガキ 内:ミガキ	やや密	良	にぶい棕色	口縁部 1/4		
703	11106	土師器 高台	E28	SH68	10.4	外:ミガキ 内:ミガキ	やや密	良	棕色	口縁部 1/4		
704	6604	土師器 高台	D18	SH52	10.8	外:ヨコナデ・ミガキ 内:ヨコナデ・ミガキ・ハケム・ヨコナデ	やや密 ～2mmの砂粒含む	並	にぶい棕色・にぶい黄 棕色・灰黄棕色	口縁部 1/4		
705	5503	土師器 高台	C15	SD47	13.8	外:ハケム・ヨコナデ 内:ハケム・ナデ・ヨコナデ	やや密 ～1.5mmの砂粒含む	並	外:棕色 内:にぶい黄棕色・灰黄棕色	口縁部 1/4		
706	21604	土師器 高台	C23	包含層	13.4	外:ヨコナデ・ハケム・ミガキ 内:ヨコナデ・ハケム・オサエ	やや密 ～3mmの砂粒含む	良	外:にぶい黄棕色 内:灰色	口縁 部片	内面が調整	
707	6603	土師器 高台	E18	SH52	12.6	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ	やや密 ～3.5mmの砂粒含む	並	棕色	口縁 部片		
708	9204	土師器 高台	C15	SH63	15.5	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ	やや密	良	棕色	口縁部 1/4		
709	10602	土師器 高台	E28	SH68	9.2	12.2	外:ヨコナデ・ミガキ・ハケム・工具 内:ヨコナデ・ミガキ・ナデ	やや密	良	棕色・黒灰色	完存	
710	8904	土師器 高台	E19	SD62	10.6	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ナデ	密 ～1.8mmの砂粒含む	良	棕色・浅黄棕色	口縁部 1/2		
711	6103	土師器 高台	E18	SH52	10.5	外:ヨコナデ・ナデ 内:ヨコナデ・ナデ	やや密	良	灰黄棕色	口縁部 1/4	外面に厚膜	
712	17005	土師器 高台	E26	SH78	8.2	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密 ～1.5mmの砂粒含む	並	棕色	口縁部 1/2		
713	5507	土師器 高台	C15	SD47	10.4	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ナデ	やや密 ～1.5mmの砂粒含む	並	暗灰黄色	杯部 1/2		
714	403	土師器 高台	E18	包含層	12.1	外:工具ナデ・ハケム・ミガキ 内:オサエ・工具ナデ	やや密 ～1mmの砂粒含む	並	棕色	杯部 完存		
715	8106	土師器 高台	E20	SD57	底径 3.4	外:ミガキ・ナデ 内:ミガキ	密	良	外:にぶい黄棕色・灰黄棕色 内:黄棕色・にぶい黄棕色	底部 1/2		
716	4304	土師器 高台	E5	SH36	底径 4	外:ハケム・ナデ 内:ナデ	やや密 微砂粒含む	良	にぶい黄棕色	底部 完存		
717	19905	土師器 高台	B15	包含層	底径 4	外:ミガキ・ナデ 内:工具類	やや密 ～1.8mmの砂粒含む	良	にぶい棕色・浅黄棕色	底部 完存		
718	17403	土師器 高台	D21	SD57	底径 3.6	外:ナデ 内:ナデ	やや密 ～3mmの砂粒含む	良	にぶい黄棕色	底部 完存		
719	14801	土師器 高台	E31	SD69	底径 7	外:ミガキ・ナデ・ケズリ・オサエ 内:ナデ・工具類	密	並	外:にぶい黄棕色 内:浅黄棕色	底部 3/4	底部外面に 木炭灰	
720	2401	土師器 高台	D3	SD33	底径 5.6	外:ハケム・工具ナデ 内:ナデ	粗 微砂粒含む	良	にぶい黄棕色	底部 完存		

第21表 出土遺物観察表18

番号	発掘番号	層様	出土位置 地区 遺構	計測値 (cm) 口径 高さ	調整・技法の特徴	胎土	構成	色調	残存度	備考
721	19704	土師器 蓋	C14 包含層	底径 0.4	外:ハケム、工具ナデ、オサエ、ナデ 内:ナデ	やや密	良	灰黄褐色、にぶい黄褐色	底部 完好	
722	8706	土師器 蓋	B22 SD60	底径 5.7	外:ミガキ、ナデ 内:ナデ	やや密	良	外:褐色 内:にぶい黄褐色	底部 完好	外面が黒変
723	1805	土師器 蓋	E7 SH29	底径 7.0	外:ナデ、オサエ 内:ナデ	やや密 1~3mmの砂粒含む	良	外:黒褐色、黄褐色 内:黄褐色、灰褐色	底部 完好	
724	7404	土師器 蓋	B23 SD58	底径 6.6	外:ミガキ、ナデ 内:厚膜調整調整不明瞭	粗 ~2.5mmの塵粒含む	並	褐色	底部 完好	
725	5304	土師器 蓋	B15 SD47	底径 5.9	外:ケズリハケム、ナデ 内:ナデ	やや密 ~3mmの砂粒含む	良	外:黄褐色、にぶい褐色 内:にぶい褐色	底部 完好	
726	11207	土師器 鉢	E28 SH68	14.8	外:ヨコナデ、ナデ 内:ヨコナデ、工具ナデ	やや密	良	褐色	1/4	
727	7602	土師器 鉢	E20 SD57	11.8	外:ヨコナデ、ナデ 内:ヨコナデ、ナデ	密	良	外:褐色、にぶい褐色 内:にぶい黄褐色、褐色	口縁部 3/8	
728	7601	土師器 鉢	D21 SD57	1.3	外:ヨコナデ、ナデ 内:ヨコナデ、ナデ、オサエ	密	良	褐色	口縁部 1/4	
729	8707	土師器 鉢	B22 SD60	底径 3.5	外:ケズリ 内:ケズリ後ミガキ	密	良	外:浅黄褐色 内:灰黄褐色	底部 完好	
730	10204	土師器 台付甕	D28 SH68	9.9	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ナデ、オサエ	やや粗 1~2mmの砂粒含む	良	外:黒褐色 内:にぶい黄褐色	口縁部 1/4	外面に煤 付着
731	6602	土師器 台付甕	D18 SH52	11.8	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ナデ、オサエ	やや密 ~1mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色	口縁部 1/4	外面に煤 付着
732	26503	土師器 台付甕	D29 包含層	1.3	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ナデ、オサエ	粗 ~2mmの砂粒含む	良	外:にぶい黄褐色 内:浅黄褐色、灰色	口縁部 1/8	
733	19702	土師器 台付甕	C14 包含層	14.6	外:ヨコナデ、工具ナデ、ナデ 内:ヨコナデ、ハケム	やや密	良	灰褐色	口縁部 1/4	外面に煤 付着
734	5301	土師器 台付甕	B18 SD47	14.8	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ナデ、オサエ後ナデ	やや密 ~3mmの砂粒含む	良	外:黄褐色 内:浅黄褐色	口縁部 1/2	外面に煤 付着
735	3003	土師器 台付甕	C5 SD35	14.8	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ナデ	やや粗 ~1.5mmの塵粒含む	良	外:灰白色、黄褐色 内:灰白色	口縁部 1/4	
736	5702	土師器 台付甕	C15 SD47	15.6	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ナデ、オサエ	やや密 1~2mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
737	10901	土師器 台付甕	E28 SH68	17.9	外:ヨコナデ、ナデ 内:ヨコナデ、ナデ	やや粗 ~1.5mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
738	7205	土師器 台付甕	B18 SH55	17.5	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、オサエ、ナデ	やや密	良	外:にぶい黄褐色 内:にぶい黄褐色	口縁部 1/4	外面に煤 付着
739	16203	土師器 台付甕	C26 SK77	16.7	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、オサエ、工具ナデ	やや粗 1~2mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	口縁部 1/4	外面に煤 付着
740	20903	土師器 台付甕	D19 包含層	17.0	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、オサエ、ナデ	粗 ~3mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色	口縁部 1/4	外面に煤 付着
741	8603	土師器 台付甕	B23 SD58	13.8	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ナデ、オサエ	やや粗 ~2mmの砂粒含む	良	にぶい黄褐色	口縁部 1/8	
742	5501	土師器 台付甕	C15 SD47	15.2	外:ヨコナデ、ハケム、クシ掃糠線 内:ヨコナデ、オサエ、ナデ	粗 ~1.5mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色、灰黄褐色	口縁部 3/4	外面に煤 付着
743	5803	土師器 台付甕	C15 SD47	16.8	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ナデ、オサエ	やや粗 1~2mmの砂粒含む	良	外:にぶい黄褐色 内:浅黄褐色	口縁部 1/8	
744	20303	土師器 台付甕	B15 包含層	17.9	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、オサエ	やや粗 ~2mmの砂粒含む	並	灰黄褐色	口縁部 1/8	
745	11904	土師器 台付甕	D27 SD69	18.6	外:ヨコナデ、ハケム、クシ掃糠線 内:ヨコナデ、オサエ、ナデ	やや密	良	灰黄褐色、黒褐色	口縁部 1/8	
746	14303	土師器 台付甕	C30 SD69	19.4	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ナデ	密 ~1.5mmの砂粒含む	良	にぶい褐色、浅黄褐色	口縁部 1/8	
747	25903	土師器 台付甕	C28 包含層	18.6	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ナデ、オサエ	やや粗 1~2mmの砂粒含む	良	にぶい黄褐色	口縁部 3/8	
748	28408	土師器 二分土甕	B16 腹足	6.3	外:ヨコナデ、ハケム、クシ掃糠線 内:ヨコナデ、ナデ	密	良	褐色	口縁部 3/8	台付甕
749	12903	土師器 台付甕	C27 SD69		外:ハケム 腹内:オサエ、ナデ 内:工具によるナデ	やや粗 ~3mmの砂粒含む	良	にぶい褐色、にぶい褐色	脚部片	
750	5804	土師器 台付甕	C14 SD47	底径 9.6	外:ハケム、ナデ、ヨコナデ 腹内:ヨコナデ、ナデ、オサエ 内:ナデ	やや粗 1~2mmの砂粒含む	良	にぶい黄褐色	脚部 1/2	
751	10004	土師器 台付甕	D27 SH68	底径 9	外:ハケム、ナデ 腹内:オサエ、ヨコナデ、オサエ 内:ナデ	やや粗 ~2mmの砂粒含む	並	外:にぶい黄褐色 内:にぶい褐色	脚部 1/2	脚部内面が 黒変
752	14205	土師器 甕	D30 SD69	底径 6.6	外:ハケム、ヨコナデ 腹内:ヨコナデ、ナデ 内:工具ナデ	やや粗 ~2mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	底部 完好	
753	5206	土師器 甕	B15 SD47	17.8	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ナデ、ケズリ	やや粗 ~1mmの砂粒含む	良	外:褐色色、灰褐色 内:灰白色、黄褐色	口縁部 1/8	
754	5205	土師器 甕	C15 SD47	13.8	外:ヨコナデ、ナデ 内:ヨコナデ、ケズリ	やや粗 ~2.5mmの砂粒含む	並	外:黄褐色、にぶい黄褐色 内:にぶい褐色	口縁部 1/8	
755	10205	土師器 甕	B28 SH68	1.3	外:ヨコナデ、ナデ 内:ヨコナデ、ナデ	やや粗 ~1mmの砂粒含む	良	灰褐色、にぶい褐色	口縁部 1/8	
756	7005	土師器 甕	D20 SH54	9.3	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ハケム、ナデ	やや粗 1~2mmの砂粒含む	良	にぶい褐色	口縁部 1/2	
757	16102	土師器 甕	E26 SH78	11.8	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ハケム、ナデ、オサエ	やや密	良	褐色	1/2	
758	1703	土師器 甕	E4 SD32	12.3	外:ハケム、ナデ 内:ヨコナデ、ナデ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
759	4103	土師器 甕	E5 SH36	12.2	外:ヨコナデ、ナデ、オサエ 内:ヨコナデ、ナデ、オサエ	やや密	良	外:灰黄褐色 内:灰白色	口縁部 1/4	外面に煤 付着
760	1403	土師器 甕	B12 SH46	10.8	外:ヨコナデ、ハケム 内:ヨコナデ、ハケム、ナデ	やや密	良	褐色	口縁部 1/8	

第22表 出土遺物観察表19

番号	発掘番号	遺構	出土位置		距離 (cm)	調整・技法の特徴	動土	構成	色調	残存度	備考
			地区	遺構							
761	7102	土師器 壺	E18	SH52	11.4	外: ヨコナデ・工具ナデ 内: ヨコナデ・ナデ	やや粗 1~2mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	口縁部 3/8	
762	8102	土師器 壺	E21	SD57	10.6	外: ヨコナデ・ハケム 内: ヨコナデ・工具類・ケズリ	やや密 内: 3mmの砂粒含む	良	外: 褐色・にぶい褐色 内: 浅黄褐色	口縁部 1/4	
763	20502	土師器 壺	E18	包含層	11.8	外: ヨコナデ・ハケム 内: ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや密	良	にぶい褐色	口縁部 1/4	
764	7506	土師器 壺	D20	SD57	10.1	外: ヨコナデ・ナデ 内: ヨコナデ・ナデ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	並	褐色	口縁部 1/2	
765	19901	土師器 壺	C15	包含層	14.2	外: ヨコナデ・ハケム 内: ヨコナデ・ハケム・ナデ	やや密 ~1.2mmの砂粒含む	良	浅黄褐色・淡褐色・にぶい褐色	口縁部 1/8	
766	6503	土師器 壺	D18	SH52	13.2	外: ヨコナデ・工具ナデ 内: ヨコナデ・オサエ・ナデ	やや粗 ~1.5mmの砂粒含む	並	灰黄褐色	口縁部 1/8	
767	5506	土師器 壺	C15	SD47	11.4	外: ヨコナデ・工具ナデ 内: ヨコナデ・ナデ	やや粗 ~1.5mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色	口縁部 1/8	
768	26402	土師器 壺	E28	包含層	10.8	外: ヨコナデ・ケズリ 内: ヨコナデ・ナデ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	良	褐色	口縁部 1/8	背面に黒化層
769	7203	土師器 壺	B20	SH54	12.6	外: ヨコナデ・ハケム 内: ヨコナデ・ハケム・工具ナデ	やや密	良	外: 灰黄褐色 内: にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
770	5308	土師器 壺	B14	SK45	14.6	外: ヨコナデ・ハケム・ハケ後ナデ 内: ヨコナデ・ナデ	やや粗 ~2.5mmの砂粒含む	良	外: にぶい褐色 内: にぶい黄褐色・黄褐色	口縁部 1/8	
771	14803	土師器 台付甕	E31	SD69	底径 6.9	外: ハケム・ウシ後継 内: ハケム・オサエ・ナデ 内: ミガキ	やや粗 ~2mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色	口縁部 1/2	
772	18804	土師器 杯	C27	包含層	10	外: ヨコナデ・オサエ・ナデ 内: ヨコナデ・ナデ	やや密	良	褐色	1/2	
773	19903	土師器 杯	C15	包含層	10.6	外: ヨコナデ・オサエ・ナデ 内: ヨコナデ・ナデ	並 ~1.7mmの砂粒含む	並	灰白色・明黄褐色・にぶい黄褐色	1/4	
774	25505	土師器 杯	E27	包含層	10.8	外: ヨコナデ・オサエ・ナデ 内: ヨコナデ・ナデ	やや粗 ~1.5mmの砂粒含む	並	外: 灰白色 内: にぶい黄褐色	1/4	
775	26304	土師器 杯	E28	包含層	11.6	外: ヨコナデ・ナデ・ケズリ・ナデ 内: ヨコナデ・ナデ	並 ~1.5mmの砂粒含む	良	褐色	1/2	
776	19301	土師器 杯	C14	包含層	12.2	外: ヨコナデ・オサエ・ナデ 内: ヨコナデ・ナデ	並 ~1mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色	口縁部 1/8	
777	23006	土師器 杯	D26	包含層	12.8	外: ヨコナデ・オサエ・ナデ 内: ヨコナデ・ナデ	やや密	良	にぶい黄褐色	1/4	
778	18502	土師器 杯	E5	包含層	12	外: ヨコナデ・ナデ・オサエ 内: ヨコナデ・ナデ・オサエ	並	良	外: にぶい褐色・褐色 内: にぶい褐色	1/2	
779	23402	土師器 杯	E25	包含層	12.6	外: ヨコナデ・ナデ 内: ヨコナデ・工具ナデ	やや密	良	にぶい黄褐色・にぶい褐色	1/2	
780	23401	土師器 杯	C26	包含層	11.7	外: ヨコナデ・ケズリ・オサエ・ナデ 内: ヨコナデ・ナデ	やや密	良	にぶい黄褐色・にぶい褐色・浅黄褐色	底面	
781	23403	土師器 杯	D26	包含層	12	外: ヨコナデ・オサエ・ナデ 内: ヨコナデ・ナデ	やや密	良	外: 褐色 内: にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
782	28503	土師器 杯	D25	腹基	13.1	外: ヨコナデ・ハケム・ナデ・オサエ 内: ヨコナデ・ナデ	並	良	褐色	1/4	
783	27005	土師器 杯	E31	包含層	13.2	外: ヨコナデ・オサエ 内: ヨコナデ・ハケ後ナデ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	並	褐色	1/2	
784	23605	土師器 杯	E26	包含層	13.6	外: ヨコナデ・オサエ・ナデ 内: ヨコナデ・ナデ	やや密	良	にぶい黄褐色・にぶい褐色・浅黄褐色	1/8	
785	21702	土師器 杯	E23	包含層	13	外: ヨコナデ・オサエ・ナデ 内: ヨコナデ・工具ナデ	やや密	良	外: 浅黄褐色 内: 灰黄色・黄褐色	1/4	
786	19904	土師器 杯	B15	包含層	14	外: ヨコナデ・ナデ 内: ヨコナデ・ナデ	並	良	褐色	口縁部 1/4	
787	21104	土師器 杯	E22	包含層	14	外: ヨコナデ・ナデ 内: ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや密 ~4mmの小石含む	不良	外: にぶい褐色・灰褐色 内: にぶい褐色・にぶい褐色	1/2	
788	22001	土師器 杯	C24	包含層	14.8	外: ヨコナデ・ナデ・オサエ 内: ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや粗 内: 3mmの砂粒含む	並	灰白色	1/8	
789	20804	土師器 高杯	E18	包含層	15.8	外: ヨコナデ・オサエ 内: ヨコナデ	やや粗 ~2mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色・にぶい褐色	杯底 1/2	
790	20104	土師器 高杯	E28	包含層	12.6	外: ヨコナデ・オサエ・ナデ 内: ヨコナデ・ハケム・工具ナデ	やや密	良	褐色・浅黄褐色	1/4	
791	23604	土師器 高杯	E26	包含層	12.9	外: ヨコナデ・オサエ・ナデ 内: ヨコナデ・工具ナデ	やや密	良	褐色	杯底 1/4	
792	23106	土師器 高杯	C25	包含層	13.8	外: ヨコナデ・オサエ・ハケム 内: ヨコナデ・ナデ	並	良	褐色	杯底 1/4	底部外面に接合痕
793	26303	土師器 高杯	D29	包含層	12.4	外: ヨコナデ・ハケム 内: ヨコナデ・タテナデ	並	良	褐色	杯底 1/4	
794	22806	土師器 高杯	C25	包含層	12.2	外: ヨコナデ・ハケム 内: ヨコナデ・ナデ	やや密	良	浅黄褐色	杯底 1/4	
795	27603	土師器 高杯	E32	包含層	底径 8	外: オサエ・ナデ・ヨコナデ 内: ヨコナデ 杯内: ナデ	並 ~1mmの砂粒含む	並	にぶい褐色	1/2	
796	25004	土師器 高杯	D27	包含層	底径 12.2	外: 面取りナデ・ヨコナデ 内: ヨコナデ・オサエ・ナデ	やや密	良	にぶい黄褐色・浅黄褐色	底面 3/4	
797	20504	土師器 台付甕	E18	包含層	10.6	外: ヨコナデ・ハケム 内: ヨコナデ・ナデ	やや密	良	にぶい黄褐色・浅黄褐色	杯底 1/8	
798	24404	土師器 台付甕	C27	包含層	13.5	外: ヨコナデ・ハケム 内: ヨコナデ・工具ナデ	やや粗 1~3mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	口縁部 1/4	
799	18903	土師器 台付甕	D7	包含層	12.3	外: ヨコナデ・ハケム 内: ヨコナデ・ナデ	やや粗 ~3.8mmの小石含む	良	にぶい黄褐色・にぶい黄褐色・黄褐色	口縁部 1/8	
800	20505	土師器 台付甕	E18	包含層	13.8	外: ヨコナデ・ハケム 内: ヨコナデ・工具ナデ	やや粗 1~2mmの砂粒含む	良	黄褐色	口縁部 1/4	

第23表 出土遺物観察表20

番号	発掘番号	層種	出土位置		計測層 (cm)	調査・技法の特徴	出土	構成	色調	残存度	備考
			地区	遺構							
801	5204	土師器 台付甕	E16	SR44	17	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ナデ	底 ~8.8mmの黒砂粒含む	真	にぶい褐色	口縁部 1/4	
802	19703	土師器 台付甕	E13	包含層	13.4	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ナデ	やや密	真	にぶい黄褐色・灰黄褐色	口縁部 1/8	
803	20605	土師器 台付甕	D18	包含層	底径 9.2	外:ハケメ・工具ナデ・ヨコナデ 内:ヨコナデ・ナデ	やや密	真	にぶい褐色	口縁部 1/8	
804	19604	土師器 台付甕	B14	包含層	底径 8.2	外:工具ナデ・オサエ・ナデ 内:オサエ・ナデ	やや密	真	にぶい黄褐色・にぶい 褐色	口縁部 3/4	
805	19603	土師器 台付甕	B13	包含層	底径 9.8	外:ケズリ・オサエ・ナデ 内:ナデ	やや密	真	にぶい褐色	口縁部 1/4	
806	19305	土師器 甕	D12	包含層	18	外:ヨコナデ・オサエ・ナデ 内:ヨコナデ・オサエ・ヨコナデ・ナデ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	真	外:浅黄褐色 内:にぶい黄褐色	口縁部 1/8	外面に粘土 被合層
807	23302	土師器 甕	C26	包含層	15.2	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密	真	にぶい褐色・浅黄褐色	口縁部 7/8	
808	25904	土師器 甕	C28	包含層	9	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ナデ	やや密	真	灰白色・灰色	口縁部 1/4	
809	28003	土師器 甕	B16	腹反	10	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・ナデ・オサエ	やや密	真	にぶい褐色・灰黄褐色 褐色	口縁部 1/4	
810	19101	土師器 甕	C8	包含層	20.8	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密 ~2mmの砂粒含む	真	浅黄褐色	口縁部 1/2	
811	20902	土師器 甕	D30	包含層	13.4	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ナデ	やや密 ~2mmの砂粒含む	真	褐色	口縁部 1/4	
812	18604	土師器 甕	E5	包含層	18.5	外:ヨコナデ・ナデ・オサエ 内:ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや密 ~1mmの砂粒含む	真	外:にぶい褐色 内:にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
813	19601	土師器 甕	B13	包含層	19	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・ナデ	やや密	真	にぶい黄褐色・浅黄褐色	口縁部 3/4	
814	20805	土師器 甕	B19	包含層	16	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密 ~2mmの砂粒含む	真	褐色・浅黄褐色・明赤 褐色	口縁部 1/4	
815	24402	土師器 甕	C27	包含層	18	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密	真	外:浅黄褐色・にぶい黄褐色 内:灰白色	口縁部 1/4	
816	18702	土師器 甕	B7	包含層	20	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・オサエ・ナデ	やや密	真	にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
817	18003	土師器 甕	E3	包含層	25.5	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・工具ナデ	やや密 ~2mmの砂粒含む	真	浅黄褐色	口縁部 1/4	
818	24002	土師器 甕	C27	包含層	28	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・ナデ	やや密 ~1.8mmの砂粒含む	真	にぶい黄褐色・浅黄褐色	口縁部 1/4	
819	26301	土師器 甕	E28	包含層	28.4	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	密	真	浅黄褐色	口縁部 1/8	
820	23806	土師器 甕	E26	包含層	10	外:ナデ 内:ナデ・工具ナデ・ナデ・オサエ	やや密 ~2mmの砂粒含む	真	外:灰白色 内:にぶい褐色	口縁部 1/4	
821	25104	土師器 甕	D27	包含層	10.4	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ナデ	やや密	真	灰黄褐色	口縁部 1/4	
822	25506	土師器 甕	E27	包含層	12.1	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・ナデ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	真	にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
823	19902	土師器 甕	C14	包含層	11.8	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密 ~1.5mmの黒砂粒含む	真	にぶい黄褐色・浅黄褐色	口縁部 1/4	
824	19405	土師器 甕	E12	包含層	11.1	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	真	灰黄褐色	口縁部 1/4	
825	18703	土師器 甕	B7	包含層	11.7	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・オサエ・ハケメ・オサエ	やや密	真	にぶい黄褐色・浅黄褐色	口縁部 1/8	
826	25003	土師器 甕	D27	包含層	11.8	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・工具ナデ	やや密	真	外:にぶい褐色 内:灰黄褐色	口縁部 1/8	
827	28004	土師器 甕	B18	腹反	12	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・工具ナデ	やや密	真	にぶい褐色・灰黄褐色	口縁部 1/4	
828	19403	土師器 甕	C10	包含層	12.3	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	真	外:にぶい褐色 内:灰黄褐色	口縁部 3/8	
829	21405	土師器 甕	B23	包含層	13.8	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	密 ~1.2mmの黒砂粒含む	真	浅黄褐色・栗色	口縁部 1/8	
830	23902	土師器 甕	E26	包含層	13	外:ヨコナデ・ハケメナデ 内:ヨコナデ・ナデ・ハケメ	やや密 ~2mmの砂粒含む	真	にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
831	20904	土師器 甕	E29	包含層	13	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ケズリ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	真	外:にぶい褐色 内:にぶい褐色	口縁部 1/4	外面に厚付層
832	23807	土師器 甕	C27	包含層	13.8	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密	真	灰黄褐色	口縁部 1/4	
833	24104	土師器 甕	C27	包含層	13.2	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・ナデ	やや密 ~1.5mmの黒砂粒含む	真	にぶい褐色・黄褐色・ 浅黄褐色	口縁部 1/4	
834	25404	土師器 甕	E27	包含層	13.8	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・工具ナデ	やや密 ~1mmの黒砂粒含む	真	にぶい褐色・黄褐色	口縁部 3/8	内面に厚付層
835	19701	土師器 甕	D14	包含層	14.6	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・ケズリ	やや密	真	にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
836	18904	土師器 甕	C7	包含層	14.2	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密 ~1mmの砂粒含む	真	浅黄褐色・黄褐色	口縁部 1/4	
837	21203	土師器 甕	D22	包含層	14	外:ヨコナデ・ハケメナデ 内:ヨコナデ・ハケメ・オサエ	やや密	真	にぶい褐色	口縁部 1/8	
838	25902	土師器 甕	C28	包含層	19.6	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密	真	灰白色	口縁部 1/4	
839	25701	土師器 甕	E27	包含層	14.4	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ナデ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	真	外:にぶい褐色・黄褐色 内:にぶい黄褐色・黄褐色	口縁部 1/4	
840	19401	土師器 甕	C12	包含層	14.8	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・工具ナデ	密 ~2.5mmの砂粒含む	真	にぶい黄褐色	口縁部 1/4	外面に厚付層

第24表 出土遺物観察表21

番号	発掘番号	層種	出土位置		深さ (cm)	調整・技法の特徴	出土	構成	色調	残存度	備考
			地区	遺構							
841	24702	土師器	D27	包含層	19.8	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム・ケズリ	やや粗 ~1.5mmの砂粒含む	並	にぶい褐色	口縁部 1/8	
842	23504	土師器	D26	包含層	14.8	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム・ハケ後ケズリ	やや密	良	にぶい褐色・灰黄褐色	口縁部 1/2	内面に産付着
843	24701	土師器	D27	包含層	16.7	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ナデ・ハケム	やや粗 ~1.5mmの砂粒含む	並	外:浅黄褐色 内:にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
844	19501	土師器	C15	包含層	19	外:ヨコナデ・オサエ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密	良	灰白色	口縁部 完存	
845	25401	土師器	D27	包含層	16.8	外:ヨコナデ・オサエ・ハケム 内:ヨコナデ・オサエ・ハケム	やや密 ~2mmの砂粒含む	良	にぶい褐色・褐色	口縁部 1/4	
846	26202	土師器	D28	包含層	15.8	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密 ~1.5mmの微砂粒含む	並	にぶい褐色・浅黄褐色	口縁部 1/8	
847	26501	土師器	C29	包含層	19.2	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケムナデ・オサエ・ハケム	密	良	にぶい黄褐色・にぶい 褐色・褐色	口縁部 1/4	
848	27604	土師器	C36	包含層	17.1	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや粗 ~2mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
849	18704	土師器	C7	包含層	17.7	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケ後ケズリ	やや密	良	にぶい黄褐色・浅黄褐色	口縁部 1/4	外面に産付着
850	20194	土師器	B15	包含層	17.8	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密	良	にぶい黄褐色	口縁部 3/8	
851	24201	土師器	C27	包含層	18.6	外:ヨコナデ・ケズリ後ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密	良	灰白色	口縁部 1/4	
852	22902	土師器	E24	包含層	17	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密	良	赤褐色・浅黄褐色	口縁部 1/4	
853	23101	土師器	D25	包含層	19.2	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや粗 ~2.5mmの砂粒含む	並	浅黄褐色	口縁部 3/8	
854	21402	土師器	E22	包含層	19	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや粗 ~1.6mmの砂粒含む	良	浅黄褐色・灰白色	口縁部 1/4	
855	21404	土師器	E22	包含層	18.8	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密 ~1.8mmの砂粒含む	良	灰白色・浅黄褐色	口縁部 1/4	
856	18901	土師器	E7	包含層	19	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	密 ~1.3mmの微砂粒含む	良	浅黄褐色・にぶい褐色	口縁部 完存	
857	26902	土師器	D27	包含層	18.8	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム 工員によるタチハケ	密 ~3.5mmの砂粒含む	並	灰黄色・にぶい褐色	口縁部 1/4	
858	19402	土師器	C11	包含層	18	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム・ナデ	粗 ~3.5mmの砂粒含む	並	淡黄色	口縁部 1/4	口縁部に剥落
859	24401	土師器	C27	包含層	19.6	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや粗 1~2mmの砂粒含む	良	灰黄褐色・にぶい褐色	口縁部 1/4	
860	26502	土師器	C29	包含層	18	外:ヨコナデ・オサエ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム・オサエ・ハケム	やや密 ~2mmの砂粒含む	良	外:浅黄褐色 内:にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
861	23901	土師器	D26	包含層	18	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケ後ヨコナデ・ハケム	密	良	外:浅黄褐色・にぶい褐色 内:にぶい褐色	口縁部 1/8	
862	24403	土師器	C27	包含層	18	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密	良	黄褐色・にぶい褐色・ 浅黄褐色	口縁部 1/8	
863	24902	土師器	E27	包含層	19.8	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密	良	にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
864	18701	土師器	E6	包含層	18.6	外:ヨコナデ・ハケ後ナデ 内:ヨコナデ・タチ工具ナデ	やや密	並	にぶい黄褐色・にぶい 褐色	1/2	
865	18094	土師器	D3	包含層	17.4	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密 ~1mmの砂粒含む	並	にぶい褐色	口縁部 1/4	
866	19203	土師器	C8	包含層	19.2	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや粗 1~2mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	口縁部 1/4	
867	26903	土師器	D30	包含層	18.6	外:ヨコナデ・オサエ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム・ハケ後ナデ・ハケム	やや粗 ~2mmの砂粒含む	良	外:灰黄色・明赤褐色 内:浅黄褐色	口縁部 1/4	
868	21601	土師器	C23	包含層	15.8	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密	良	外:にぶい褐色 内:灰黄色	口縁部 1/4	
869	25901	土師器	C28	包含層	18.9	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや粗 1~2mmの砂粒含む	並	淡黄色	口縁部 1/2	
870	26001	土師器	C28	包含層	18	外:ヨコナデ・オサエ・ハケム 内:ヨコナデ・オサエ・ハケム	やや密	良	にぶい黄褐色・浅黄褐色	口縁部 3/8	
871	18503	土師器	D6	包含層	14	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ナデ・ハケム	やや密 ~2mmの砂粒含む	良	外:浅黄褐色 内:にぶい褐色・灰白色	口縁部 1/4	
872	25702	土師器	E27	包含層	19.8	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや粗 ~1.5mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
873	24202	土師器	E26	包含層	18.4	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密	良	にぶい黄褐色・浅黄褐色 ・灰白色	口縁部 1/4	
874	20302	土師器	E15	包含層	19.8	外:ヨコナデ・ハケ後ヨコナデ 内:ヨコナデ・ハケム	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	並	灰黄褐色	口縁部 1/2	
875	21202	土師器	D21	包含層	16.3	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや粗 ~1mmの砂粒含む	不良	外:灰黄褐色 内:灰白色・にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
876	20201	土師器	B15	包含層	17	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケ後オサエ	やや密	良	浅黄褐色・灰白色	口縁部 1/4	
877	24901	土師器	C23	包含層	19.8	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや密	良	灰黄色・灰白色	口縁部 3/4	
878	21902	土師器	B24	包含層	19.7	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム	やや粗 1~4mmの砂粒含む	並	外:灰白色 内:浅黄褐色	口縁部 1/4	
879	27801	土師器	D26	覆土	19	外:ヨコナデ・ナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケ後ヨコナデ・ハケ後オサエ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	並	外:浅黄褐色・灰黄色 内:浅黄褐色	口縁部 1/4	
880	26002	土師器	C28	包含層	19.3	外:ヨコナデ・ハケム 内:ヨコナデ・ハケム・工具ナデ	やや密	良	灰黄色・浅黄色	口縁部 1/8	外面が剥落

第25表 出土遺物観察表22

番号	発掘番号	層種	出土位置		許容幅 (cm)	調整・技法の特徴	出土	構成	色調	残存度	備考
			地区	遺構							
881	23501	土師器 Ⅱ	D26	包含層	19.5	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密	良	にぶい黄褐色・灰白色	口縁部 1/4	
882	26203	土師器 Ⅱ	C29	包含層	30.6	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・ナデ	やや粗 ～3.5mmの小石含む	良	にぶい黄褐色・浅黄褐色	口縁部 1/4	
883	29101	土師器 Ⅱ	C24	包含層	20.4	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・オサエハケメ	やや粗 ～1mmの砂粒含む	並	外:にぶい黄褐色 内:褐色	口縁部 2/4	
884	27102	土師器 Ⅱ	E27	包含層	20	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 ～4mmの砂粒含む	並	灰白色	口縁部 1/2	
885	25304	土師器 Ⅱ	E27	包含層	20.8	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	密	良	浅黄褐色	口縁部 1/4	
886	18602	土師器 Ⅱ	D5	包含層	20	外:ヨコナデ・ナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ後ナデ	やや粗 ～3mmの砂粒含む	不良	外:にぶい黄褐色 内:灰白色	口縁部 1/4	
887	27501	土師器 Ⅱ	E31	包含層	20.6	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密 ～1mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
888	19801	土師器 Ⅱ	D14	包含層	20.5	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	並 ～1.8mmの砂粒含む	不良	灰黄褐色・浅黄褐色・ 紫灰色	口縁部 2/8	
889	25802	土師器 Ⅱ	C28	包含層	20.4	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密	良	灰白色	口縁部 1/4	
890	26102	土師器 Ⅱ	D28	包含層	19.7	外:ヨコナデ・ハケメ・オサエ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・上貝ナデ・オサエ	やや密	良	にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
891	22203	土師器 Ⅱ	B24	包含層	20.5	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	粗 ～2.5mmの砂粒含む	並	浅黄褐色	口縁部 1/4	
892	18202	土師器 Ⅱ	C5	包含層	20.9	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密 2～4mmの砂粒含む	良	褐色・浅黄褐色	口縁部 2/8	
893	27002	土師器 Ⅱ	D27	包含層	20.6	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ハケ後ヨコナデ・ハケメ・ナデ	やや粗 ～1mmの砂粒含む	良	にぶい褐色	口縁部 1/4	
894	27802	土師器 Ⅱ	D26	覆土	20	外:ヨコナデ・上貝ナデ・ハケメ 内:ハケ後ヨコナデ・ハケメ	やや密 ～2mmの砂粒含む	良	外:にぶい褐色・黄褐色 内:浅黄褐色	口縁部 1/4	
895	19802	土師器 Ⅱ	C15	包含層	20.2	外:ヨコナデ・オサエ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密 ～2mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	口縁部 1/4	
896	26103	土師器 Ⅱ	D28	包含層	22.3	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密	良	にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
897	25801	土師器 Ⅱ	C28	包含層	25.3	外:上貝ナデ・ハケメ 内:上貝ナデ・ハケメ	やや密	良	浅黄褐色	口縁部 1/8	
898	26801	土師器 Ⅱ	D27	包含層	22	外:ヨコナデ・オサエ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密	良	にぶい褐色・浅黄褐色	口縁部 1/4	
899	25001	土師器 Ⅱ	D27	包含層	21.4	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密	良	にぶい黄褐色・灰白色	口縁部 2/8	外周変色
900	26701	土師器 Ⅱ	D27	包含層	22	外:ヨコナデ・ハケ後ナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・上貝ナデ	密	良	外:にぶい褐色・浅黄褐色 内:にぶい褐色	口縁部 1/8	
901	19102	土師器 Ⅱ	C8	包含層	21.1	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密 1～2mmの砂粒含む	良	外:浅黄褐色 内:浅黄褐色	口縁部 1/8	
902	23502	土師器 Ⅱ	E26	包含層	21.1	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ナデ	やや密	良	にぶい黄褐色・浅黄褐色	口縁部 1/8	
903	27702	土師器 Ⅱ		表土	22.2	外:ヨコナデ・ハケ後ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密 ～1mmの砂粒含む	良	外:褐色 内:黄褐色	口縁部 1/4	
904	25002	土師器 Ⅱ	D27	包含層	21	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密	良	灰黄色・黄黄褐色	口縁部 1/4	
905	27001	土師器 Ⅱ	D27	包含層	22.1	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密 ～5mmの小石含む	良	にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
906	26601	土師器 Ⅱ	D29	包含層	30	外:ヨコナデ・ハケメ・オサエ 内:ヨコナデ・ハケメ・オサエ	やや密 ～2mmの砂粒含む	良	にぶい褐色・褐色	口縁部 1/4	
907	23702	土師器 Ⅱ	C27	包含層	31	外:ヨコナデ・ハケ後ナデ・ハケメ・オサエ 内:ヨコナデ	密	良	外:にぶい褐色 内:浅黄褐色	口縁部 1/4	
908	25102	土師器 Ⅱ	D27	包含層	28.4	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密	良	にぶい黄褐色・灰白色	口縁部 1/4	
909	24301	土師器 Ⅱ	C27	包含層	32.7	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密	良	浅黄褐色	口縁部 1/4	
910	24801	土師器 Ⅱ	D27	包含層	29.8	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 ～1.5mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色	口縁部 1/8	
911	24302	土師器 Ⅱ	C27	包含層	33.4	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・上貝ナデ・ハケメ	やや粗 1～2mmの砂粒含む	良	にぶい褐色・浅黄褐色	口縁部 1/4	
912	22802	土師器 Ⅱ	C25	包含層	25.7	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 1～2mmの砂粒含む	良	外:灰色 内:浅黄褐色	口縁部 1/8	
913	26201	土師器 Ⅱ	E28	包含層	35.2	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・上貝ナデ	やや粗 ～1mmの砂粒含む	並	浅黄褐色	口縁部 1/4	
914	24803	土師器 Ⅱ	D27	包含層	25.7	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密 ～2.5mmの砂粒含む	並	外:にぶい黄褐色 内:にぶい褐色	口縁部 1/8	
915	23701	土師器 Ⅱ	E26	包含層	34	外:ヨコナデ・ハケ後ナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 ～3mmの砂粒含む	不良	外:にぶい褐色・褐色・紫褐色 内:にぶい褐色・紫褐色	口縁部 1/4	
916	23703	土師器 Ⅱ	D26	包含層	22	外:ヨコナデ・ハケ後ナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 ～2mmの砂粒含む	良	にぶい褐色	口縁部 1/4	
917	27101	土師器 Ⅱ	D27	包含層	46.6	外:エビナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密 ～1mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色	口縁部 1/8	
918	23904	土師器 Ⅱ	E26	包含層	13	外:ヨコナデ・ナデ・ハケ後ナデ 内:ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい褐色	口縁部 1/8	
919	19804	土師器 Ⅱ	C15	包含層	17.6	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・上貝ナデ	粗 ～2.6mmの砂粒含む	並	浅黄褐色	口縁部 1/8	
920	19201	土師器 Ⅱ	C8	包含層	29.8	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 1～2mmの砂粒含む	良	灰白色	口縁部 1/4	

第26表 出土遺物観察表23

番号	発掘番号	図種	出土位置		口径	器高	調態・技法の特徴	胎土	地味	色調	残存度	備考	
			地区	遺構									
921	24001	土師器鉢	C27	包含層	39	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・土具ナデ	やや密 ~1.7mmの砂粒含む	良	浅黄褐色・にぶい褐色・ 黄褐色	口縁部 1/4			
922	25002	土師器鉢	E27	包含層	20.6	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色	口縁部 1/8			
923	22001	土師器鉢	E24	包含層	22.9	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや密	良	浅黄褐色・黄褐色	口縁部 1/8			
924	21501	土師器鉢	B23	包含層	21.4	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	密	良	浅黄褐色	口縁部 1/8			
925	19202	土師器鉢	C18	包含層	23	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 1~2mmの砂粒含む	良	外:灰白色・褐色 内:灰白色	口縁部 1/8			
926	20501	土師器鉢	E15	包含層	24.2	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ハケメ・ケズリ	やや粗 2~3mmの砂粒含む	良	外:灰白色・にぶい褐色 内:灰白色	口縁部 1/4			
927	27301	土師器鉢	E27	包含層		外:ハケメ・ハリ付けナデ・ナデ 内:ハケメ・土具ナデ・オサエ	やや密 ~1mmの砂粒含む	良	浅黄褐色・にぶい黄褐色 内:黄褐色	縁部			
928	18204	土師器鉢	E4	包含層		外:ハリ付けナデ・ハケメ 内:オサエ・ハケメ・ケズリ	やや密	良	浅黄褐色	把手片			
929	26401	土師器鉢	E28	包含層		外:ハケメ・ハリ付けナデ・ハケメ 内:ナデ	やや粗 ~2.7mmの砂粒含む	良	浅黄褐色・にぶい黄褐色・ 黄褐色	把手片			
930	26005	土師器 にびり土師	D28	包含層	底径 3.9	外:土具ナデ・ナデ 内:土具ナデ	やや密	良	褐色	底部 完存			
931	28203	土師器 にびり土師	D13	腹丸	5.8	外:ヨコナデ・オサエ・ナデ 内:ヨコナデ・ナデ	やや密	良	外:にぶい黄褐色 内:にぶい褐色・褐色	口縁部 1/4			
932	19004	土師器 にびり土師	D7	包含層	腹径 6	外:ヨコナデ・ハケメ 内:ヨコナデ・ナデ	密	良	浅黄褐色・褐色	縁部			
933	20606	土師器 にびり土師	B19	包含層		ハリ付けナデ	やや密	良	褐色・にぶい褐色	把手片			
934	21004	土師器 不明土師	D20	包含層			やや粗 ~2mmの砂粒含む	並	浅黄褐色	不明	一部分流失		
935	23105	須恵器 杯蓋	E25	包含層	12.6	3.8	外:ロクロナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや粗 ~2.5mmの砂粒含む	良	灰白色・灰白色	1/4		
936	23801	須恵器 杯蓋	E26	包含層	13		外:ロクロナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密	良	外:灰色・暗灰色 内:灰色	1/4		
937	19003	須恵器 杯蓋	D7	包含層	10.8	4.0	外:ロクロナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密 ~1mmの塵粒含む	不良	赤灰色・にぶい黄褐色・ 灰赤色	1/2		
938	25502	須恵器 杯蓋	E27	包含層	12.9	3.9	外:ロクロナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密 ~2.5mmの砂粒含む	良	灰褐色	1/2	壁残存	
939	23803	須恵器 杯蓋	E26	包含層	13	4.3	外:ロクロナデ・赤キヌ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや粗 ~6mmの小石含む	良	灰色	1/4		
940	19706	須恵器 杯蓋	E13	包含層	11	4.5	外:ロクロナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや粗 ~3.5mmの砂粒含む	良	灰色	1/4		
941	20801	須恵器 杯蓋	E20	包含層	11.8	4.7	外:ロクロナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密 ~2.5mmの砂粒含む	良	灰色	1/4		
942	20802	須恵器 杯蓋	D20	包含層	12.1		外:ロクロナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	良	灰黄色・暗灰黄色	口縁部 1/4		
943	24603	須恵器 杯蓋	C27	包含層	14.2	3.5	外:ロクロナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	良	灰色	1/4		
944	23804	須恵器 杯蓋	D26	包含層	15	4.1	外:ロクロナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや粗 ~3mmの砂粒含む	良	外:灰白色・黄褐色 内:黄褐色	1/4		
945	19406	須恵器 杯蓋	C12	包含層	15.2		外:ロクロナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密 ~1mmの砂粒含む	良	灰色	1/8		
946	25804	須恵器 杯蓋	C28	包含層	13.8	4.6	外:ロクロナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密	良	灰色	1/4		
947	28103	須恵器 杯蓋	B10	腹丸	13.8	4.9	外:ロクロナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密	良	外:灰黄褐色 内:灰色	1/4		
948	19304	須恵器 杯蓋	C8	包含層	15.2	4.7	外:ロクロナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ・ナデ	やや粗 ~4mmの砂粒含む	良	灰色	完存		
949	27601	須恵器 杯蓋	C33	包含層	12.9		外:ロクロナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密 ~2.5mmの砂粒含む	良	灰色	口縁部 1/4		
950	19001	須恵器 杯蓋	C8	包含層	14	4.7	外:ロクロナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	粗 ~3.3mmの砂粒含む	良	灰色・灰白色	1/4	外面に自然 釉付着	
951	23802	須恵器 杯蓋	E26	包含層	14		外:ロクロナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密	良	灰色	口縁部 1/4		
952	19303	須恵器 杯蓋	D11	包含層	14.5	4.4	外:ロクロナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ・ナデ	やや粗 ~6mmの砂粒含む	良	灰色	完存		
953	18404	須恵器 杯蓋	D5	包含層	13	4.5	外:ロクロナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密	良	灰色	1/8		
954	20103	須恵器 杯蓋	C15	包含層	14.4		外:ロクロナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密	良	灰色	口縁部 1/2		
955	18102	須恵器 杯蓋	D5	包含層	13.8	3.8	外:ロクロナデ・ハチ切り未調整 内:ロクロナデ・ナデ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	良	灰色	1/2		
956	25103	須恵器 杯蓋	D27	包含層	13.9	4.3	外:ロクロナデ・ハチ切り未調整 内:ロクロナデ	やや密	良	灰色	1/4		
957	19204	須恵器 杯蓋	C8	包含層	13.8		外:ロクロナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密	良	灰色	口縁部 1/8		
958	20701	須恵器 杯蓋	E17	包含層	13.4	4.3	外:ロクロナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密	良	灰色	1/2	外面に自然 釉付着	
959	28102	須恵器 杯蓋	B16	腹丸	13.5	4.6	外:ロクロナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密	不良	灰色・灰白色	完存		
960	18802	須恵器 杯蓋	C7	包含層	13.8		外:ロクロナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密	良	灰色	1/4		

第27表 出土遺物観察表24

番号	実測番号	器種	出土位置 地区	遺構	口径 口径	器高	調音・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考	
961	18403	須恵器 杯蓋	E5	包含層	14		外:ロクロナデ 内:ロクロナデ	漉	良	灰色	口縁部 1/4		
962	23603	須恵器 杯蓋	E26	包含層	12.7	4.1	外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	やや密 磨砂粒含む	良	黄灰色・灰黄色	1/4		
963	26507	須恵器 杯蓋	D29	包含層	13.8		外:ロクロナデ 内:ロクロナデ	漉 ～3mmの砂粒含む	不良	灰色	1/8		
964	23601	須恵器 杯蓋	E26	包含層	12.5	4.2	外:ロクロナデ・ヘラ切り 内:ロクロナデ	やや密 ～3mmの砂粒含む	良	灰色	3/4		
965	25504	須恵器 杯蓋	C28	包含層	10.6	3.5	外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	やや密 ～1.5mmの砂粒含む	良	灰色	1/2		
966	22506	須恵器 杯蓋	D18	包含層	11.8		外:ロクロナデ 内:ロクロナデ	漉	良	灰白色	1/8	外面に自然 釉付着	
967	20703	須恵器 杯身	D18	包含層	11.8	5.2	外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	漉	やや密	良	灰白色	1/4	
968	23805	須恵器 杯身	E26	包含層	11		外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	やや密	良	外:黄灰色 内:灰色	1/4		
969	24504	須恵器 杯身	C27	包含層	13.8		外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	やや密	良	灰色・灰白色	口縁部 1/4		
970	23304	須恵器 杯身	E25	包含層	12.2	5.2	外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	やや密	良	灰色	1/2	底部外面に ヘラ刮り	
971	19306	須恵器 杯身	C8	包含層	11.4		外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	やや密 ～1.5mmの砂粒含む	良	黄灰色	1/4		
972	18402	須恵器 杯身	D5	包含層	12.5	4.6	外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	漉 ～4mmの小石含む	良	灰色	1/2		
973	18801	須恵器 杯身	B7	包含層	12.9	4.8	外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ・ナデ	やや密 ～3.5mmの砂粒含む	良	灰色・灰白色	3/4		
974	18303	須恵器 杯身	D5	包含層	12.9	4.7	外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	やや密	良	灰色	1/4		
975	19002	須恵器 杯身	C7	包含層	13.6	4.4	外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	やや密	良	黄灰色	1/4		
976	104	須恵器 杯身	範囲 確認	11.1	3.6		外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ・オサエ	漉 ～5mmの砂粒含む	良	外:黄灰色・灰色・灰白色 内:灰黄色	ほぼ 完成		
977	18405	須恵器 杯身	E5	包含層	12.4	5.5	外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	漉 ～1mmの砂粒含む	良	灰白色	1/8		
978	20402	須恵器 杯身	B15	包含層	13	3.9	外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	漉	良	灰色	1/4		
979	105	須恵器 杯身	範囲 確認	14.4			外:ロクロナデ・ロクロナズリ・ナデ 内:ロクロナデ	やや粗 ～3mmの砂粒含む	良	灰白色	1/2		
980	20101	須恵器 杯身	D15	包含層	13		外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ・同心円当て具施	やや粗 ～4mmの砂粒含む	良	灰白色・灰色	1/2		
981	24103	須恵器 杯身	C27	包含層	12.4	4.2	外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	やや密 ～2.5mmの砂粒含む	良	黄灰色	1/4		
982	27602	須恵器 杯身	E31	包含層	11.4	4.0	外:ロクロナデ・ロクロナズリ・ヘラ切り 内:ロクロナデ	やや密 ～1.5mmの砂粒含む	良	外:灰色 内:灰色・黄灰色	1/2		
983	25805	須恵器 杯身	C28	包含層	12.8	4.2	外:ロクロナデ・ロクロナズリ・ヘラ切り 内:ロクロナデ	やや密	良	灰色	1/4		
984	26003	須恵器 杯身	C28	包含層	12	4.3	外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	やや密	良	灰白色	完成	外面に自然 釉付着	
985	28302	須恵器 杯身	表土	12.8	4.2		外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	やや密 1～3mmの砂粒含む	良	灰色	1/4		
986	23305	須恵器 杯身	D26	包含層	11	4.7	外:ロクロナデ・ヘラ切り 内:ロクロナデ	やや密	良	灰色	1/2		
987	21502	須恵器 杯身	C23	包含層	11.8	4.1	外:ロクロナデ・ロクロナズリ・ヘラ切り 内:ロクロナデ	漉 ～1.5mmの磨砂粒含む	良	灰色	1/2		
988	20401	須恵器 杯身	E15	包含層	12.3	4.0	外:ロクロナデ・ヘラ切り 内:ロクロナデ	漉 ～1mmの砂粒含む	良	灰色	ほぼ 完成		
989	20704	須恵器 杯身	C17	包含層	11.9	4.0	外:ロクロナデ・ヘラ切り 内:ロクロナデ	漉	良	灰色	口縁部 1/2		
990	21503	須恵器 杯身	E23	包含層	12.8	3.2	外:ロクロナデ 内:ロクロナデ	漉	良	灰色	1/8		
991	18304	須恵器 杯身	E4	包含層	受部厚 14		外:ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密	不良	黄灰色	底部 完成		
992	18104	須恵器 杯身	D3	包含層	11.6	3.6	外:ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密 ～1.5mmの砂粒含む	良	灰白色・灰色	3/4		
993	28601	須恵器 杯身	C9	腹土	12.4	4.0	外:ロクロナデ・ヘラ切り 内:ロクロナデ・同心円当て具施	漉	良	灰色	1/2		
994	24604	須恵器 杯身	C27	包含層	12.1		外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	やや密 ～2mmの砂粒含む	良	黄灰色・黄灰色	3/4		
995	20702	須恵器 杯身	E15	包含層	11		外:ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密	良	灰色	口縁部 1/2	釉付着	
996	20001	須恵器 杯身	B15	包含層	13	4.1	外:ロクロナデ・ロクロナズリ 内:ロクロナデ	やや密 ～1.6mmの砂粒含む	良	灰白色・灰色	1/2	底部外面にヘ ラ刮り	
997	20002	須恵器 杯身	C15	包含層	9.3	2.9	外:ロクロナデ・ロクロナズリ・ヘラ切り 内:ロクロナデ	やや密 ～2mmの砂粒含む	良	灰白色	完成		
998	20003	須恵器 杯身	C15	包含層	8.4	2.9	外:ロクロナデ・ヘラ切り 内:ロクロナデ	やや密 ～1.5mmの磨砂粒含む	良	灰白色・灰色	3/4		
999	20004	須恵器 杯身	C15	包含層	9	3.3	外:ロクロナデ・ヘラ切り 内:ロクロナデ	漉	良	灰色	完成	底部外面に ヘラ刮り	
1000	25105	須恵器 杯身	D27	包含層	9.4	3.0	外:ロクロナデ・ヘラ切り未調整 内:ロクロナデ	やや粗 ～4mmの小石含む	良	灰白色・灰色	完成		

第28表 出土遺物観察表25

番号	発掘番号	原種	出土位置		計測値 (cm)		調製・技法の特徴	胎土	地蔵	色調	残存度	備考
			地区	遺構	口径	器高						
1001	23004	須恵器 杯身	E24	包含層	10.6	3.7	外:ロクロナデ、ヘラ切り 内:ロクロナデ	窯	良	灰白色・灰色	1/4	
1002	23602	須恵器 杯身	E26	包含層	13.4	3.2	外:ロクロナデ、ヘラ切り 内:ロクロナデ	やや窯	良	灰色	1/4	
1003	21505	須恵器 杯身	C22	包含層	9.2	3.7	外:ロクロナデ、ロクロズリ、ヘラ切り 内:ロクロナデ	やや窯 ～2mmの砂粒含む	良	灰色・黄灰色	ほぼ 完存	
1004	27302	須恵器 杯身	E30	包含層	10	3.6	外:ロクロナデ、ロクロズリ、ヘラ切り 内:ロクロナデ	やや窯 ～1mmの砂粒含む	良	灰色	口縁部 1/4	
1005	106	須恵器 杯身	磯洲 確認		11.4	4.0	外:ロクロナデ、ロクロズリ 内:ロクロナデ、ナデ	やや窯 ～2mmの砂粒含む	良	灰色	1/2	
1006	22201	須恵器 杯身	C24	包含層	13.5	3.7	外:ロクロナデ、ナデ、回転ヘラ切り 内:ロクロナデ、ナデ	やや窯 ～2.5mmの砂粒含む	良	灰色	1/2	
1007	25501	須恵器 高杯蓋	E29	包含層	14.1	4.6	外:ロクロナデ、カキメ、ハリ付け後ロクロナデ 内:ロクロナデ	窯 ～1mmの砂粒含む	良	灰色・暗灰黄色	1/2	
1008	18101	須恵器 高杯蓋	C3	包含層	13.2	5.0	外:ロクロナデ、ロクロズリ、ハリ付け後ロクロナデ 内:ロクロナデ	窯 ～1mmの砂粒含む	良	灰色	1/4	
1009	24405	須恵器 高杯	C27	包含層	底径 9.4		外:ロクロナデ、カキメ 内:ロクロナデ 杯内:ロクロナデ	窯	良	灰色	底部 完存	
1010	20403	須恵器 高杯	E15	包含層	底径 13.3		外:ロクロナデ 内:ロクロナデ	窯 ～1mmの砂粒含む	良	外:灰色 内:灰黄色	口縁部	
1011	28202	須恵器 高杯	D9	腹反	底径 9.5		外:ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや窯 ～2mmの砂粒多く含む	良	灰色	底部 完存	
1012	28104	須恵器 蓋	E3	腹反	径 10		外:底反、カキメ、ロクロズリ 内:ロクロナデ、ナデ	やや窯	良	灰色・灰白色、オリーブ 褐色	底部 完存	
1013	20404	須恵器 蓋	C16	包含層	径 7		外:ロクロナデ、網突 内:ロクロナデ	やや窯 ～1mmの砂粒含む	良	灰色	底部片	
1014	18803	須恵器 蓋	E6	包含層	径 10.6		外:底反、網突、ケズリ 内:ロクロナデ	やや窯 ～1.5mmの砂粒含む	良	灰色・灰白色	底部 完存	
1015	24605	須恵器 短瓶	D27	包含層	6.6		外:ロクロナデ、回転2条 内:ロクロナデ	窯 微砂粒含む	良	灰色	口縁部 1/4	外面に自然 釉付着
1016	27901	須恵器 短瓶	積土		径 15.7		外:カキメ、回転ヘラズリ 内:ロクロナデ	窯	良	灰色	底部 完存	
1017	21105	須恵器 蓋	D22	包含層	14		外:ロクロナデ、カキメ 内:ロクロナデ	やや窯 ～1mmの砂粒含む	良	灰色	口縁部 1/4	
1018	21704	須恵器 蓋	E23	包含層	13.3		外:ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや窯 ～1.5mmの砂粒含む	良	灰色・灰白色	口縁部 1/4	
1019	18105	須恵器 蓋	C3	包含層	18.9		外:ロクロナデ、カキメ 内:ロクロナデ	やや窯 ～2mmの砂粒含む	良	灰色	口縁部 1/4	
1020	26904	須恵器 蓋	D21	包含層	22.8		外:ヨコナデ 内:ヨコナデ	やや窯 ～2mmの砂粒多く含む	不良	外:暗灰黄色 内:灰オリーブ色	口縁部 1/4	
1021	18301	須恵器 蓋	E4	包含層	21.9		外:ロクロナデ、カキメ 内:ロクロナデ	やや窯 1～2mmの砂粒含む	良	灰色・灰白色	口縁部 1/8	
1022	28201	須恵器 蓋	D36	腹反	17.4		外:ロクロナデ、タタキ 内:ロクロナデ	やや窯	良	灰色・灰褐色、灰黄褐色	口縁部 3/8	内外面に自然 釉付着
1023	22603	土師器 蓋	D24	包含層	14		外:ロクロナデ、ナデ 内:ヨコナデ、ナデ	やや窯	不良	外:灰白色・褐色 内:褐色	1/4	
1024	22702	土師器 蓋	D24	包含層			外:ハケメ 内:ナデ	やや窯 ～3mmの砂粒含む	良	にぶい黄褐色	不明	
1025	20102	土師器 蓋	C15	包含層	14.2	3.1	外:ロクロナデ、糸切り堀 内:ロクロナデ	やや窯	良	浅黄褐色	1/4	
1026	21506	土師器 蓋	E22	包含層	15.6	2.9	外:ヨコナデ、ナデ 内:ヨコナデ、ケズリ	窯	良	外:黄灰色 内:浅黄褐色	1/4	
1027	21101	土師器 蓋	E22	包含層	12		外:ヨコナデ、オサエ 内:ヨコナデ、ナデ	やや窯 ～4mmの小石含む	不良	灰白色、にぶい黄褐色	口縁部 1/4	
1028	22602	土師器 蓋	D24	包含層	13	2.0	外:ヨコナデ、ナデ、オサエ 内:ヨコナデ、ナデ、オサエ	やや窯 ～3mmの砂粒含む	良	灰褐色、にぶい褐色	1/4	
1029	22804	土師器 蓋	E24	包含層	13	2.0	外:ヨコナデ、ナデ、オサエ 内:ヨコナデ、ナデ	やや窯	良	浅黄褐色	1/4	
1030	21102	土師器 蓋	E22	包含層	14	2.1	外:ヨコナデ、オサエ 内:ヨコナデ、ナデ、オサエ	やや窯 ～1mmの砂粒含む	不良	浅黄褐色、にぶい黄褐色 ・黄灰色	1/8	
1031	22805	土師器 蓋	E24	包含層	13	2.5	外:ヨコナデ、ナデ、オサエ 内:ヨコナデ、ナデ	やや窯	良	浅黄褐色	1/4	
1032	21103	土師器 蓋	E22	包含層	13	3.0	外:ヨコナデ、オサエ 内:ヨコナデ、ナデ、オサエ	やや窯 ～1mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	1/4	
1033	22501	土師器 蓋	E24	包含層	11.5	2.4	外:ヨコナデ、ナデ、オサエ 内:ヨコナデ、ナデ、オサエ	やや窯 ～3mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	完存	
1034	22502	土師器 蓋	E24	包含層	14.8	2.8	外:ヨコナデ、ナデ、オサエ 内:ヨコナデ、ナデ、オサエ	窯	良	外:にぶい褐色 内:にぶい黄褐色	1/8	
1035	22803	土師器 蓋	E24	包含層	14.3	3.1	外:ヨコナデ、ナデ、オサエ 内:ヨコナデ、ナデ	やや窯	良	外:灰白色 内:浅黄褐色	1/4	
1036	21703	土師器 付付皿	B24	底径 8.2			外:オサエ、ヨコナデ 内:ナデ 内:ナデ	やや窯	良	にぶい黄褐色、にぶい 褐色	底部 完存	
1037	21106	土師器 甕	E22	包含層	底径 7		外:ナデ、ハリ付け高台、ナデ 内:ナデ	やや窯 ～1mmの砂粒含む	不良	灰黄褐色・黄灰色	底部 完存	
1038	22701	土師器 蓋	E24	包含層	23		外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ	やや窯 ～2mmの砂粒含む	良	にぶい褐色	口縁部 1/8	
1039	23001	土師器 蓋	E24	包含層	14.2		外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ナデ	やや窯	良	浅黄褐色	口縁部 1/4	
1040	22604	土師器 蓋	D24	包含層	15		外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ナデ	やや窯	不良	にぶい褐色	口縁部 1/8	

第29表 出土遺物観察表26

番号	発掘番号	層様	出土位置 地区 遺構	許容値 (cm) 口径 高さ	調査・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考
1041	21504	黒色土層 陶	C22 包含層	底径 8	外:ナデ・ハリ付け高台・ナデ 内:土ナデ	産	良	外:浅黄褐色 内:黒色	底部 1/8	
1042	18103	赤褐色 土	D3 包含層	14.7 4.7	外:ロクロナデ・オサエ・ナデ 内:ロクロナデ・ナデ	やや密 ～2mmの砂粒含む	良	灰白色	1/4	
1043	26105	赤褐色 土	E28 包含層		外:ロクロナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密	良	黄灰色・灰白色	口縁 部打	
1044	22503	灰褐色 土	E24 包含層	11.8 1.8	外:ヨコナデ・ロクロナデ・ハリ付け高台・ 糸切り 内:ヨコナデ・ロクロナデ	産	良	外:灰白色 内:にぶい黄褐色	1/2	
1045	23104	灰褐色 土	E25 包含層	14.2 2.8	外:ロクロナデ・ハリ付け高台・ナデ 内:ロクロナデ	産	良	灰白色	底部 存在	
1046	21706	灰褐色 土	D23 包含層	底径 7.3	外:ロクロナデ・ハリ付け高台・糸切り 内:ロクロナデ・ナデ	やや密	良	軸:灰白色 胎:灰褐色	底部 存在	断面外周に 「十」の番書
1047	22505	灰褐色 土	E24 包含層	底径 7.2	外:ロクロナデ・ハリ付けナデ・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密 ～2mmの砂粒含む	良	外:にぶい黄褐色 内:灰白色	底部 1/2	
1048	22403	土層 土	B24 包含層	8.9 2.1	外:ロクロナデ・糸切り 内:ロクロナデ	やや粗 ～2mmの砂粒含む	産	外:褐色・にぶい黄褐色 内:にぶい褐色	1/2	
1049	22401	土層 土	B24 包含層	底径 6.7	外:ロクロナデ・糸切り 内:ロクロナデ	やや密 ～1.5mmの砂粒含む	産	にぶい黄褐色・にぶい 褐色	底部 存在	
1050	22402	土層 土	B24 包含層	10.6 1.4	外:ロクロナデ・糸切り 内:ロクロナデ	やや粗 ～2.5mmの砂粒含む	産	にぶい黄褐色	1/4	
1051	22404	土層 土	B24 包含層	8.5 1.8	外:ロクロナデ・糸切り 内:ロクロナデ	やや粗 ～1.5mmの砂粒含む	産	にぶい黄褐色	1/4	
1052	22005	土層 土	B34 包含層	底径 7	外:ロクロナデ・糸切り 内:ロクロナデ	やや密	良	浅黄褐色	底部 1/2	
1053	22405	土層 土	B24 包含層	8.3 2.1	外:ロクロナデ・糸切り 内:ロクロナデ	やや密 ～1.5mmの砂粒含む	産	にぶい黄褐色・にぶい 褐色	1/4	
1054	22006	土層 土	B24 包含層	底径 5.5	外:ロクロナデ・糸切り 内:ロクロナデ	やや密 1～2mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	底部 存在	柱状高台
1055	22007	土層 土	B24 包含層	底径 6	外:ロクロナデ・糸切り 内:ロクロナデ	やや密	良	浅黄褐色	底部 存在	柱状高台
1056	22004	土層 土	B24 包含層		外:ロクロナデ 胎内:ロクロナデ 内:ナデ	やや密 2～3mmの砂粒含む	良	灰白色	小片	
1057	22205	土層 土	B24 包含層		外:ロクロナデ 胎内:ロクロナデ 内:ナデ	やや密 ～1mmの砂粒含む	良	灰黄褐色	小片	
1058	22002	土層 土	B24 包含層		外:ロクロナデ 胎内:ロクロナデ 内:ナデ	やや密	良	浅黄褐色・灰色	小片	
1059	22204	土層 土	B24 包含層		外:ロクロナデ 胎内:ロクロナデ 内:ナデ	やや密 ～1mmの砂粒含む	産	外:にぶい褐色 内:にぶい黄褐色	小片	
1060	22003	土層 土	B24 包含層		外:ロクロナデ 胎内:ロクロナデ 内:ナデ	やや密	良	浅黄褐色	小片	
1061	22308	土層 土	B24 包含層	14.6	外:ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密 ～1mmの砂粒含む	産	にぶい黄褐色	口縁 1/8	
1062	22305	土層 土	B24 包含層	7.9 1.4	外:ヨコナデ・オサエ 内:ヨコナデ・ナデ	粗 ～2mmの砂粒含む	産	浅黄褐色	1/2	
1063	22306	土層 土	B24 包含層	8.4 1.7	外:ヨコナデ・オサエ・ナデ 内:ヨコナデ・ナデ	やや密 3mmの砂粒含む	産	灰白色・にぶい黄褐色	1/2	
1064	22307	土層 土	B24 包含層	8 1.4	外:ヨコナデ・オサエ 内:ヨコナデ・ナデ	やや密 ～1.5mmの砂粒含む	産	褐色	1/2	
1065	22303	土層 土	B24 包含層	14.5 2.4	外:ヨコナデ・オサエ・ナデ 内:ヨコナデ・ナデ	やや密 ～1mmの砂粒含む	産	浅黄褐色	1/4	
1066	22301	土層 土	B24 包含層	13.7	外:ヨコナデ・オサエ 内:ヨコナデ・ナデ	産 微砂粒を含む	産	浅黄褐色	1/4	
1067	22302	土層 土	B24 包含層	14.6 2.3	外:ヨコナデ・オサエ・ナデ 内:ヨコナデ・ナデ	産 微砂粒を含む	産	外:にぶい黄褐色 内:浅黄褐色	1/8	
1068	22304	土層 土	B24 包含層	14.4 2.6	外:ヨコナデ・オサエ・ナデ 内:ヨコナデ・ナデ	やや密 ～3mmの砂粒含む	産	にぶい褐色	口縁 1/8	
1069	21901	土層 土	B24 包含層	22.6	外:ヨコナデ・ナデ・オサエ 内:ヨコナデ・ナデ	やや粗 1～3mmの砂粒含む	良	灰白色	口縁 1/4	
1070	22001	土層 土	B24 包含層	21.4	外:ヨコナデ・工具ナデ 内:ヨコナデ・ハケメ	やや粗 2～3mmの砂粒含む	良	浅黄褐色	口縁 1/8	
1071	27404	加工片	E33 包含層	3.4 厚 0.7		産 ～1mmの砂粒含む	産	にぶい褐色	完存	重さ7.11g
1072	21904	白磁 陶	B24 包含層		外:ロクロナデ後輪 内:ロクロナデ後輪	産	良	軸:灰白色 胎:灰白色	口縁 部打	
1073	22104	陶 土	B24 包含層	9.2 2.7	外:ロクロナデ・糸切り 内:ロクロナデ	やや密	良	灰白色	ほぼ 完存	内部に自然 輪付
1074	22101	陶 土	B24 包含層	16.4 6.3	外:ロクロナデ・ハリ付け高台・糸切り 内:ロクロナデ	やや密	良	灰白色	1/8	
1075	22105	陶 土	B24 包含層	16.8 5.5	外:ロクロナデ・ハリ付け高台・糸切り 内:ロクロナデ	やや密	良	灰白色	1/2	内部に自然 輪付
1076	22103	陶 土	B24 包含層	底径 7.2	外:ロクロナデ・ハリ付け高台・糸切り 内:ロクロナデ	やや密	良	灰白色	底部 存在	内部に自然 輪付
1077	26504	陶 土	D29 包含層	底径 8	外:ロクロナデ・ハリ付け高台・ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密 ～1mmの砂粒含む	良	灰黄色・浅黄色	ほぼ 完存	
1078	21705	陶 土	B24 包含層	底径 6.2	外:ロクロナデ・ハリ付け高台・糸切り・ナデ 内:ロクロナデ	やや密	良	灰黄色・灰白色	底部 存在	内部に自然 輪付
1079	23005	陶 土	C25 包含層	16.2 5.4	外:ロクロナデ・ハリ付け高台・糸切り 内:ロクロナデ	産	良	灰白色	1/2	内部に自然 輪付
1080	22504	陶 土	C24 包含層	底径 8.1	外:ロクロナデ・ハリ付け高台・糸切り 内:ロクロナデ	やや粗 ～2mmの砂粒含む	良	灰白色	底部 1/2	内部に自然 輪付

第30表 出土遺物観察表27

番号	実測番号	産種	出土位置		計測値 (cm)		調製・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考
			地区	遺構	口径	器高						
1081	22102	陶器 甕	B24	包含層	底径 7.5		外:ロクロナデ、ハリ付?高台・糸切り 内:ロクロナデ	やや密	良	灰白色	底面	
1082	28301	陶器 甕		表土	54.6		外:ロクロナデ 内:ロクロナデ	やや密 1~4mmの砂粒含む	良	にぶい褐色・褐色	口縁部 1/4	滑南地
1083	23206	土製品 土練	D25	包含層	残長 4.1	幅 0.8	ナデ	密	良	にぶい黄褐色・暗黄褐色		不明 重さ 4.5g
1084	23205	土製品 土練	D25	包含層	長 5.4	幅 1.1	ナデ	密	良	にぶい褐色		完成 重さ 6.13g
1085	23506	土製品 土練	D26	包含層	長 4.6	幅 1.1	ナデ	やや密	良	にぶい褐色		ほぼ 完成 重さ 4.73g
1086	22206	土製品 土練	C24	包含層	長 4.75	幅 1.2	ナデ	密 ~1mmの砂粒含む	並	褐色・灰黄褐色		ほぼ 完成 重さ 8.2g
1087	23207	土製品 土練	E25	包含層	残長 4.3	幅 1.05	ナデ	密	良	褐色・灰白色		不明 重さ 5.135g
1088	21803	土製品 土練	C23	包含層	長 5.5	幅 1.2	ナデ	やや密	良	褐色・浅黄褐色		完成 重さ 6.94g
1089	27402	土製品 土練	E31	包含層	残長 4.5	幅 1.25	ナデ	やや粗 ~2mmの砂粒含む	並	灰白色		不明 重さ 6.07g
1090	21804	土製品 土練	C23	包含層	長 5	幅 1.3	ナデ	やや密	良	にぶい褐色		完成 重さ 6.39g
1091	23204	土製品 土練	E25	包含層	長 5.6	幅 1.3	ナデ	密	良	にぶい黄褐色		ほぼ 完成 重さ 8.535g
1092	22704	土製品 土練	D04	包含層	長 7	幅 1.3	ナデ	密	良	褐色		完成 重さ 11.25g
1093	21905	土製品 土練	B24	包含層	長 5.15	幅 1.2	ナデ	やや密	良	にぶい黄褐色		完成 重さ 7.705g
1094	23003	土製品 土練	D25	包含層	残長 3.9	幅 1.4	ナデ	やや密 ~3mmの砂粒含む	良	にぶい褐色		不明 重さ 7.210g
1095	21302	土製品 土練	B21	包含層	長 4.2	幅 1.4	ナデ	やや密 ~1mmの砂粒含む	良	浅黄褐色		完成 重さ 6.3g
1096	23505	土製品 土練	E26	包含層	長 4.4	幅 1.4	ナデ	やや密	良	にぶい褐色		完成 重さ 7.26g
1097	23406	土製品 土練	E26	包含層	長 6.2	幅 1.4	ナデ	やや密	良	褐色		完成 重さ 11.29g
1098	21306	土製品 土練	E22	包含層	長 6.1	幅 1.5	ナデ	やや密	不良	にぶい黄褐色・にぶい 褐色		完成 重さ 12.3g
1099	21307	土製品 土練	E22	包含層	長 5.4	幅 1.5	ナデ	やや密	良	にぶい黄褐色・にぶい 褐色		完成 重さ 11.2g
1100	22706	土製品 土練	C24	包含層	長 5.4	幅 1.5	ナデ	密	良	にぶい黄褐色		完成 重さ 7.5g
1101	21305	土製品 土練	D22	包含層	長 5.7	幅 1.7	ナデ	やや密	良	灰黄褐色		完成 重さ 13.7g
1102	21802	土製品 土練	D23	腹丸	長 5.6	幅 1.7	ナデ	やや密	良	にぶい褐色		完成 重さ 13.5g
1103	28404	土製品 土練	D24	腹丸	残長 7.1	幅 1.65	ナデ	密	並	浅黄褐色		不明 重さ 11.755g
1104	27205	土製品 土練	E30	包含層	長 7.2	幅 1.9	ナデ	密	良	にぶい褐色		完成 重さ 18.75g
1105	27401	土製品 土練	C31	包含層	長 5.5	幅 2.3	ナデ	やや密 ~1mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色・黄褐色		ほぼ 完成 重さ 22.9g
1106	22207	土製品 土練	D24	包含層	長 6.8	幅 2.3	ナデ	密 ~1mmの砂粒含む	並	黄褐色		不明 重さ 29.6g
1107	21304	土製品 土練	C21	包含層	長 5.4	幅 2.5	ナデ	密	不良	褐色		完成 重さ 26.3g
1108	25204	土製品 土練	D27	包含層	長 7	幅 2.5	ナデ	やや密	良	にぶい黄褐色		完成 重さ 38.9g
1109	21002	土製品 土練	B21	包含層	長 7.6	幅 2.6	オウエ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	並	暗黄褐色		完成 重さ 41g
1110	22703	土製品 土練	D24	包含層	長 7.3	幅 2.7	ナデ	密	不良	にぶい褐色・暗灰色		完成 重さ 47.6g
1111	26506	土製品 土練	D29	包含層	長 7.8	幅 2.7	ナデ	やや粗 ~2mmの砂粒含む	良	にぶい黄褐色		ほぼ 完成 重さ 52.49g
1112	21001	土製品 土練	B21	包含層	長 7.7	幅 3	ナデ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	並	にぶい黄褐色・灰黄褐色		ほぼ 完成 重さ 56.3g
1113	27204	土製品 土練	D30	包含層	長 8	幅 3	ナデ	やや密 ~3mmの小石含む	並	浅黄褐色・暗灰色		完成 重さ 43.055g
1114	24805	土製品 土練	D27	包含層	長 8.4	幅 3.6	ナデ	やや密 ~1mmの砂粒含む	並	灰白色		完成 重さ 99g
1115	21003	土製品 土練	D20	包含層	長 8.3	幅 3.8	ナデ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	並	暗灰色		ほぼ 完成 重さ 116.2g
1116	25203	土製品 土練	E27	包含層	長 5.3	幅 3.4	ナデ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	良	にぶい黄褐色・灰白色		完成 重さ 72g
1117	18805	土製品 土練	C27	包含層	長 7.4	幅 3.4	ナデ	やや密	良	にぶい褐色		完成 重さ 92.2g
1118	21801	土製品 土練	E23	包含層	長 8.4	幅 4.1	ナデ	やや密	良	にぶい黄褐色		完成 重さ 144.9g
1119	23002	土製品 土練	D25	包含層	長 5.4	幅 3.1	ナデ	やや粗 1~2mmの砂粒含む	良	にぶい褐色		完成 重さ 42.85g
1120	21301	土製品 土練	E22	包含層	長 7.5	幅 3.6	オウエ	密	良	にぶい黄褐色		完成 重さ 90.6g

第31表 出土遺物観察表28

番号	実測番号	器種	出土位置		計測値 (cm)		調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考
			地区	遺構	口径	器高						
1111	28403	陶製品 土器		表土	径 6.2	幅 4.4		密	良	輪; 黄褐色 素地; 灰色	完存	重さ 111.965g
1112	29301	石製品 炭石	D20	包含層	長 19.3	幅 7.1					完存	重さ 655g
1113	302	石製品 紡錘車		表土	4.2	厚 1.2					完存	重さ 28.165g
1114	23508	石製品 紡錘車	E26	包含層	4.1	厚 0.9					完存	重さ 22.1g
1115	23507	石製品 紡錘車	D20	包含層	4.6	厚 1.1					1/2	重さ 16.2g
1118	28507	石製品 鏡石	E27	包含層	残存長 15	幅 6.8					5面残	5面に使用 痕
1117	28506	石製品 鏡石	E26	包含層	長 5.8	幅 3					6面残	6面に使用 痕
1119	28607	金属製品 鉄斧	E31	包含層	遺存長 11.6	幅 3.4						鈍造
1119	28604	金属製品 工具	E31	包含層	遺存長 5.6	幅 1						
1119	28603	金属製品 鉄鏃	C27	包含層	遺存長 7.2	幅 1.2						本質付着
1111	28606	金属製品 非文鏡	E26	包含層	3.8	厚 0.5						
1112	20705	鏡貨	B19	包含層								元豊通宝

第32表 出土遺物観察表29

出土遺物観察表凡例

- 「番号」は、当報告書記載の出土遺物実測図の図版に対応する。
- 「実測番号」は遺物実測図に付された番号である。記入に際しては、例えば、123-45の登録番号を12345とした。なお、上1桁から3桁は実測図の通し番号で、下2桁は1図面内での番号である。
- 「器種」は出土遺物を見た目で判断し、記入した。
- 「出土位置」の地区の項目には小地区名を、遺構の項目には遺構から出土したのものについては遺構名を、その他の遺物については層序名を記入した。
- 「計測値」は、計測可能なもののみ記入した。また、底径や頸部径・体部径・受部径・長・残長については口径の項目に、幅と厚は器高の項目にそれぞれ記した。
- 「調整・技法の特徴」は、内面・外面・脚内それぞれの調整を施された順番で記入した。
- 「胎土」は観察により、密・やや密・やや粗・粗の四段階で記入した。また、そこに含まれる砂粒や小石などの大きさも記した。
- 「焼成」は観察により、良・並・不良の三段階で記入した。
- 「色調」は、当報告書の例言に記入した『新版標準土色帖』による。
- 「残存度」は、口径部や底部・脚部などの残存の状況を分数で示した。また、分数で示せないものについては、完形や小片・体部片などの名称を記入した。
- 「備考」は、出土遺物の特徴的な事項などを記入した。

V 結 語

今回の調査では、古墳時代後期の竪穴住居13棟や掘立柱建物1棟・溝11条・土坑9基、飛鳥時代の竪穴住居5棟や掘立柱建物4棟・溝2条、奈良時代の土坑1基、平安時代の竪穴住居1棟、鎌倉時代の溝1条と土坑2基、室町時代の土坑2基などが確認された。

出土遺物については、古墳時代後期から飛鳥時代の土師器が非常に多く出土しており、その中でも土師器甕が大半を占めることが注目される。(遺物図版に取り上げた1132個の内、土師器が650個を占める〔57.4%〕。また、土師器の内、土師器甕が392個を占める〔60.3%〕。)

ここでは、今回の調査成果のまとめと若干の検討を行う。

1 遺構の変遷について

(1) 古墳時代前期の状況

遺物はA地区の表土や包含層などから出土したが、遺構は確認できなかった。

しかし、SD47とSH52の埋土からは、他の遺構に比べて多くの遺物が出土しており、これらの遺構によって前期の遺構が削平された可能性も考えられる。このことから調査区内にも遺構が存在していたことが想定される。

第II章で述べたように、当遺跡周辺では当該期の遺物のまとまった出土例は少なく、貴重な資料となった。

(2) 古墳時代後期と飛鳥時代の集落の変遷

上記の様に、調査では古墳時代後期(6世紀代)と飛鳥時代(7世紀代)の集落が見つかった。

ここでは主な遺構をとりあげ、田辺昭三氏による陶器編年により集落を6期に区分し、各時期の集落の状況について見てみる。

I期(6世紀初め)

TK23～TK47型式に併行すると考えられる時期で、竪穴住居4棟(SH42・SH52・SH72・SH75)と溝1(SD43)などが検出された。

竪穴住居はSD43を境と仮定すると、SH42とS

H52・SH72・SH75の2つグループに分けられると考えられる。これらの中で、SH72とSH75は重複している。

遺物はSH42とSH75から一括して確認されており、SH52とSH75については、他の竪穴住居と異なる遺物の出土状況が見られる。前者からは土師器高杯がまとまって出土しており、住居廃棄時に何らかの祭祀行為が行われたと想定される。また、後者では「鬼高式土器」と考えられる須恵器模倣杯が出土しており、当遺跡と関東地域との交流がうかがわれる。

SH42とSH52からは、土師器台付甕と土師器甕が供伴して、出土している。

当遺跡周辺では、当該期の集落の確認例は少なく伊勢市中ノ垣外遺跡で竪穴住居1棟が見つまっている。

以上の様に、この時期は竪穴住居のみで集落が構成されている。

II期(6世紀前半)

MT15型式に併行すると考えられる時期で、竪穴住居2棟(SH46・SH63)などが検出された。

竪穴住居は散在して分布している。これらの竪穴住居は全体を確認することができなかったが、残存している部分からはほぼ同じ規模と推定される。

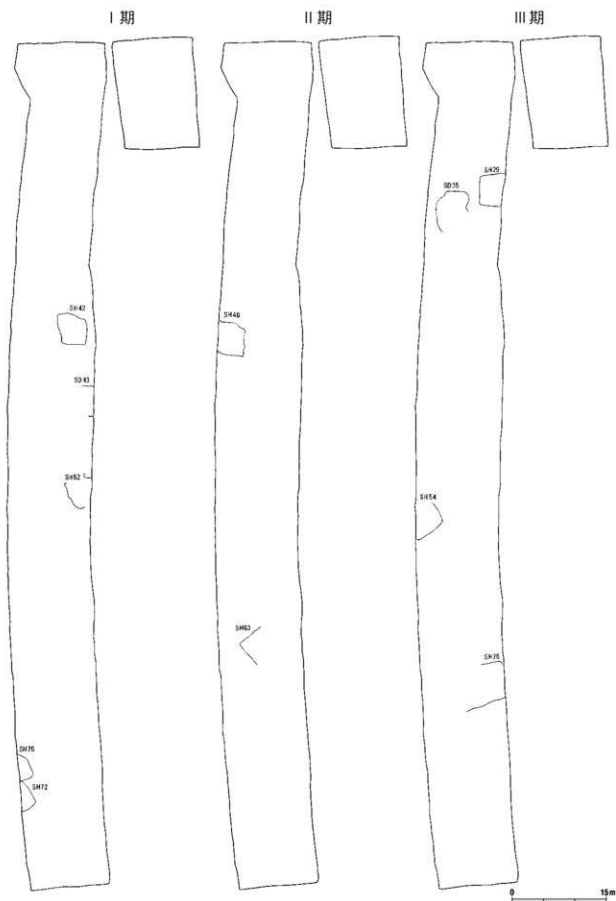
遺物についてはSH46とSH63から一括して出土しているが、これらの遺物は土師器や須恵器で、格差は見られない。

以上の様に、この時期も竪穴住居のみで集落が構成されている。

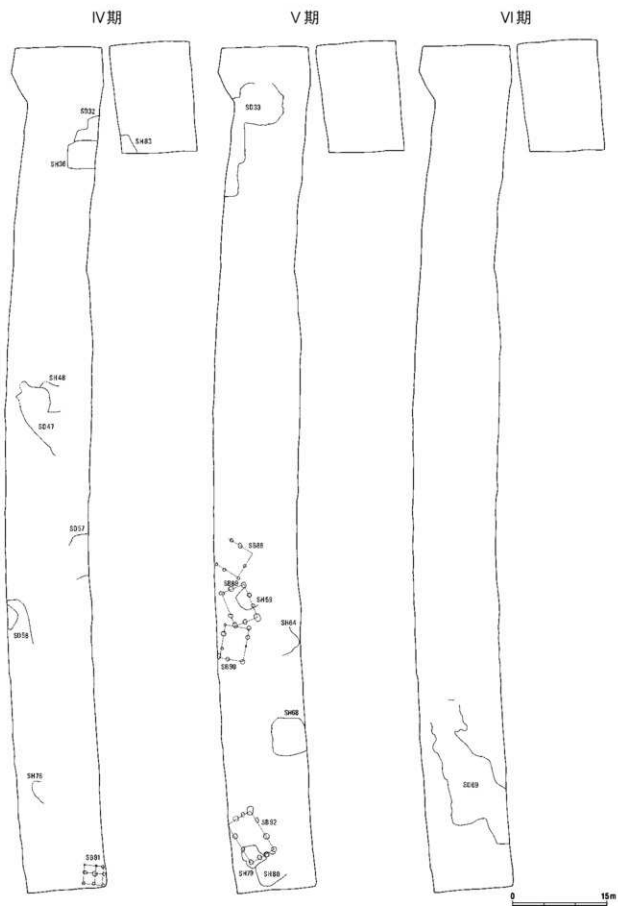
III期(6世紀中頃)

TK10型式に併行すると考えられる時期で、竪穴住居3棟(SH29・SH54・SH78)と溝1(SD35)などが検出された。

竪穴住居はSD35を境と仮定すると、SH29とSH54・SH78の2つのグループに分けられると考えられる。これらの中で、SH78は甕をもち、50mを超える規模をもつ大型の住居である。



第54図 古墳時代後期～飛鳥時代遺構配置図1 (1 : 600)



第55図 古墳時代後期～飛鳥時代遺構配置図2 (1 : 600)

遺物はSH54から一括して出土し、SH78から多く確認されているが、これらも土師器や須恵器で、遺物の格差は見られない。しかし、SH54から手づくねのミニチュア土師器が1点出土している。

以上の様に、この時期も竪穴住居のみで集落が構成されている。

IV期（6世紀後半）

MT85～TK43型式に併行すると考えられる時期で、竪穴住居4棟（SH36・SH48・SH76・SH83）や掘立柱建物1棟（SB91）・溝4（SD32・SD47・SD57・SD58）などが検出された。

この時期から確認される遺構数が増加し、掘立柱建物が建ち始める。

竪穴住居はSD47・SD57・SD58の溝を境と仮定すると、SH36・SH48と、SH76・SH83の2つのグループに分けられると考えられる。また、後者のグループに掘立柱建物のSB91が含まれる。

このSB91は2間×2間の総柱建物で、高床倉庫と推定される。床面積は9㎡で、古墳時代のものとしては小規模なものである。また、多気郡明和町北野遺跡の第5次調査でも、同じプランではほぼ同規模の建物跡が検出されている。

後者の様なグループの形態について、広瀬和雄氏は「複数の竪穴が1棟の倉をもっているのは、古墳時代にはむしろ普遍的であった。」と指摘している。

遺物については、SH36からは多数の土師器や須恵器が出土したが、他の竪穴住居も同様のものが確認され、格差は見られない。

当遺跡周辺では、多気郡明和町曾祢崎遺跡から掘立柱建物1棟が、伊勢市中ノ垣外遺跡などから竪穴住居1棟が見つまっている。

以上の様に、今回の調査範囲で見ると、この時期から竪穴住居と掘立柱建物が併存して、集落が構成されている。

V期（7世紀前半）

TK209～217型式に併行すると考えられる時期で、竪穴住居5棟（SH59・SH64・SH68・SH79・SH80）や掘立柱建物4棟（SB88・SB89・SB90・SB92）・溝1（SD33）などが検出された。

この時期は、当該期で一番多くの遺構が確認されている。

調査区東方の約60mの範囲内に竪穴住居と掘立柱

建物が、1つのグループとして分布すると考えられる。

これらの建物跡には重複関係があるものもあり、

SH59→SB89とSB90

SH80→SH79→SB92

の切り合いが考えられる。この様に竪穴住居の集落から掘立柱建物の集落に移行したことがうかがわれる。

これらの中でSH68は最大の規模をもつ、大型の住居である。また、検出された掘立柱建物の面積は20～30㎡に収まり、格差は見られない。これらの建物の面積は畿内における掘立柱建物の平均的な大きさに含まれる。

また、このグループは、広瀬和雄氏による建物群の類型の「Ⅲ 倉をふくまない建物群 1. 複数の屋-A、較差あり-b、掘立柱建物と竪穴住居」に該当すると考えられる。

遺物については、SH69からは多数の土師器や須恵器が出土したが、他の竪穴住居も同様のものが確認され、格差は見られない。

当遺跡周辺では、多気郡明和町曾祢崎遺跡などで竪穴住居2棟と掘立柱建物2棟が見つまっている。

以上の様に、この時期も竪穴住居と掘立柱建物で集落が構成されている。

VI期（7世紀後半）

TK46～48型式に併行すると考えられる時期で、溝1条（SD69）が検出された。

この時期になると、確認される遺構数が激減する。

SD69は埋土の観察から人工的に掘削されたと考えられる。また、溝からは非常に多くの土師器や須恵器などが出土した。

当遺跡周辺では、多気郡明和町曾祢崎遺跡から掘立柱建物2棟が、伊勢市殿垣外遺跡などから竪穴住居1棟が見つまっている。

以上の様に、この時期には竪穴住居と掘立柱建物が見られなくなり、溝のみが機能している。

まとめ

当遺跡の古墳時代後期と飛鳥時代の集落は6世紀初めに形成され、7世紀前半に最盛期を迎え、7世紀後半には衰退する状況がうかがわれる。この事から当該期の集落は、約200年間存続したと言える。

以上の様に、当地域の拠点的な集落が確認された。
なお、今回の調査でも土師器焼成坑は検出されなかった。

また、第Ⅱ章で述べたように、当遺跡は砂堆上に立地している。

当地域周辺にも同様な立地を示す、同時期の遺跡がみられ、度会郡二見町荏道跡や多気郡明和町申山A遺跡・申山B遺跡・申山C遺跡などがあげられる。

前者では古墳時代後期（7世紀前半）の竪穴住居1棟や土坑などが検出され、5世紀末～7世紀前半の須恵器などが出土しており、集落が存在していたと考えられる。また、後者の3遺跡からは、土師器や須恵器が表採されており、古墳時代以降の遺跡が広範囲に展開していたと考えられる。

以上の様に当地域や当地域周辺では、この時期に砂堆上に集落が営まれていたものと考えられる。

（3）奈良時代から室町時代の状況

前述の古墳時代後期や飛鳥時代と比較して、確認された遺構数は少ない。

各時代別に遺構をあげてみると、奈良時代の土坑1基（SK81）、平安時代の竪穴住居1棟（SH55）、平安時代以降の溝1条（SD53）、鎌倉時代の溝1条（SD39）と土坑2基（SK50・SK84）、室町時代の土坑2基（SK44・SK85）が見つかった。

これらの遺構は調査区の端や隅で検出されているものが多く、当該期の遺構が調査外に広がっている可能性が高いと考えられる。

2 今後の検討課題について

最後に、当遺跡の古墳時代後期から飛鳥時代の出土遺物に関する検討課題について若干述べてみる。

当遺跡の性格については、三辻利一氏や上村安生氏などが言及している。

三辻氏は、土師器生産遺跡の北野遺跡と当遺跡から出土した土師の胎土分析を実施している。その結果、北野遺跡を含むいくつもの生産地から土師器が供給されたことや、北野遺跡で生産されたものが少ないということが分かった。これらの事から、当遺跡は各生産地から土師器が持ち込まれた集積地であったと推定している。

また、上村氏は南伊勢地域で生産された土師器が、

当遺跡から海上交通を利用して尾張や美濃に運搬されたと想定している。

以上の様に、当遺跡は土師器の流通に関係した遺跡と推測されている。

しかし、今回の調査ではこれらの推定を裏付ける資料を得ることができなかった。

三辻氏の胎土分析以後、津市高茶屋大垣内遺跡や同市雲出島貫遺跡などから当該期の土器が多く出土している。

今後、当遺跡や上記の遺跡、県外の消費地遺跡の出土遺物を分析し、前述の調査結果と比較し、より明確な土師器の生産から流通、消費に至るルートの解明が期待される。

また、当報告書では、当遺跡における古墳時代後期から飛鳥時代の土師器の分類や編年案を提示することができなかった。今後の筆者の課題としたい。

（奥野 実）

〔注〕

- ① 当報告では諸般の事情で、出土遺物の個体数計測などを実施していない。
- ② 田辺昭三『須恵器大成』（角川書店、1981年）。
- ③ 掘立柱建物S B 86とS B 87は詳細な時期決定ができなかったため、取り上げなかった。
- ④ 県内で多数の土師器高杯が出土した竪穴住居としては、名張市榎・柏原遺跡S B 12〔文献a〕や松坂市中の坊遺跡S H 66〔文献b〕などがあげられる。
〔文献a〕田阪 仁「VI名張市赤日町榎・柏原遺跡」（昭和58年度農業基盤整備事業地域埋蔵文化財発掘調査報告）、三重県教育委員会、1984年）。
〔文献b〕伊藤裕之・石淵誠人『中の坊遺跡』（三重県埋蔵文化財センター、1997年）。
- ⑤ 小沢 洋「上総地域の鬼高式土器」（『考古学ジャーナル』第342号、ニュー・サイエンス社、1992年）。
- ⑥ 以下、中ノ戸外遺跡の調査内容については、下記の文献による。

高見宜雄・岩中淳之「X伊勢市佐八町中ノ戸外遺跡」（昭和58年度農業基盤整備事業地域埋蔵文化財発掘調査報告）、三重県教育委員会、1984年）。

- ⑦ 都出比呂志「古墳時代の集落と階層分解」（『日本農耕社会の成立過程』、岩波書店、1989年）の245頁。

⑧ SB61やSB114・SB241などがあげられる。

竹田憲治『北野遺跡（第5次）発掘調査概報』（三重県埋蔵文化財センター、1996年）。

⑨ 広瀬和雄「畿内の古代集落」（『国立歴史民俗博物館研究報告』第22集。国立歴史民俗博物館、1989年）の79頁。

⑩ 以下、曾祚崎遺跡の調査内容については、下記の文献による。

西村美幸『曾祚崎遺跡発掘調査報告』（三重県埋蔵文化財センター、1996年）。

⑪ 前掲註⑩の文献の69頁。

⑫ 前掲註⑩の文献の77頁。

⑬ 岩中淳之『殿垣外遺跡発掘調査報告』（伊勢市教育委員会、1982年）。

⑭ 竹内英昭氏は、下記の文献で県内の飛鳥時代の集落を検討し、6世紀後半代からのムラの継続が余り認められないことを述べている。しかし、当遺跡では6世紀初めから7世紀後半まで集落が継続して営まれている。

竹内英昭「飛鳥・奈良時代の集落遺跡の検討－伊勢地方を例にとりて－」（『研究紀要』第6号、三重県埋蔵文化財センター、1997年）。

⑮ 上村安生氏は、下記の文献で当遺跡にも土師器焼成

坑が存在する可能性を指摘している。

上村安生「三重県内の土師器生産について」（『研究紀要』第7号－土師器焼成坑と古代土器の生産と流通－、三重県埋蔵文化財センター、1998年）。

⑯ 新田 洋『荘遺跡発掘調査報告』（三重県教育委員会、1980年）。

⑰ 中野敦夫編『三重県多気郡明和町遺跡地区』（明和町、1988年）の61・64頁。

⑱ 三辻利一「高ノ御前遺跡出土土器の蛍光X線分析」（『高ノ御前遺跡発掘調査報告』、三重県埋蔵文化財センター、1997年）。

なお、上記文献で取り上げられている当遺跡の試料は第一次調査のものである。

⑲ 註⑮の文献と同じ。

⑳ 三辻利一「北野遺跡周辺の遺跡群出土土師器の蛍光X線分析」（前掲註⑮の文献と同じ）。

田中久生・川畑由紀子『高茶屋大垣内遺跡（第3・4次）発掘調査報告』（三重県埋蔵文化財センター、2000年）。

伊藤裕偉・川崎志乃『嶋技Ⅲ』（三重県埋蔵文化財センター、2001年）。

写真図版



SH36出土遺物

写真図版1



調査前風景 (南東から)



調査区全景 (北西から)



調査区全景 (南東から)



S42 (北西から)

写真図版3



SD39・SH46 (北から)



SH52 (南西から)

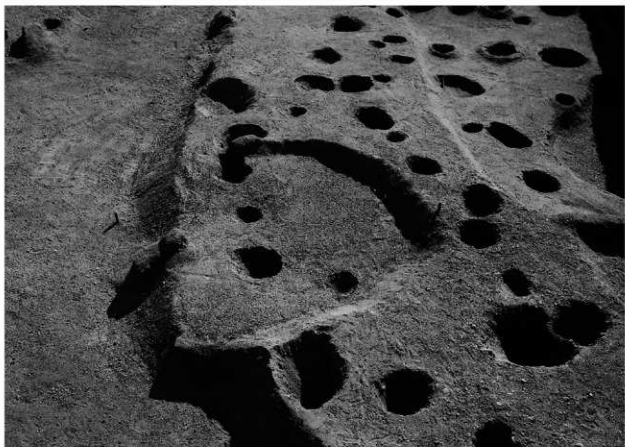


SH54・SH55 (北東から)



SD57 (南西から)

写真図版6



SH-59 (北西から)



SH-63 (北から)



SH64 (西から)



SH68 (南西から)

写真図版7



SD69 (南東から)



SH79・SH80 (北から)



SH-36遺物出土状況（東から）



SH-52遺物出土状況（東から）

写真図版9



SH78遺物出土状況（北東から）



SH36掘削風景（西から）



作業風景（北西から）

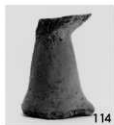


事業完了後（南東から）

写真図版 11



出土遺物1 (1:3)



出土遺物2 (1:3)

写真図版13



出土遺物3 (1:3)



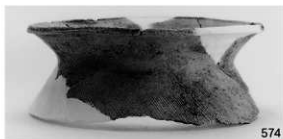
出土遺物4 (1:3)





出土遺物6 (1:3)

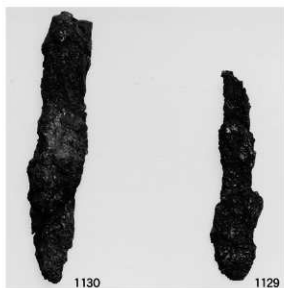
写真図版17



出土遺物7 (1: 3, 635は1: 1)



出土遺物8 (1:3)



出土遺物9 (1:1)

報告書抄録

ふりがな	たかのござんいせき (だいにじ) はっくつちょうさほうこく							
書名	高ノ御前遺跡 (第2次) 発掘調査報告							
副書名								
巻次								
シリーズ名	三重県埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	253							
編著者名	奥野 実・松見直茂							
編集機関	三重県埋蔵文化センター							
所在地	〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503 TEL 0596-52-1732							
発行年月日	西暦2004年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号	°'〃	°'〃			
たかのござんいせき 高ノ御前遺跡	みえけんいせ 三重県伊勢 市有滝町 あびたかのござん 字高御前 ちゅうさつか 茶臼塚	203	113	34° 32' 17"	136° 41' 48"	20010801 ? 20011225	2,300	平成13年度(主)伊勢松阪線(有滝BP)地方特定道路整備事業
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
高ノ御前遺跡	集落跡	古墳前期				土師器		古墳時代後期から飛鳥時代の土師器が非常に多く出土(その中でも土師器壺が大半を占める)
		古墳後期～飛鳥		竪穴住居・掘立柱建物・土坑・溝		土師器・須恵器・不明土製品・土錘・鉄鎌・鉄斧・素文鏡		
		平安		竪穴住居		土師器・灰釉陶器		
		鎌倉・室町		土坑・溝		土師器・陶器・白磁・加工円盤・銭貨(元豊通宝)		

三重県埋蔵文化財調査報告 253

高ノ御前遺跡 (第2次) 発掘調査報告

2004 (平成16年) 3月

編集 三重県埋蔵文化センター
発行
印刷 千巻印刷産業株式会社